
令和5年度
群馬県子どもの生活実態調査
調査結果報告書

令和6年3月
群馬県生活こども部
私学・子育て支援課

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 集計・分析にあたって	4
II 調査結果	5
1. 分析結果の概要	7
2. 調査回答者の基本属性等	44
2-1. 保護者	44
2-2. 子ども	53
3. 分析結果	54
3-1. 保護者の生活状況	54
3-1-1. 暮らし状況、経済的な状況	54
3-1-2. 就労状況	61
3-1-3. 保育の状況	64
3-1-4. 子どもとの関わり方	66
3-1-5. 学校等との関わり・参加	71
3-1-6. 進学期待・展望	73
3-1-7. 頼れる人の有無・相手	77
3-1-8. 日常的な生活の状況	86
3-2. 子どもの生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況	88
3-2-1. 学習の状況	88
3-2-2. 進学希望	96
3-2-3. 部活動等への参加状況	108
3-2-4. 日常的な生活の状況	111
4. 新型コロナウイルス感染症の影響	137
4-1. 保護者の状況	137
4-2. 子どもの状況	144
5. 支援の利用状況や効果等	152
5-1. 保護者の状況	152
5-2. 子どもの状況	173
III 国の調査結果との比較	193
1. 比較・分析結果	195
1-1. 保護者	195
2-1. 子ども	204
IV 参考資料	215
1. 調査票	217
2. 等価世帯収入の算出	242

I 調査概要

1. 調査の目的

群馬県内の子ども及びその保護者に対して意識や行動の調査を行い、経済的な困窮等が子どもの生活や成長、保護者の生活や意識、行動に与える影響等を明らかにすることにより、子どもの貧困又は貧困の連鎖の解消に向けた効果的な施策につなげることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象：群馬県内の中学2年生とその保護者（対象40校）
- (2) 調査方法：中学校経由でアンケート票を配布・回収（WEB回答又は用紙で回答）
- (3) 調査期間：令和5年12月11日～令和6年1月19日
- (4) 回答率：

対象	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
中学2年生	1,140	1,007	88.3%	998	87.5%
保護者	1,140	857	75.2%	848	74.4%

地域別回答率：

地域	対象	校数	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
中毛	中学2年生	12	361	313	86.7%	312	86.4%
	保護者		361	264	73.1%	265	73.4%
西毛	中学2年生	12	329	300	91.2%	300	91.2%
	保護者		329	252	76.6%	250	76.0%
北毛	中学2年生	6	164	147	89.6%	142	86.6%
	保護者		164	125	76.2%	121	73.8%
東毛	中学2年生	10	286	247	86.4%	244	85.3%
	保護者		286	216	75.5%	212	74.1%

※県内の中学校から地域バランス等を考慮して抽出。

<参考> 標本誤差と信頼度について

(1) 標本誤差と信頼度の概要

アンケート調査では、母集団※1 から無作為に抽出した標本データ※2 を元に、調査対象の全体を推計するため、得られた回答に誤差が生じる可能性がある。

その誤差は、標本誤差と呼ばれており、標本誤差の推定が 100 回のうち 95 回当たる、すなわちその度合いで正確さが保障できるという場合、信頼度 95% と呼ぶ。

通常のアンケート調査の場合は、信頼度 95% を用いるのが一般的であり、許容できる標本誤差の範囲は、5% 未満が望ましいとされている。

※1…今回の調査では、群馬県内の中学 2 年生：15,738 人

※2…今回の調査では、アンケート回答数である中学 2 年生=998 人、保護者=848 人

(2) 標本誤差の計算式

母集団が N 人、標本データが n 人、ある選択肢の回答値が P% とすると、信頼度 95% における、標本誤差 E% の計算式は、以下の通りとなる。

$$E = 1.96 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

(3) 本アンケートでの標本誤差

本アンケート調査では、998 人及び 848 人からの回答が得られており、例えば、ある選択肢の「はい」との回答値が 50% であった場合、標本誤差は約 3.1% 及び 3.3% となるため、母集団すなわち中学 2 年生及び保護者の賛成率は、95% の確率で 46.9% (50%-3.1%) から 53.1% (50%+3.1%) 及び 46.7% (50%-3.3%) から 53.3% (50%+3.3%) の間にあると言える。なお、標本誤差は、回答値が 50% の時に最も高く、回答率が 0% もしくは 100% に近づくほど減少する。

以上より、本アンケート調査では、標本誤差が最大でも約 3.3% となり、許容できる標本誤差の範囲である 5% 未満に収まるため、母集団に対し適切な標本データ数を得ることができたと言える。

3. 集計・分析にあたって

- (1) 図表中の「n」とは回答者総数（または該当者質問での該当者数）のことで、100% が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。
- (2) 結果は百分率（%）で表示し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出した結果、個々の比率が合計 100% にならないことがある。
- (3) クロス集計や平均値の比較に関しては、図表で示した内容のうち、5% 水準で統計的に有意ではない結果についてはページ下段に注釈を付している。
- (4) 本文及び図表中、意味をそこなわない範囲で簡略化した選択肢がある。

II 調査結果

1. 分析結果の概要

本報告書では、子どもの生活状況について、群馬県内の実態を把握するとともに、「等価世帯収入」の水準と「世帯の状況」別に比較分析を行った。

「等価世帯収入」の水準では、特に「中央値の2分の1未満」に該当する世帯を、「貧困」の課題を抱えている世帯であると考え、集計・分析を行った。また、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当する世帯も「貧困」の課題を抱えるリスクが高い世帯であると考え、回答傾向の把握を行った。

「世帯の状況」別としては、ふたり親世帯であるかひとり親世帯であるか別に集計し、結果を比較した。また、ひとり親世帯のうち、母子世帯に限った集計を行い、その結果も示した。

分析の結果、世帯収入の水準や世帯の状況によって、子どもの学習・生活・心理など様々な面が影響を受けていた。

特に等価世帯収入水準が「中央値の2分の1未満」の世帯やひとり親世帯が親子ともに多くの困難に直面している。ただし、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上だが中央値未満」の、いわば収入が中低位の水準の世帯でも、多様な課題が生じていた。

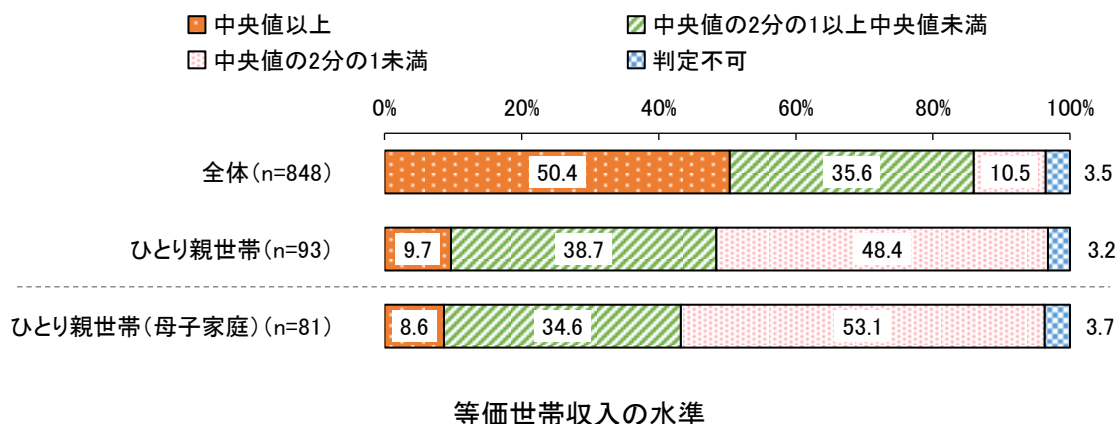
また、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯では、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、同感染症流行前と比較して生活状況がさらに厳しくなっている可能性がある。

(1) 保護者の生活状況

●収入の状況について

世帯の年間収入について、「子供と同居し、生計を同一にしている家族の人数」を踏まえて「等価世帯収入」の水準による分類を行った。等価世帯収入の水準が「中央値以上」に該当するのは50.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは35.6%、「中央値の2分の1未満」に該当するのは10.5%であった。

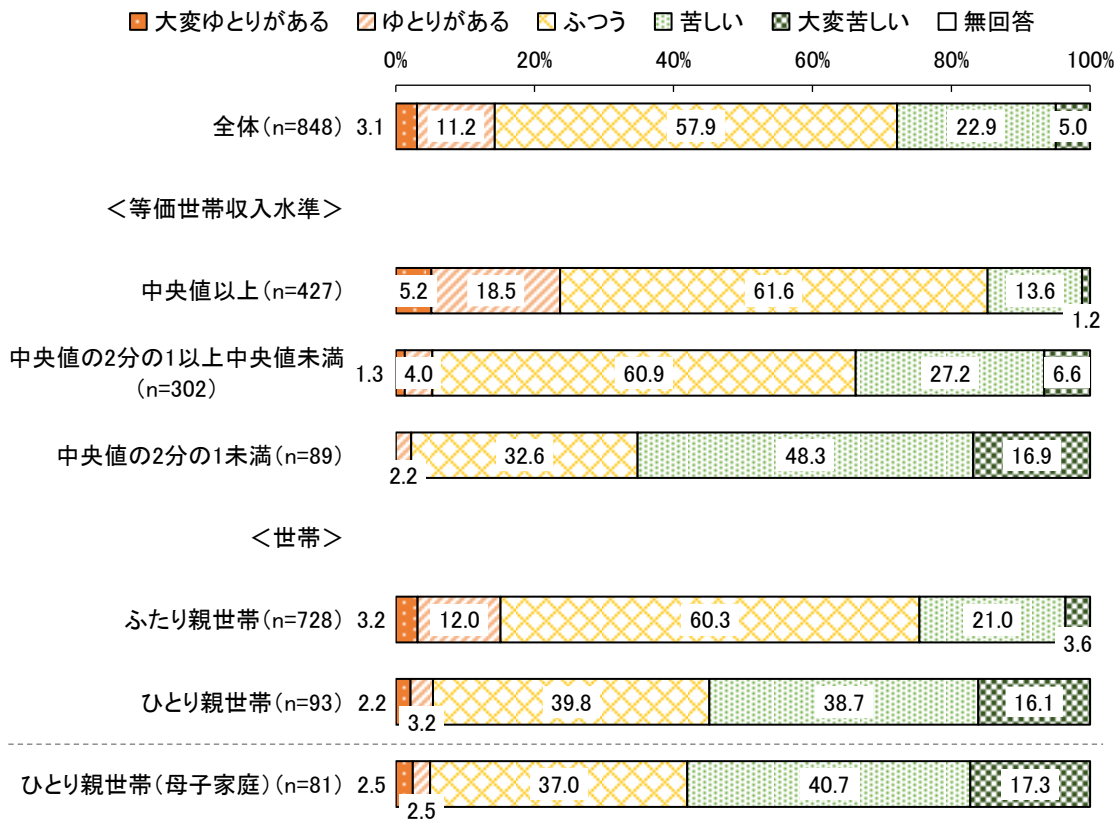
また、「ひとり親世帯」では「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは38.7%、「中央値の2分の1未満」に該当するのは48.4%となっているほか、「ひとり親世帯（母子家庭）」では「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは34.6%、「中央値の2分の1未満」に該当するのは53.1%となっており、ひとり親世帯のうち87.1%の世帯、母子家庭のうち87.7%で収入が中低位の水準にある。特に、母子家庭の半数以上で収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当している点に着目する必要がある。



※分類方法等、詳しくは「2.2-1. (6) 世帯全体の年間収入」(47 ページ) 参照

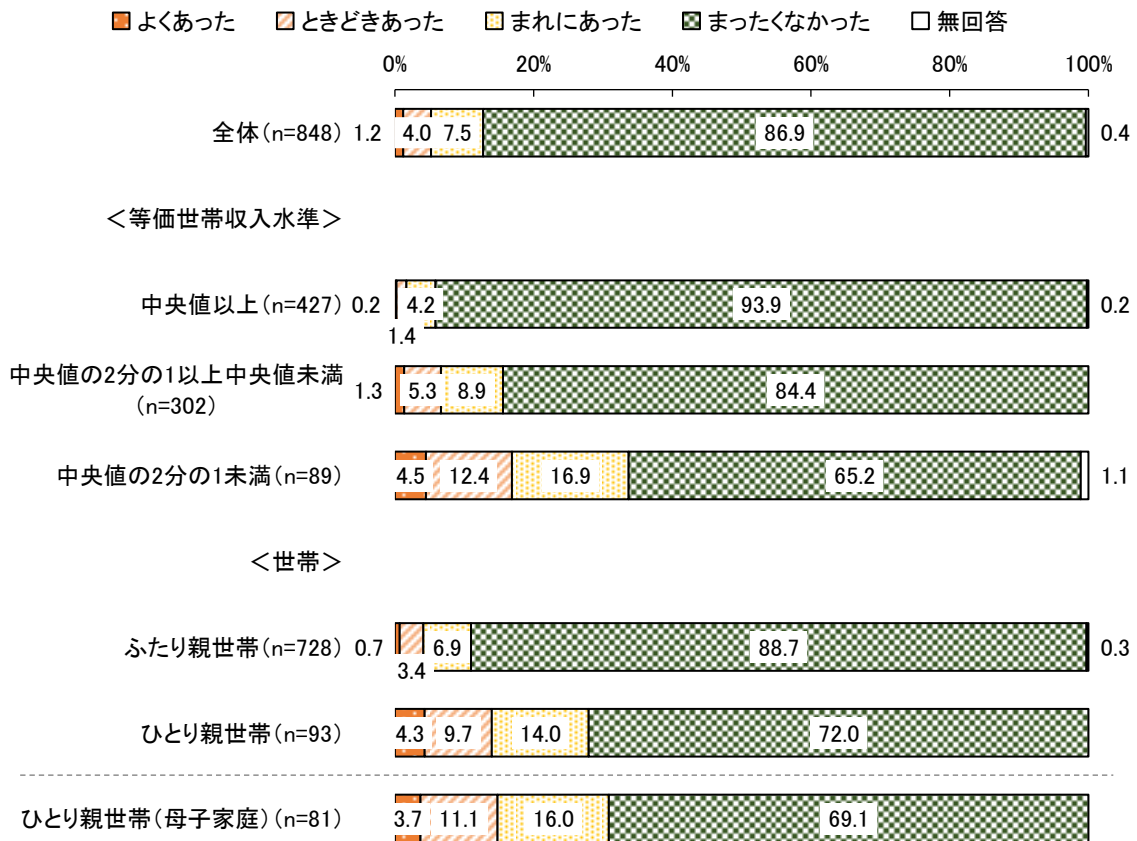
●暮らしの状況、経済的な状況について

暮らしの状況について「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、全体では27.8%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では33.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では65.2%と高くなっている。また、「ひとり親世帯」では54.8%、「ひとり親世帯(母子家庭)」では58.0%と半数以上を占めており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど暮らしの状況は苦しい傾向にある。



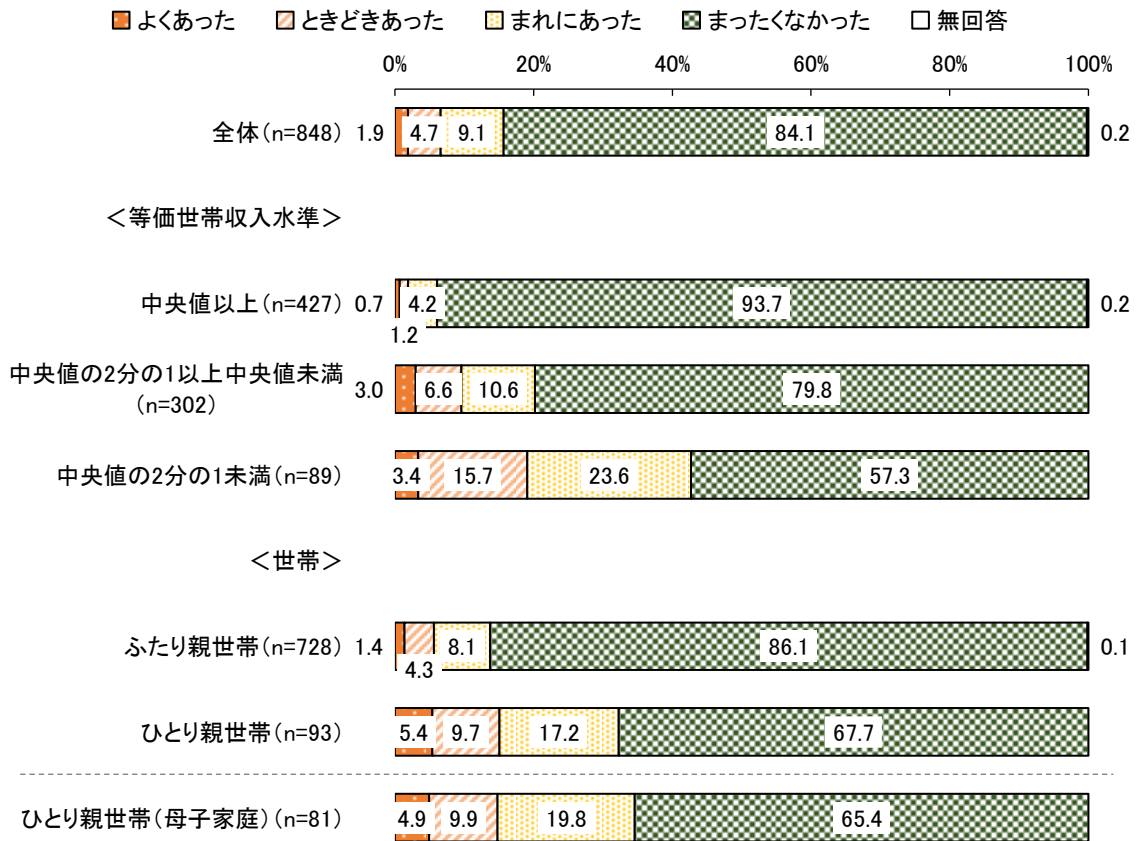
「暮らしの状況」に関する集計結果

「食料が買えなかった経験」が「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」とする割合は、全体では12.7%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では15.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では33.7%、「ひとり親世帯」では28.0%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では30.8%と高くなっている。



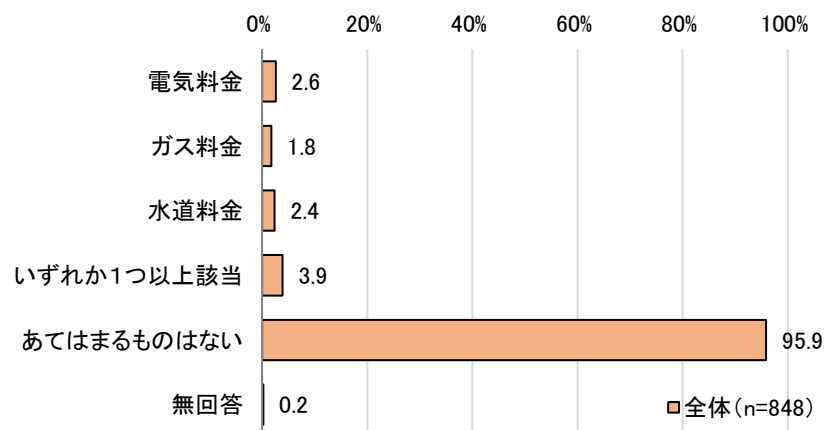
「食料が買えなかった経験」に関する集計結果

「衣服が買えなかった経験」が「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」とする割合は、全体では15.7%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では20.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では42.7%、「ひとり親世帯」では32.3%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では34.6%と高くなっている。

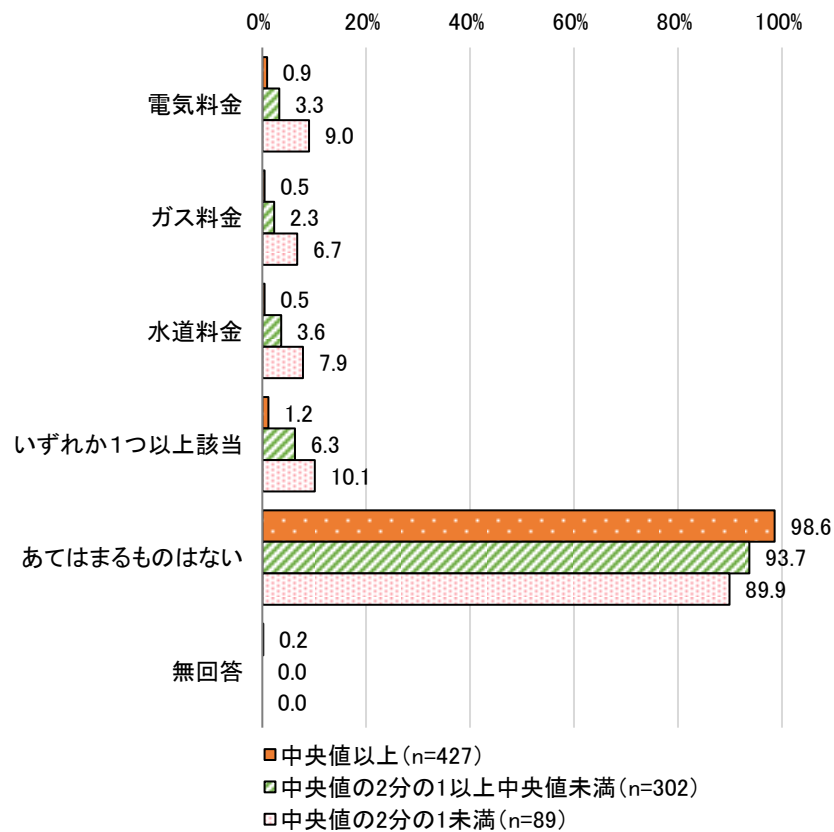


「衣服が買えなかった経験」に関する集計結果

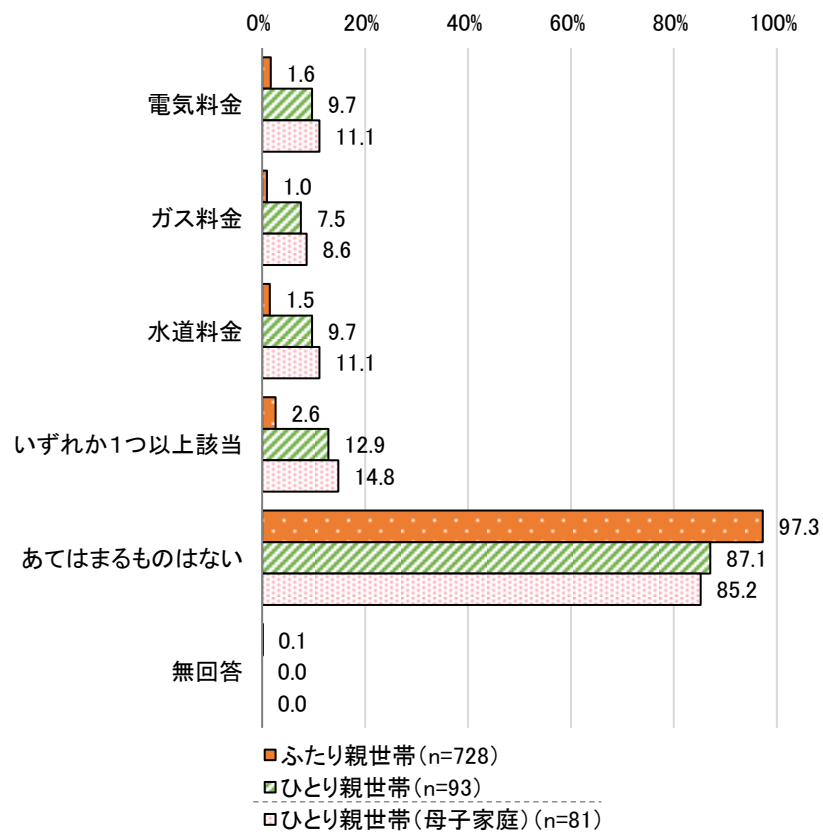
「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」のいずれか1つ以上で未払いが発生している割合は、全体では3.9%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では6.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では10.1%、「ひとり親世帯」では12.9%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では14.8%と高くなっている。



「公共料金における未払いの経験」に関する集計結果



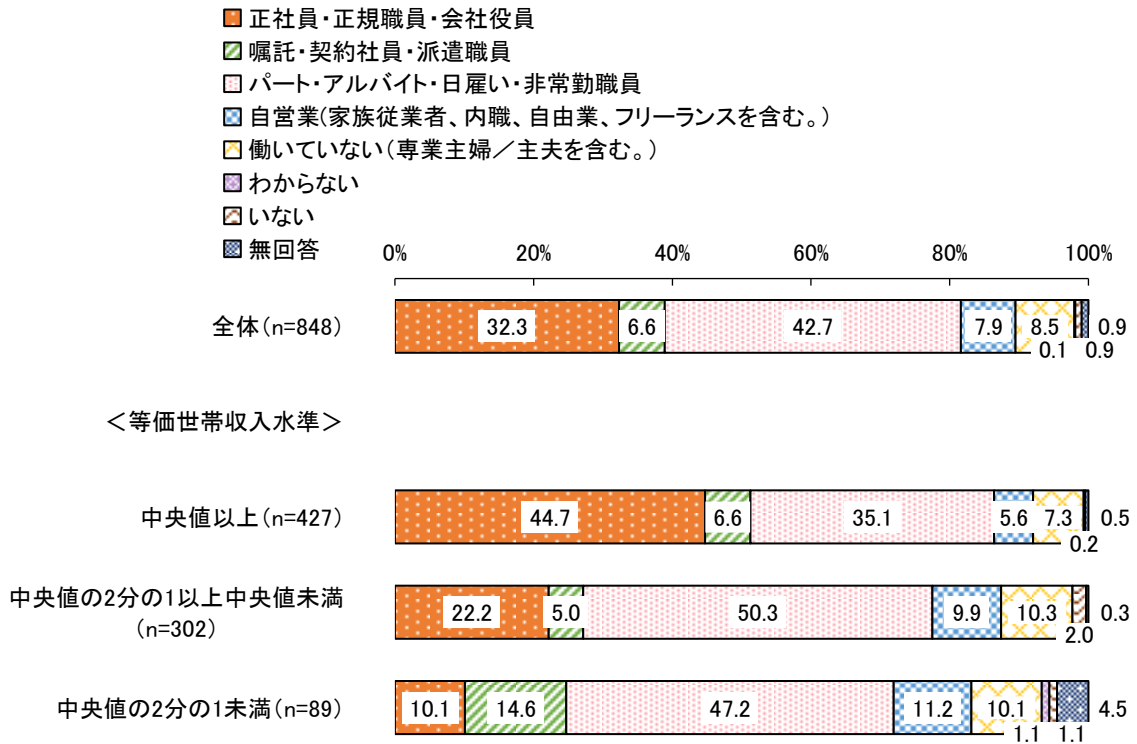
等価世帯収入水準別「公共料金における未払いの経験」に関する集計結果



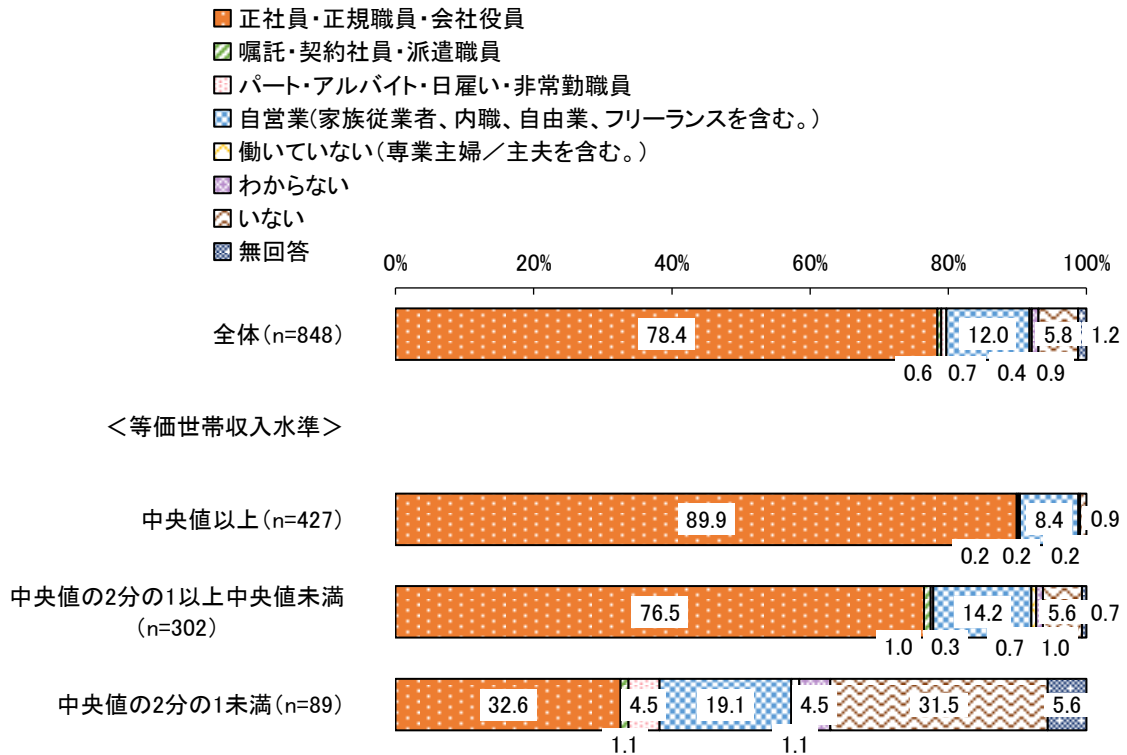
世帯別「公共料金における未払いの経験」に関する集計結果

●就労状況について

就労状況の違いが収入の水準と関連している。母親、父親ともに「正社員・正規職員・会社役員」の割合は収入の水準が低い世帯ほど低くなっている。



「母親の就労状況」に関する集計結果

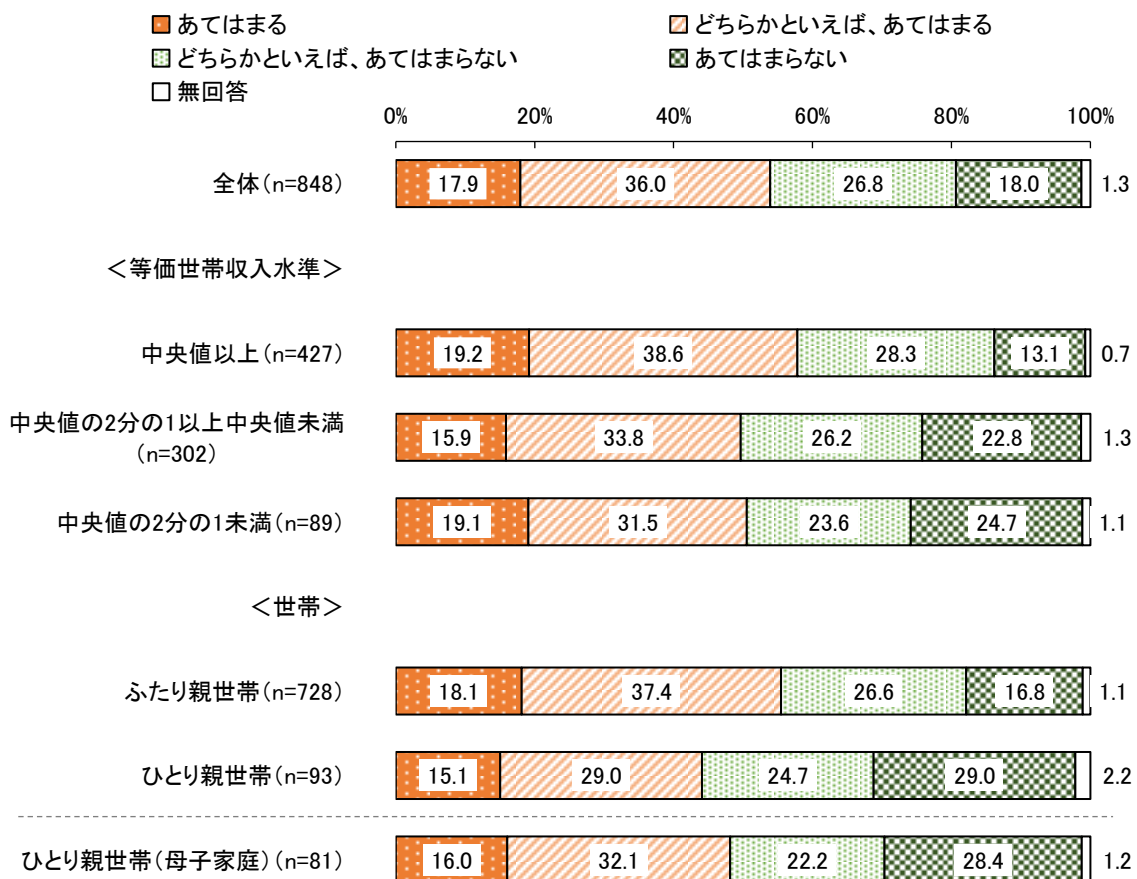


「父親の就労状況」に関する集計結果

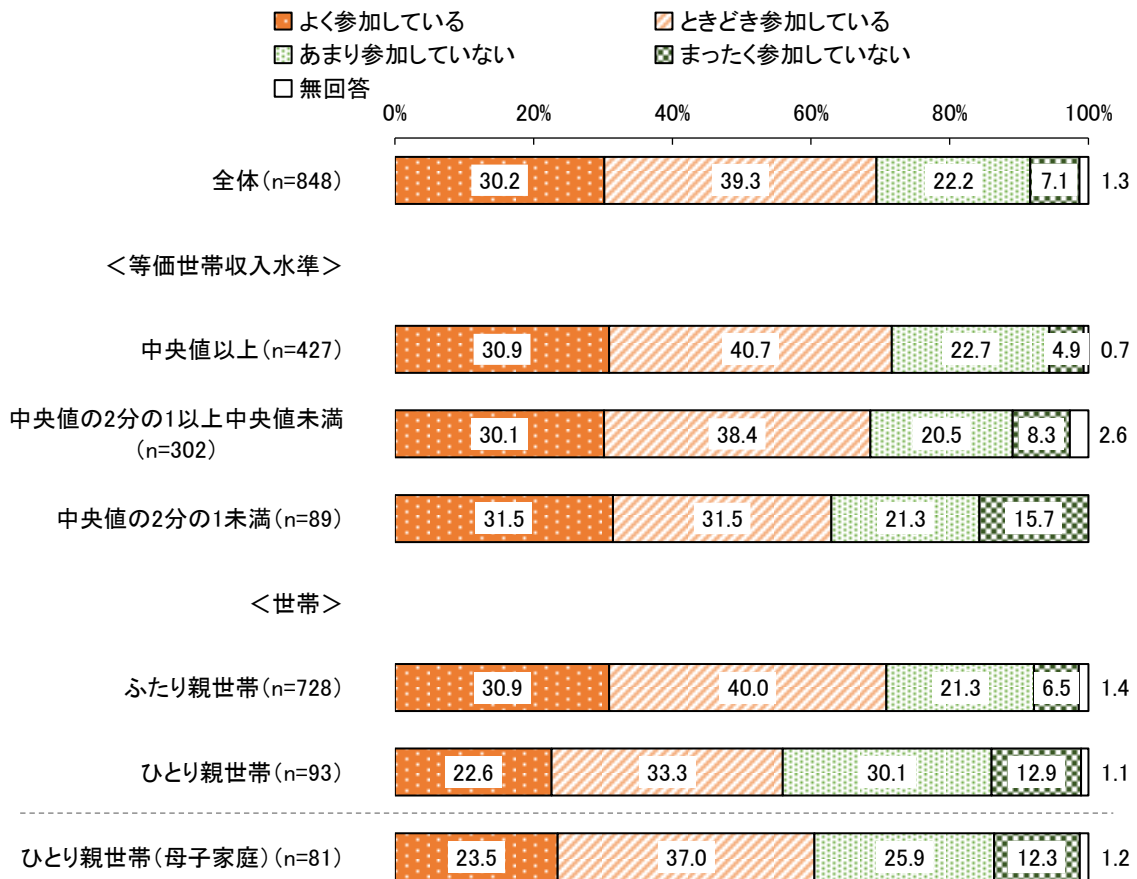
●子どもとの関わり方や学校との関わり・参加について

「子どもに本や新聞を読むように勧めている」かについて、「どちらかといえば、あてはまらない」、「あてはまらない」を合わせた割合は、全体では44.8%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では49.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では48.3%、「ひとり親世帯」では53.8%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では50.6%と高くなっている。

その他にも、「PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加」でも同様の傾向が見られ、収入水準や世帯の状況の違いが「子どもとの関わり方」や「学校との関わり・参加」の状況の差異にも関連している。



「お子さんに本や新聞を読むように勧めている」に関する集計結果

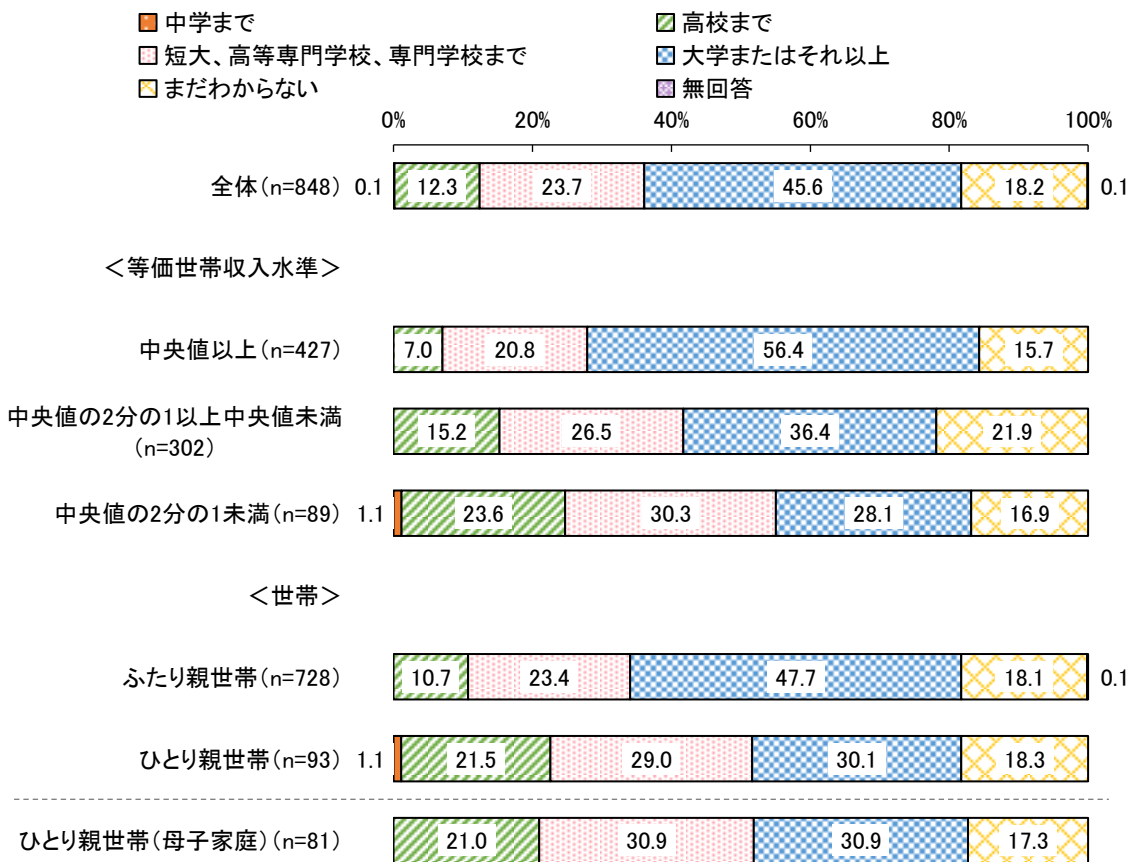


「PTA活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加」に関する集計結果

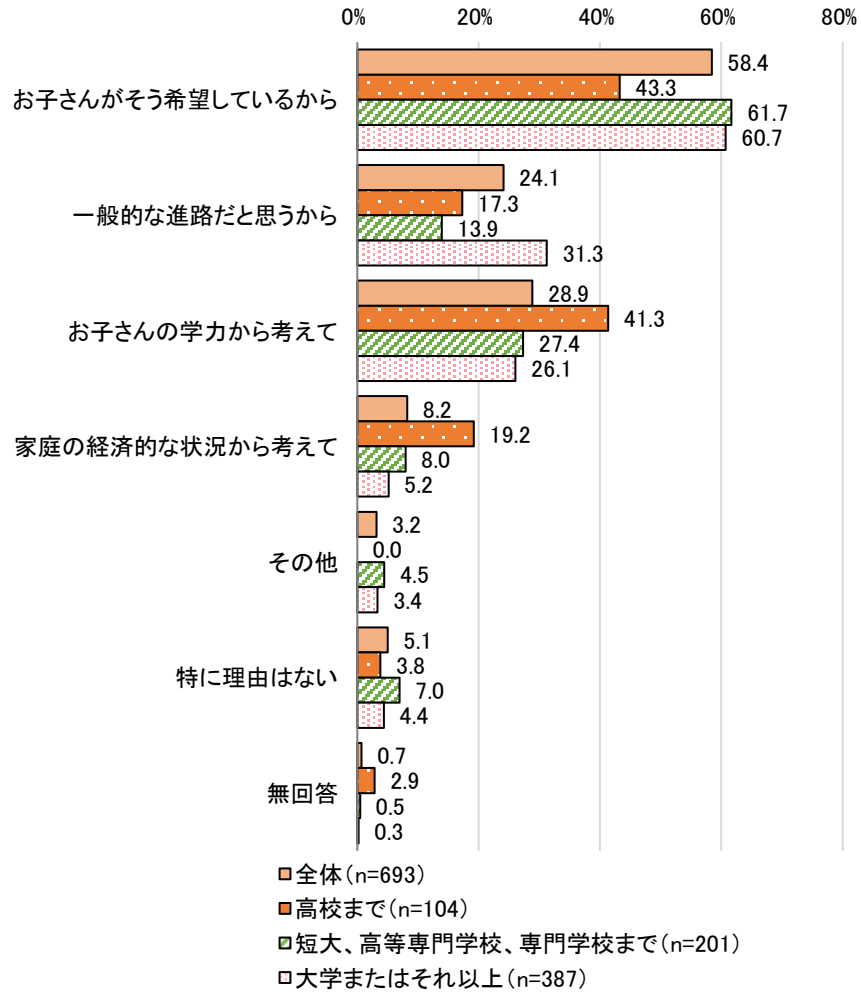
●進学期待・展望について

子どもが将来どの段階まで進学するかの希望・展望に関して、「大学またはそれ以上」とする割合は、全体では45.6%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では36.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では28.1%、「ひとり親世帯」では30.1%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では30.9%と低くなっている。

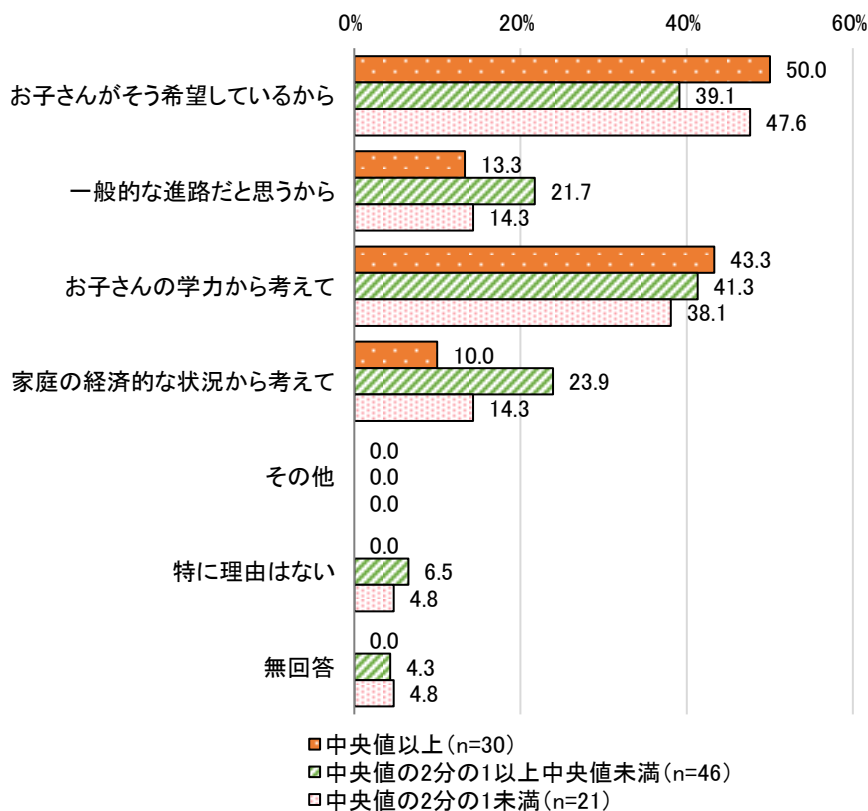
また、「高校まで」と考える理由について、「家庭の経済的な状況から考えて」と回答した割合は、全体では19.2%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では23.9%、「ひとり親世帯」では20.0%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では23.5%と高くなっている（「中央値の2分の1未満」の世帯では14.3%と全体より低かった）。ただし、「中央値以上」の世帯でも10.0%であったことに留意する必要がある。



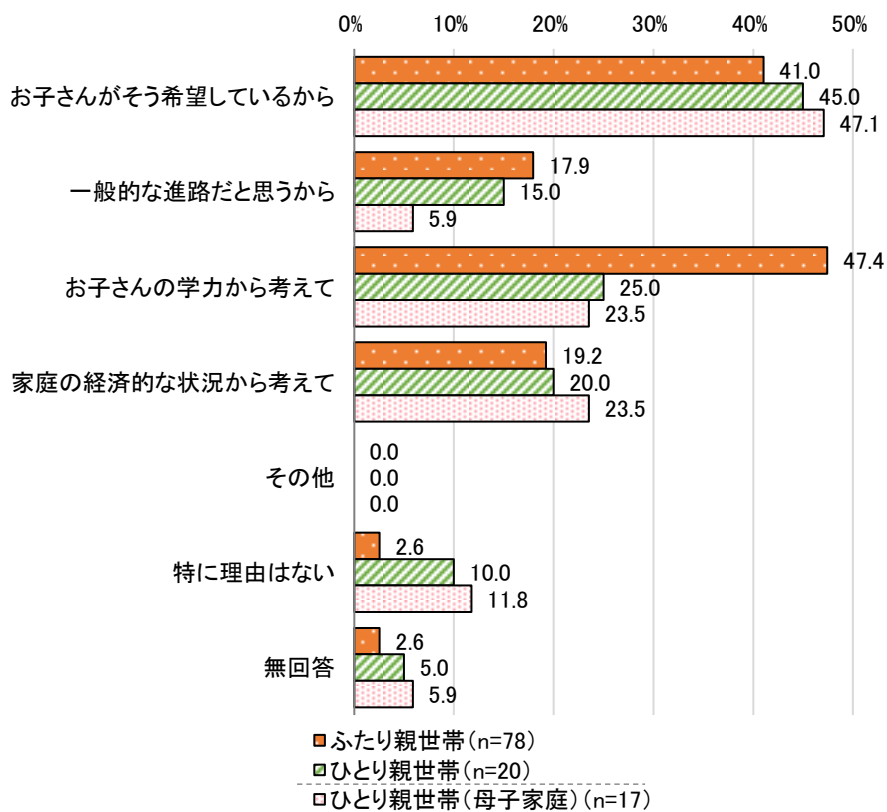
「子どもの進学段階に関する希望・展望」に関する集計結果



「進学段階に関する希望・展望についてそう考える理由」に関する集計結果



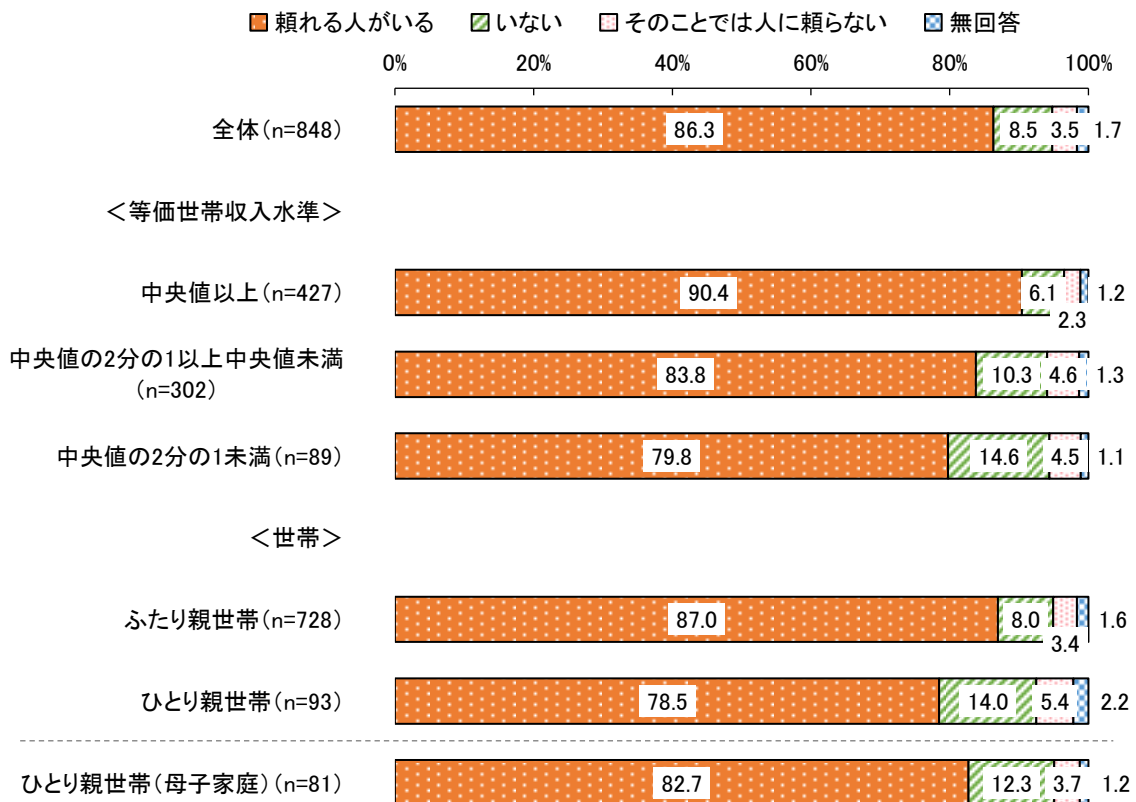
等価世帯収入水準別「『高校まで』と考える理由」に関する集計結果



世帯別「『高校まで』と考える理由」に関する集計結果

●頼れる人の有無・相手について

一例として、「子育てに関する相談について頼れる人」について、「いない」とする割合は、全体では 8.5%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 10.3%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 14.6%、「ひとり親世帯」では 14.0%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では 12.3%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど頼れる人がいないと回答した割合が高くなっている。

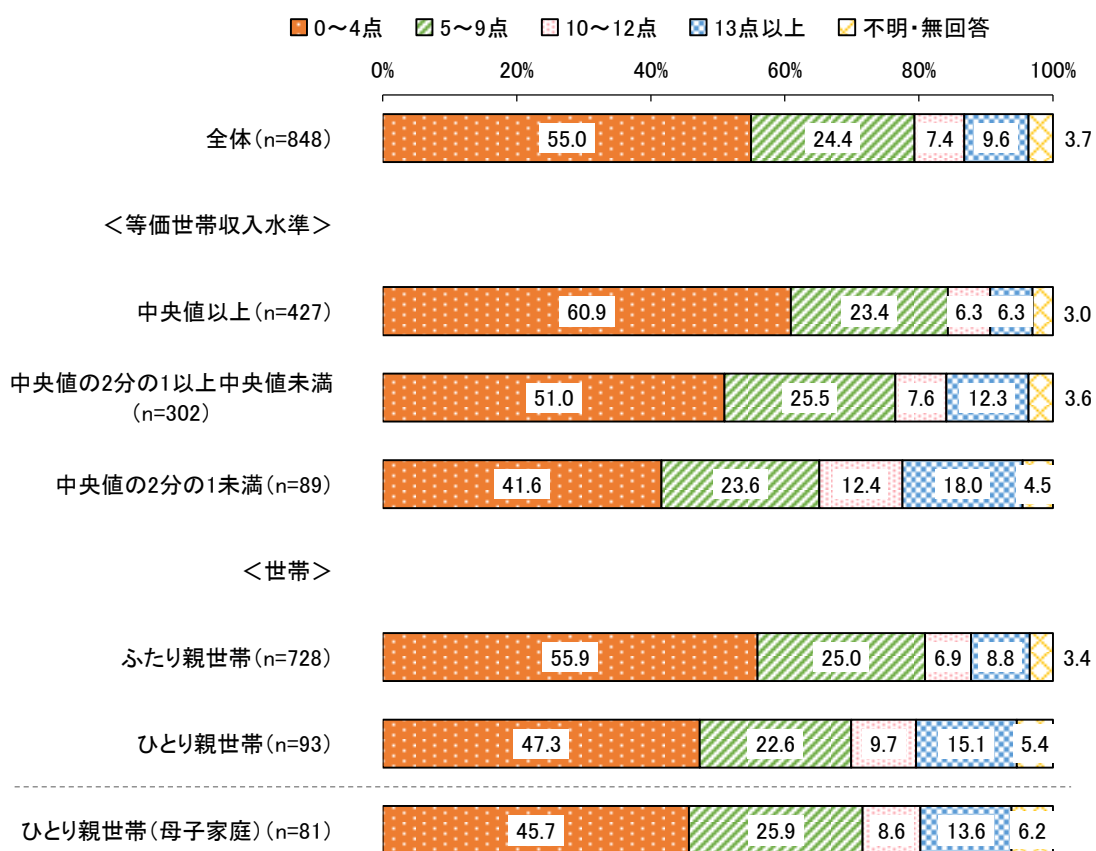


「子育てに関する相談について頼れる人」に関する集計結果

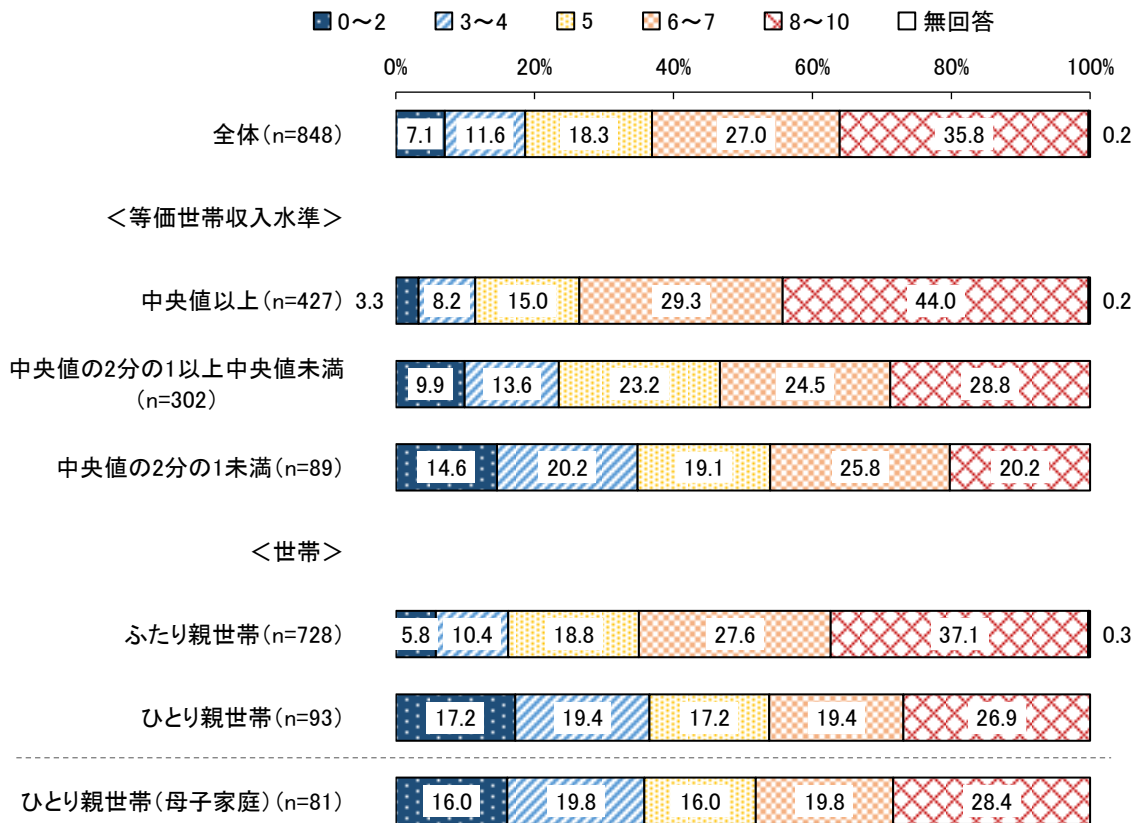
●日常的な生活の状況について

保護者の心理的な状態について、「うつ・不安障害相当」にあると考えられる割合は、全体では9.6%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では12.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では18.0%、「ひとり親世帯」では15.1%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では13.6%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど、うつ・不安障害が疑われる状態にある者の割合が高い。

また、生活満足度について、満足度が高い方の回答割合（6～10）は全体では62.9%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では53.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では46.1%、「ひとり親世帯」では46.2%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では48.2%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど、生活満足度が低くなっている。



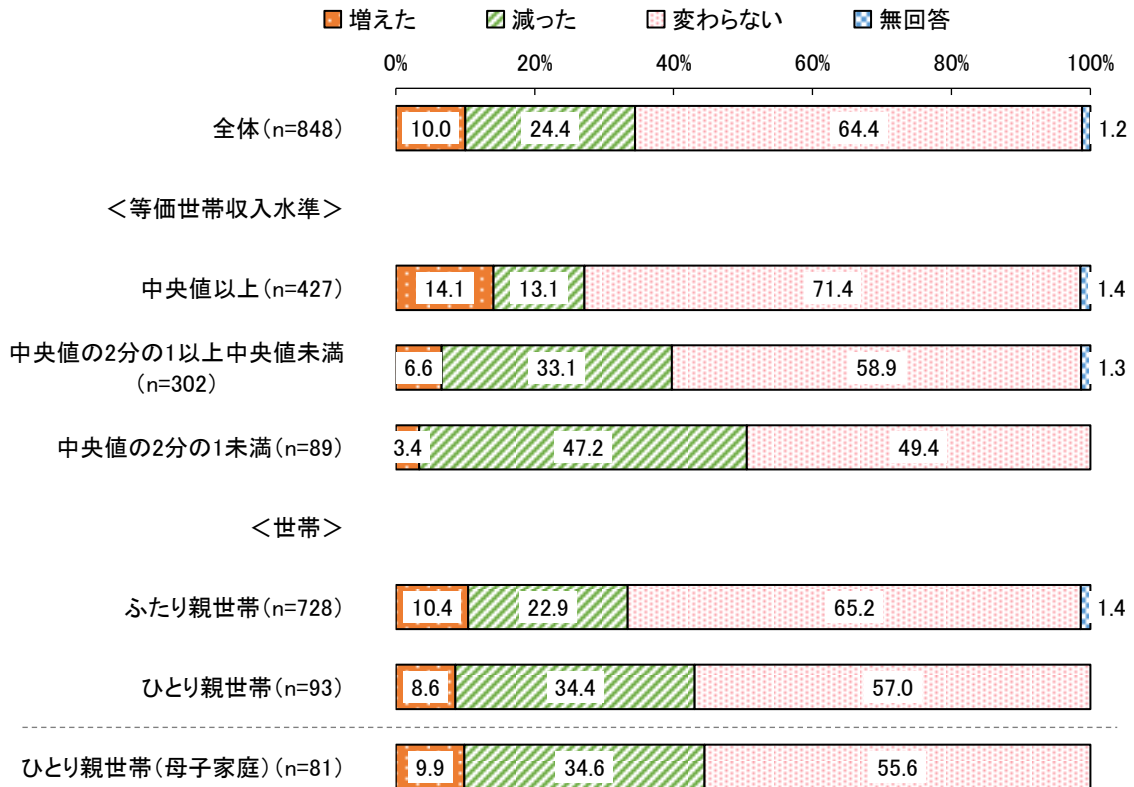
「保護者の心理的な状態」に関する集計結果



「生活満足度」に関する集計結果

●新型コロナウイルス感染症の影響について

「世帯全体の収入の変化」について、「減った」と回答した割合は、全体では24.4%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では33.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では47.2%、「ひとり親世帯」では34.4%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では34.6%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど「減った」と回答した割合が高くなっている。

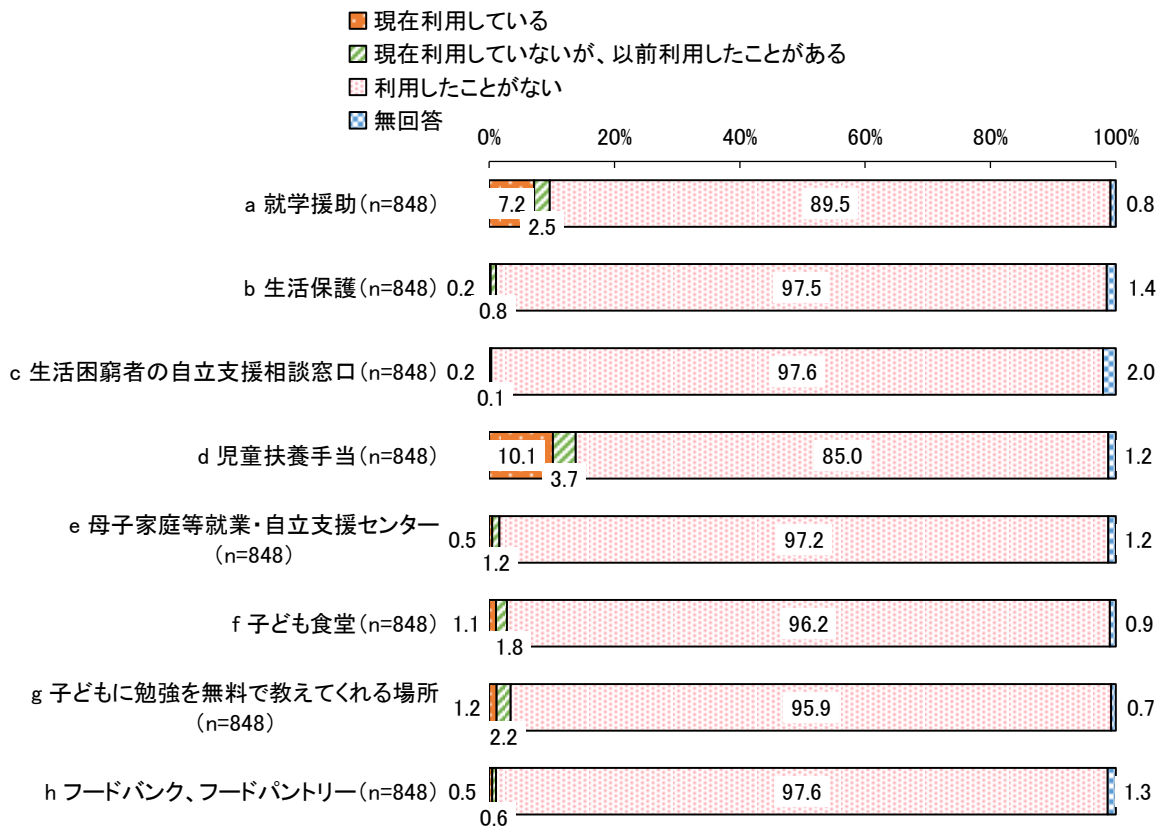


「世帯全体の収入の変化」に関する集計結果

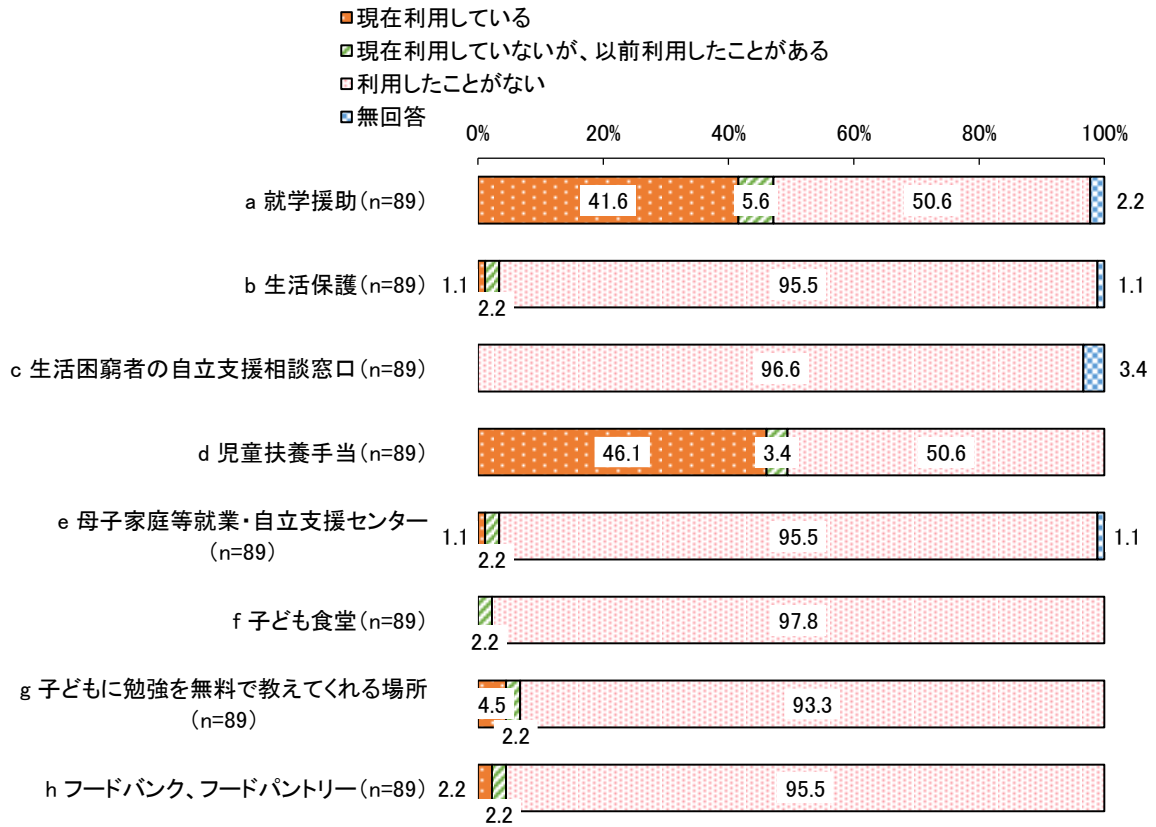
●支援の利用状況等について

支援の利用割合について、全体では「就学援助」が7.2%、「児童扶養手当」が10.1%であったのに対し、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「就学援助」が41.6%、「児童扶養手当」が46.1%となっている。また、「ひとり親世帯」に限って集計すると、「就学援助」が46.2%、「児童扶養手当」が60.2%、「ひとり親世帯（母子家庭）」のみに限って集計すると、「就学援助」が50.6%、「児童扶養手当」が65.4%と過半数を占めている。その他支援はほとんど利用されていない。

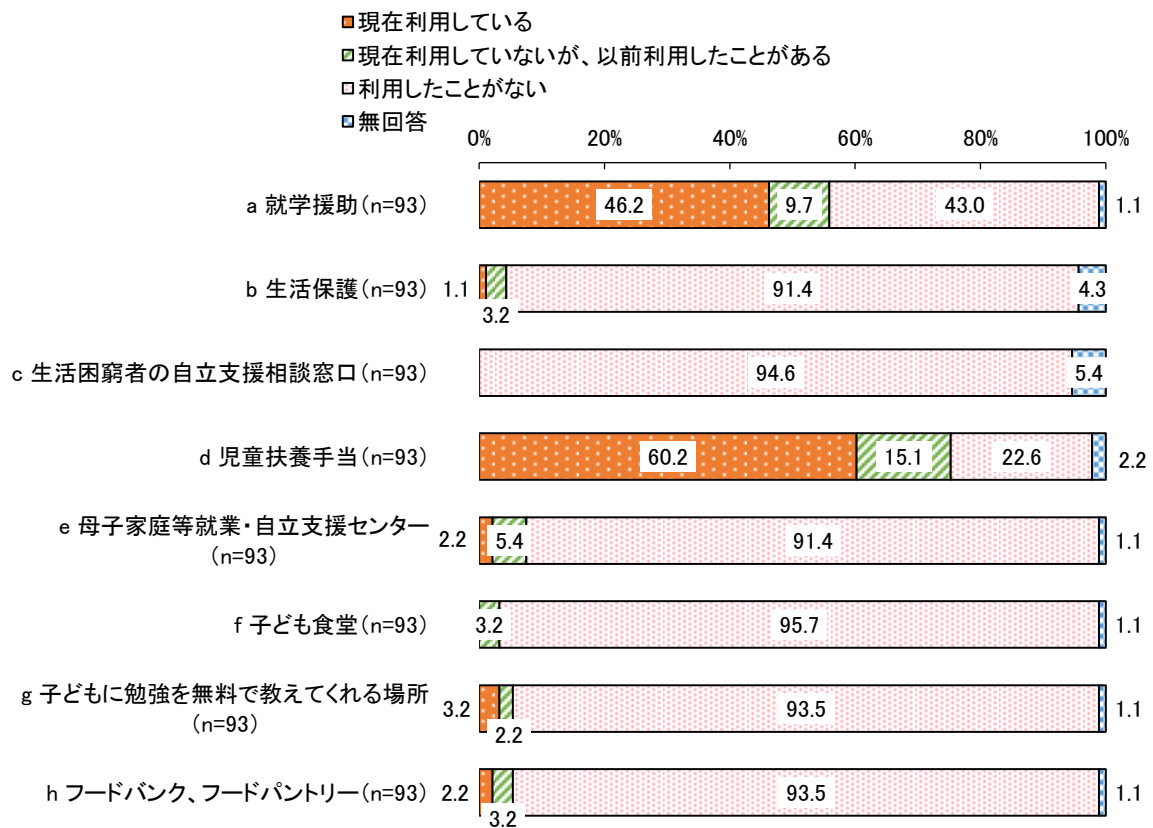
各支援制度を利用していない理由について、等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「就学援助」は「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が20.0%、「子ども食堂（自分や友人の家以外で夕ごはんを無料か安く食べることができる場所）」は「利用したいが、場所が遠く利用できないから」が9.2%、「子どもに勉強を無料で教えてくれる場所」、「フードバンク、フードパントリー」は「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」がそれぞれ25.3%、18.8%となっており、利用のしやすさや認知度の低さが課題となっている。



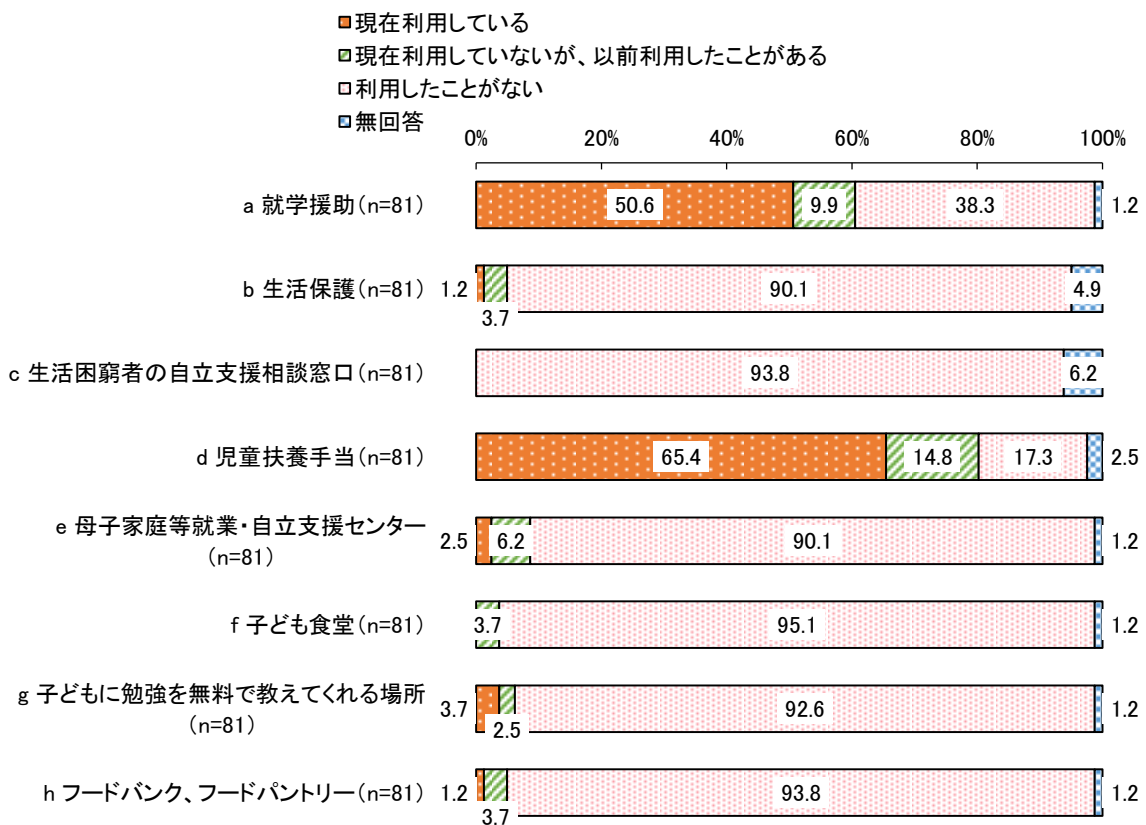
「支援制度の利用状況」に関する集計結果



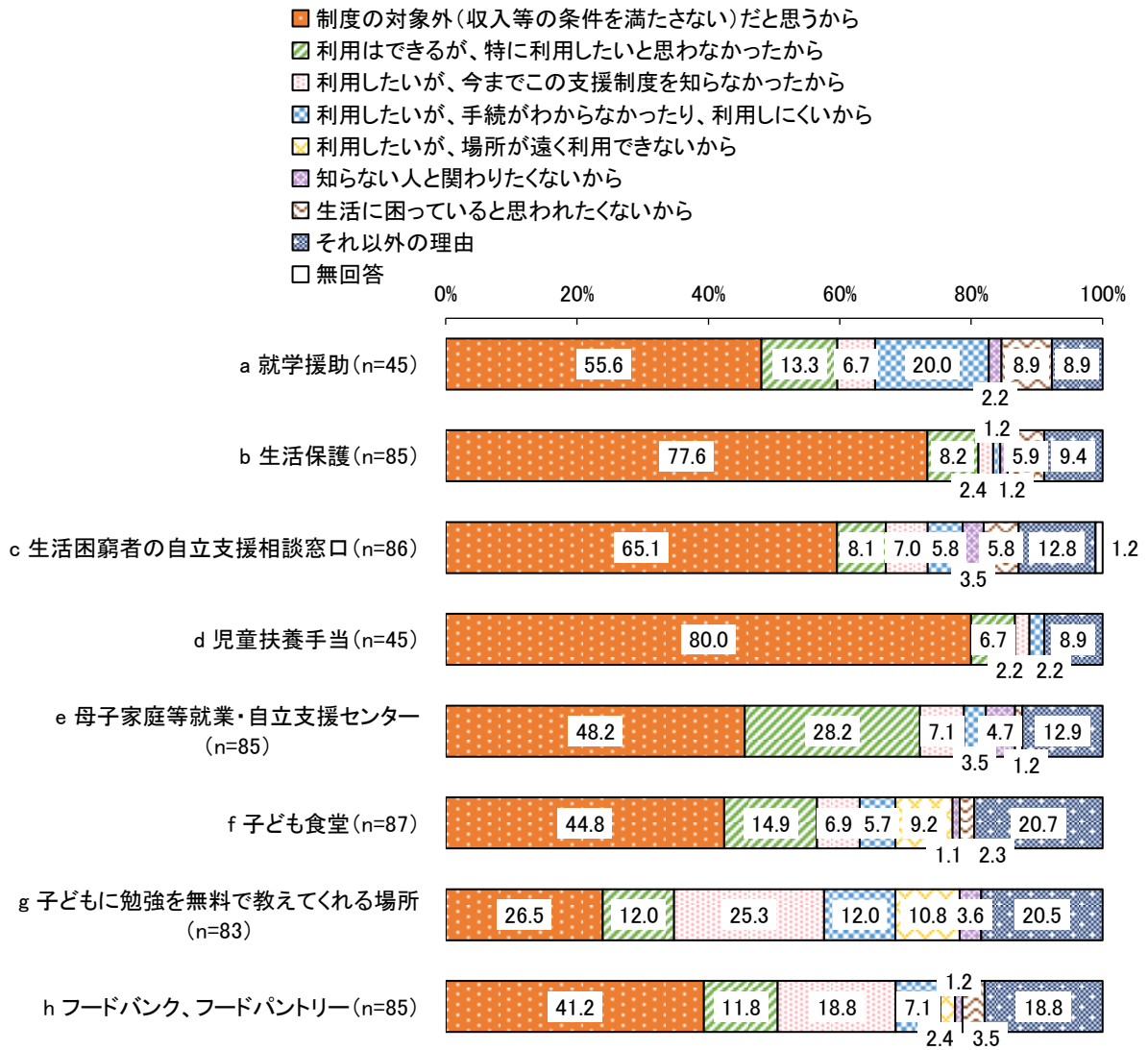
「支援制度の利用状況」に関する集計結果
 (等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合)



「支援制度の利用状況」に関する集計結果
 (等価世帯収入が「ひとり親世帯」の場合)



「支援制度の利用状況」に関する集計結果
 (等価世帯収入が「ひとり親世帯 (母子家庭)」の場合)



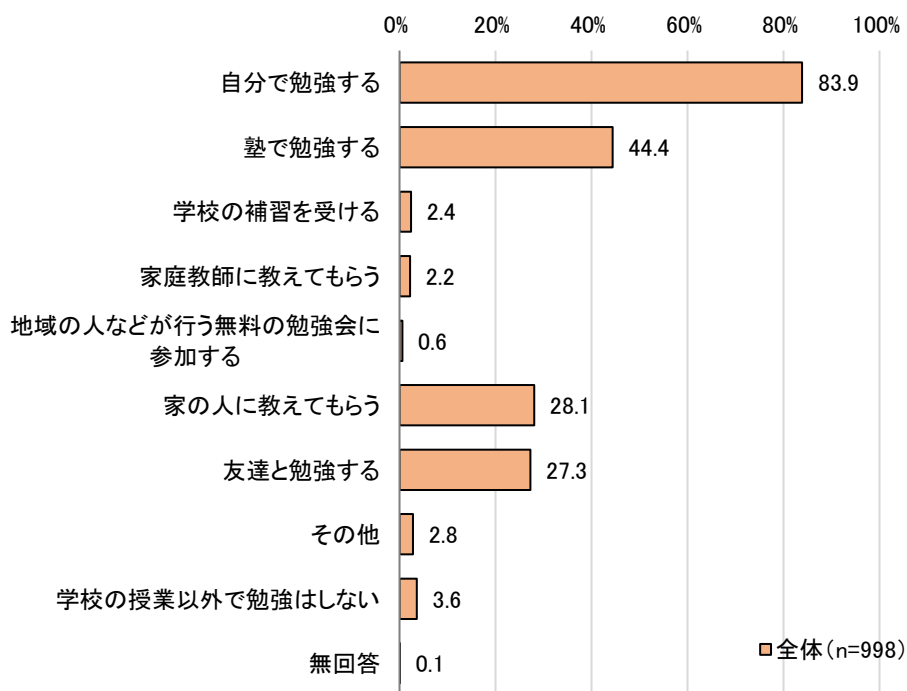
「支援制度を利用したことがない理由」に関する集計結果
 (等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合)

※全体で集計をすると、ほとんどが「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」の回答となるため、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計を行った。

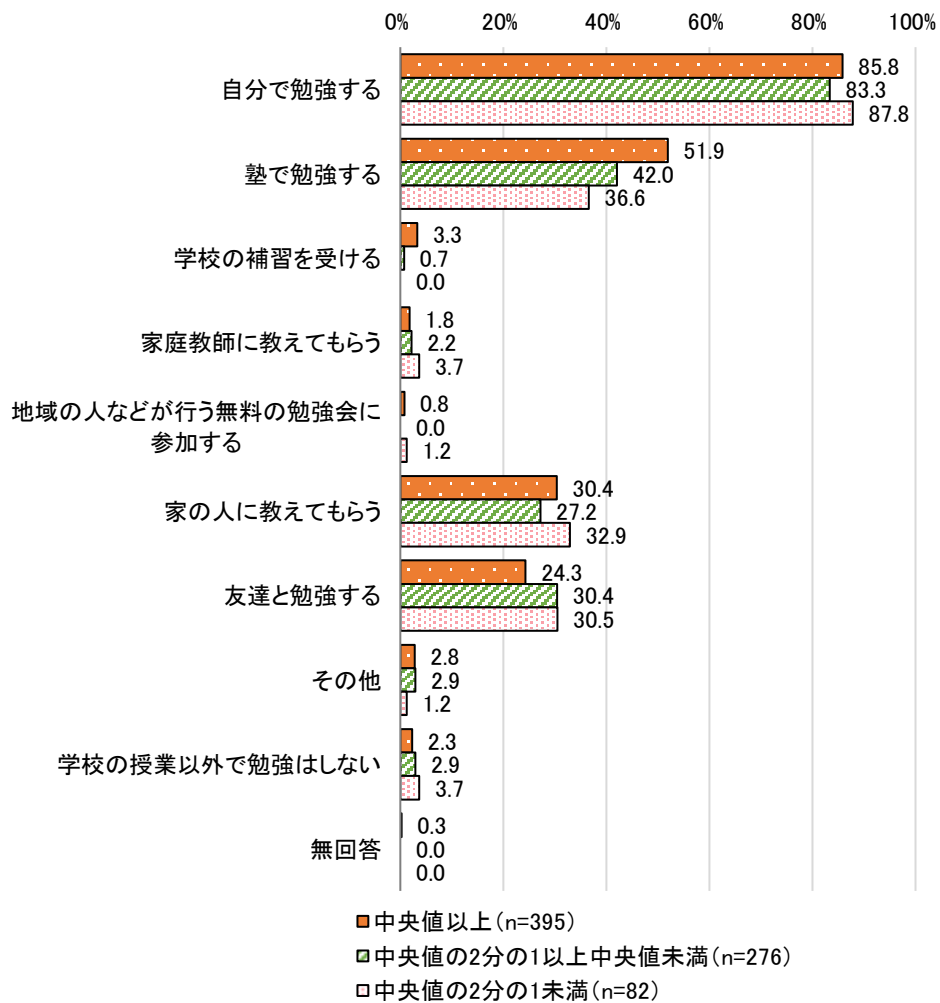
(2) 子どもの生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況

●学習の状況について

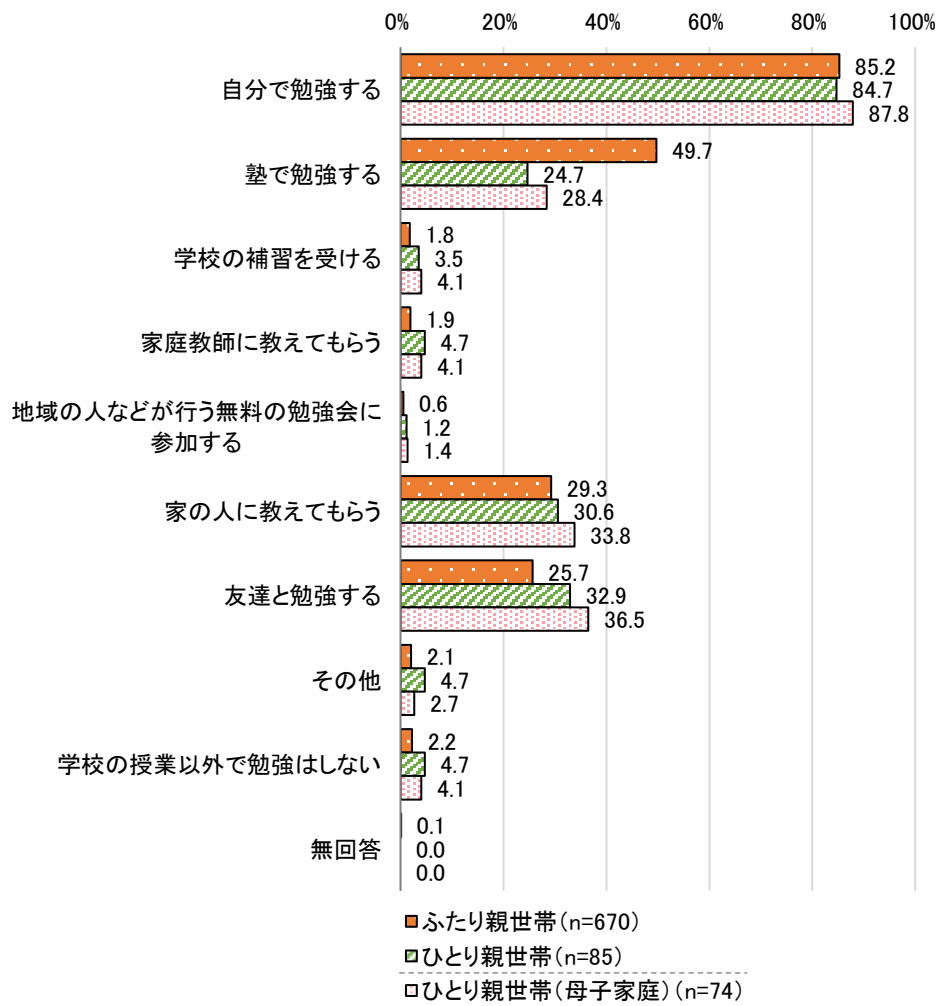
学校の授業以外での勉強について、「塾で勉強する」と回答した割合は、全体では44.4%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では42.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では36.6%、「ひとり親世帯」では24.7%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では28.4%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど「塾で勉強する」と回答した割合が低くなっている。



「ふだんの勉強の仕方」に関する集計結果

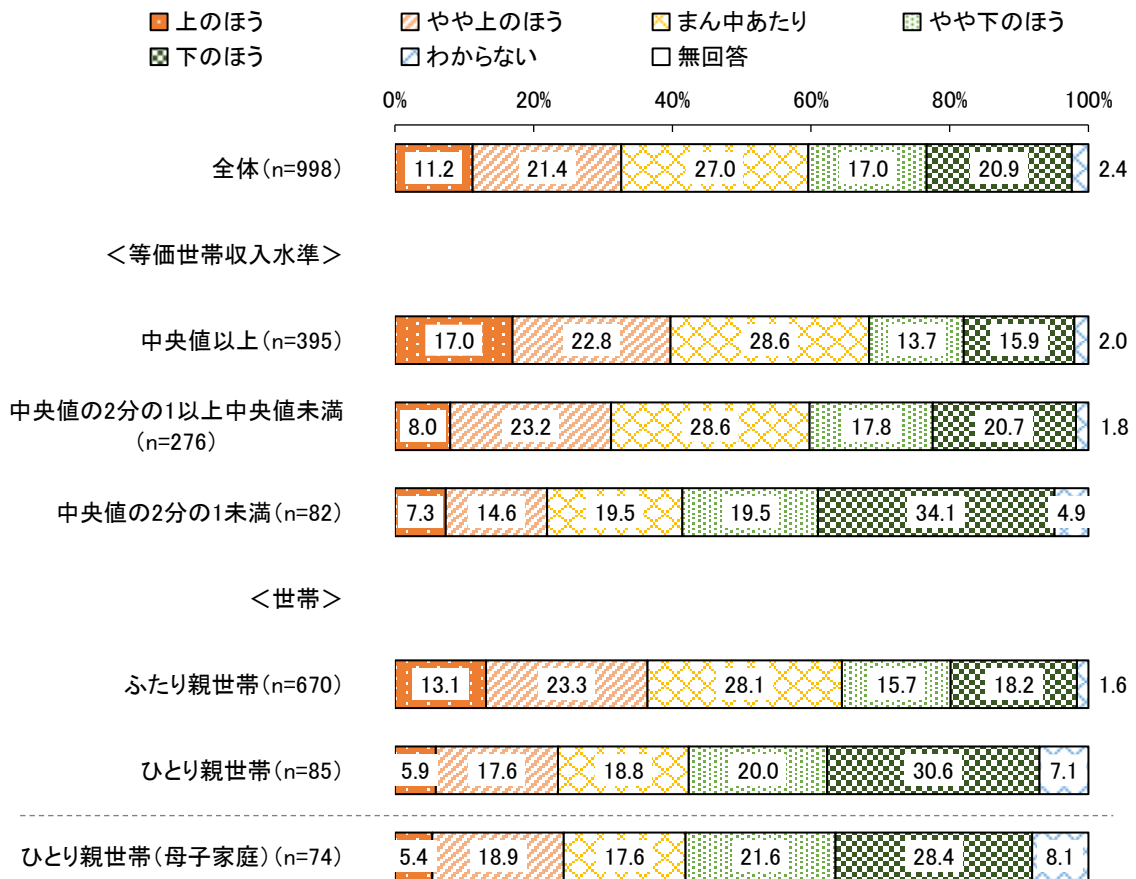


等価世帯収入水準別「ふだんの勉強の仕方」に関する集計結果



世帯別「ふだんの勉強の仕方」に関する集計結果

クラスの中での成績について、「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は、全体では38.0%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では38.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では53.7%、「ひとり親世帯」では50.6%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では50.0%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合が高くなっている。

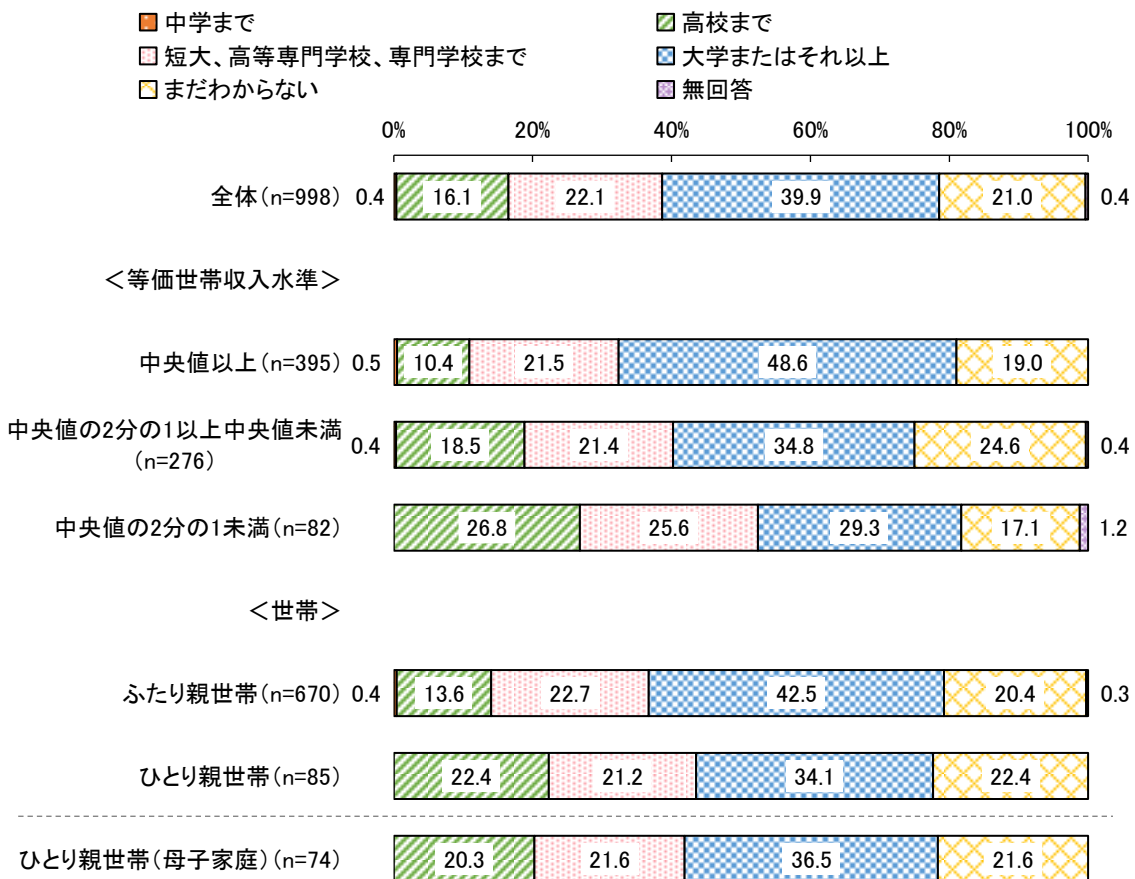


「クラスの中での成績」に関する集計結果

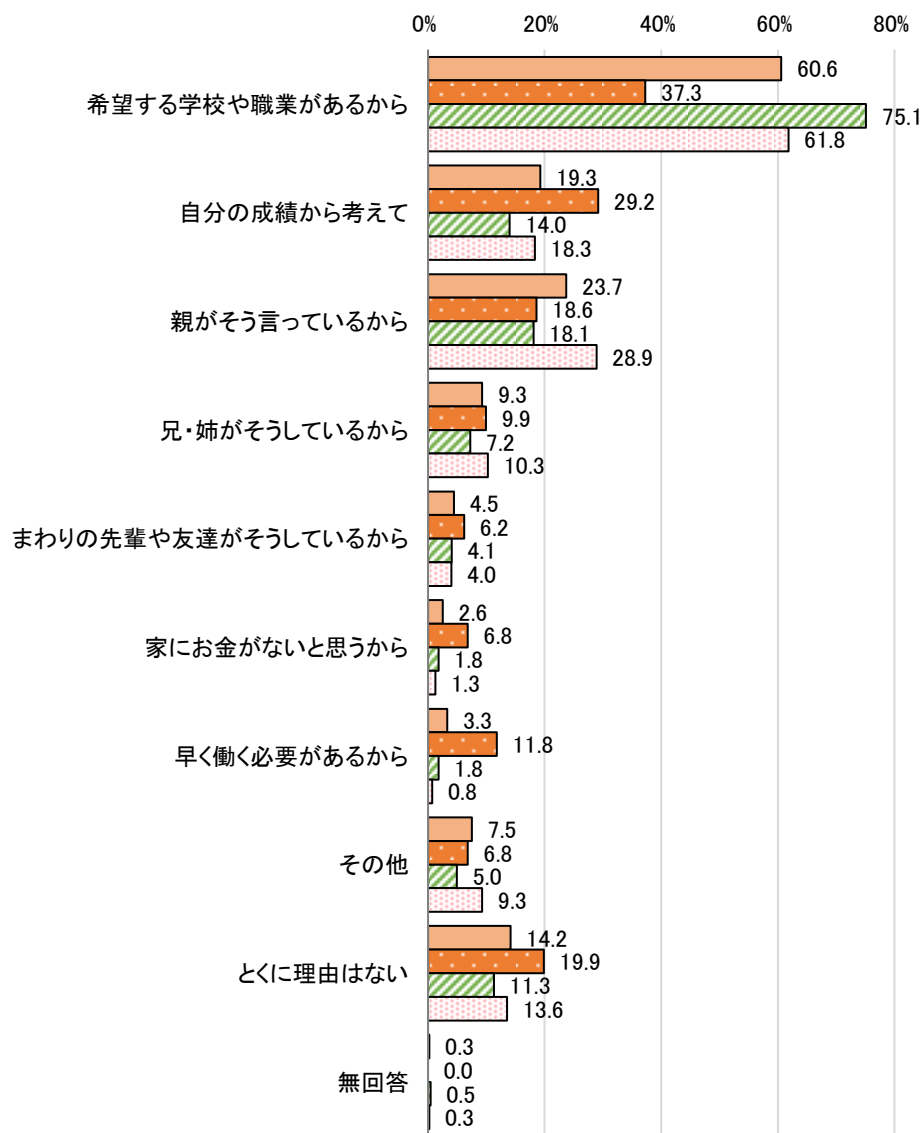
●進学希望について

進学したいと思う教育段階に関して、「大学またはそれ以上」と回答した割合は、全体では39.9%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では34.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では29.3%、「ひとり親世帯」では34.1%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では36.5%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど「大学またはそれ以上」と回答した割合が低くなっている。

進学希望の理由については、「高校まで」と考える理由について、「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」、「早く働く必要があるから」と回答した割合は、全体ではそれぞれ18.6%、9.9%、11.8%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯ではそれぞれ17.6%、9.8%、9.8%「中央値の2分の1未満」の世帯ではそれぞれ36.4%、18.2%、22.7%、「ひとり親世帯」ではそれぞれ26.3%、15.8%、21.1%、「ひとり親世帯（母子家庭）」ではそれぞれ33.3%、13.3%、20.0%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯で割合が高くなっている。経済的理由で希望する進路を断念せざるを得ない等の将来の進路への影響が懸念される。

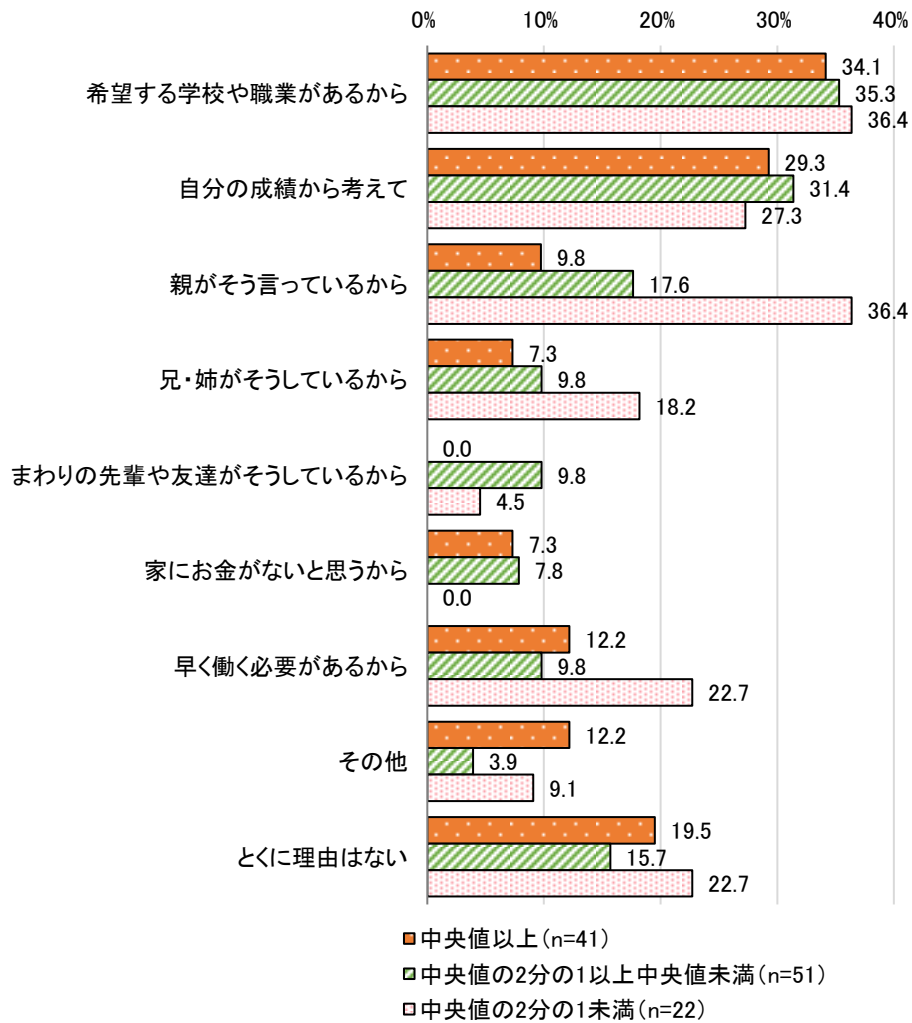


「進学希望」に関する集計結果

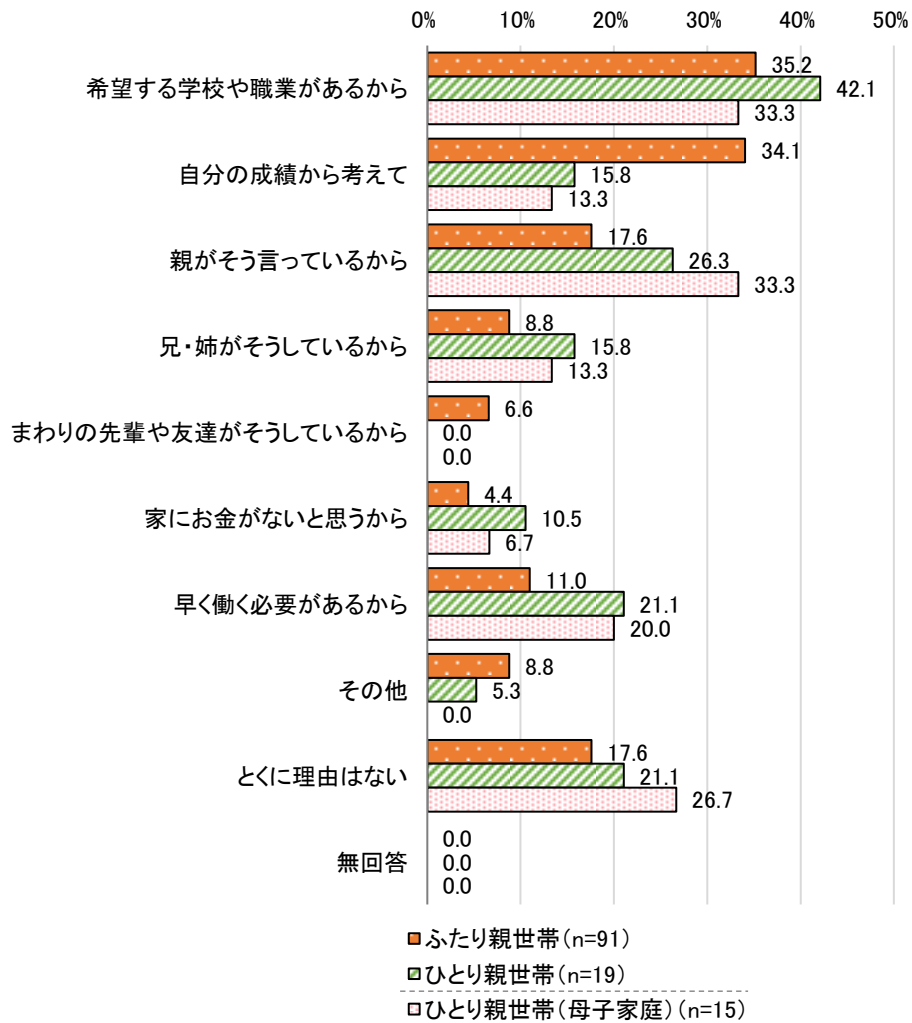


- 全体 (n=784)
- 高校まで (n=161)
- 短大、高等専門学校、専門学校まで (n=221)
- 大学またはそれ以上 (n=398)

「『高校まで』と考える理由」に関する集計結果



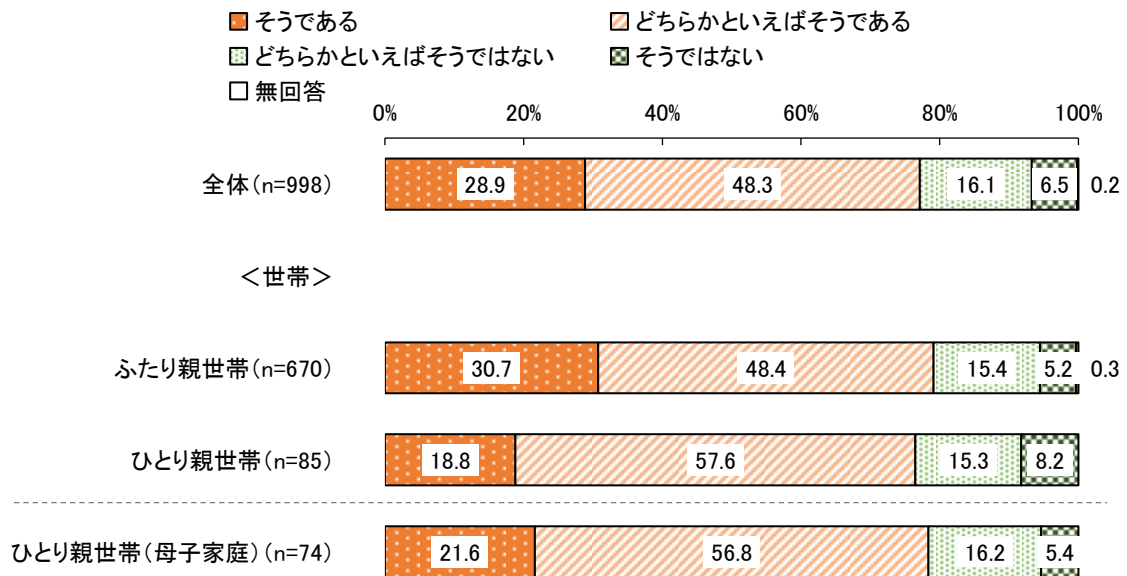
等価世帯収入水準別「『高校まで』と考える理由」に関する集計結果



世帯別「『高校まで』と考える理由」に関する集計結果

● 日常的な生活の状況について

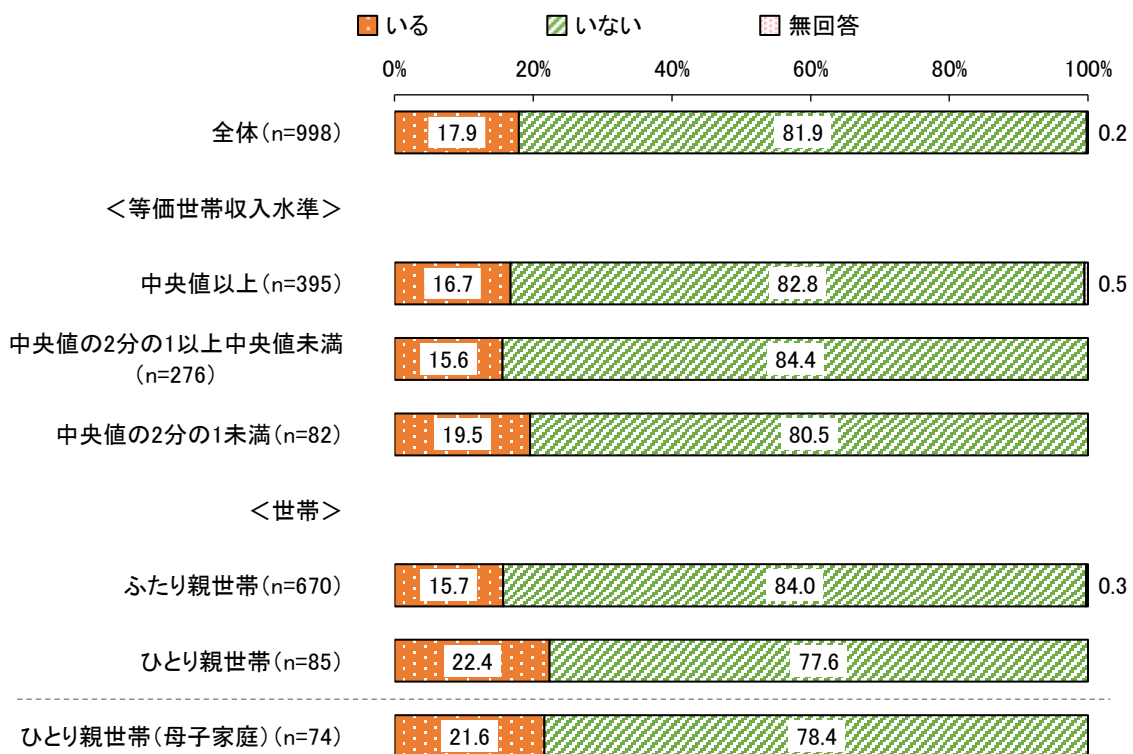
就寝時間について、ほぼ同じ時間に寝ているかについて「そうである」回答した割合は、全体では 28.9%であったのに対し、「ひとり親世帯」では 18.8%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では 21.6%となっており、ひとり親世帯でほぼ同じ時間に寝ているかについて「そうである」と回答した割合が低くなっている。



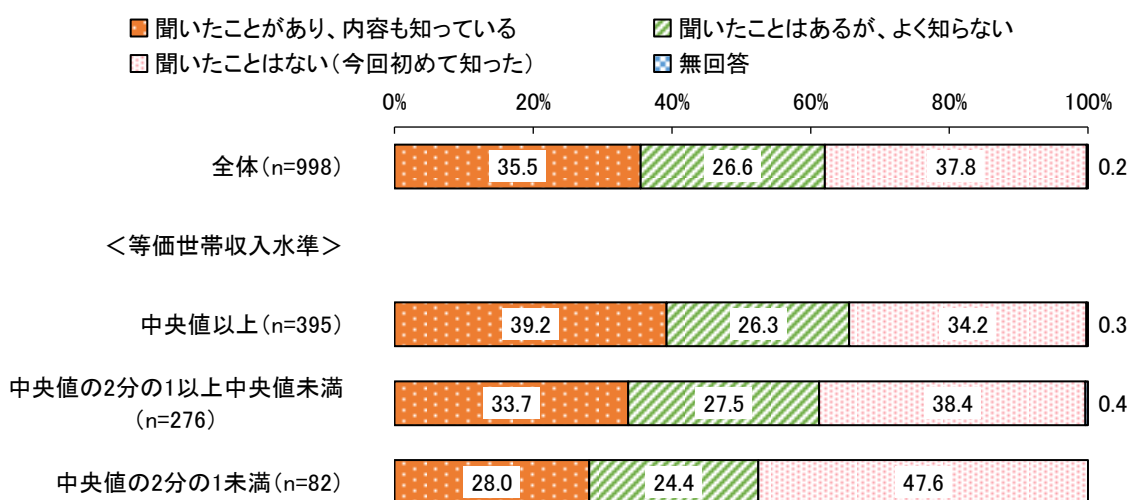
「就寝時間」に関する集計結果

家族の中にお世話をしている人が「いる」と回答した割合は、全体では17.9%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では15.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では19.5%、「ひとり親世帯」では22.4%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では21.6%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯で「いる」と回答した割合が高くなっている。

また、ヤングケアラーという言葉の認知度について、「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合は、全体では35.5%であったのに対し、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では33.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では28.0%となっており、収入の水準が低い世帯ほど低く、ヤングケアラーに該当していても認識していない可能性がある。



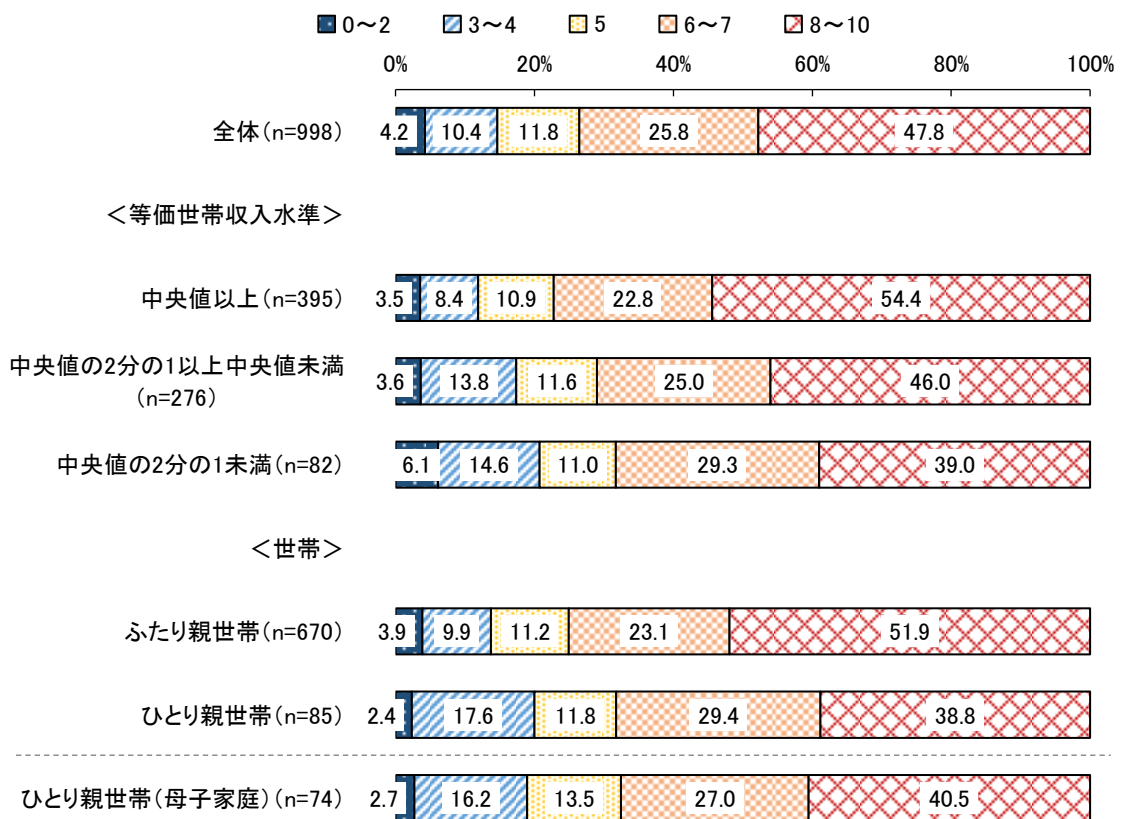
「お世話をしている人の有無」に関する集計結果



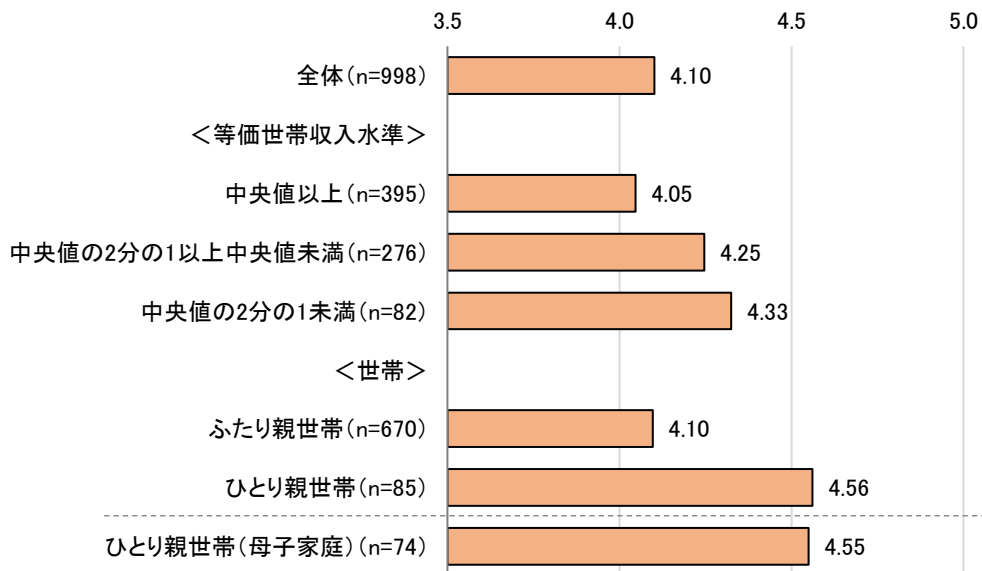
「ヤングケアラーという言葉の認知度」に関する集計結果

生活満足度について、満足度が高い方の回答割合（6～10）は全体では 73.5%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では71.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では68.3%、「ひとり親世帯」では68.2%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では67.6%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど低くなっている。

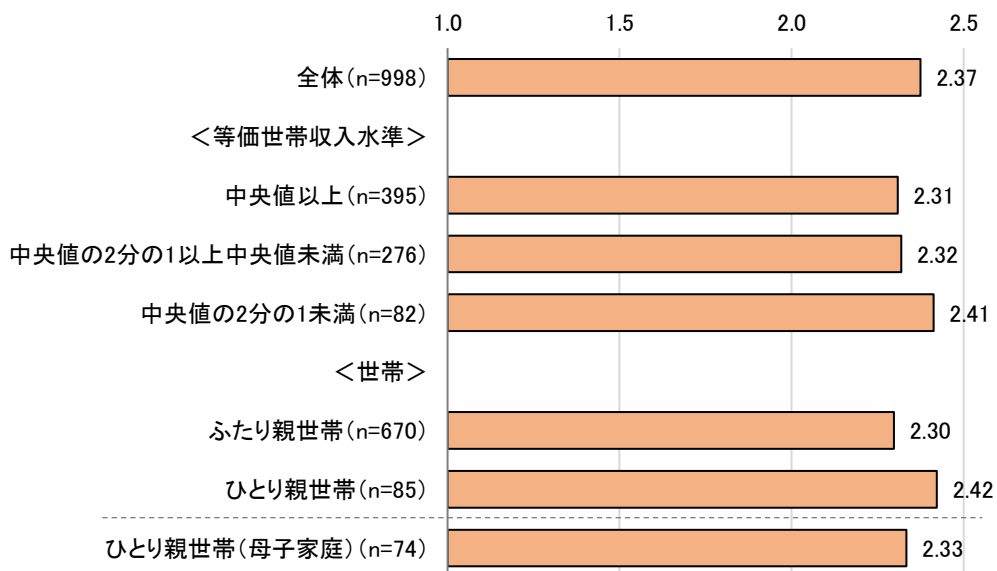
また、子どもの心理的な状況に関して、「情緒の問題」の平均値は、全体では 4.10 であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では4.25、「中央値の2分の1未満」の世帯では4.33、「ひとり親世帯」では4.56、「ひとり親世帯（母子家庭）」では4.55、「仲間関係の問題」の平均値は、全体では 2.37 であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では2.32、「中央値の2分の1未満」の世帯では2.41、「ひとり親世帯」では2.42、「ひとり親世帯（母子家庭）」では2.33 となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど、「情緒の問題」や「仲間関係の問題」のスコアが高い（値が高いほど問題性が高いと考えられる）。



「生活満足度」に関する集計結果

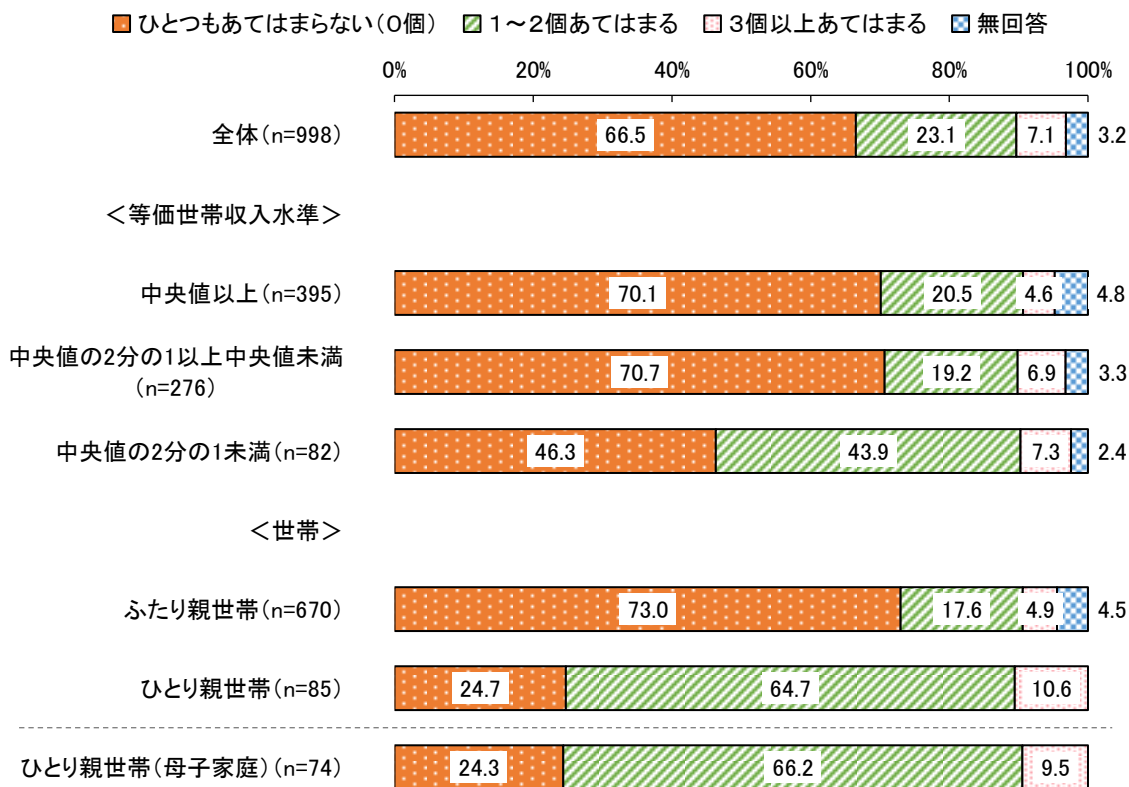


「情緒の問題」に関する集計結果

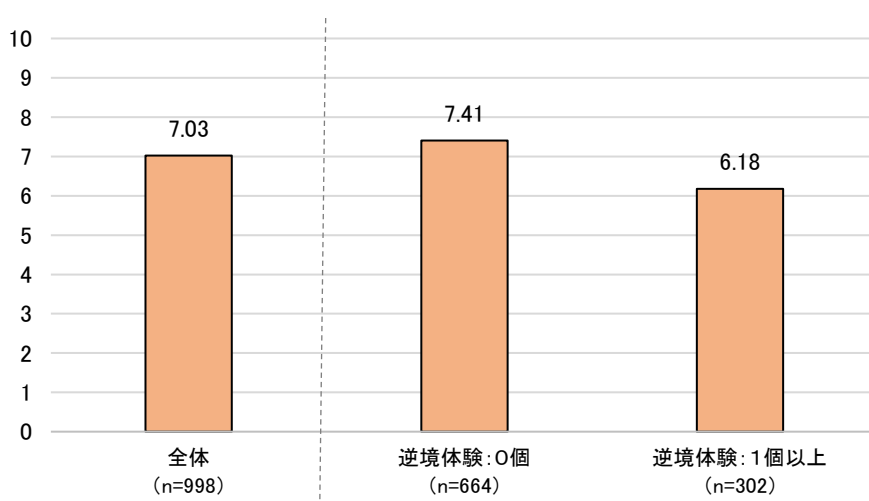


「仲間関係の問題」に関する集計結果

また、「逆境体験」について、「ひとつもあてはまらない(0個)」の割合は、全体では66.5%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では70.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では46.3%、「ひとり親世帯」では24.7%、「ひとり親世帯(母子家庭)」では24.3%となっており、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1未満」の世帯と「ひとり親世帯」では、「逆境体験」を経験している割合が高い(「両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」の項目があり、特にこの点についてひとり親世帯では該当する者の割合が高くなっていると考えられる)。「逆境体験」を経験している場合には、生活満足度が低いという関連性がある。



「逆境体験の経験有無」に関する集計結果

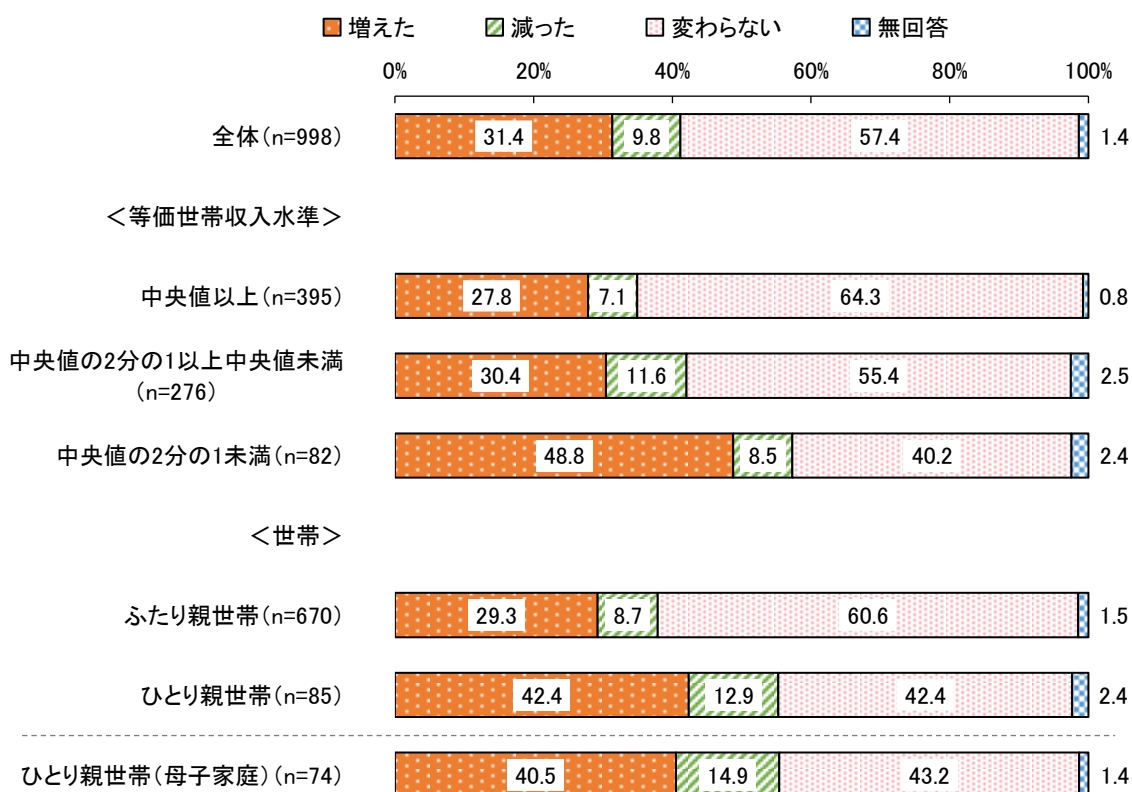


「逆境体験の経験有無と生活満足度の平均値」に関する集計結果

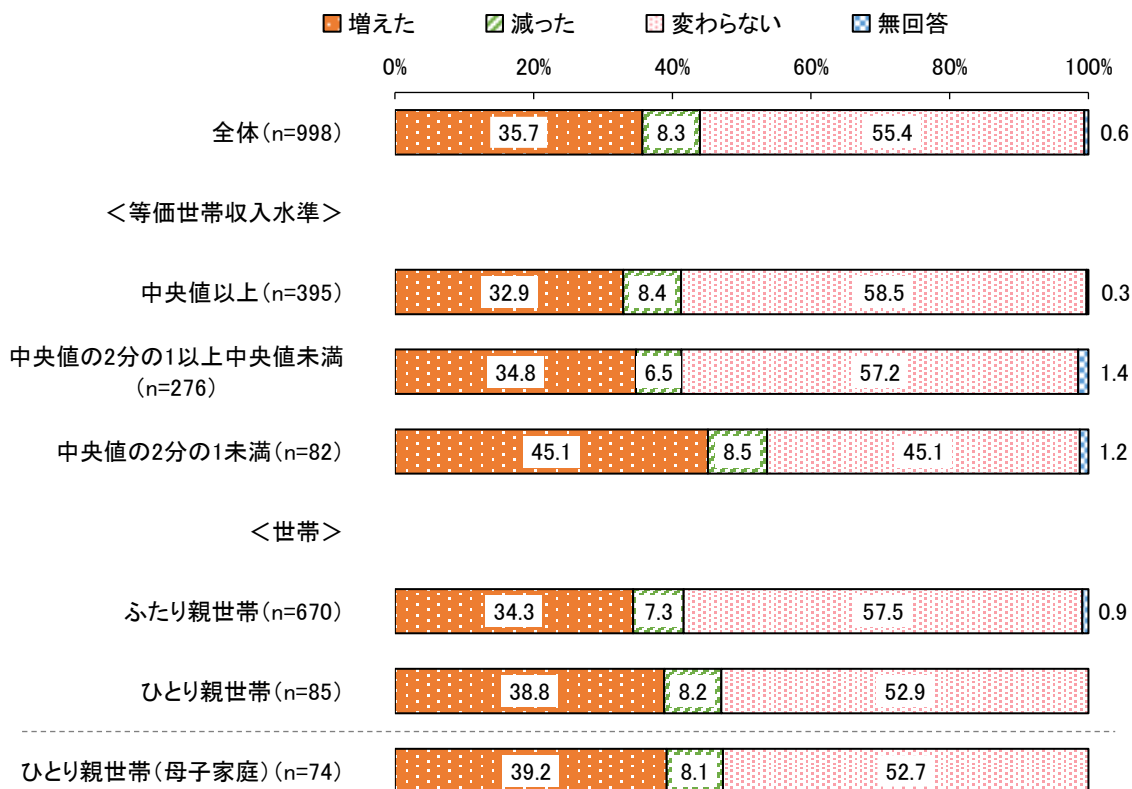
●新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症の拡大による変化として、「学校の授業がわからないと感じること」や「イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」について「増えた」と回答した割合は、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯で高くなっている。

「学校の授業がわからないと感じること」について、「増えた」と回答した割合は、全体では31.4%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では30.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では48.8%、「ひとり親世帯」では42.4%、「ひとり親世帯(母子家庭)」では40.5%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど「増えた」と回答した割合が高くなっている。また、「イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」についても、「増えた」と回答した割合は、全体では35.7%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では34.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では45.1%、「ひとり親世帯」では38.8%、「ひとり親世帯(母子家庭)」では39.2%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯ほど「増えた」と回答した割合が高くなっている。



「学校の授業がわからないと感じること」に関する集計結果

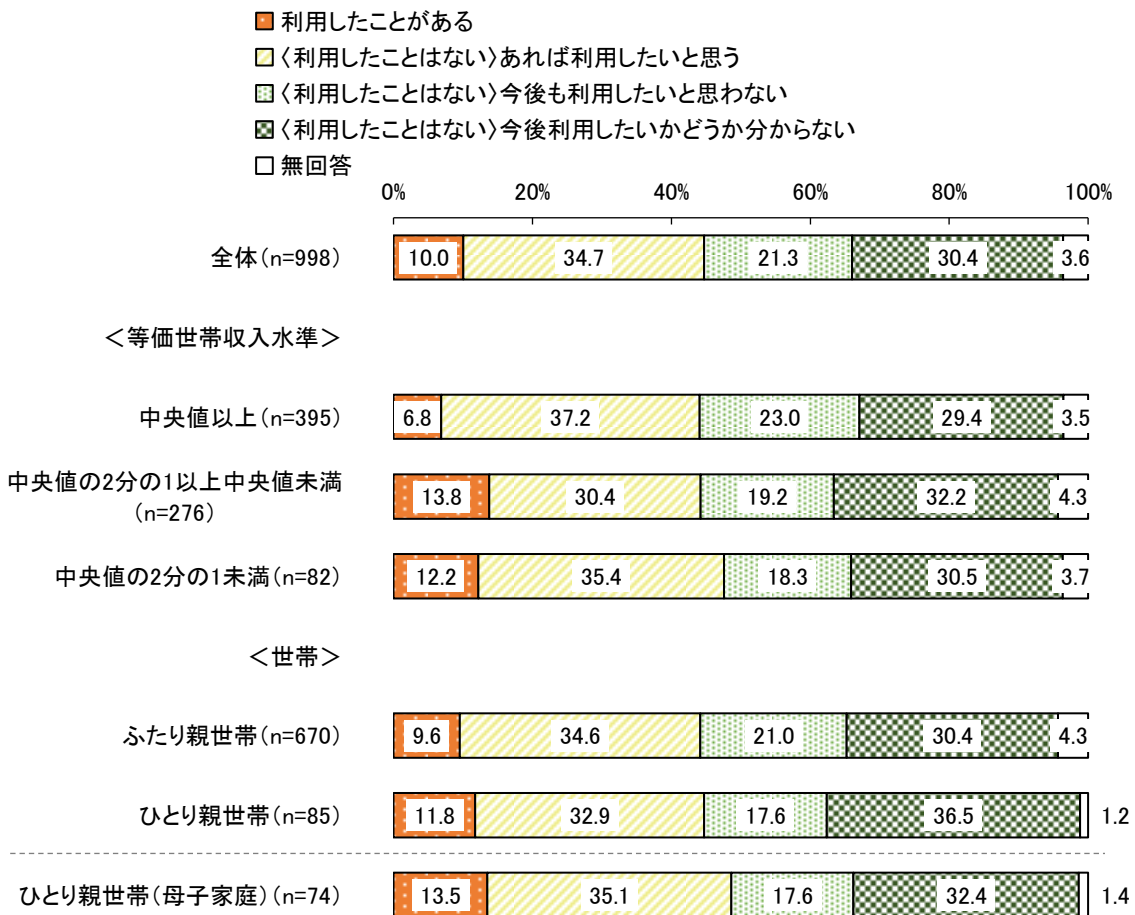


「イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」に関する集計結果

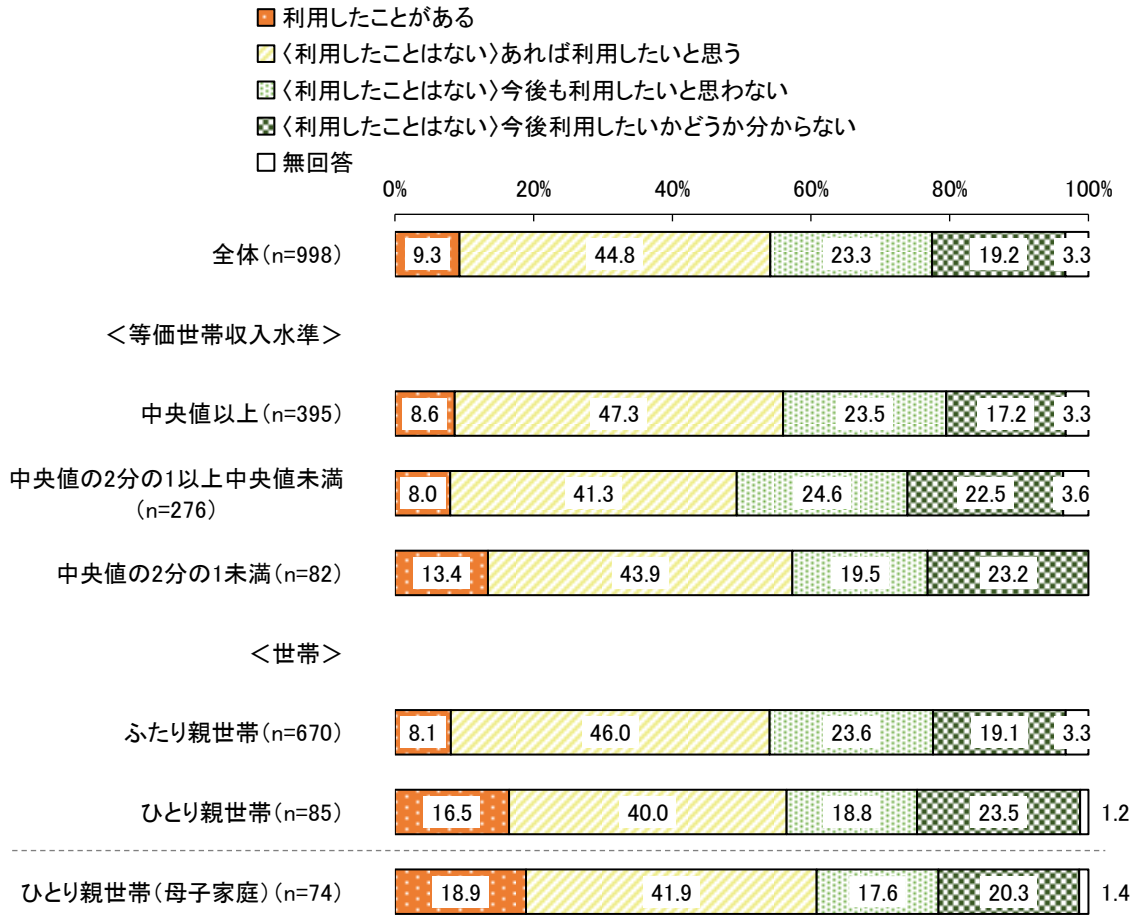
●支援の利用状況等について

支援の利用状況について、「(自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)」を「利用したことがある」と回答した割合は、全体では10.0%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では13.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では12.2%、「ひとり親世帯」では11.8%、「ひとり親世帯(母子家庭)」では13.5%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯で「利用したことがある」と回答した割合が高くなっている。また、「勉強を無料でみてくれる場所」を「利用したことがある」と回答した割合は、全体では9.3%であったのに対し、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では8.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では13.4%、「ひとり親世帯」では16.5%、「ひとり親世帯(母子家庭)」では18.9%となっており、収入の水準が低い世帯やひとり親世帯で「利用したことがある」と回答した割合が高くなっている。

利用率としては低くなっているが、「(自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)」で34.7%、「勉強を無料でみてくれる場所」で44.8%が「あれば利用したいと思う」と回答している。

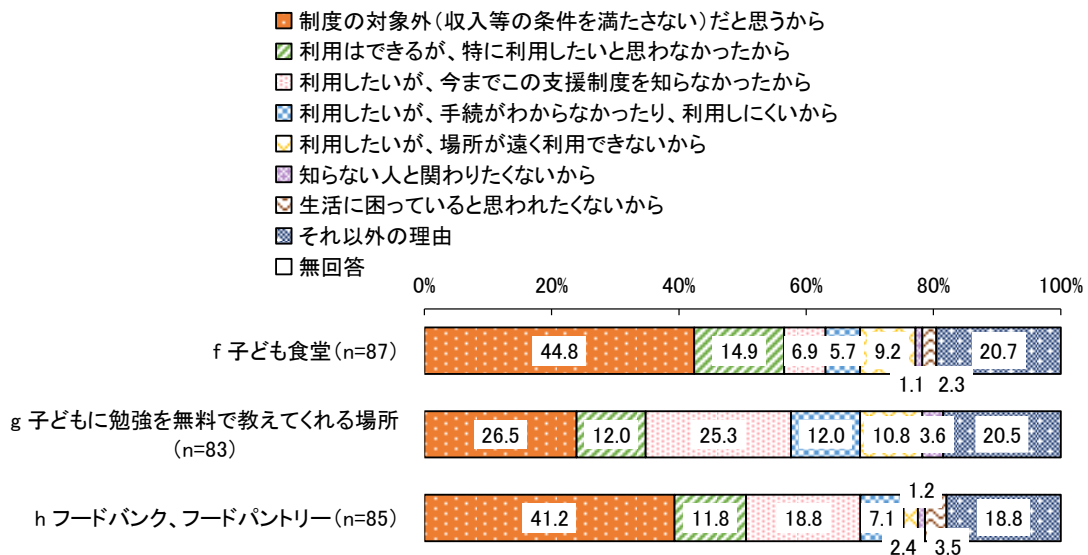


「(自分や友人の家以外で) 夕ごはんを無料か安く食べることができる場所(子ども食堂など)」に関する集計結果



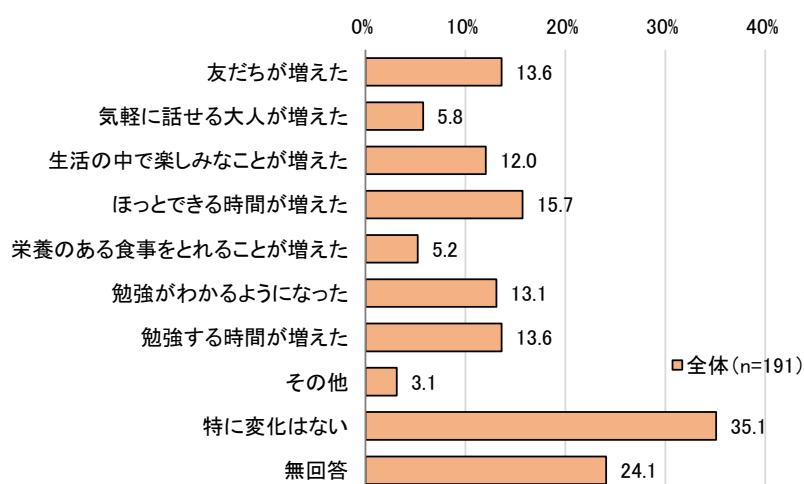
「勉強を無料でみてくれる場所」に関する集計結果

また、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1未満」の世帯の保護者の支援制度（うち、「子ども食堂」、「子どもに勉強を無料で教えてくれる場所」、「フードバンク、フードパントリー」）を利用していない理由として、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」を足し合わせた割合が、「子ども食堂」で57.5%、「子どもに勉強を無料で教えてくれる場所」で63.9%、「フードバンク、フードパントリー」で67.1%といずれも高いことから、保護者だけでなく、子ども自身でも支援を見つけられ、選びやすくするような周知が重要であると考えられる。



保護者の「支援制度を利用していない理由」に関する集計結果
 (等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合)

支援等の利用によって、「ほっとできる時間が増えた」、「友だちが増えた」、「勉強する時間が増えた」、「勉強がわかるようになった」、「生活の中で楽しみなことが増えた」などの変化が認識されている。今後も子どもの居場所等の支援の充実が重要であると考えられる。



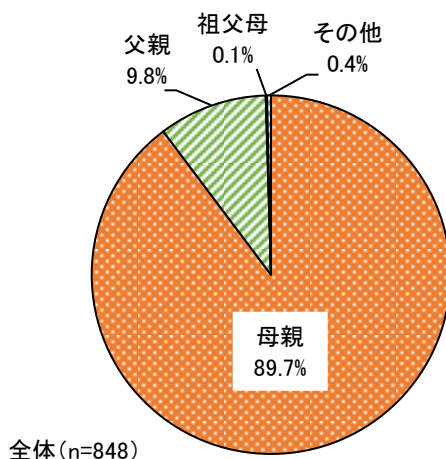
2. 調査回答者の基本属性等

2-1. 保護者

(1) 子どもとの続柄

保護者票問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)

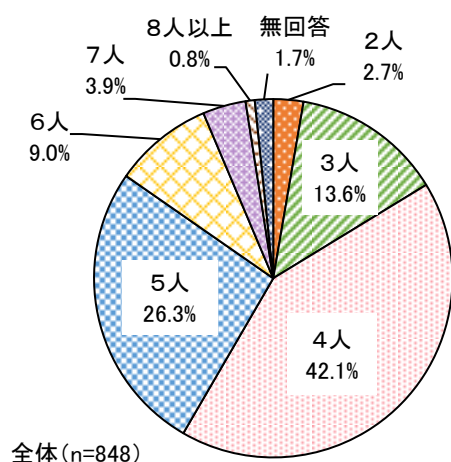
調査回答者の子どもからみた続柄は、「母親」が89.7%、「父親」が9.8%、「祖父母」が0.1%、「その他」が0.4%となっている。



(2) 同居家族

保護者票問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方がいる場合や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~hそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

子どもと同居し、生計を同一にしている家族の人数は、「4人」が42.1%、「5人」が26.3%、「3人」が13.6%となっている。



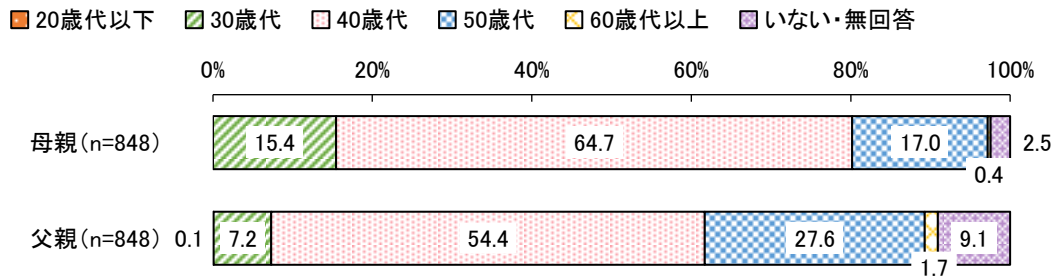
	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
a) 祖母	77.0%	14.6%	0.8%			7.5%
b) 祖父	80.4%	9.4%	0.7%			9.4%
c) 母親	1.5%	98.1%				0.4%
d) 父親	10.1%	87.9%				2.0%
e) 姉・兄	30.1%	40.8%	12.5%	1.4%	0.1%	15.1%
f) 妹・弟	32.0%	33.3%	10.3%	1.3%	0.1%	23.1%
g) その他	42.8%	1.5%	0.4%	0.0%	0.1%	55.2%

(3) 親の年齢

保護者票問3 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

親の年齢に関し、「母親」については、「30歳代」が15.4%、「40歳代」が64.7%、「50歳代」が17.0%、「60歳代以上」が0.4%となっている。

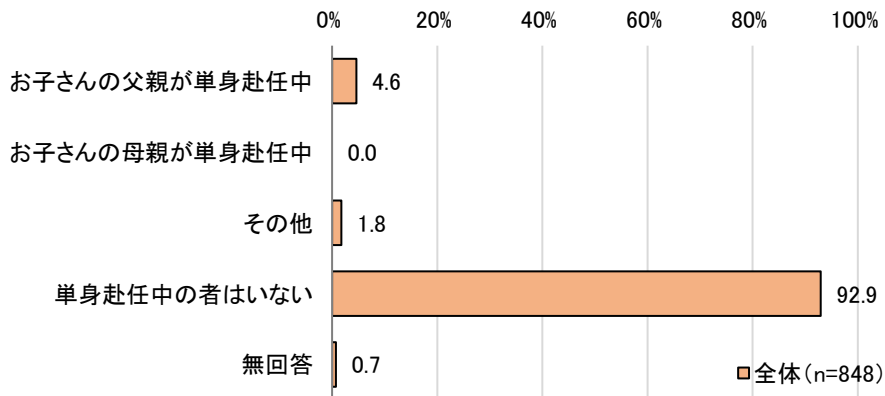
「父親」については、「20歳代以下」が0.1%、「30歳代」が7.2%、「40歳代」が54.4%、「50歳代」が27.6%、「60歳代以上」が1.7%となっている。



(4) 単身赴任中の家族の有無

保護者票問4 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(1~3については、あてはまるものすべてに○)

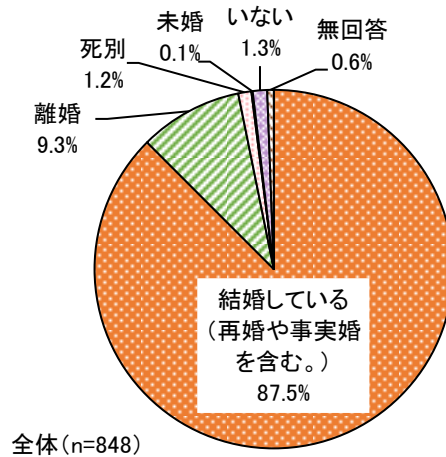
単身赴任中の家族の有無は、「お子さんの父親が単身赴任中」が4.6%となっており、9割以上は単身赴任中の家族はいない。



(5) 親の婚姻状況

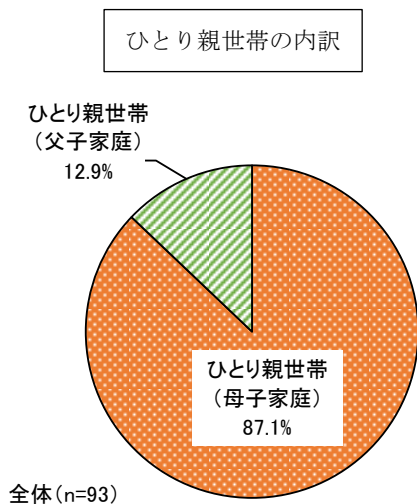
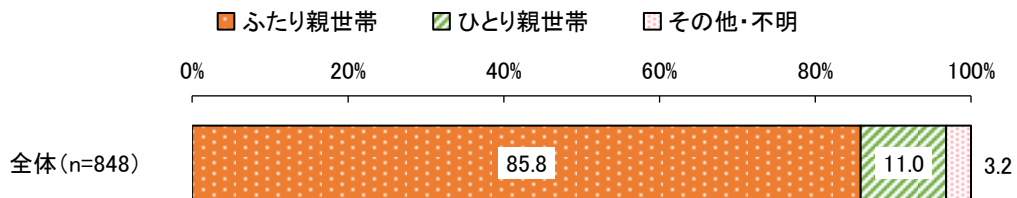
保護者票問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

親の婚姻状況は、「結婚している(再婚や事実婚を含む。)」が87.5%、「離婚」が9.3%、「死別」が1.2%、「未婚」が0.1%となっている。



親の婚姻状況の結果と同居家族の構成により、「ふたり親世帯」、「ひとり親世帯」であると考えられる割合を算出した。※

「ひとり親世帯」は11.0%となっている。「ひとり親世帯」のうち9割弱が母子家庭となっている。



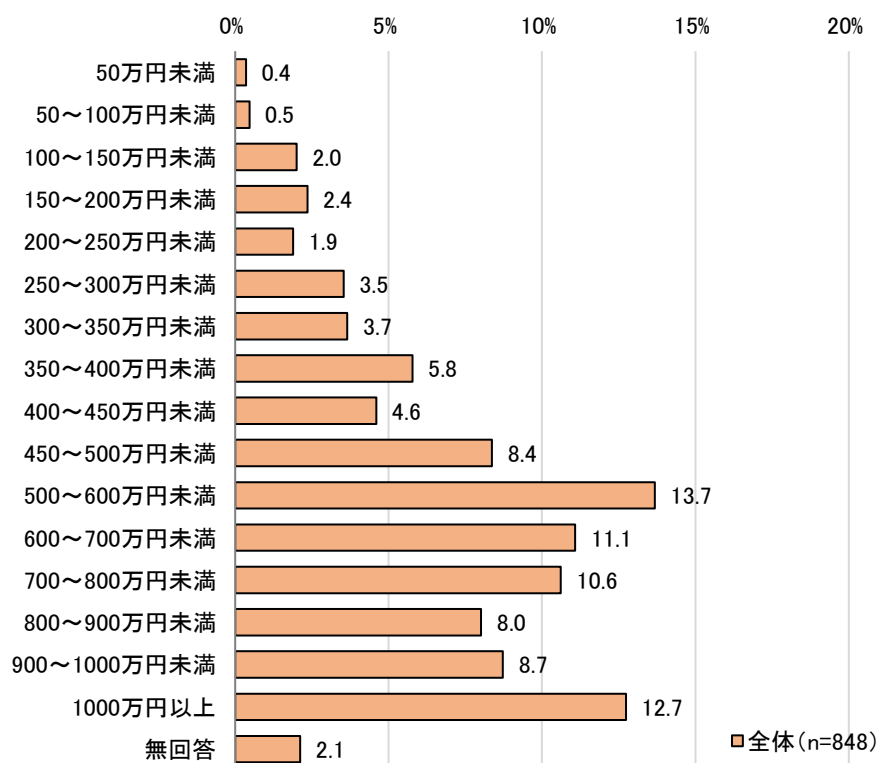
※「ふたり親世帯」と考えられる世帯とは、婚姻状況を「結婚している」と回答し、「家族の構成と人数」で父母ともに「1人(いる)」と回答したもの、「ひとり親世帯」と考えられる世帯とは、婚姻状況を「離婚や死別、未婚」と回答し、「家族の構成と人数」で父母どちらかを「いない」と回答したものである。

なお、「婚姻状況」と「家族の構成と人数」が異なる場合(例:父母のどちらかを「いない」としているが婚姻状況は「結婚している」と回答している場合、父母ともに「1人(いる)」としているが婚姻状況は「離婚や死別、未婚」と回答がある場合)は、明確に判断できないため不明扱いとしている。そのため、単純に、「結婚している」と回答がある世帯を「ふたり親世帯」、「離婚や死別、未婚」と回答のある世帯を「ひとり親世帯」としていないことに注意。

(6) 世帯全体の年間収入

保護者票問 19 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

世帯全員のおおよその年間収入(税込)については、「500～600万円未満」が13.7%で最も割合が高く、次いで「1000万円以上」が12.7%、「600～700万円未満」が11.1%、「700～800万円未満」が10.6%となっている。



収入が1000万円を超える世帯の割合が1割超と高くなっている一方で、「300万円未満」に該当する割合も約1割となっており、収入の水準が低い世帯があることも把握される。本報告書においては、世帯の年間収入の水準について、「子供と同居し、生計を同一にしている家族の人数」の情報も踏まえて下記のような処理をし、「等価世帯収入」による分類を行った。

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50万円未満」であれば25万円、「50～100万円未満」であれば75万円とする。なお、「1000万円以上」は1050万円とする。）

○上記の値を、保護者票問2で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。※

○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その2分の1未満であるか否かで分類する。

※生活水準を考えた場合、世帯人員が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要があるため、世帯人員の違いを調整するにあたって「同居家族の人数の平方根」を用いている。

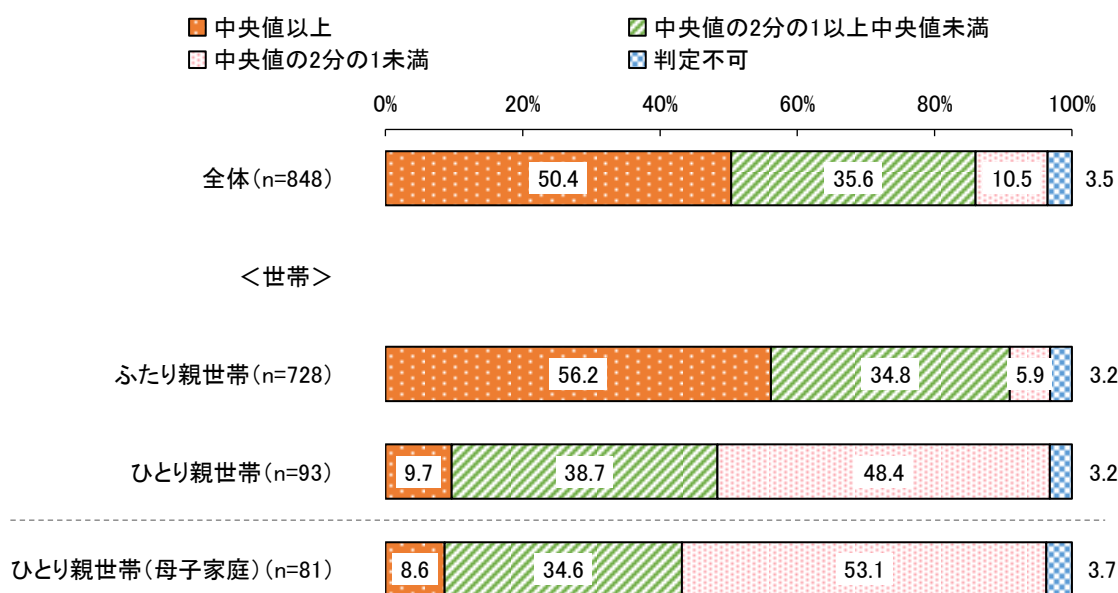
【例】年収800万円の4人世帯と、年収200万円の1人世帯では、どちらも1人当たりの年収は200万円となるが、両者の生活水準が同じ程度とは言えない。光熱水費等の世帯人員共通の生活コストは、世帯人員が多くなるにつれて割安になる傾向がある。

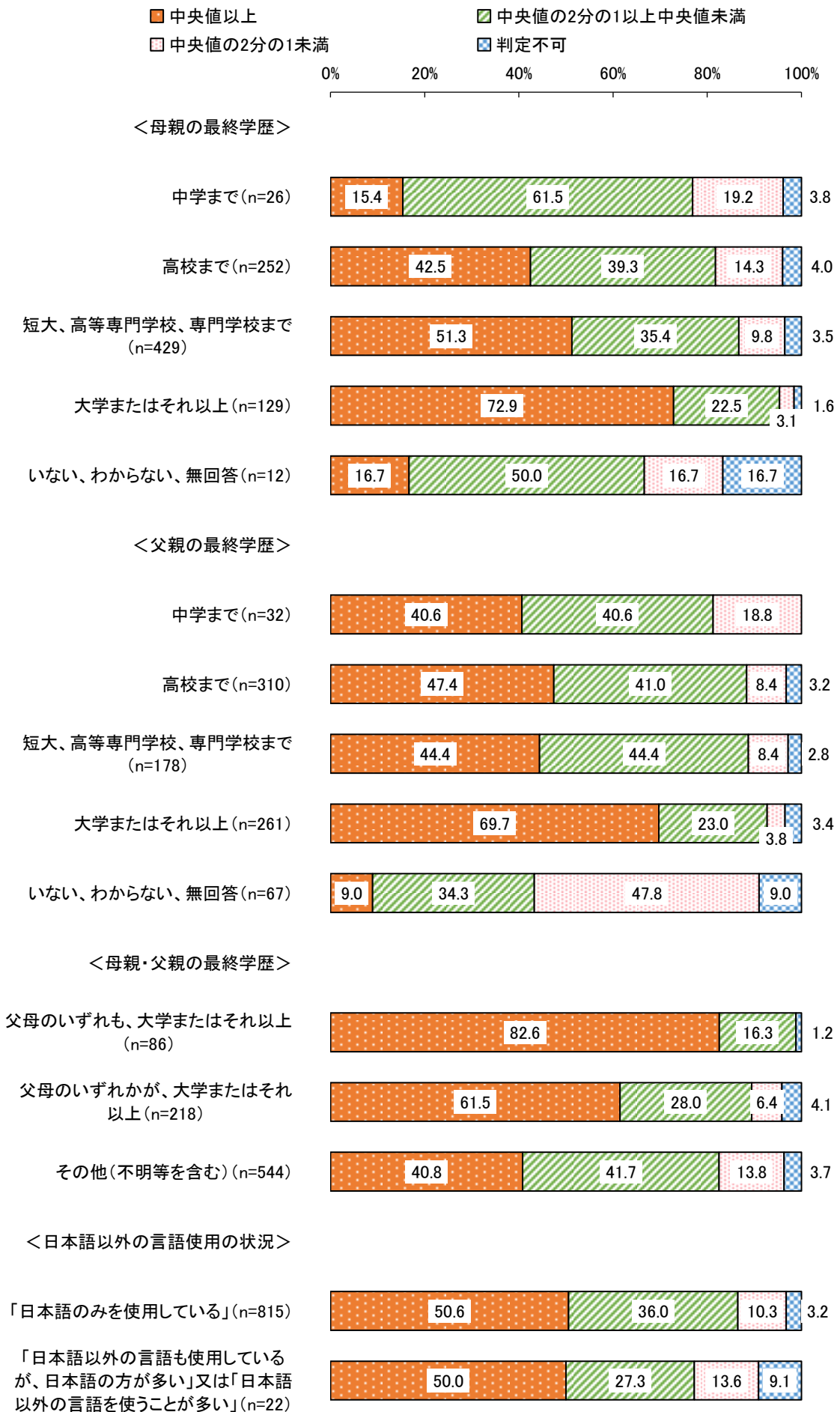
分類の結果、等価世帯収入の水準が「中央値以上」に該当するのは50.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」に該当するのは35.6%、「中央値の2分の1未満」に該当するのは10.5%であった。

世帯の状況別に等価世帯収入の水準をみると、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、「ひとり親世帯」では48.4%となっており、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。また、「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、「母子家庭」では、53.1%となっている。

母親・父親の学歴の状況別にみると、母親・父親ともに、学歴が高いほど等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は低くなっている。母親・父親の学歴の組み合わせでみた場合には、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」に該当する割合は、「父母のいずれかが、大学またはそれ以上」の場合には6.4%、「その他(不明等を含む)」の場合には13.8%、「父母のいずれも、大学またはそれ以上」の場合は該当なしとなっている。

また、家庭での使用言語の状況(日本語以外の言語使用の状況)別にみると、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」又は「日本語以外の言語を使うことが多い」に該当する世帯では、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」である割合は13.6%で、「日本語のみを使用している」世帯と比べてやや高くなっている。





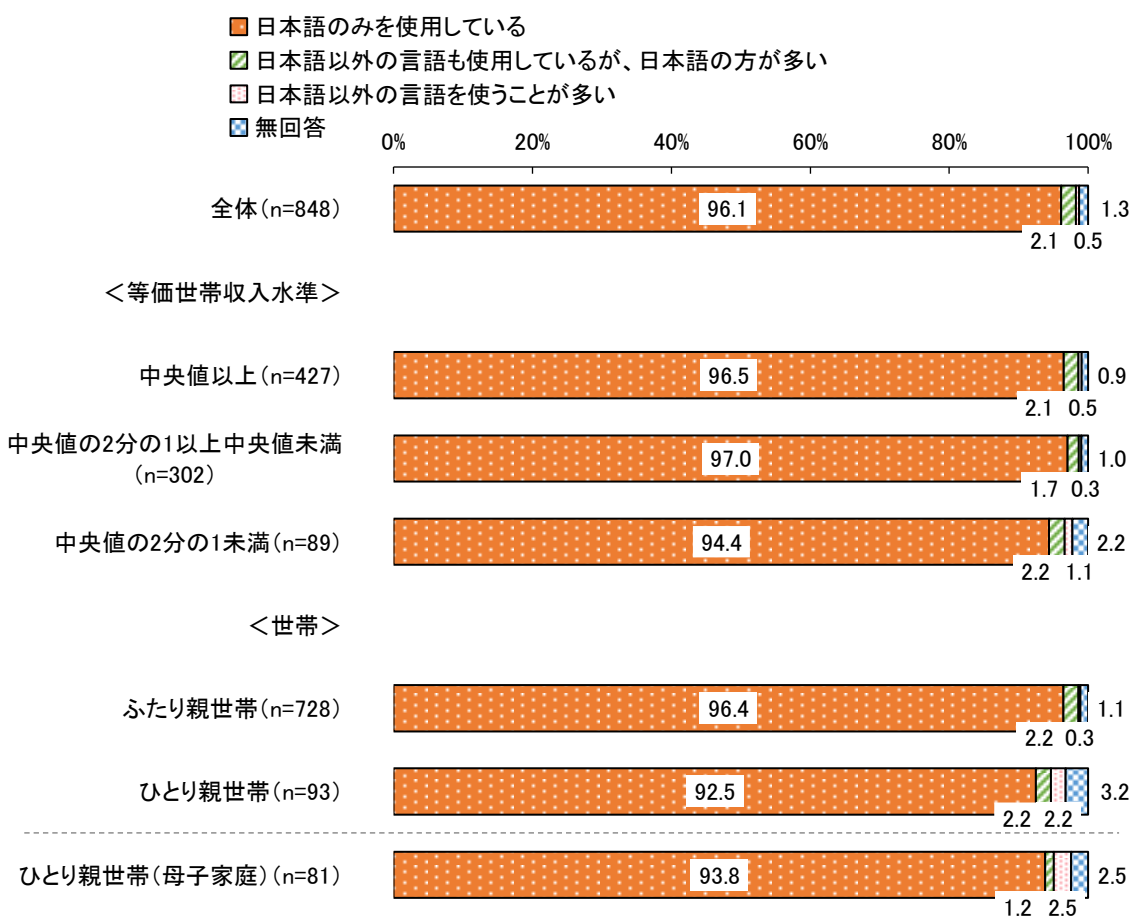
(7) 日本語以外の言語を使用

保護者票問7 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

家庭での使用言語について、「日本語のみを使用している」が96.1%、「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」が2.1%、「日本語以外の言語を使うことが多い」が0.5%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「日本語のみを使用している」の割合は、「中央値の2分の1未満」の世帯で他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「日本語のみを使用している」の割合は、「ひとり親世帯」で「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。



(8) 親の最終学歴

保護者票問 8 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。(a, b それぞれについて、あてはまるものひとつに○)

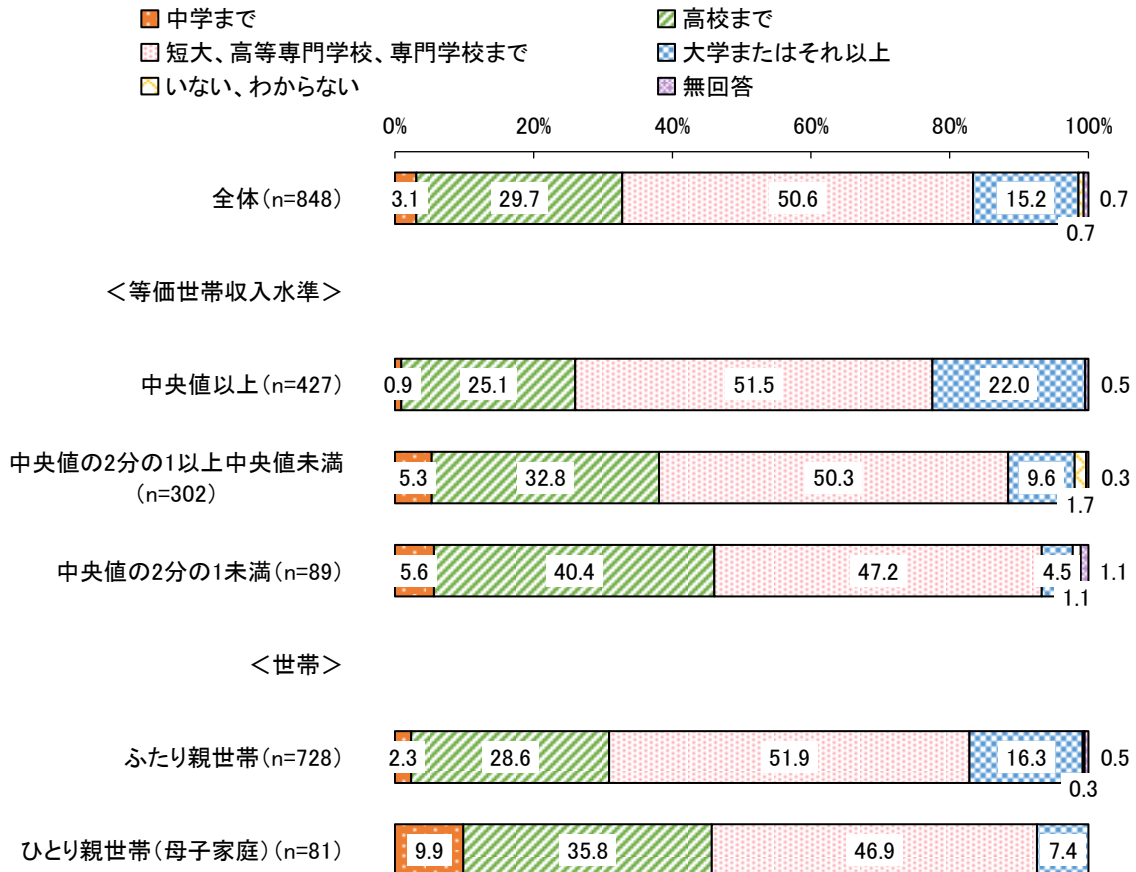
親の最終学歴（卒業した学校）に関し、「母親」については、「短大、高等専門学校、専門学校まで」が 50.6%、「高校まで」が 9.8%、「大学またはそれ以上」が 15.2%となっている。

「父親」については、「高校まで」が 36.6%、「大学またはそれ以上」が 30.8%、「短大、高等専門学校、専門学校まで」が 21.0%となっている。

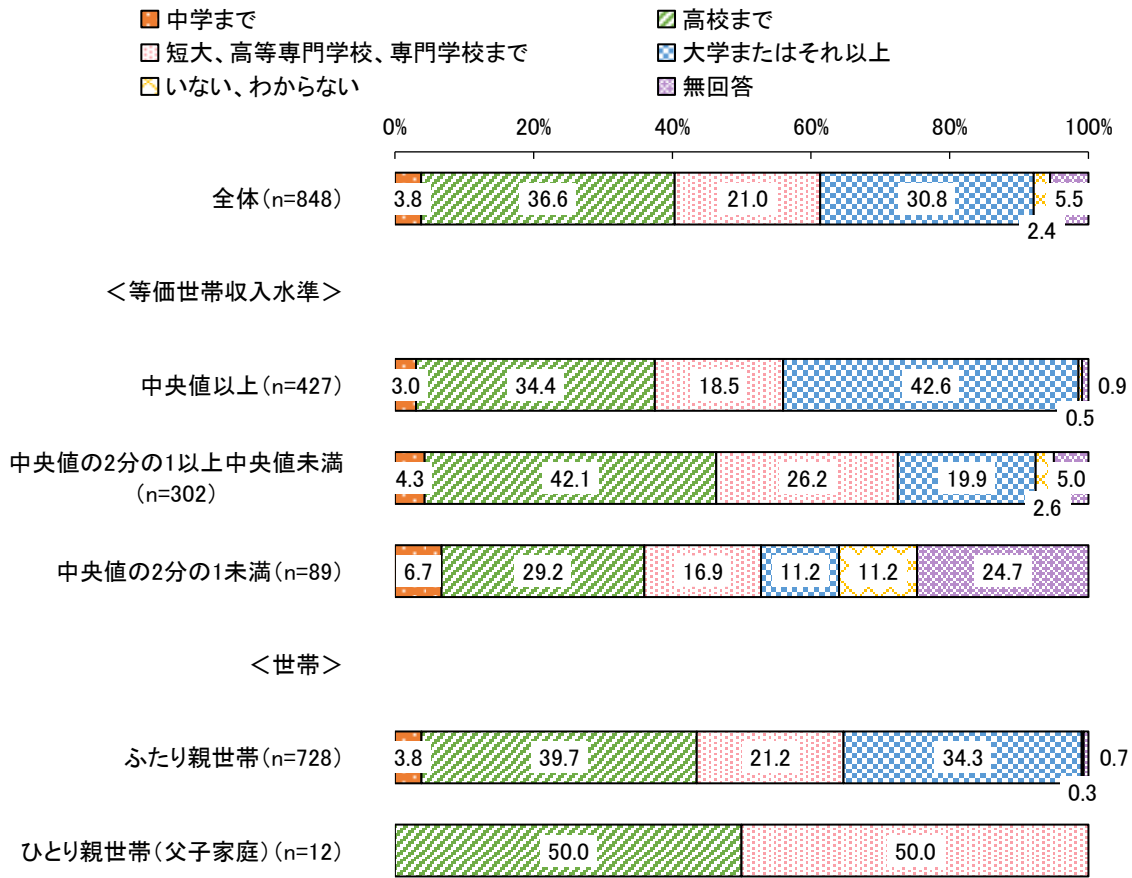
等価世帯収入水準別にみると、母親、父親ともに「大学またはそれ以上」の割合は「中央値の2分の1未満」の世帯で最も低くなっている。

世帯の状況別にみると、母親、父親ともに「大学またはそれ以上」の割合は「ひとり親世帯」で低くなっている。

a) 母親の最終学歴



b) 父親の最終学歴

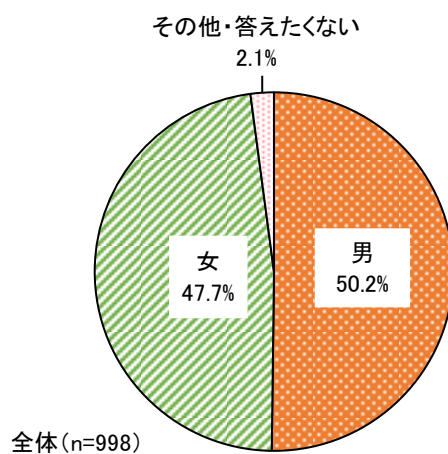


2-2. 子ども

(1) 性別

中学生票問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

子どもの性別は、「男」が50.2%、「女」が47.7%、「その他・答えたくない」が2.1%となっている。



3. 分析結果

3-1. 保護者の生活状況

3-1-1. 暮らし状況、経済的な状況

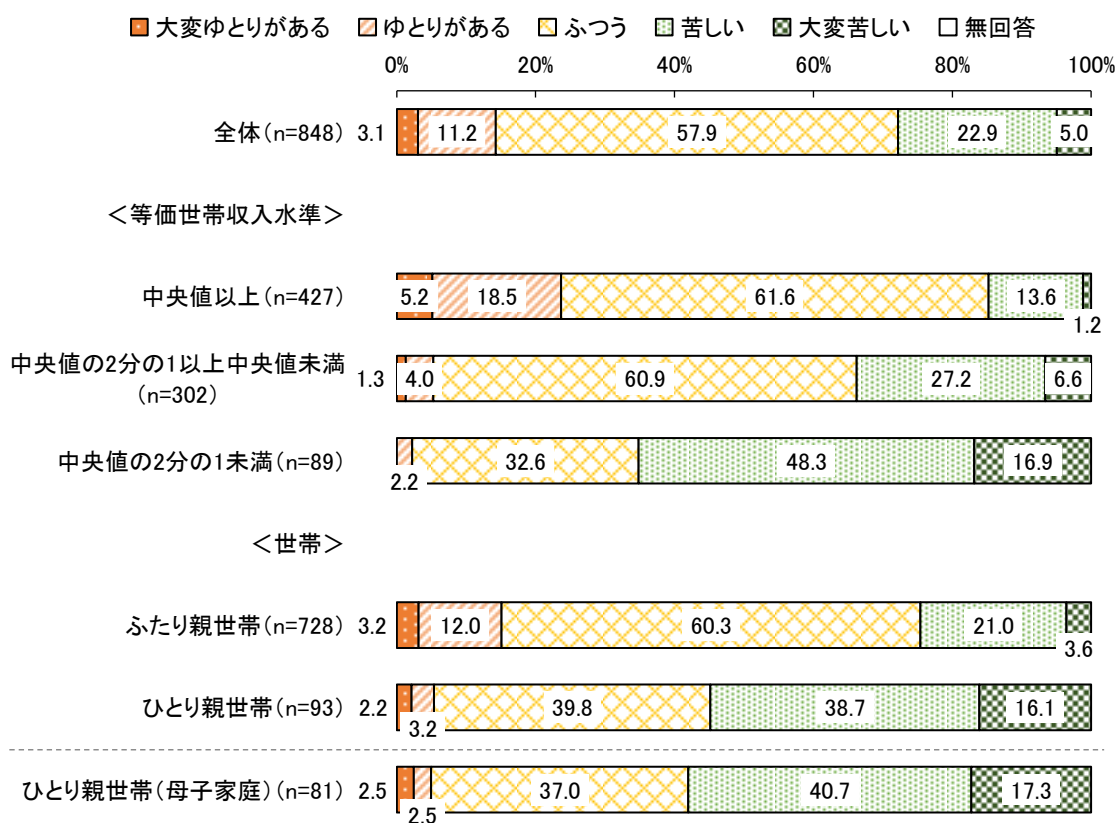
(1) 暮らしの状況

保護者票問 18 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

現在の暮らしの状況をどのように感じているかについては、「大変ゆとりがある」が3.1%、「ゆとりがある」が11.2%、「ふつう」は57.9%となっており、合わせた割合は72.2%となっている。他方で、「苦しい」が22.9%、「大変苦しい」が5.0%となっており、合わせた割合は27.8%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では14.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では33.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では65.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では24.6%、「ひとり親世帯」では54.8%、「ひとり親世帯(母子家庭)」では58.0%となっている。



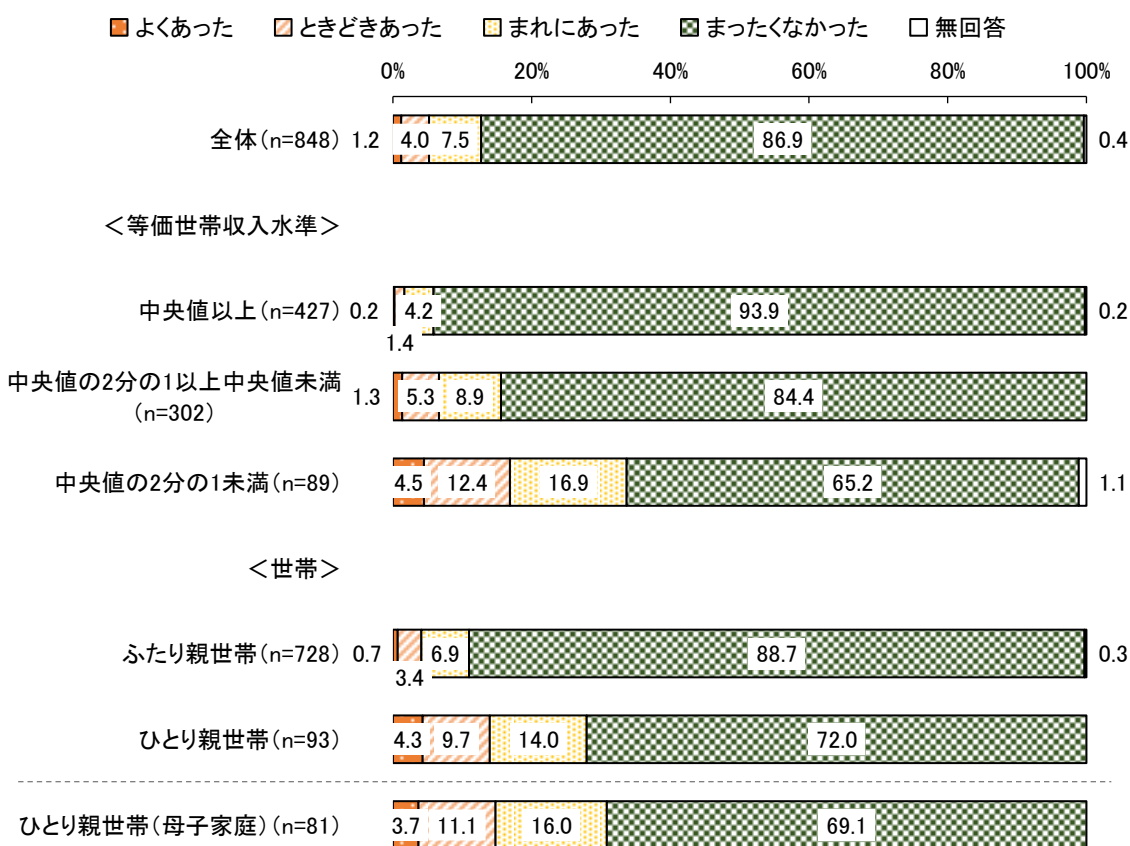
(2) 食料が買えなかった経験

保護者票問 20 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

過去1年の間に必要とする食料が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」が1.2%、「ときどきあった」が4.0%、「まれにあった」が7.5%となっており、合わせた割合は12.7%となっている。

等価世帯収入水準別に見ると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では5.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では15.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では33.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では11.0%、「ひとり親世帯」では28.0%となっている。



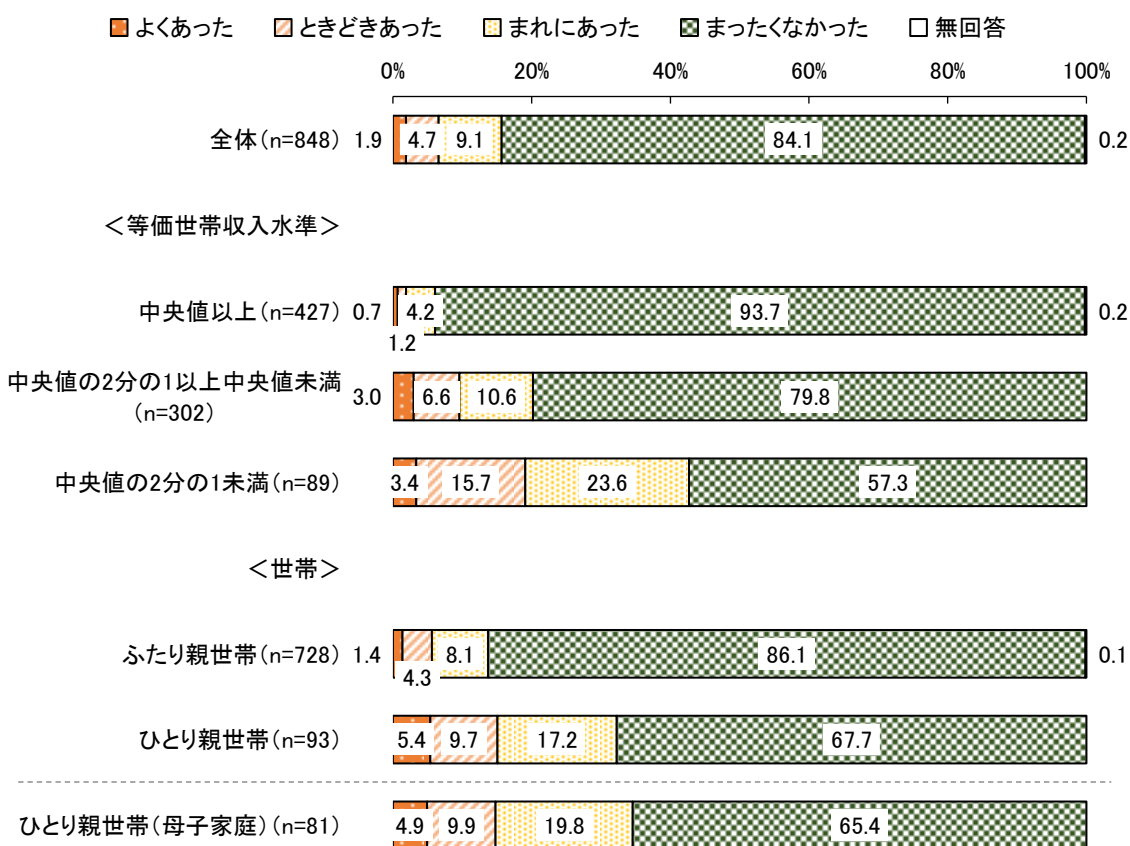
(3) 衣服が買えなかった経験

保護者票問 21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

過去1年の間に必要とする衣服が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」が1.9%、「ときどきあった」が4.7%、「まれにあった」が9.1%となっており、合わせた割合は15.7%となっている。

等価世帯収入水準別に見ると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では6.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では20.2%、「中央値の2分の1未満」の世帯では42.7%となっている。

世帯の状況別に見ると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では13.7%、「ひとり親世帯」では32.3%となっている。



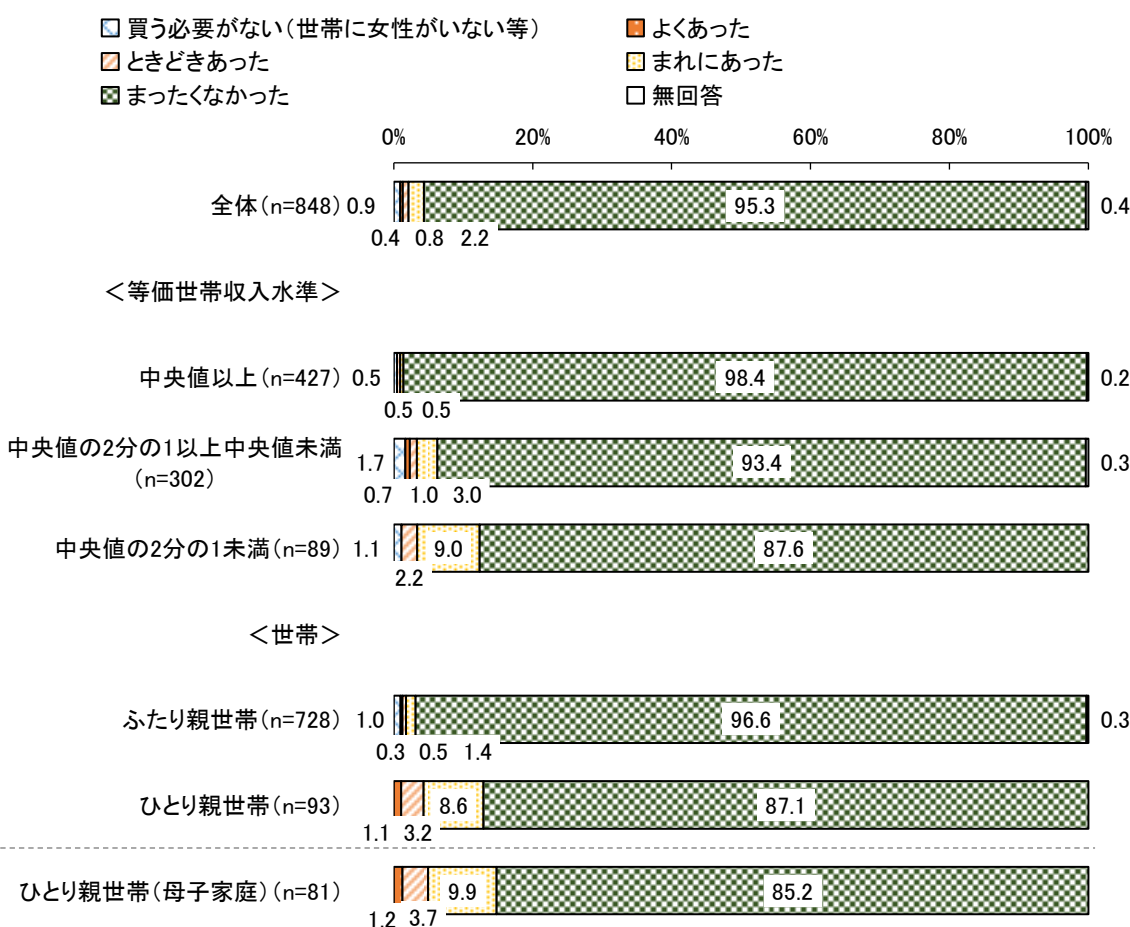
(4) 生理用品が買えなかった経験

保護者票問 22 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする生理用品が買えないことがありましたか。(あてはまるもの1つに○)

過去1年の間に必要とする生理用品が買えなかった経験があったかについては、「よくあった」が0.4%、「ときどきあった」が0.8%、「まれにあった」が2.2%となっており、合わせた割合は3.4%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では0.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では4.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では11.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「よくあった」、「ときどきあった」、「まれにあった」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では2.2%、「ひとり親世帯」では12.9%となっている。



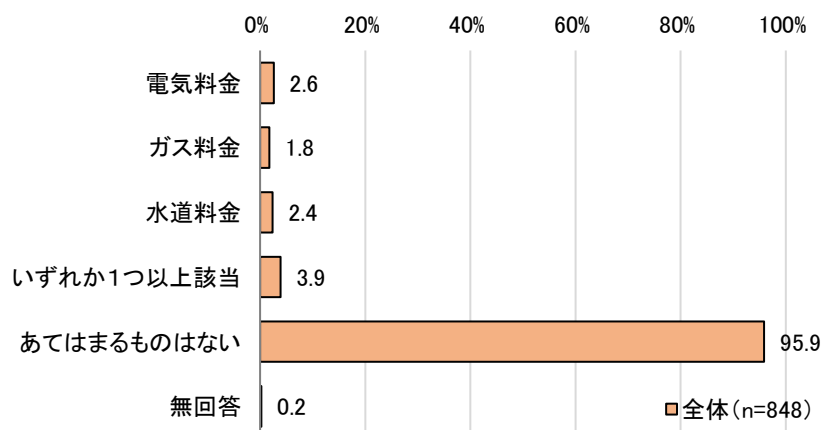
(5) 公共料金における未払いの経験

保護者票問 23 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありますか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

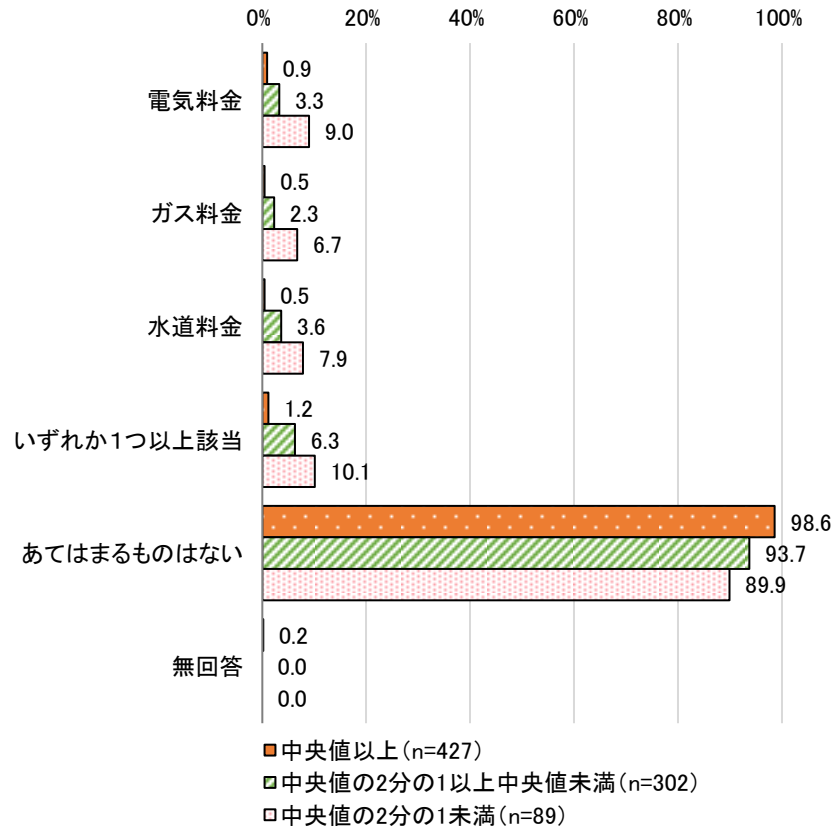
過去1年の間に「電気料金」、「ガス料金」、「水道料金」について経済的な理由で未払いになったことがあるかについて、「あった」(該当)の割合は、「電気料金」が2.6%、「ガス料金」が1.8%、「水道料金」が2.4%となっている。また、いずれか1つ以上該当する割合は3.9%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、いずれの割合も「中央値の2分の1未満」の世帯で最も高く、「電気料金」が9.0%、「ガス料金」が6.7%、「水道料金」が7.9%となっている。いずれか1つ以上該当する割合は、「中央値以上」の世帯では1.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では6.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では10.1%となっている。

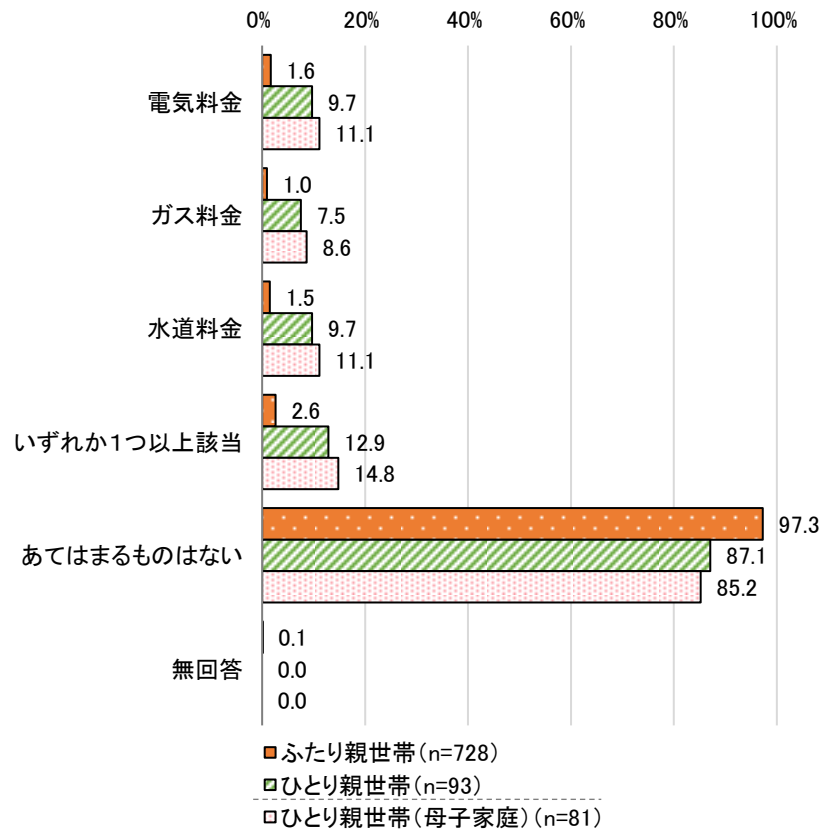
世帯の状況別にみると、いずれの割合も「ひとり親世帯」で高く、「電気料金」が9.7%、「ガス料金」が7.5%、「水道料金」が9.7%となっている。いずれか1つ以上該当する割合は、「ふたり親世帯」では2.6%、「ひとり親世帯」では12.9%、「ひとり親世帯(母子家庭)」では14.8%となっている。



<等価世帯収入水準>



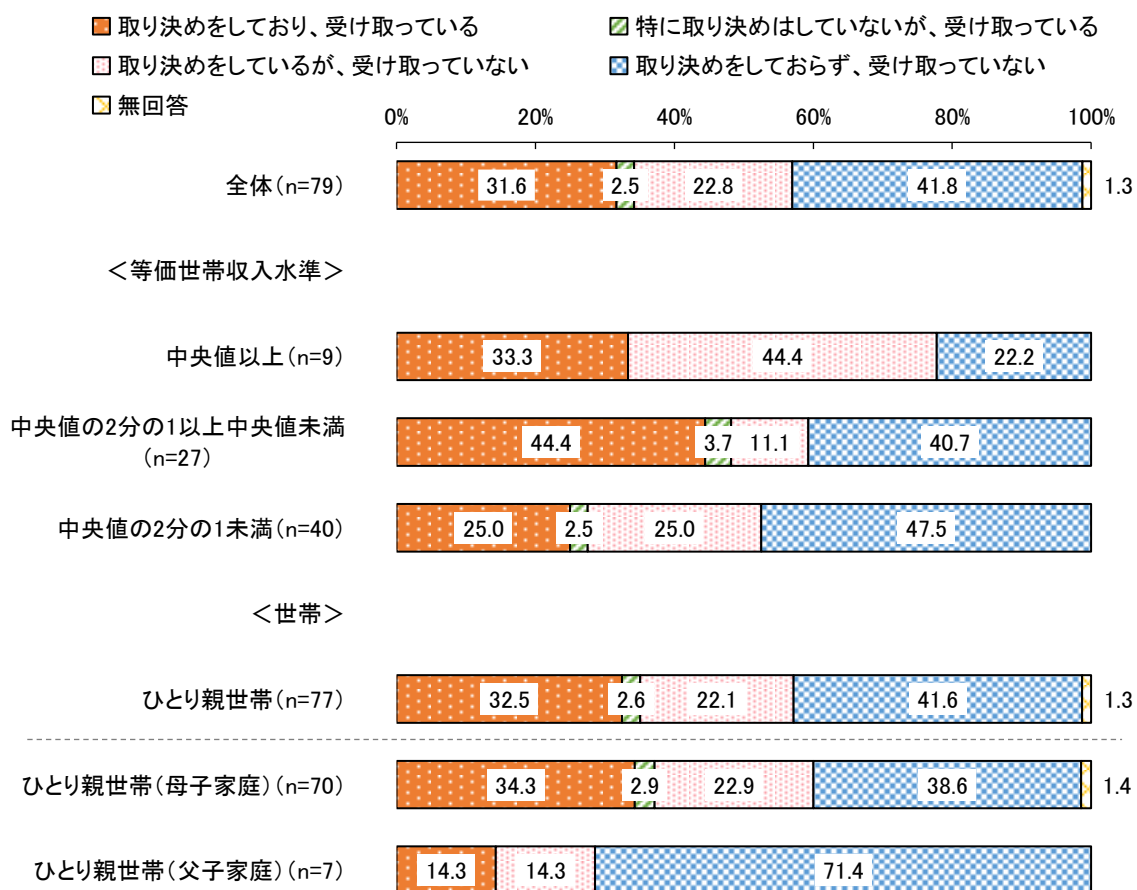
<世帯>



(6) 養育費の取り決めの有無

保護者票問6 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

養育費の取り決めについて、「取り決めをしており、受け取っている」が31.6%、「特に取り決めはしていないが、受け取っている」が2.5%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が22.8%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が41.8%となっている。「受け取っていない」割合は合わせると64.6%となっている。



3-1-2. 就労状況

(1) 保護者の就労状況

保護者票問9 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

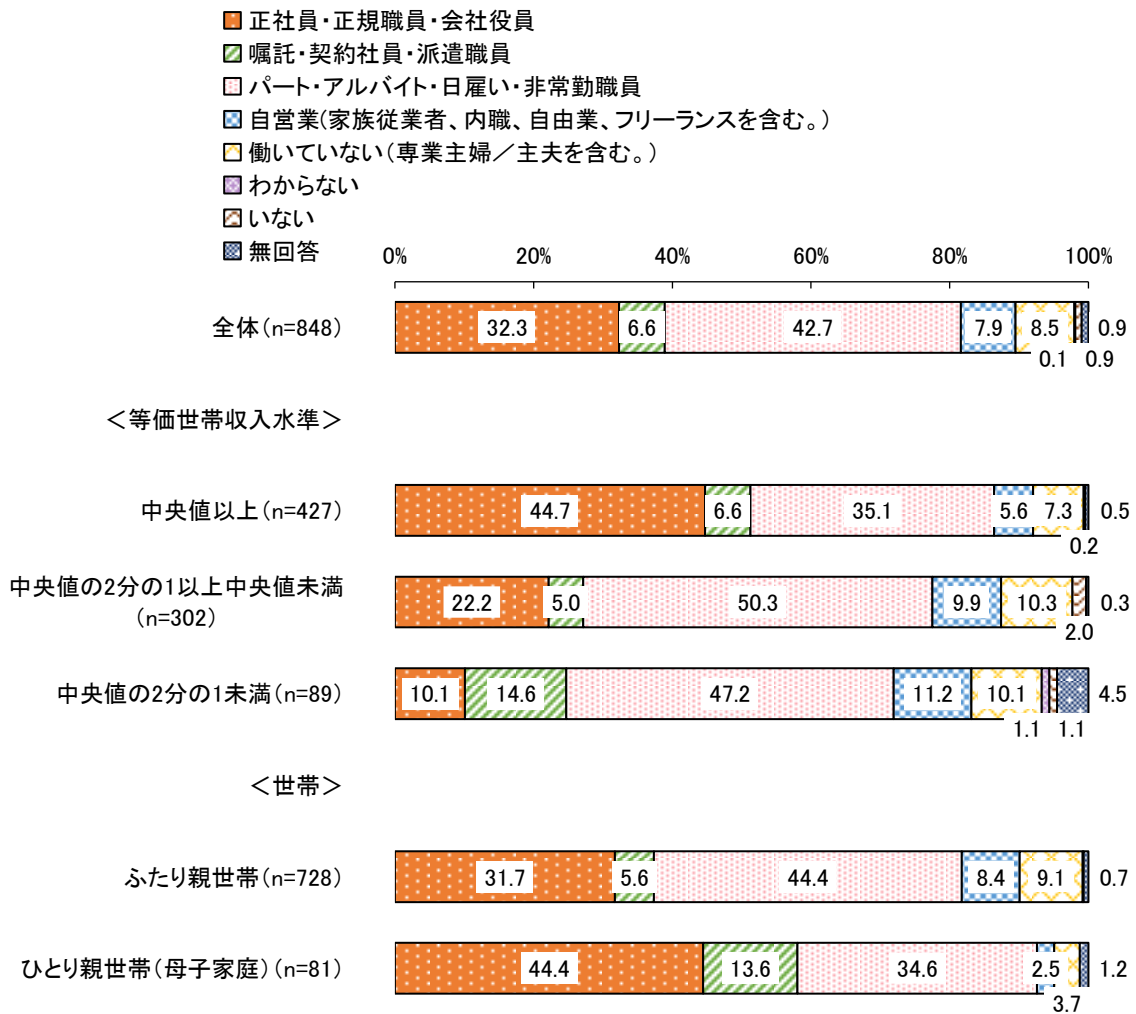
就労状況に関し、「母親」については、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が42.7%、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が32.3%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む。)」が8.5%となっている。

「父親」については、「正社員・正規職員・会社役員」が78.4%、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)」が12.0%となっている。

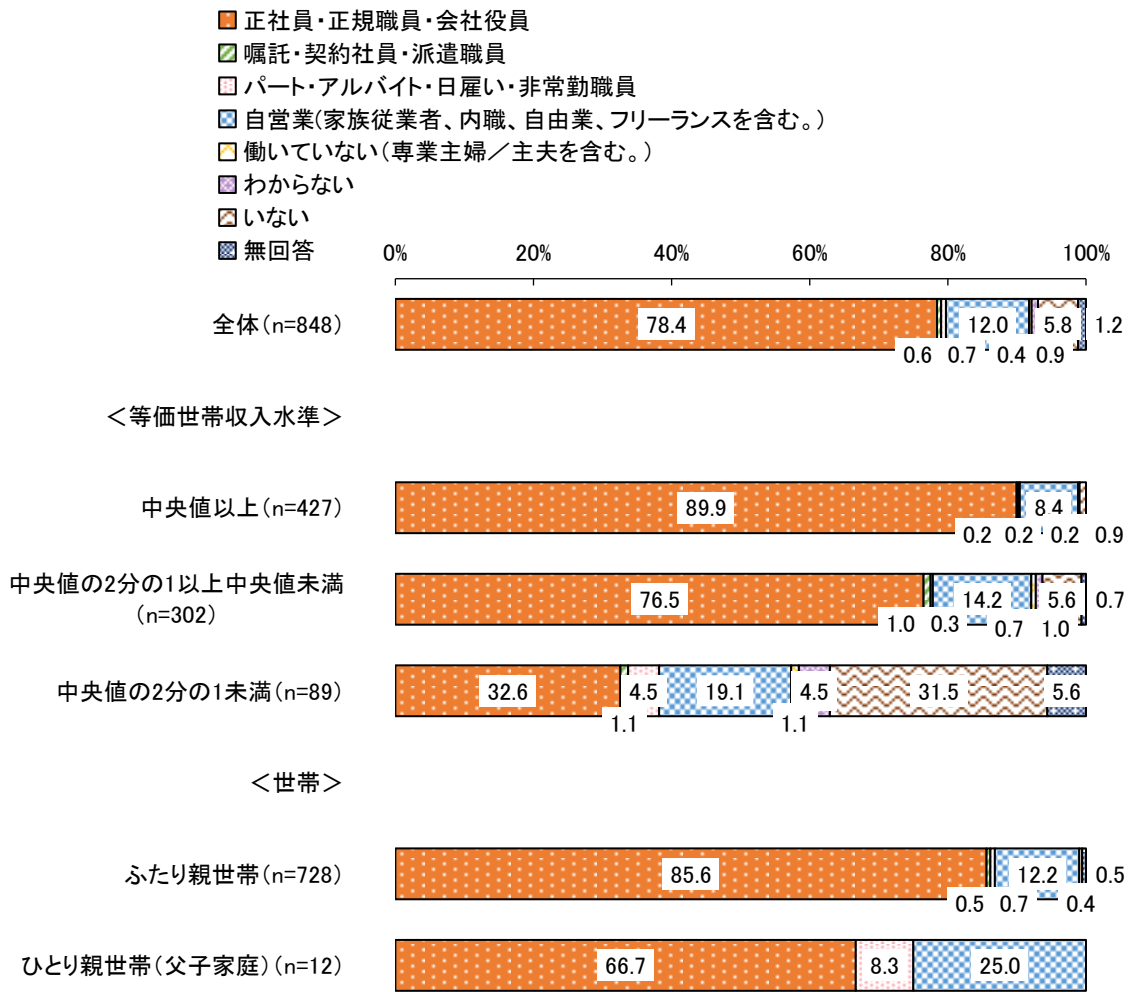
等価世帯収入水準別にみると、母親、父親ともに「正社員・正規職員・会社役員」の割合は「中央値の2分の1未満」の世帯で最も低くなっている。

世帯の状況別にみると、「正社員・正規職員・会社役員」の割合は、「母親」では「ふたり親世帯」より「ひとり親世帯」で高く、一方、「父親」では「ひとり親世帯」で低くなっている。

a) 母親



b) 父親



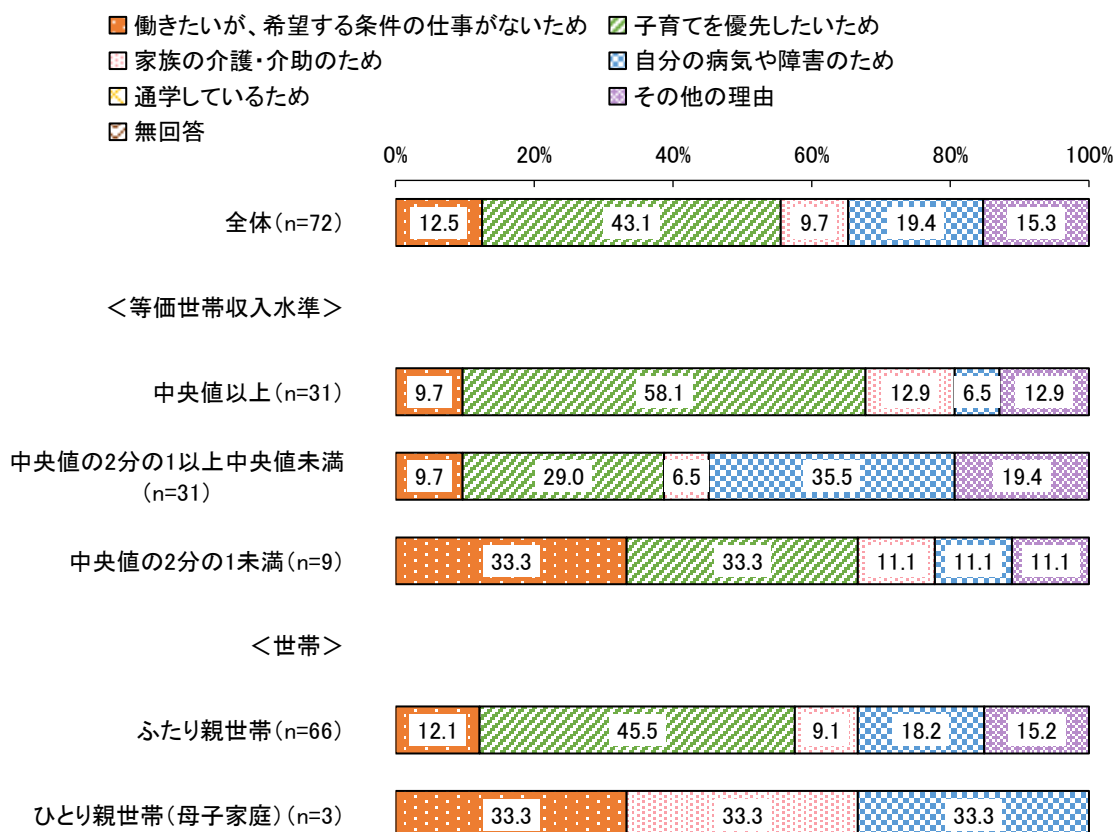
(2) 働いていない理由

保護者票問 10 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

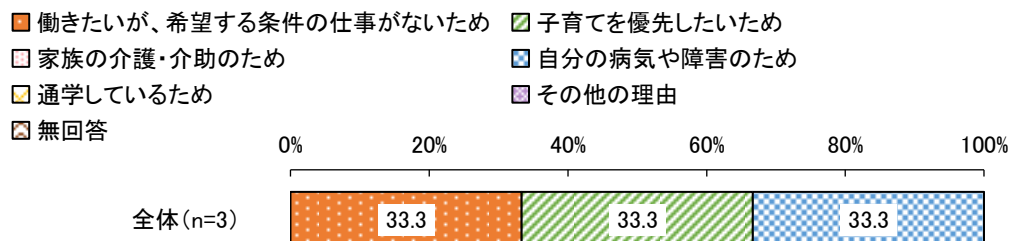
働いていない最も主な理由として、「母親」については、「子育てを優先したいため」が43.1%、次いで「自分の病気や障害のため」が19.4%となっている。

「父親」についてと等価世帯収入水準別、世帯の状況別の結果は該当者数が少ないため、グラフのみの掲載とする。

a) 母親



b) 父親



3-1-3. 保育の状況

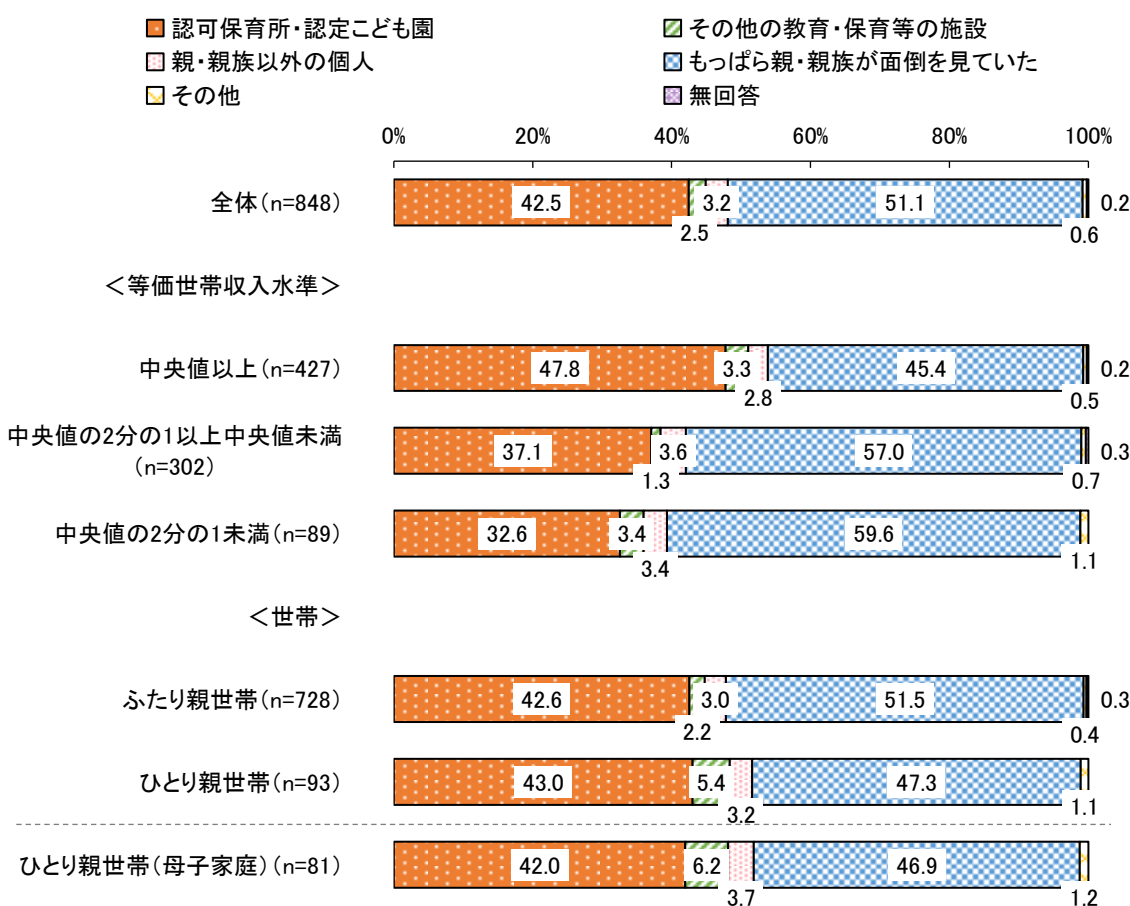
(1) 子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等

保護者票問 11 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

子どもが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものとしては、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が51.1%、次いで「認可保育所・認定こども園」が42.5%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」が59.6%で他の世帯と比べて高く、「認可保育所・認定こども園」の割合は32.6%と低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合がやや低くなっている。

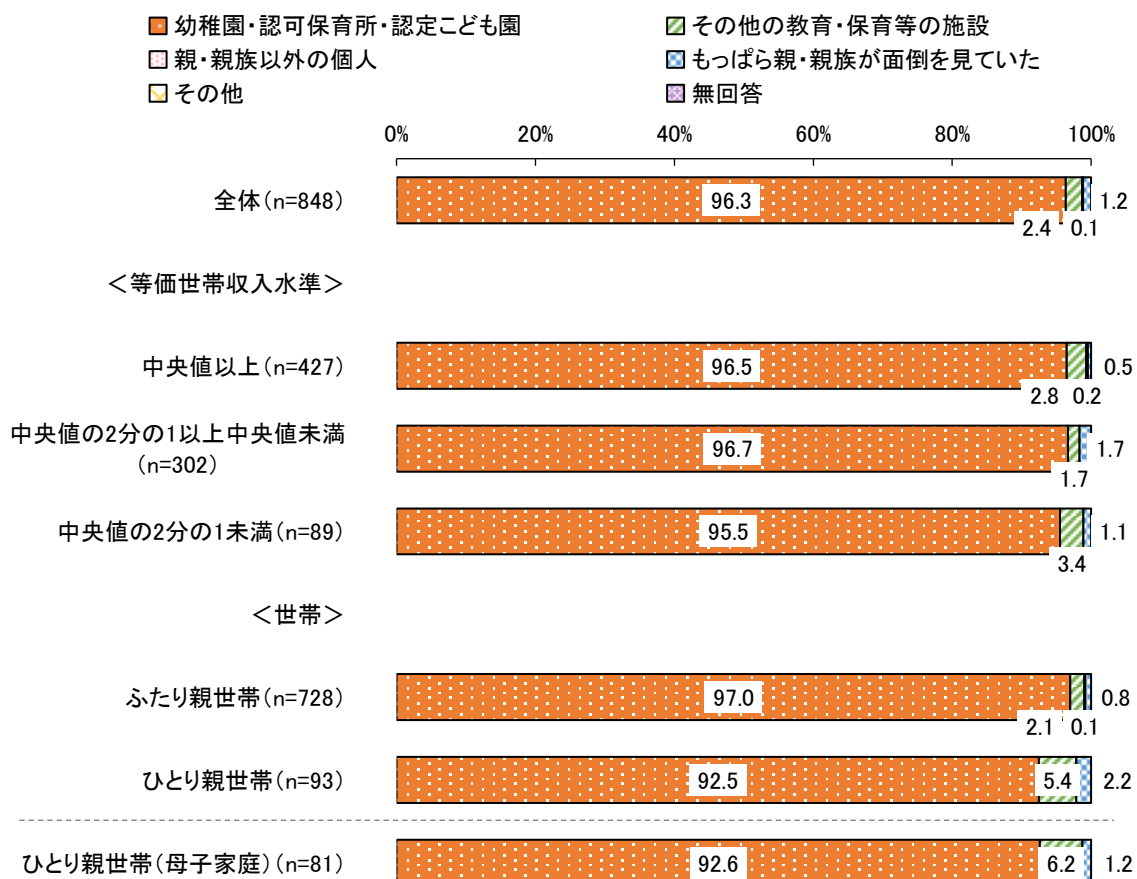


(2) 子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等

保護者票問 12 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

子どもが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものとしては、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」が96.3%と9割以上になっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合がやや低く、「その他の教育・保育等の施設」が5.4%とやや高くなっている。



※等価世帯収入水準別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

※世帯の状況別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

3-1-4. 子どもとの関わり方

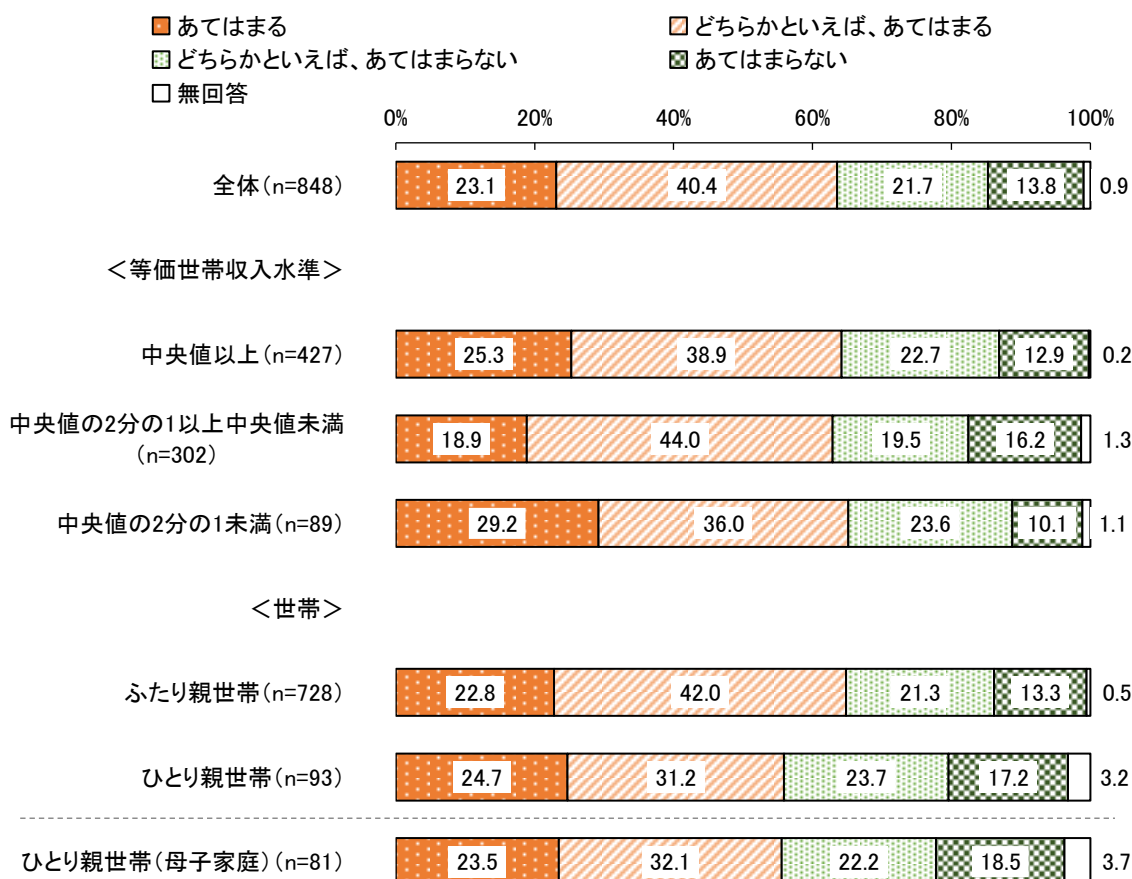
保護者票問 13 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(a～e それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めているかについて、「あてはまる」が23.1%、「どちらかといえば、あてはまる」が40.4%となっており、合わせた割合は63.6%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」が21.7%、「あてはまらない」が13.8%となっており、合わせた割合は35.5%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では35.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では35.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では33.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では34.6%、「ひとり親世帯」では40.9%となっている。



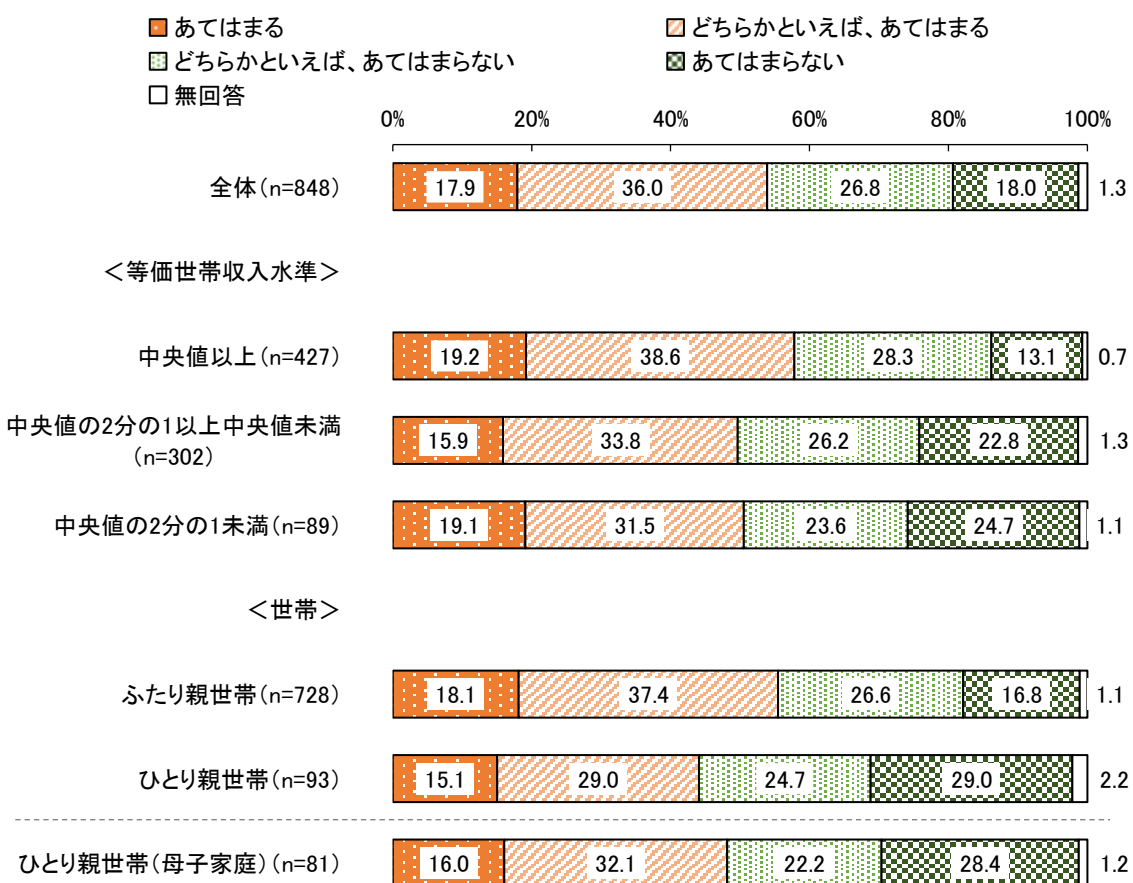
※等価世帯収入水準別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

お子さんに本や新聞を読むように勧めているかについて、「あてはまる」が17.9%、「どちらかといえば、あてはまる」が36.0%となっており、合わせた割合は53.9%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」が26.8%、「あてはまらない」が18.0%となっており、合わせた割合は44.8%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では41.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では49.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では48.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では43.4%、「ひとり親世帯」では53.8%となっている。

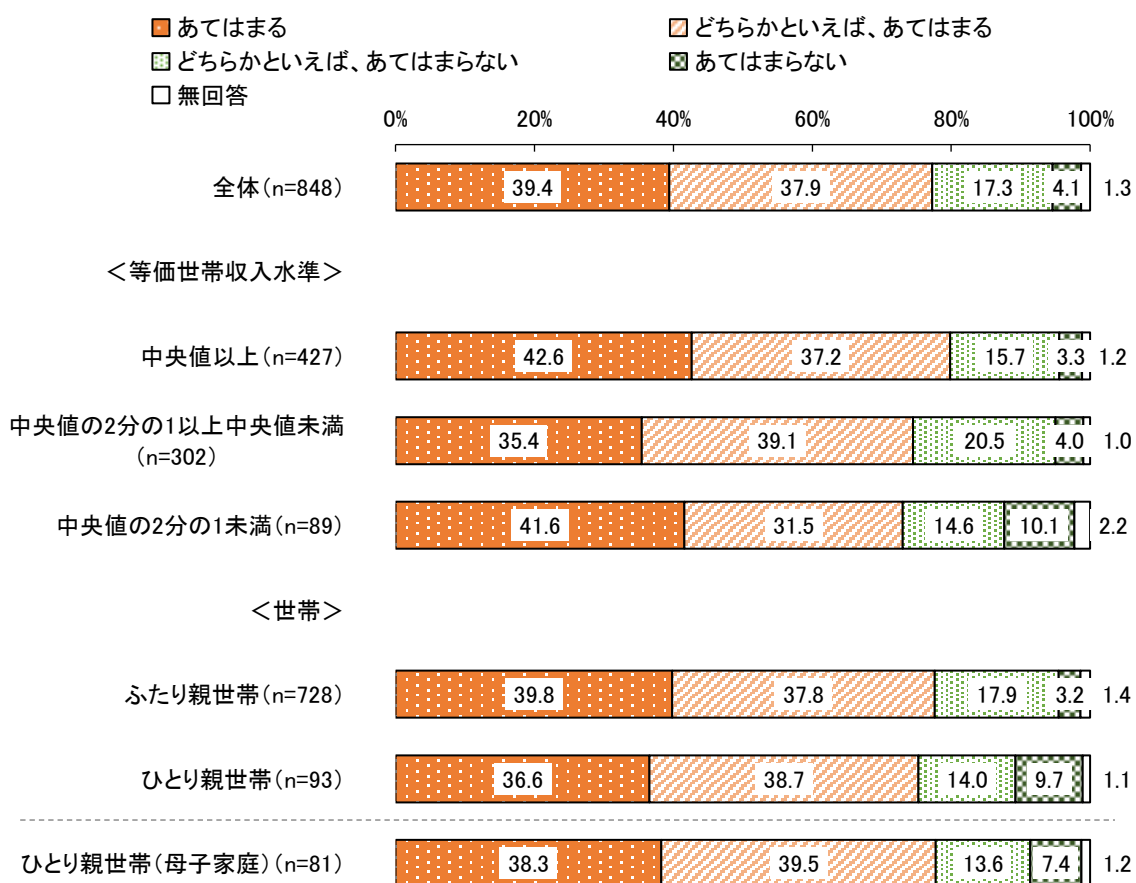


c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていたかについて、「あてはまる」が39.4%、「どちらかといえば、あてはまる」が37.9%となっており、合わせた割合は77.2%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」が17.3%、「あてはまらない」が4.1%となっており、合わせた割合は21.5%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では19.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では24.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では24.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では21.0%、「ひとり親世帯」では23.7%となっている。



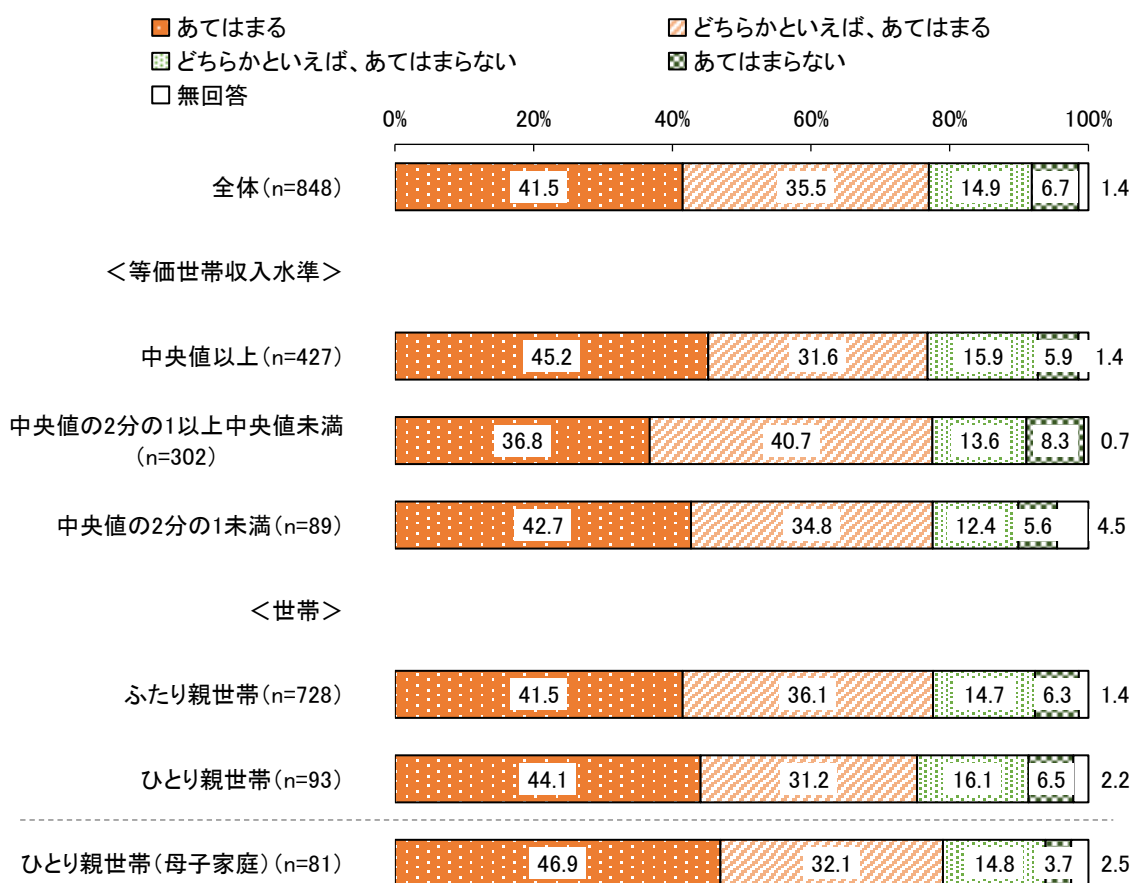
※世帯の状況別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれるかについて、「あてはまる」が41.5%、「どちらかといえば、あてはまる」が35.5%となっており、合わせた割合は77.0%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」が14.9%、「あてはまらない」が6.7%となっており、合わせた割合は21.6%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では21.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では21.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では18.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では21.0%、「ひとり親世帯」では22.6%となっている。



※等価世帯収入水準別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

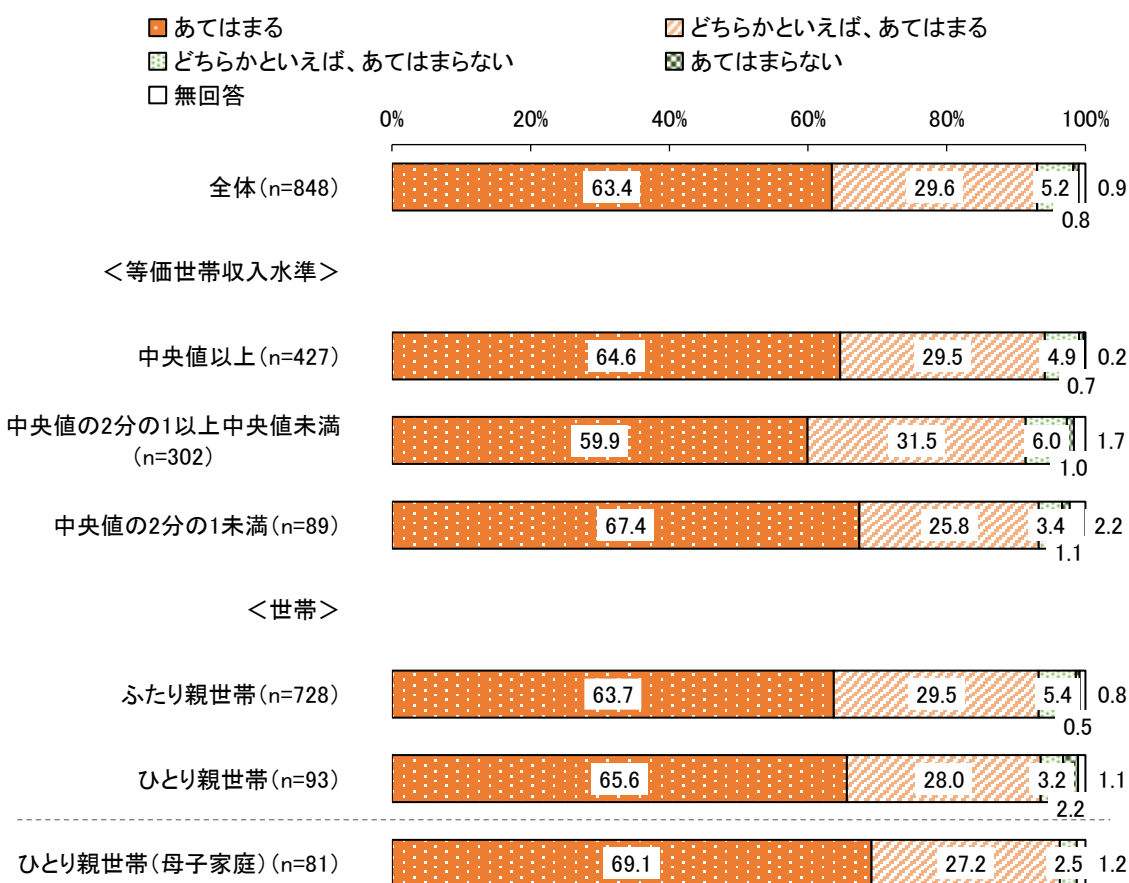
※世帯の状況別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

e) お子さんと、よく会話をする

お子さんと、よく会話をするかについて、「あてはまる」が63.4%、「どちらかといえば、あてはまる」が29.6%となっており、合わせた割合は93.0%となっている。他方で、「どちらかといえば、あてはまらない」が5.2%、「あてはまらない」が0.8%となっており、合わせた割合は6.0%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では5.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では7.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では4.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では5.9%、「ひとり親世帯」では5.4%となっている。



※等価世帯収入水準別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

※世帯の状況別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

3-1-5. 学校等との関わり・参加

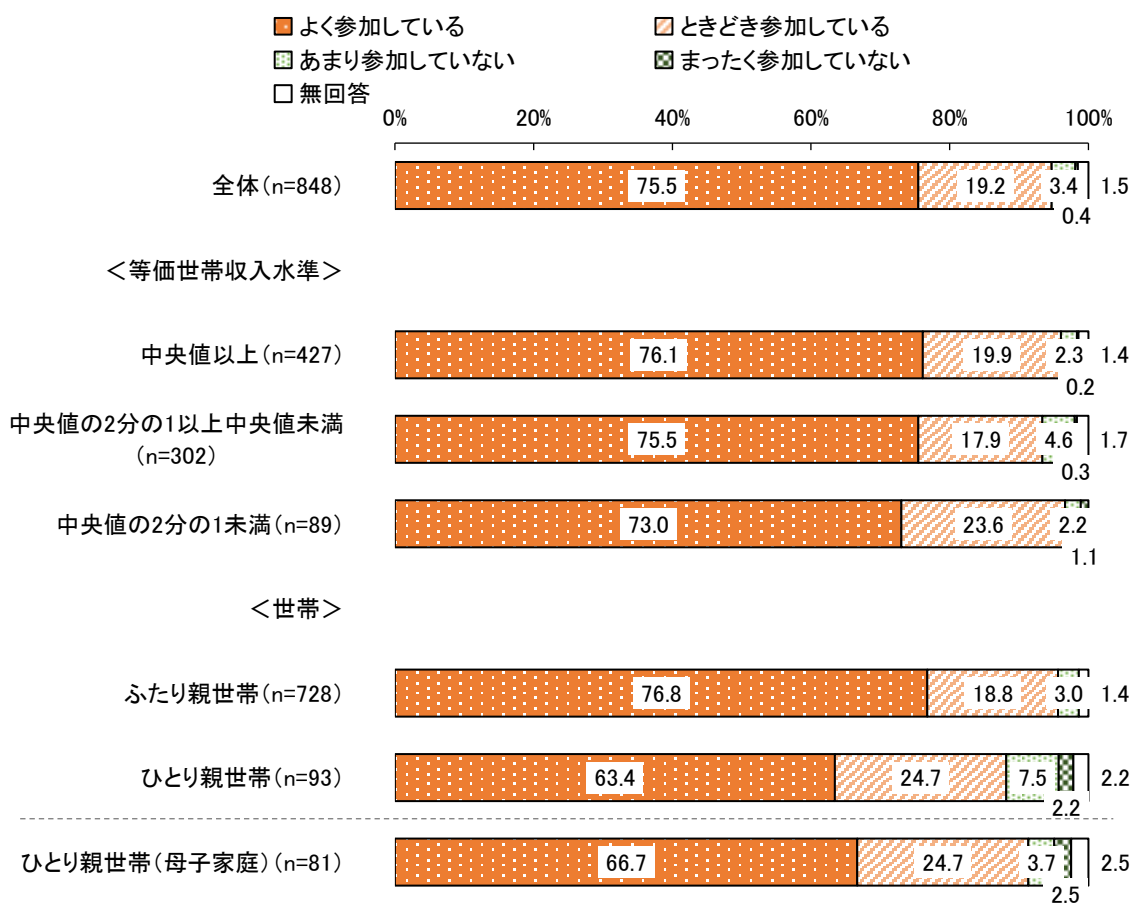
保護者票問 14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加

授業参観や運動会などの学校行事への参加について、「よく参加している」が75.5%、「ときどき参加している」が19.2%となっており、合わせた割合は94.7%となっている。他方で、「あまり参加していない」が3.4%、「まったく参加していない」が0.4%となっており、合わせた割合は3.8%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では96.0%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では93.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では96.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では95.6%、「ひとり親世帯」では88.2%、「ひとり親世帯(母子家庭)」では91.4%となっている。



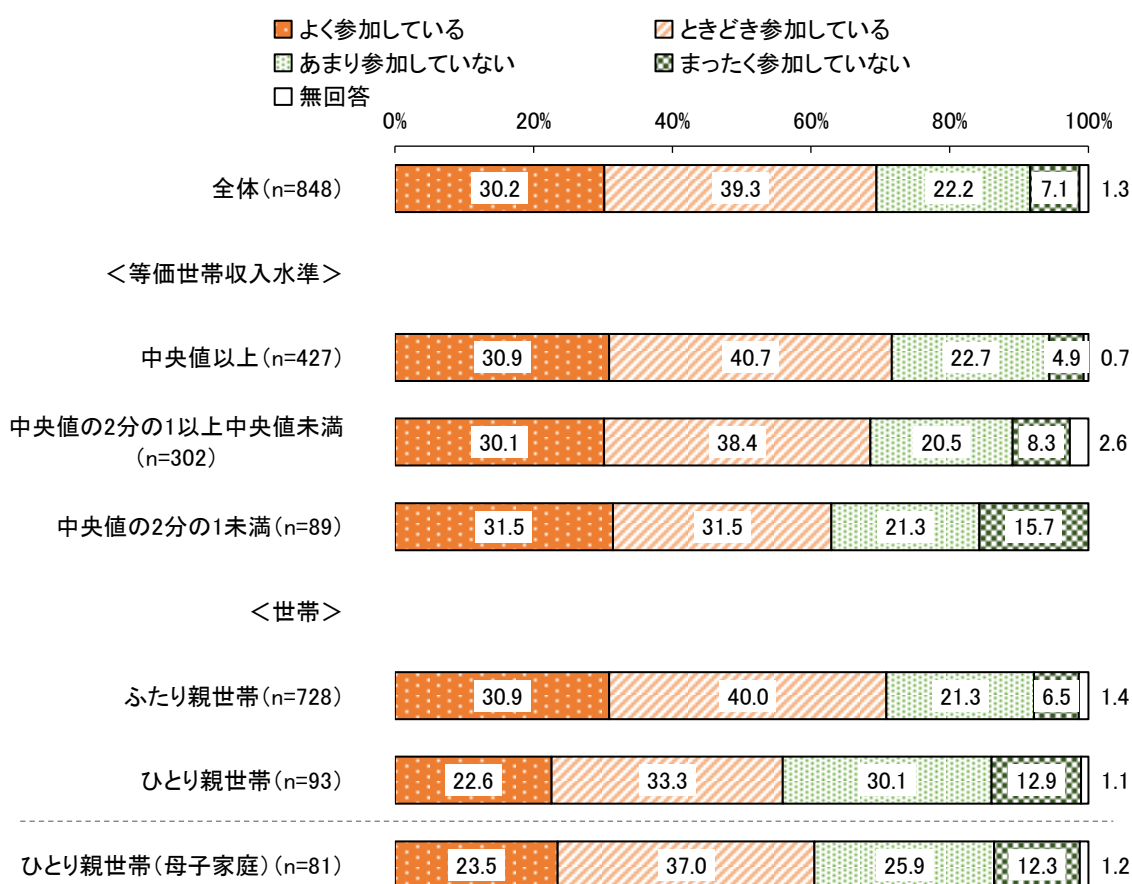
※等価世帯収入水準別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

b) P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加について、「よく参加している」が 30.2%、「ときどき参加している」が 39.3%となっており、合わせた割合は 69.5%となっている。他方で、「あまり参加していない」が 22.2%、「まったく参加していない」が 7.1%となっており、合わせた割合は 29.2%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では 71.7%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 68.5%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 62.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「よく参加している」と「ときどき参加している」を合わせた割合は、「ふたり親世帯」では 70.9%、「ひとり親世帯」では 55.9%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では 60.5%となっている。



3-1-6. 進学期待・展望

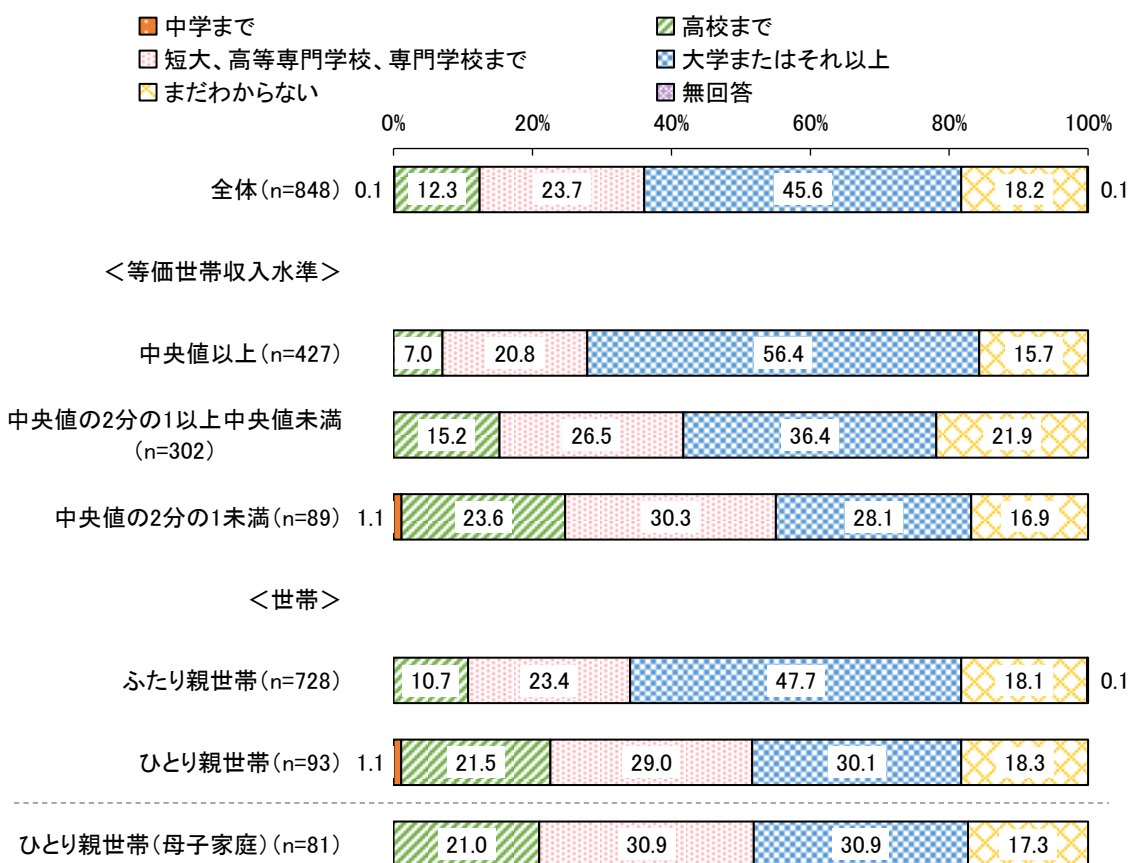
(1) 子どもの進学段階に関する希望・展望

保護者票問 15 お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。(あてはまるものひとつに○)

子どもが将来どの段階まで進学すると思うかについては、「大学またはそれ以上」が45.6%、次いで「短大、高等専門学校、専門学校まで」が23.7%、「まだわからない」が18.2%、「高校まで」が12.3%、「中学まで」が0.1%となっている。

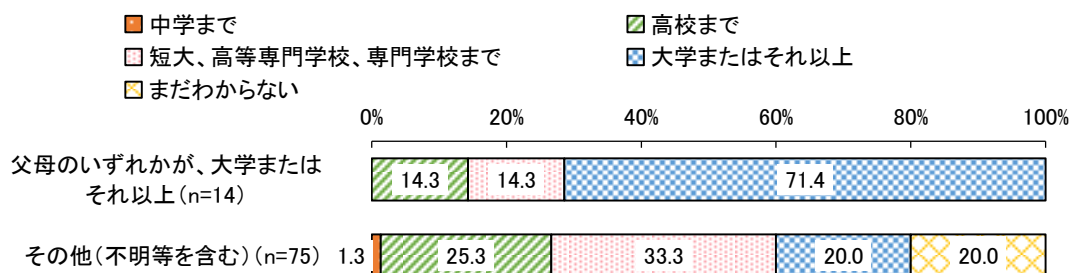
等価世帯収入水準別にみると、「大学またはそれ以上」の割合は、「中央値以上」の世帯では56.4%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では36.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では28.1%となっており、「中央値の2分の1未満」の世帯では「高校まで」の割合が23.6%で他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「大学またはそれ以上」の割合が低く、「高校生まで」の割合が高くなっている。



※等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の母親・父親の学歴状況別

(回答数が少ないためグラフのみの掲載とする)



(2) 進学段階に関する希望・展望についてそう考える理由

保護者票問 16 前問で1～4と答えた場合、その理由は何ですか。(1～5については、あてはまるものすべてに○)

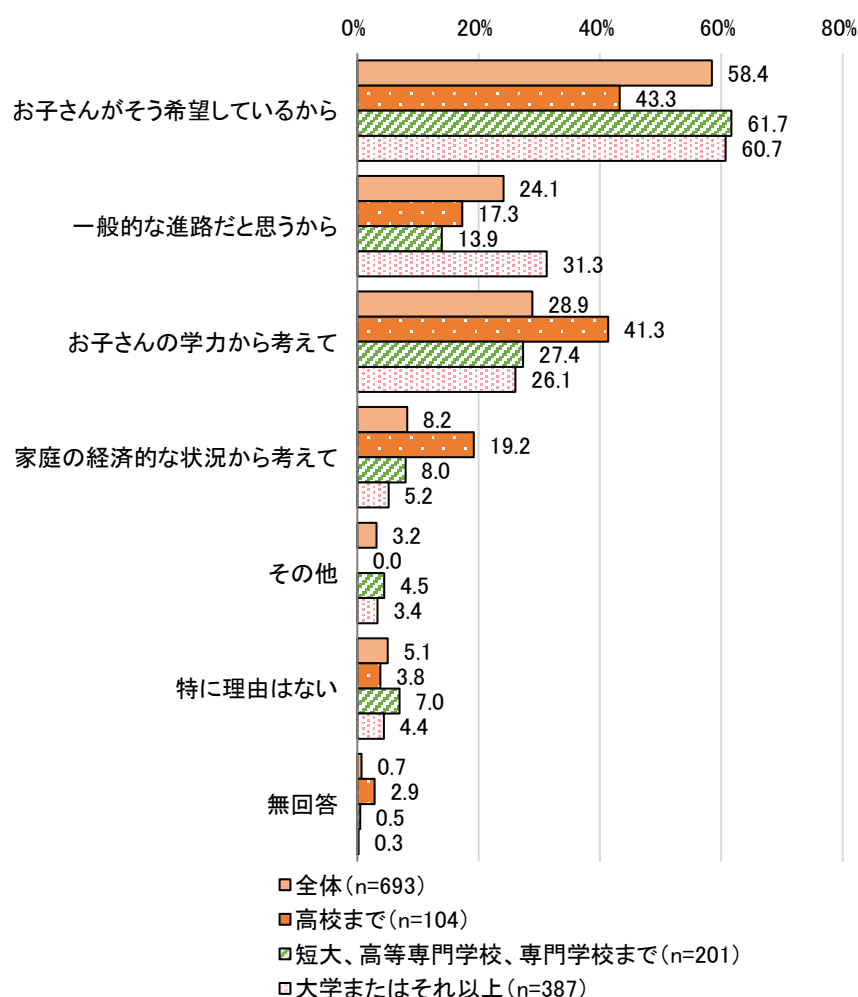
子どもの進学段階に関する希望・展望について保護者がそう考える理由としては、「お子さんがそう希望しているから」が58.4%、次いで「お子さんの学力から考えて」が28.9%、「一般的な進路だと思うから」が24.1%となっている。

子どもの進学段階に関する希望・展望の回答別にみると、「高校まで」と回答した場合には、「お子さんの学力から考えて」が41.3%、「家庭の経済的な状況から考えて」が19.2%となっており、「短大、高等専門学校、専門学校まで」や「大学またはそれ以上」と回答した場合と比べて高くなっている。

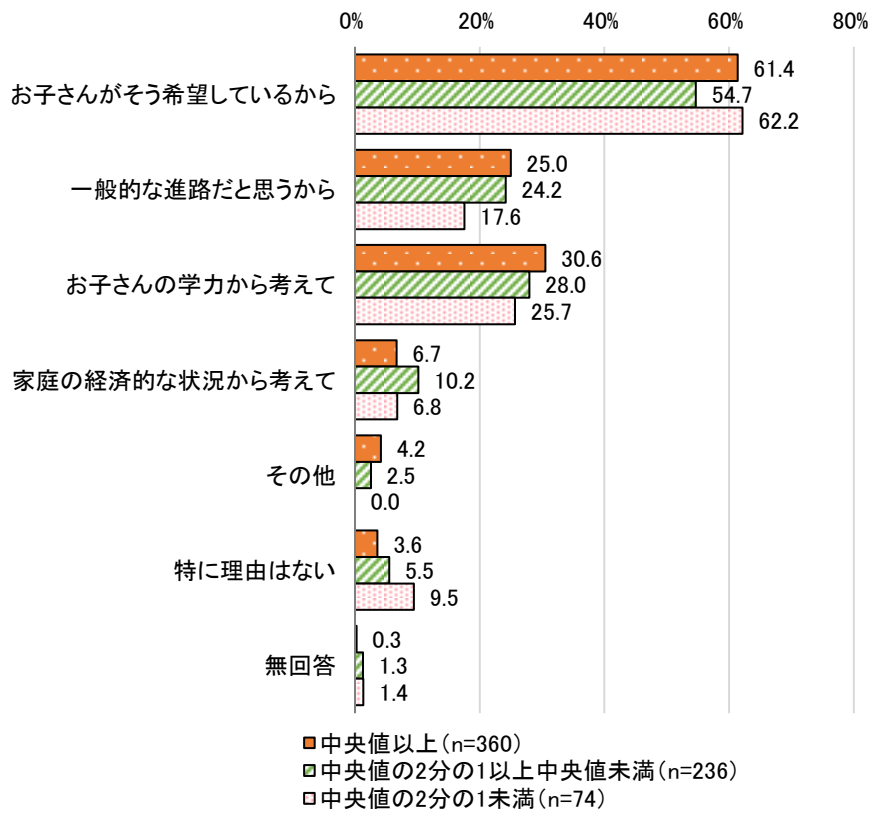
等価世帯収入水準別、世帯の状況別ではどの世帯でも、「お子さんがそう希望しているから」の割合が半数以上を占める結果となっている。

「高校まで」と回答した場合の理由を等価世帯収入の水準別にみると、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では、「家庭の経済的な状況から考えて」や「一般的な進路だと思うから」の回答割合が他の世帯と比べて高くなっている。

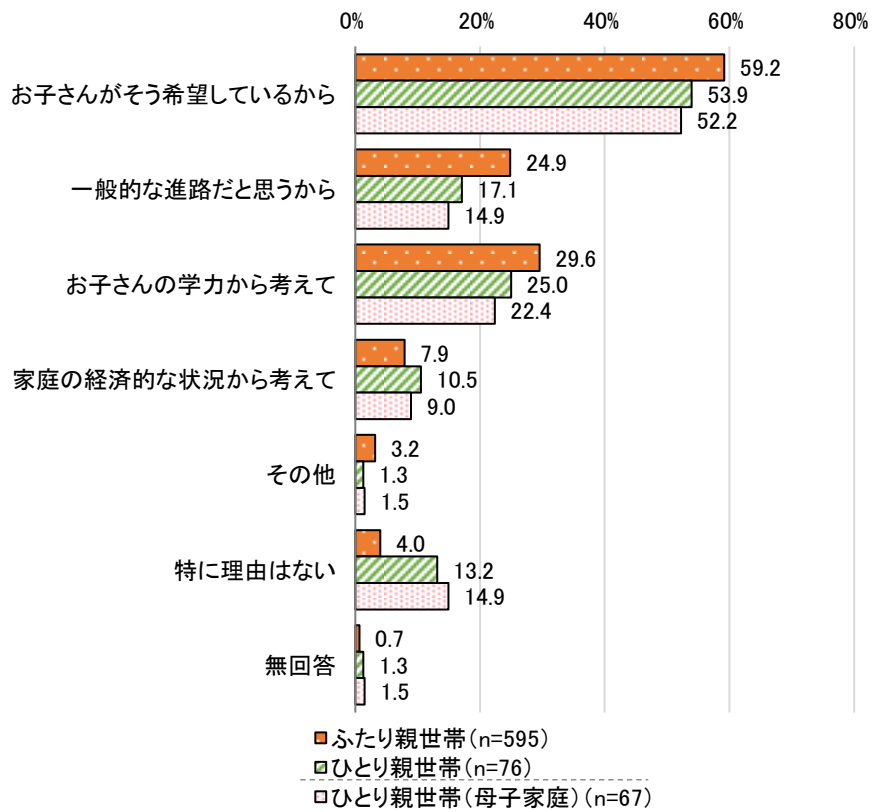
また、「高校まで」と回答した場合の理由を世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯(母子家庭)」では、「家庭の経済的な状況から考えて」の回答割合が高くなっている。



<等価世帯収入水準>

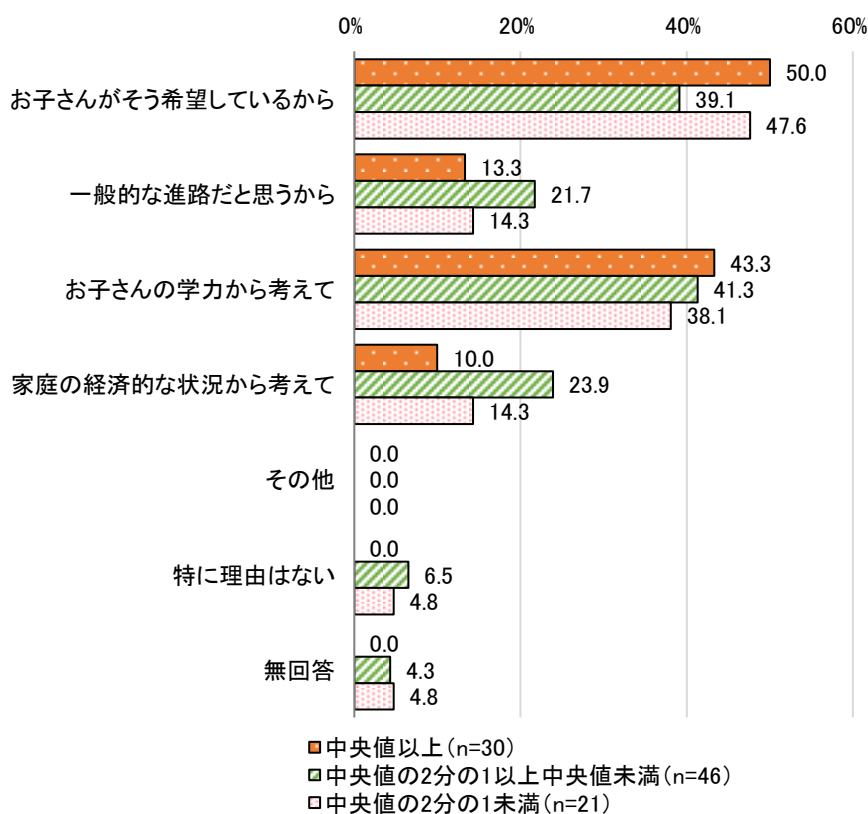


<世帯>

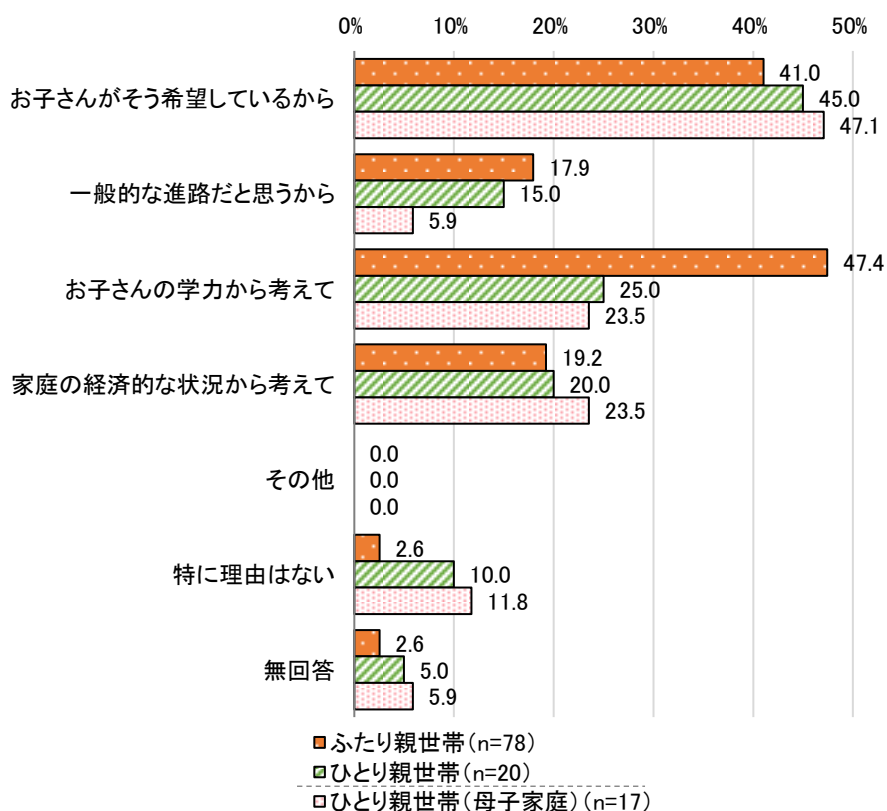


※進学段階に関する希望・展望について「高校まで」と考える理由

<等価世帯収入水準>



<世帯>



3-1-7. 頼れる人の有無・相手

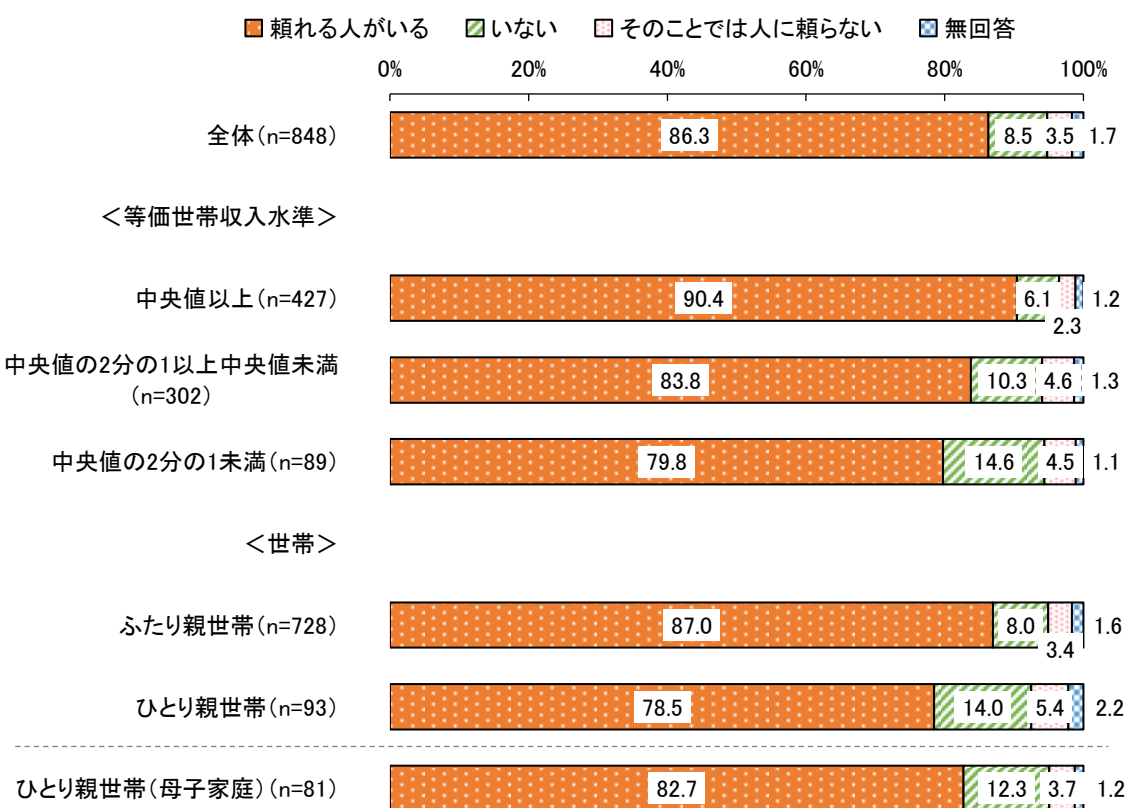
保護者票問 17 あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a～c それぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○) また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

a) 子育てに関する相談

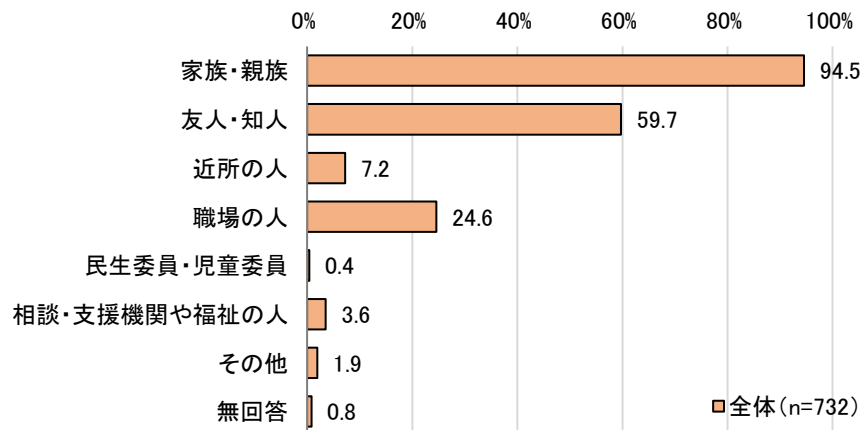
子育てに関する相談については、「頼れる人がいる」が86.3%、「いない」が8.5%、「そのことでは人に頼らない」が3.5%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」が94.5%、次いで「友人・知人」が59.7%、「職場の人」が24.6%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では6.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では10.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では14.6%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「中央値の2分の1未満」の世帯では「家族・親族」の割合が88.7%で他の世帯と比べてやや低く、「友人・知人」の割合が69.0%で高くなっている。

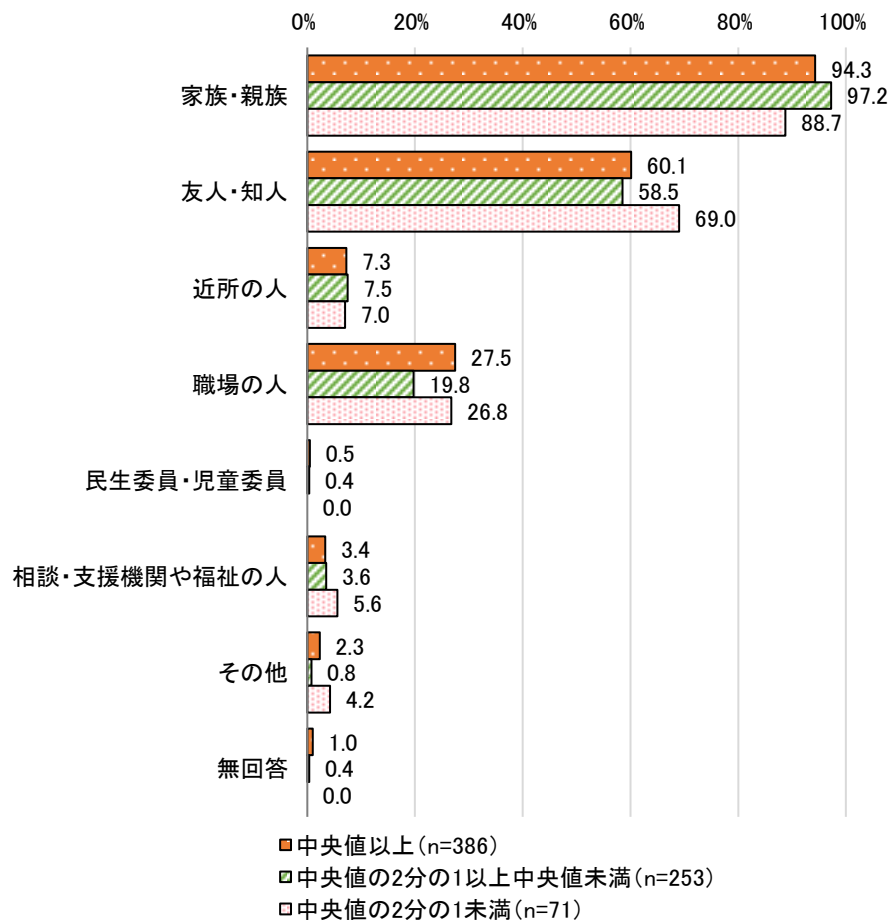
世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では8.0%、「ひとり親世帯」では14.0%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ひとり親世帯」では「近所の人」と「職場の人」の割合が「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。



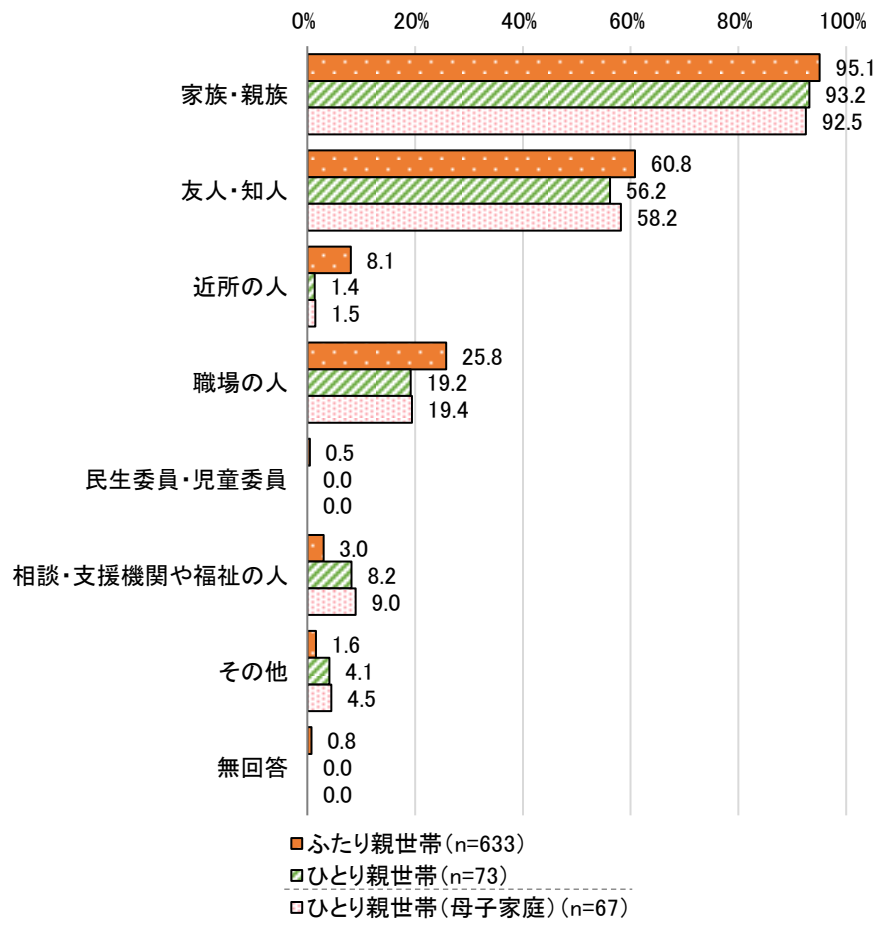
※「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手



<等価世帯収入水準>



<世帯>

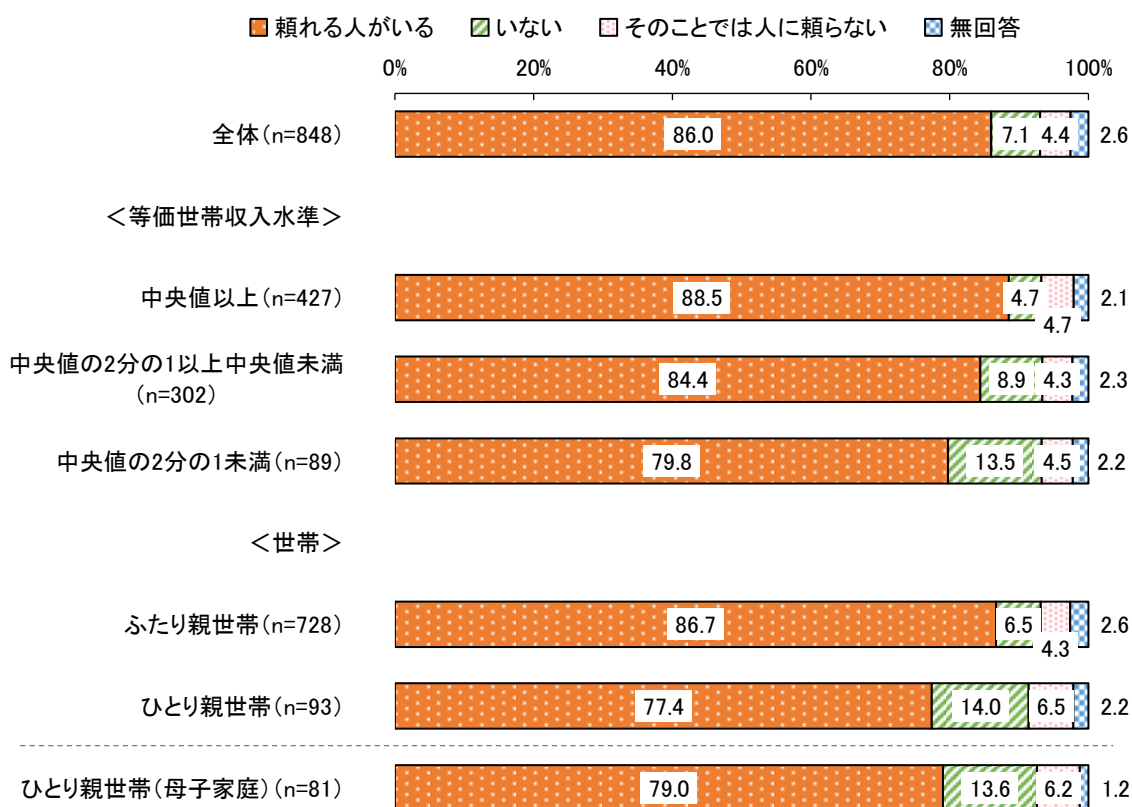


b) 重要な事柄の相談

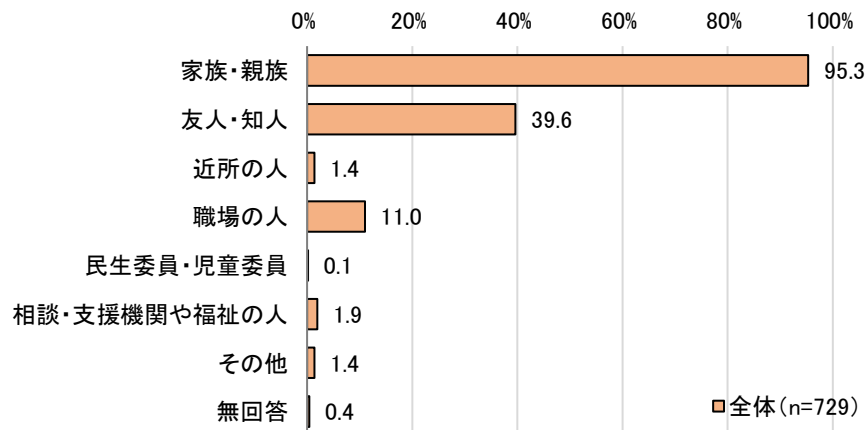
重要な事柄の相談については、「頼れる人がいる」が86.0%、「いない」が7.1%、「そのことでは人に頼らない」が4.4%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」が95.3%、次いで「友人・知人」が39.6%、「職場の人」が11.0%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では4.7%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では8.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では13.5%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「中央値の2分の1未満」の世帯では「家族・親族」の割合が88.7%で他の世帯と比べてやや低く、「友人・知人」の割合が49.3%で高くなっている。

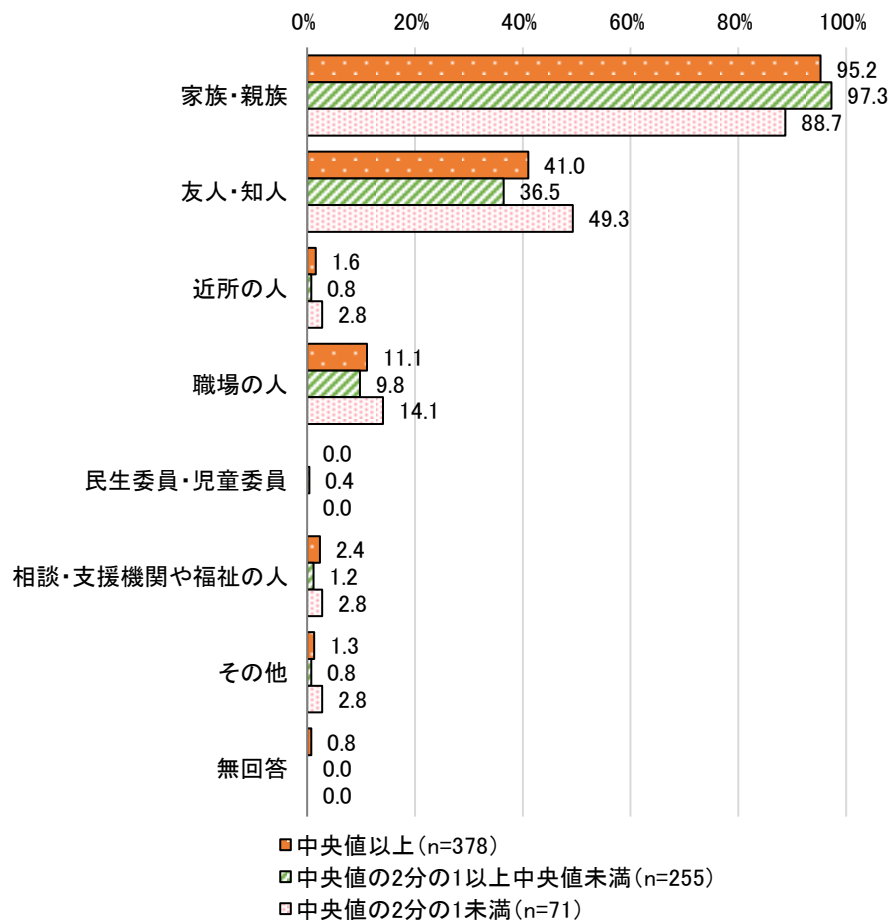
世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では6.5%、「ひとり親世帯」では14.0%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ひとり親世帯」では「家族・親族」の割合が「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。



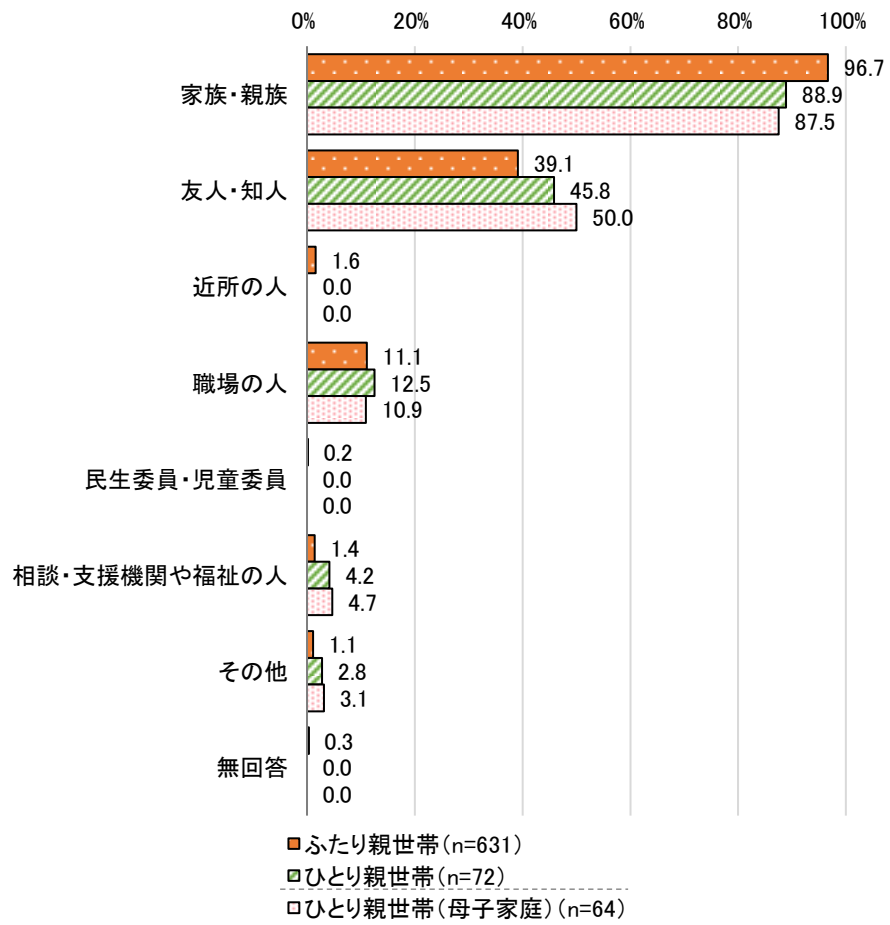
※「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手



<等価世帯収入水準>



<世帯>



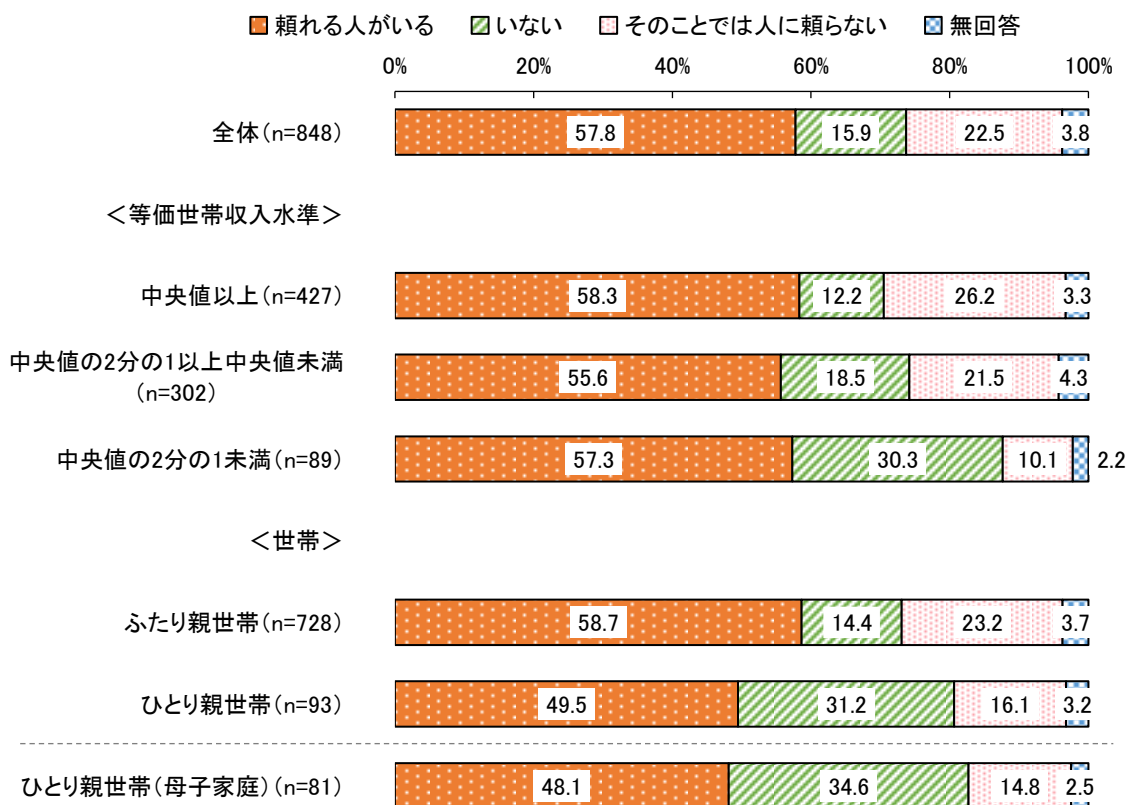
c) いざという時のお金の援助

いざという時のお金の援助については、「頼れる人がいる」が57.8%、「いない」が15.9%、「そのことでは人に頼らない」が22.5%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「家族・親族」が99.2%となっている。

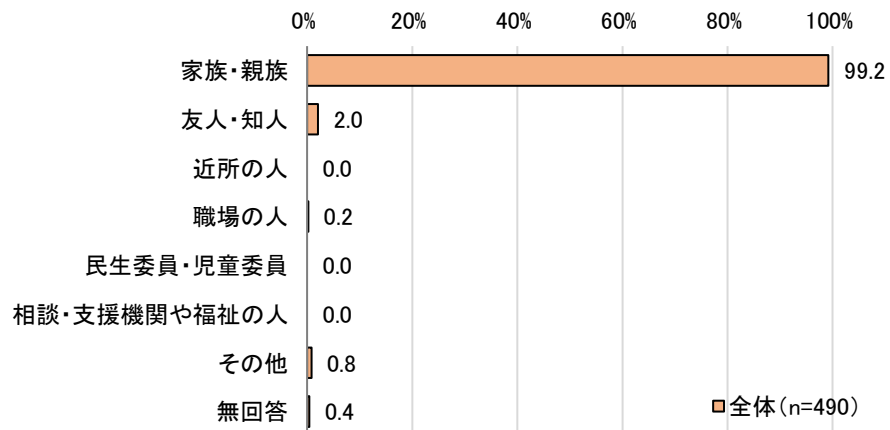
等価世帯収入水準別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「中央値以上」の世帯では12.2%、「中央値の2分の1以上中央値未

満」の世帯では18.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では30.3%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、どの世帯でも「家族・親族」の割合が高くなっている。

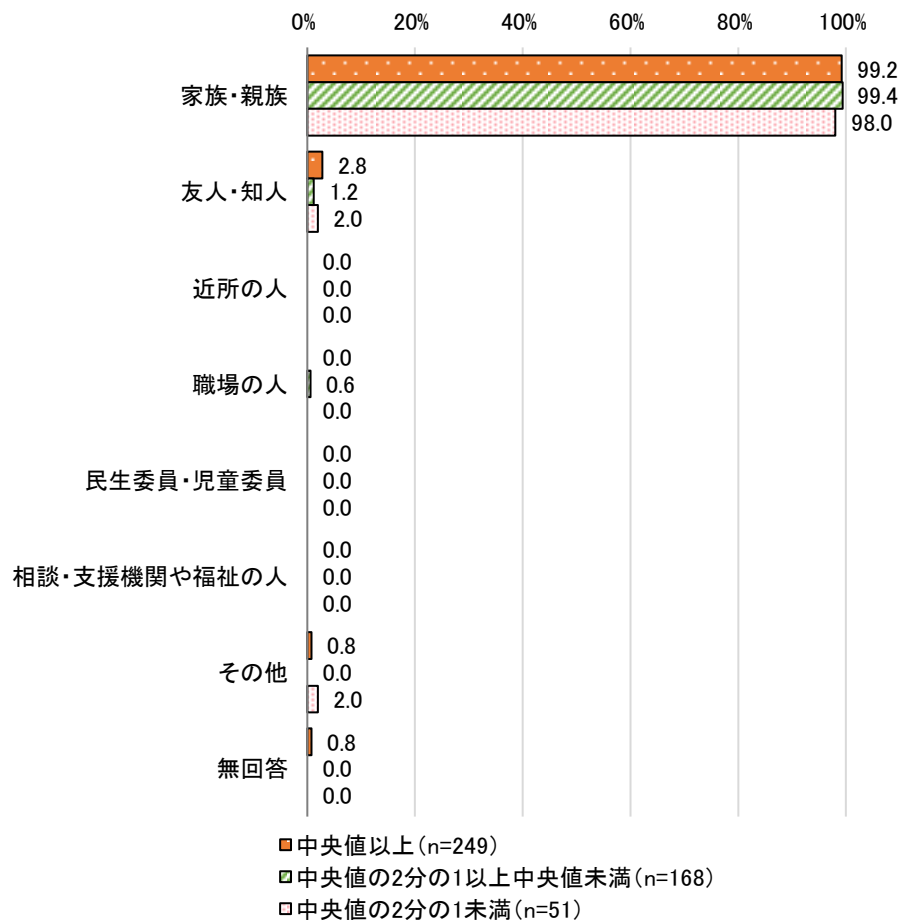
世帯の状況別にみると、頼れる人が「いない」と回答した割合は、「ふたり親世帯」では14.4%、「ひとり親世帯」では31.2%となっている。また、「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手は、「ひとり親世帯」、「ふたり親世帯」とともに「家族・親族」の割合が高くなっている。



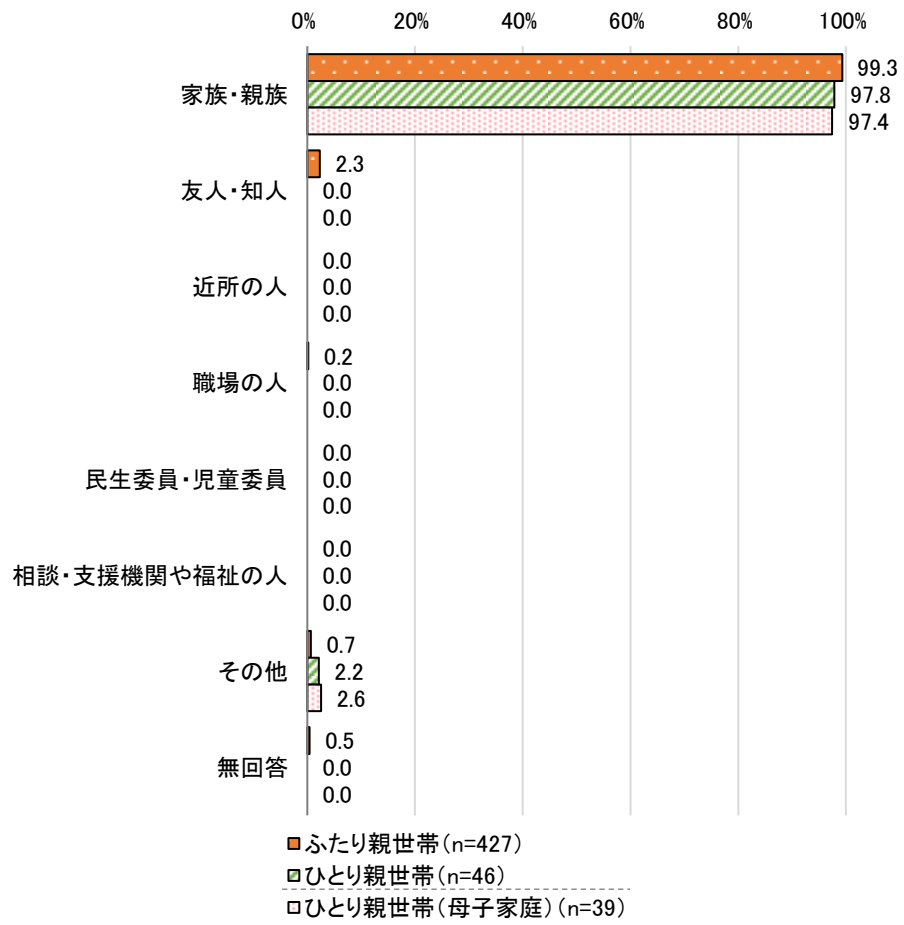
※「頼れる人がいる」と回答した場合の相談相手



<等価世帯収入水準>



<世帯>



3-1-8. 日常的な生活の状況

(1) 保護者の心理的な状態

保護者票問 24 次の a)～f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

- a) 神経過敏に感じた
- b) 絶望的だと感じた
- c) そろそろ、落ち着かなく感じた
- d) 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じた
- e) 何をするのも面倒だと感じた
- f) 自分は価値のない人間だと感じた

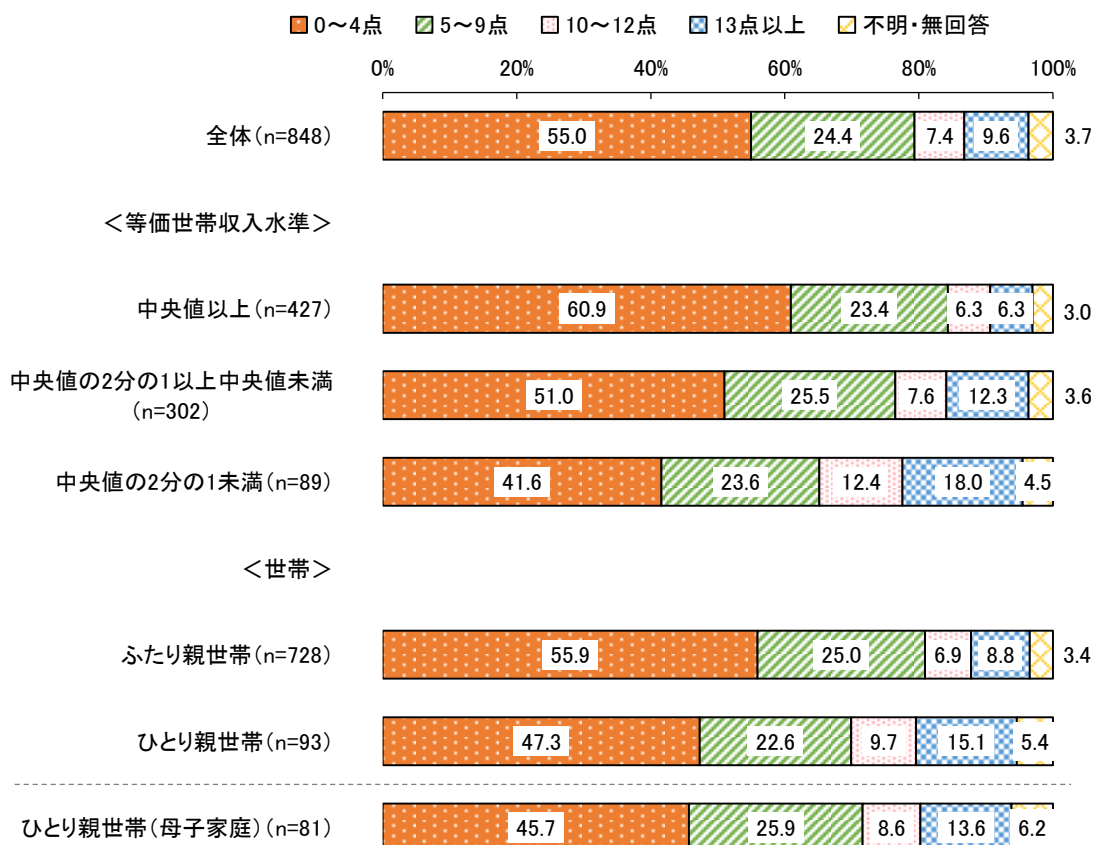
「保護者の心理的な状態」に関して、調査では「K6」と呼ばれる指標を把握するための6つの項目を設定した。この6つの調査項目の結果を足し合わせて、K6のスコアを算出した。

※K6はうつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されている。採点方法は、ひとつの質問ごとに0点(まったくない)から4点(いつも)を振り0点から24点で合計を計算した。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示している。

「うつ・不安障害相当」とされている「13点以上」の割合は9.6%であった。

等価世帯収入水準別にみると、「13点以上」の割合は、「中央値以上」の世帯では6.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では12.3%、「中央値の2分の1未満」の世帯では18.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では8.8%、「ひとり親世帯」では15.1%となっている。



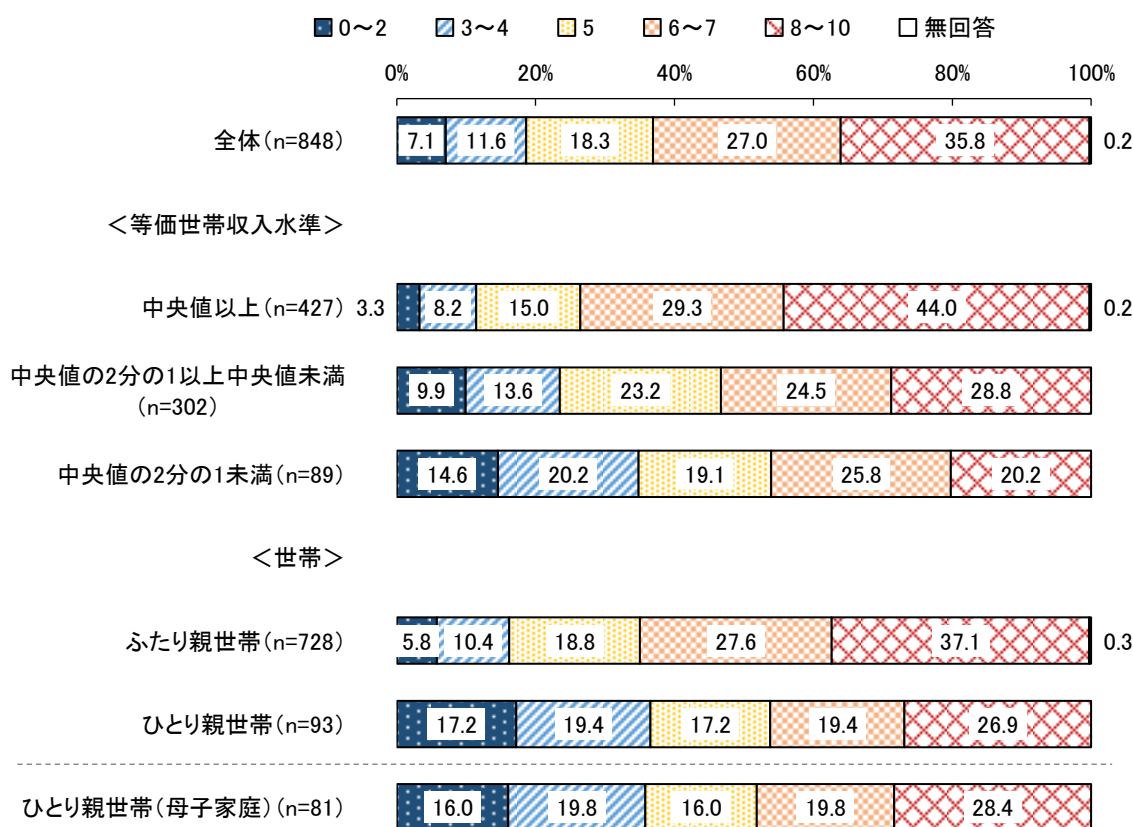
(2) 生活満足度

保護者票問 25 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

生活満足度については、「0～2」が7.1%、「3～4」が11.6%、「5」が18.3、「6～7」が27.0%、「8～10」が35.8%となっており、満足度が高い方の回答割合（6～10）は62.9%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では「6～10」に該当する割合は46.1%と低く、半数以下となっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「6～10」に該当する割合は46.2%で、「ふたり親世帯」に比べて生活満足度が低くなっている。



3-2. 子どもの生活状況、「貧困の連鎖」リスクの発生状況

3-2-1. 学習の状況

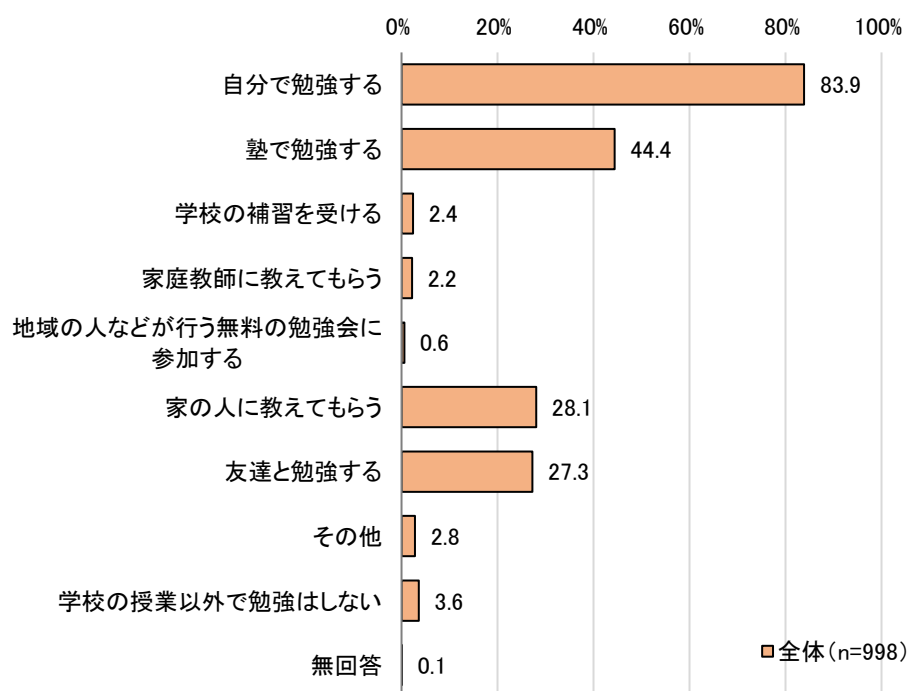
(1) ふだんの勉強の仕方

中学生票問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

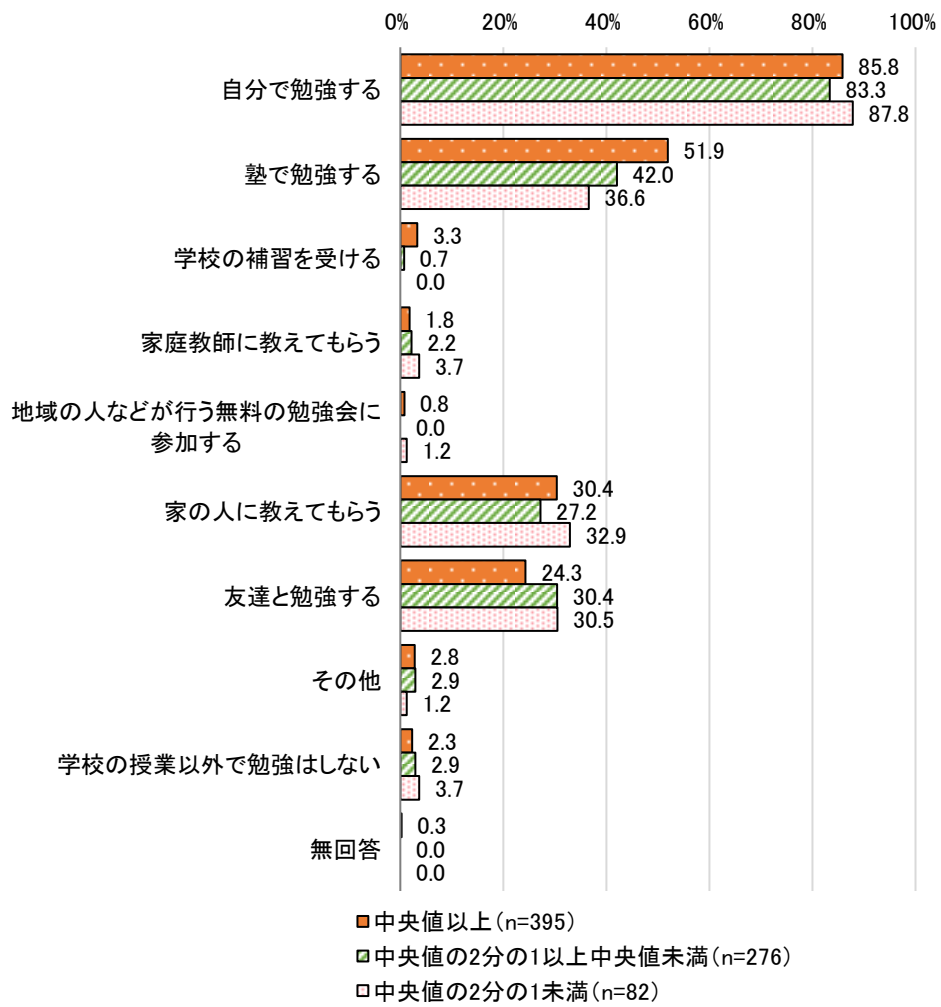
ふだん学校の授業以外でどのように勉強をしているかについては、「自分で勉強する」が83.9%、次いで「塾で勉強する」が44.4%、「家の人に教えてもらう」が28.1%、「友達と勉強する」が12.3%、「中学まで」が27.3%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「塾で勉強する」が36.6%で他の世帯と比べて低くなっている。

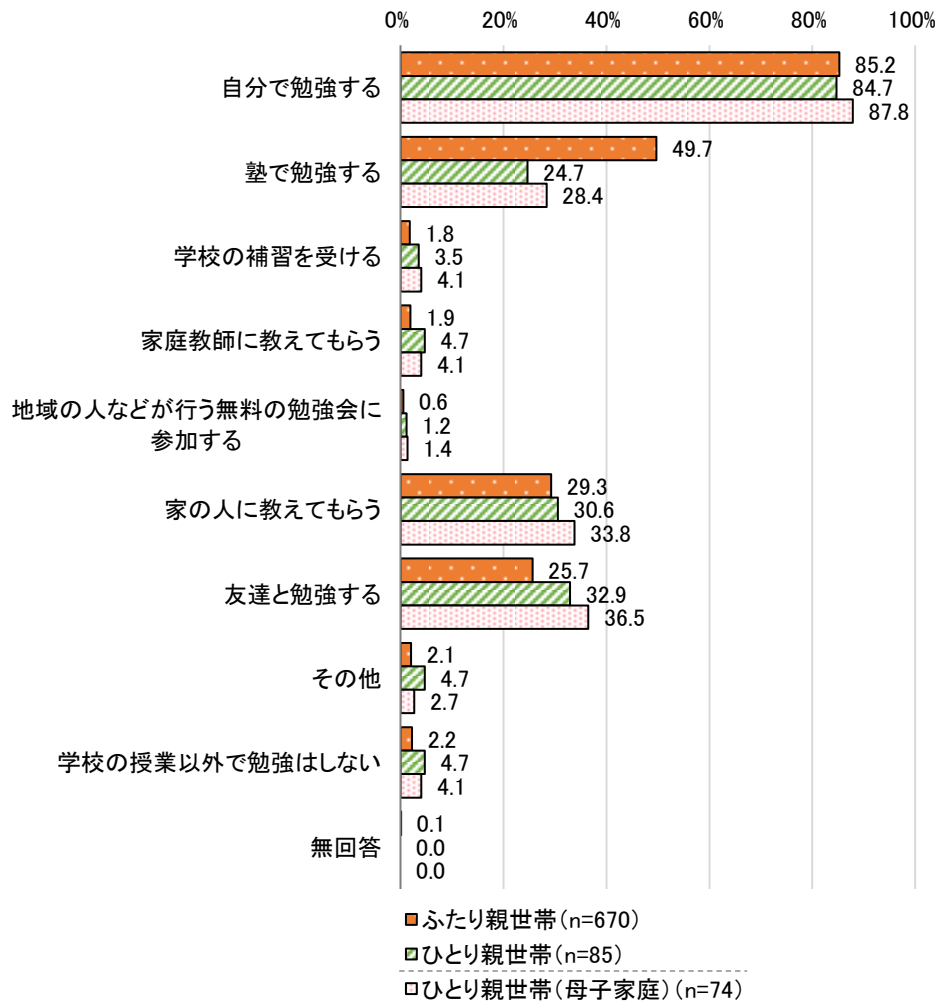
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「塾で勉強する」の割合が低く、「友達と勉強する」の割合が高くなっている。



<等価世帯収入水準>



<世帯>



(2) 1日あたりの勉強時間

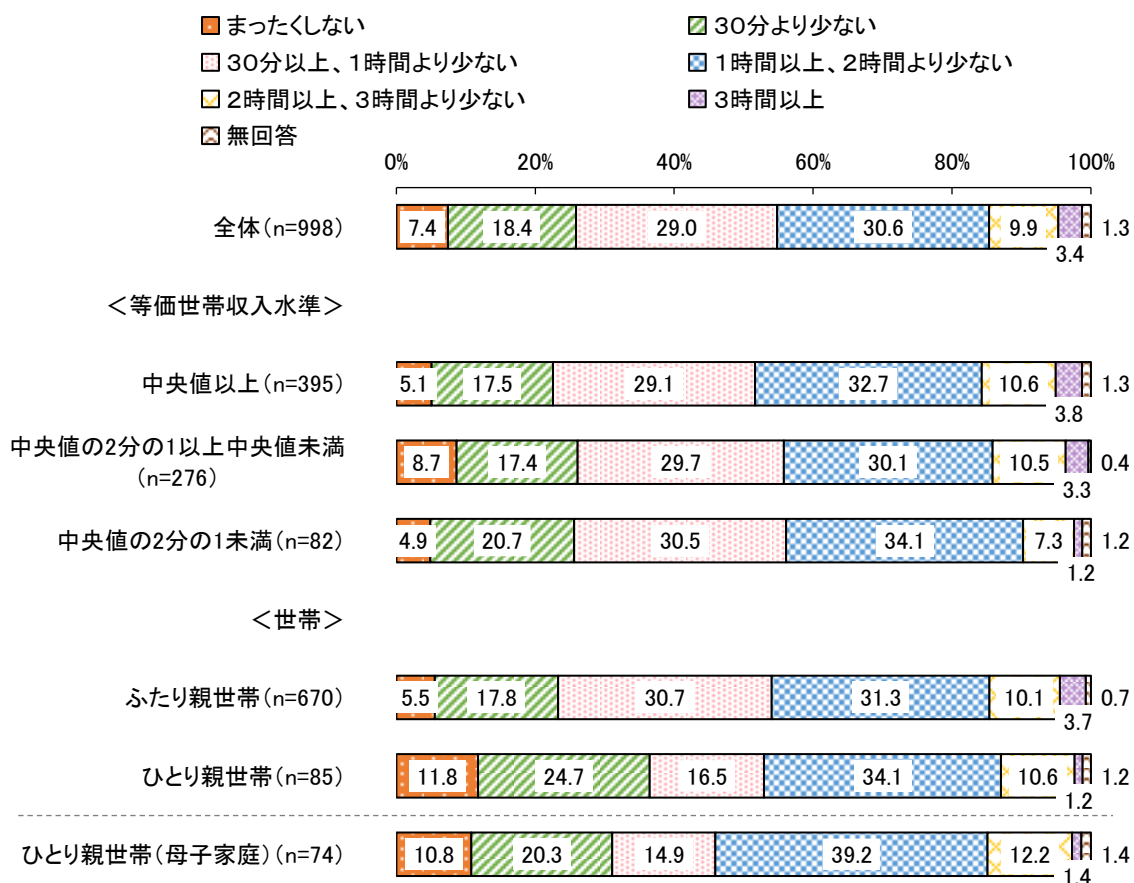
中学生票問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 学校がある日（月～金曜日）

学校の授業以外での1日あたりの勉強時間について、「学校がある日（月～金曜日）」では、「1時間以上、2時間より少ない」が30.6%でも最も割合が高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が29.0%となっている。また、「まったくしない」は7.4%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「2時間以上」勉強している割合が他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「まったくしない」の割合が高くなっている。

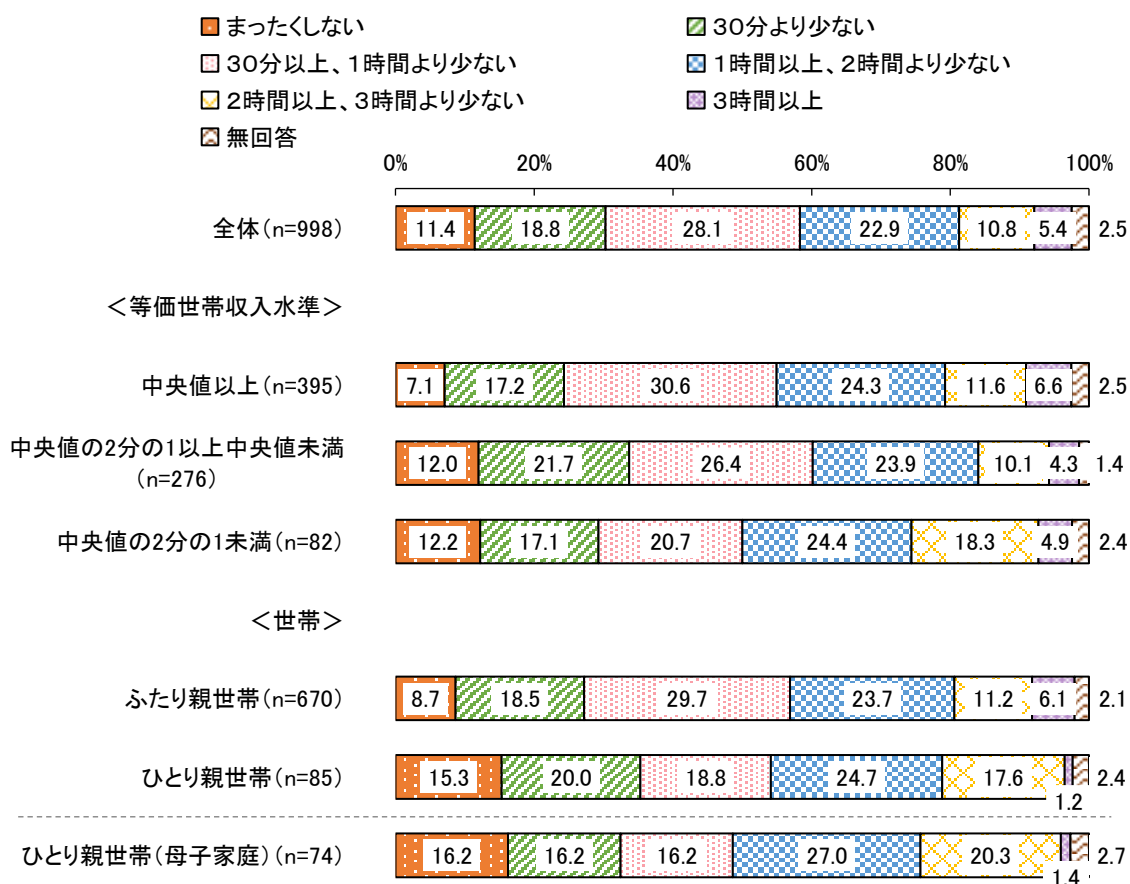


b) 学校がない日（土・日曜日・祝日）

学校の授業以外での1日あたりの勉強時間について、「学校がない日（土・日曜日・祝日）」では、「30分以上、1時間より少ない」が28.1%でも最も割合が高く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が22.9%となっている。また、「まったくしない」は11.4%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「2時間以上、3時間より少ない」が他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「まったくしない」の割合が高くなっている。



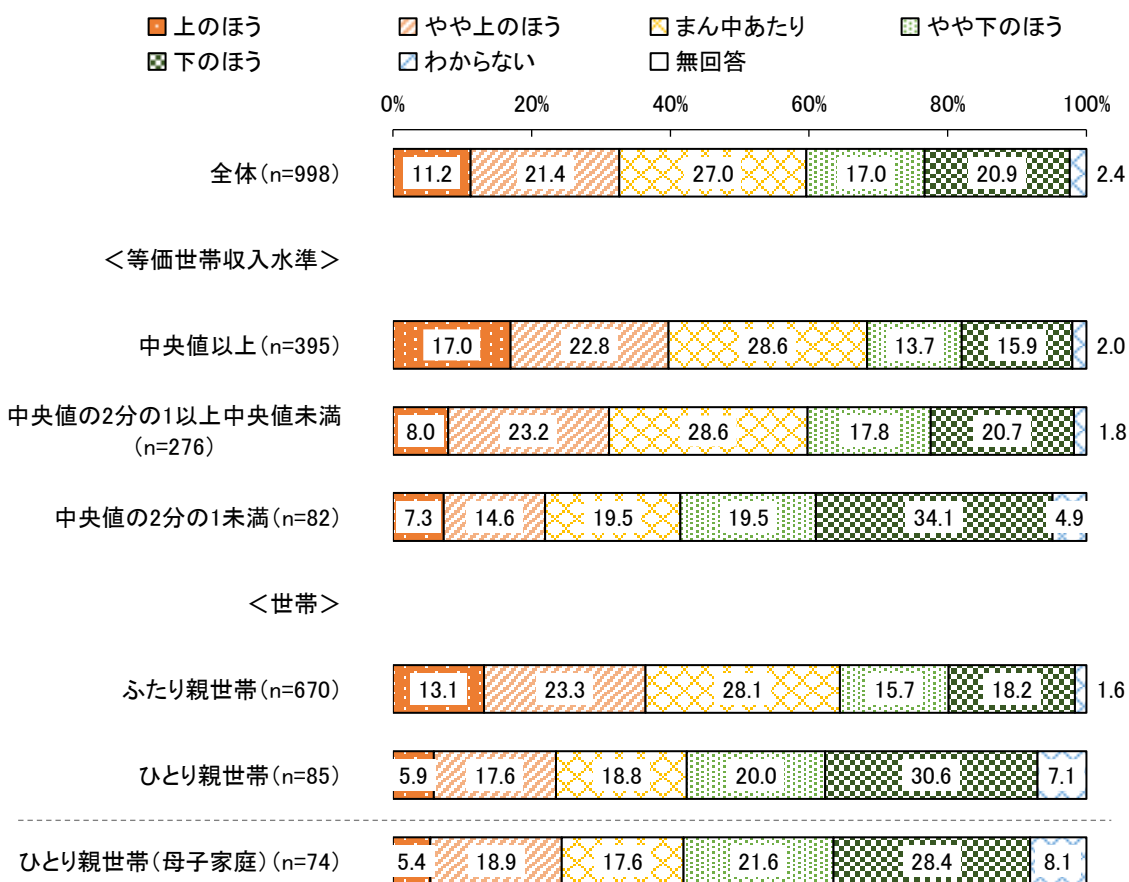
(3) クラスの中での成績

中学生票問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

クラスの中での成績については、「上のほう」は11.2%、「やや上のほう」は21.4%、「まん中あたり」は27.0%、「やや下のほう」は17.0%、「下のほう」は20.9%、「わからない」は2.4%となっている。「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は38.0%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では29.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では38.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では53.7%となっている。

世帯の状況別にみると、「やや下のほう」と「下のほう」を足し合わせた割合は、「ふたり親世帯」では33.9%、「ひとり親世帯」では50.6%となっている。



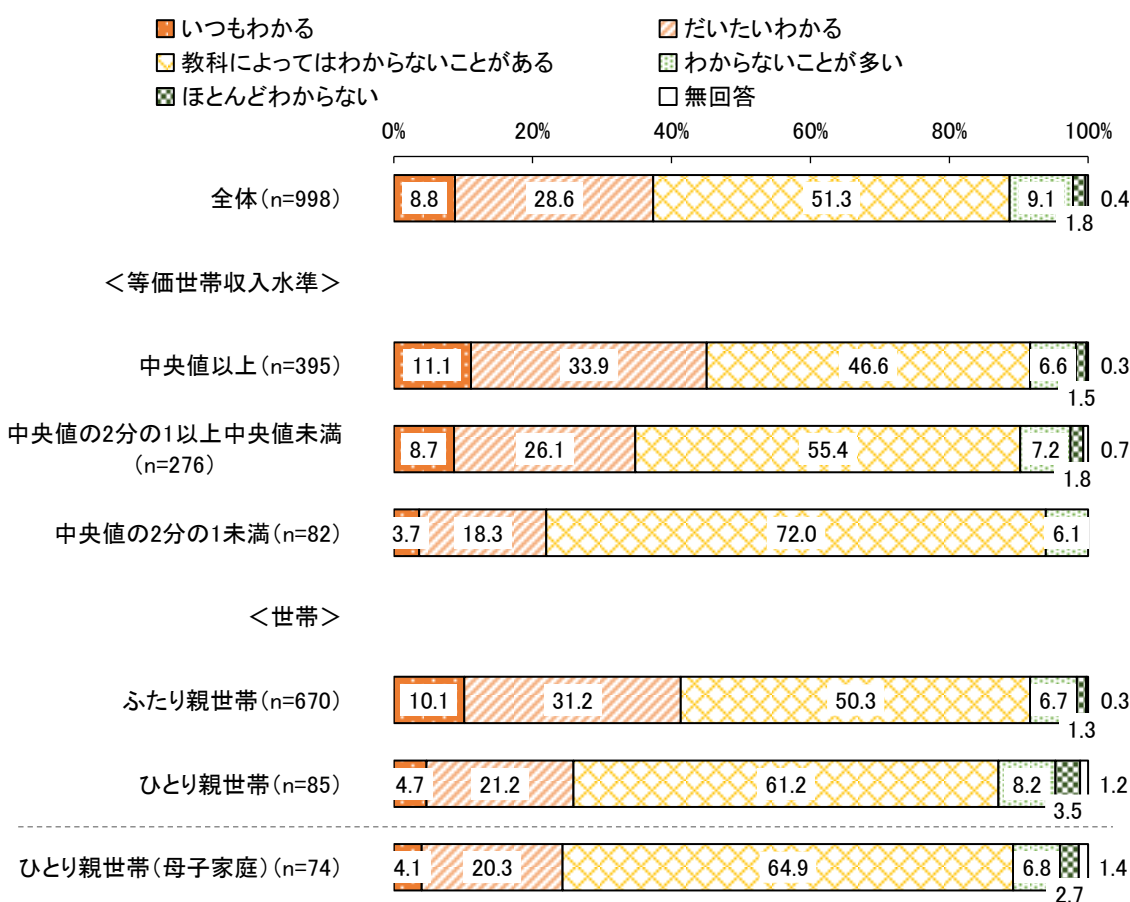
(4) 授業の理解状況

中学生票問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

学校の授業の理解状況については、「いつもわかる」は8.8%、「だいたいわかる」は28.6%、「教科によってはわからないことがある」は51.3%、「わからないことが多い」は9.1%、「ほとんどわからない」は1.8%となっている。「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を足し合わせた割合は10.9%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を足し合わせた割合は、「中央値以上」の世帯では8.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では9.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では6.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を足し合わせた割合は、「ふたり親世帯」では8.1%、「ひとり親世帯」では11.8%となっている。



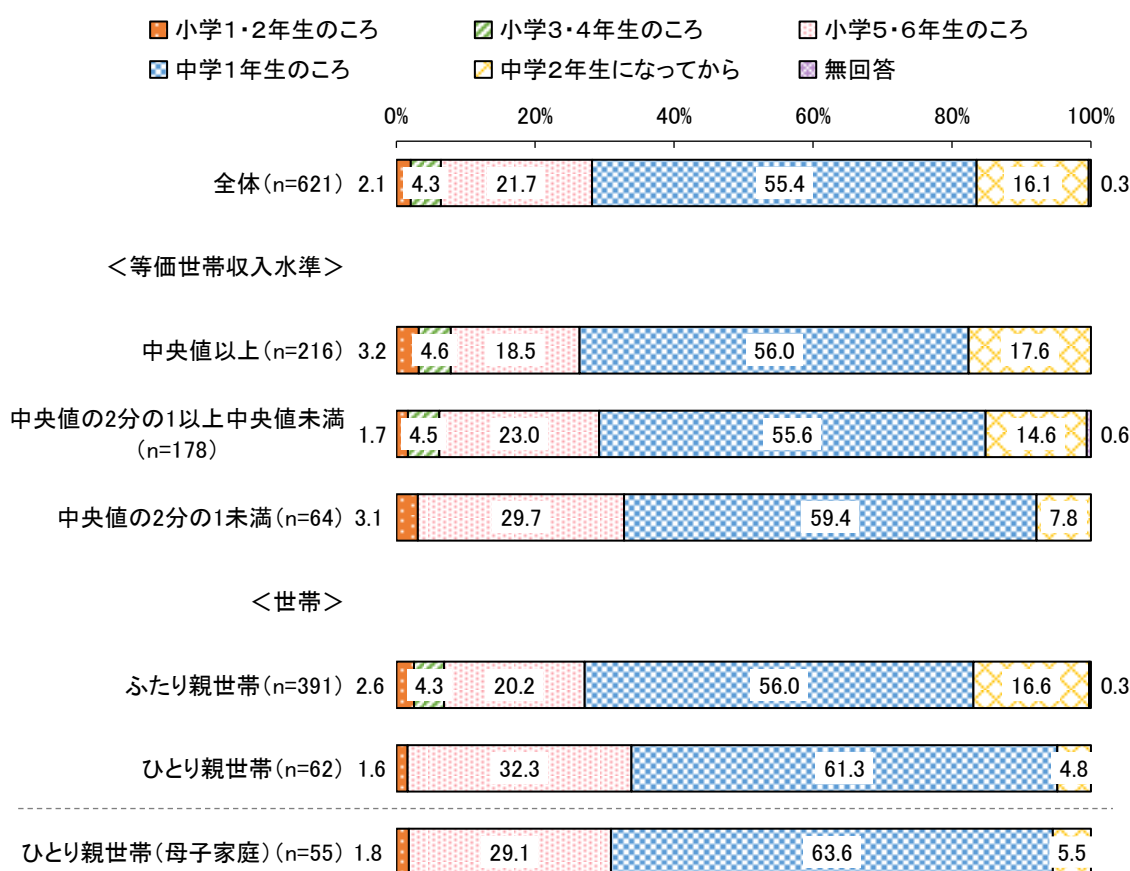
(5) 授業がわからなくなった時期

中学生票問 6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

授業がわからなくなった時期については、「小学1・2年生のころ」が2.1%、「小学3・4年生のころ」が4.3%、「小学5・6年生のころ」が21.7%、「中学1年生のころ」が55.4%、「中学2年生になってから」が16.1%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「中学2年生になってから」の割合が7.8%と他の世帯と比べて低く、それよりも早い時期であったとの回答割合が高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「中学2年生になってから」の割合が4.8%と低く、それよりも早い時期であったとの回答割合が高くなっている。



3-2-2. 進学希望

(1) 進学したいと思う教育段階

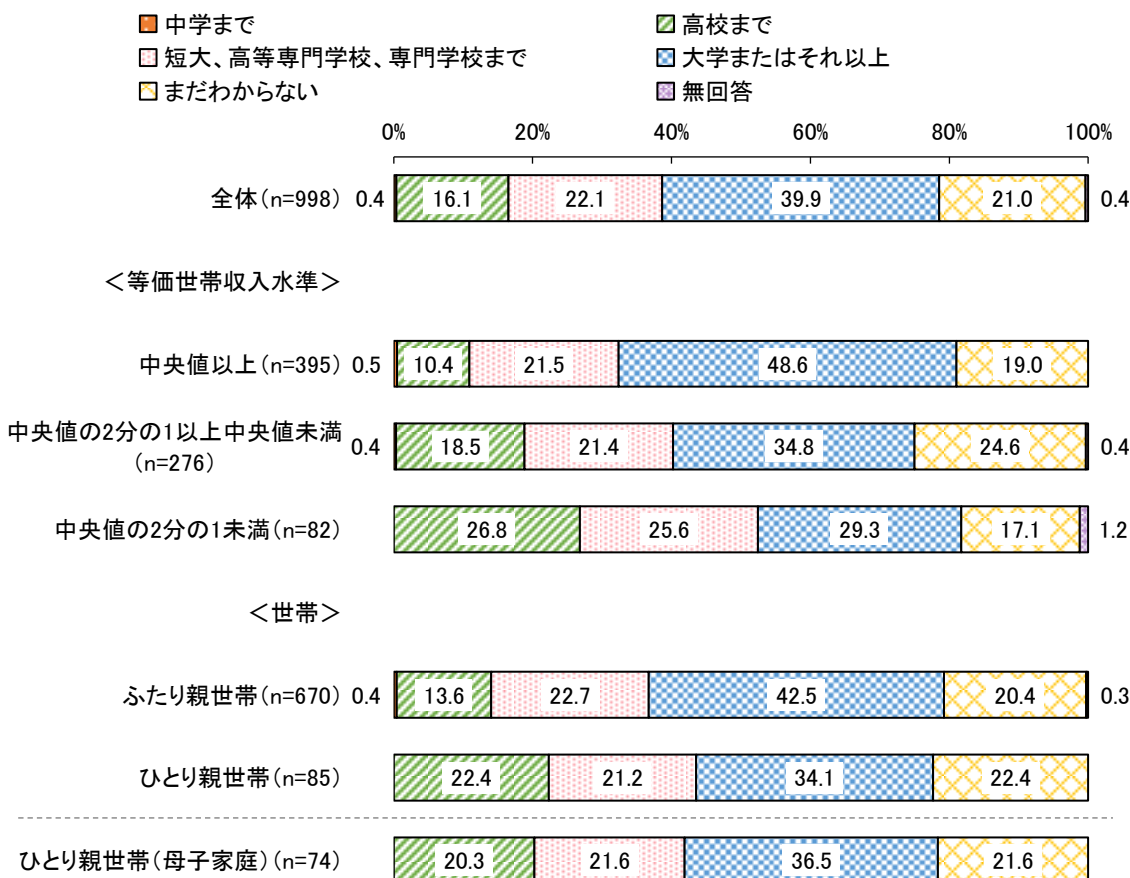
中学生票問7 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

将来どの段階まで進学したいかについては、「大学またはそれ以上」が39.9%、次いで「短大、高等専門学校、専門学校まで」が22.1%、「まだわからない」が21.0%、「高校まで」が16.1%、「中学まで」が0.4%となっている。

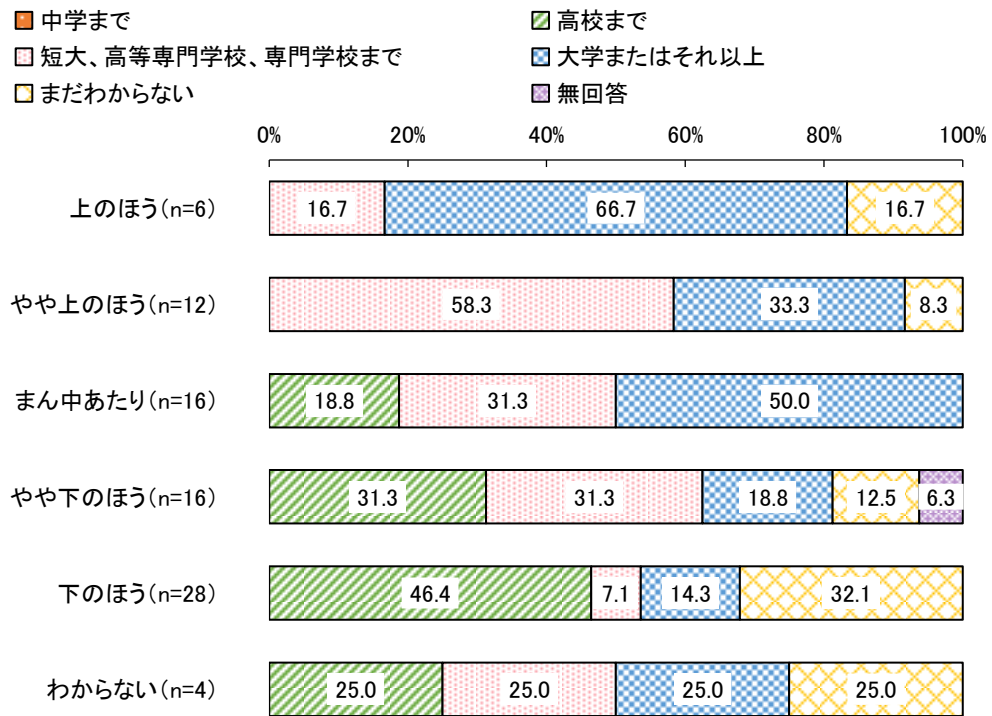
等価世帯収入水準別にみると、「大学またはそれ以上」の割合は、「中央値以上」の世帯では48.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では34.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では29.3%となっており、「中央値の2分の1未満」の世帯では「高校生まで」の割合が26.8%で他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では「ふたり親世帯」に比べて、「大学またはそれ以上」の割合が低く、「高校生まで」の割合が高くなっている。

また、等価世帯収入水準が「中央値の2分の1未満」の場合に、クラスの中での成績別にみると、収入の水準が低い場合であっても、成績が「上のほう」の場合には、進学したいと思う教育段階について「大学またはそれ以上」の割合が66.7%と比較的高くなっている（回答件数が少ない点には留意）。



※等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合のクラスの中での成績別



(2) 進学希望についてそう考える理由

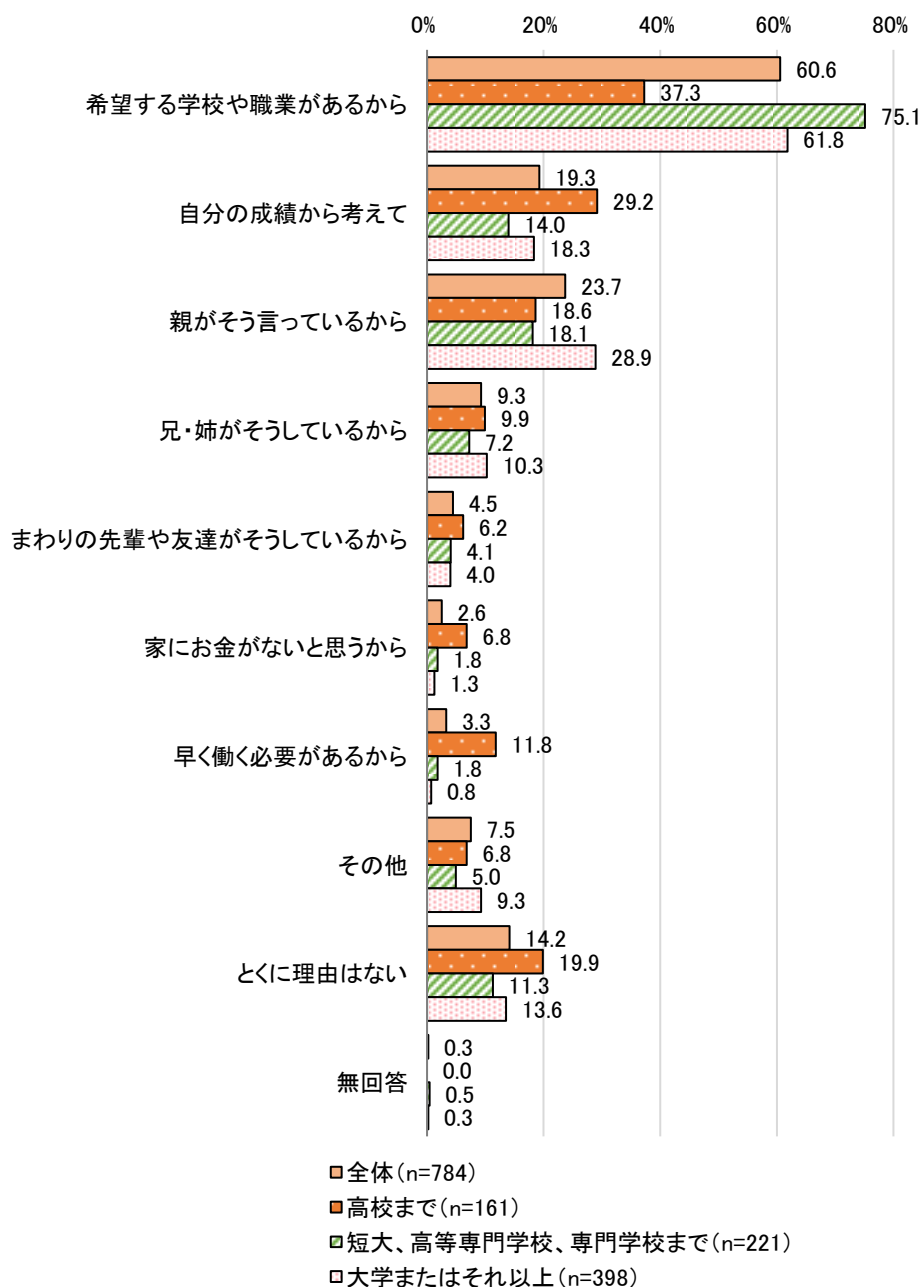
中学生票問8 前の質問で1～4と答えた場合、その理由を教えてください。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

進学希望の理由については、「希望する学校や職業があるから」が60.6%、次いで「親がそう言っているから」が23.7%、「自分の成績から考えて」が19.3%となっている。

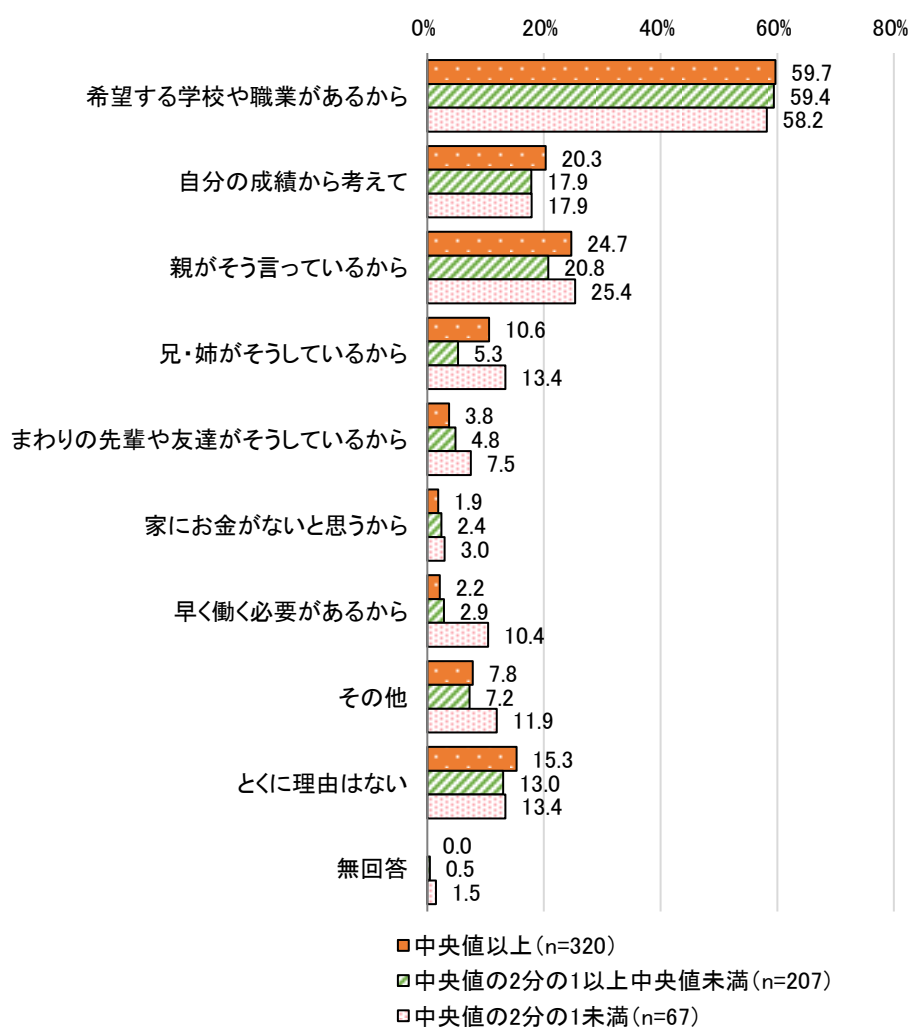
進学したいと思う教育段階別にみると、進学希望の教育段階が「高校まで」の場合には、「自分の成績から考えて」が29.2%、「家にお金がないと思うから」が6.8%、「早く働く必要があるから」が11.8%、「とくに理由はない」が19.9%で、他の場合と比べて高くなっている。他方で、「希望する学校や職業があるから」の回答割合は低くなっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「早く働く必要があるから」が10.4%と他の世帯と比べて高くなっている。

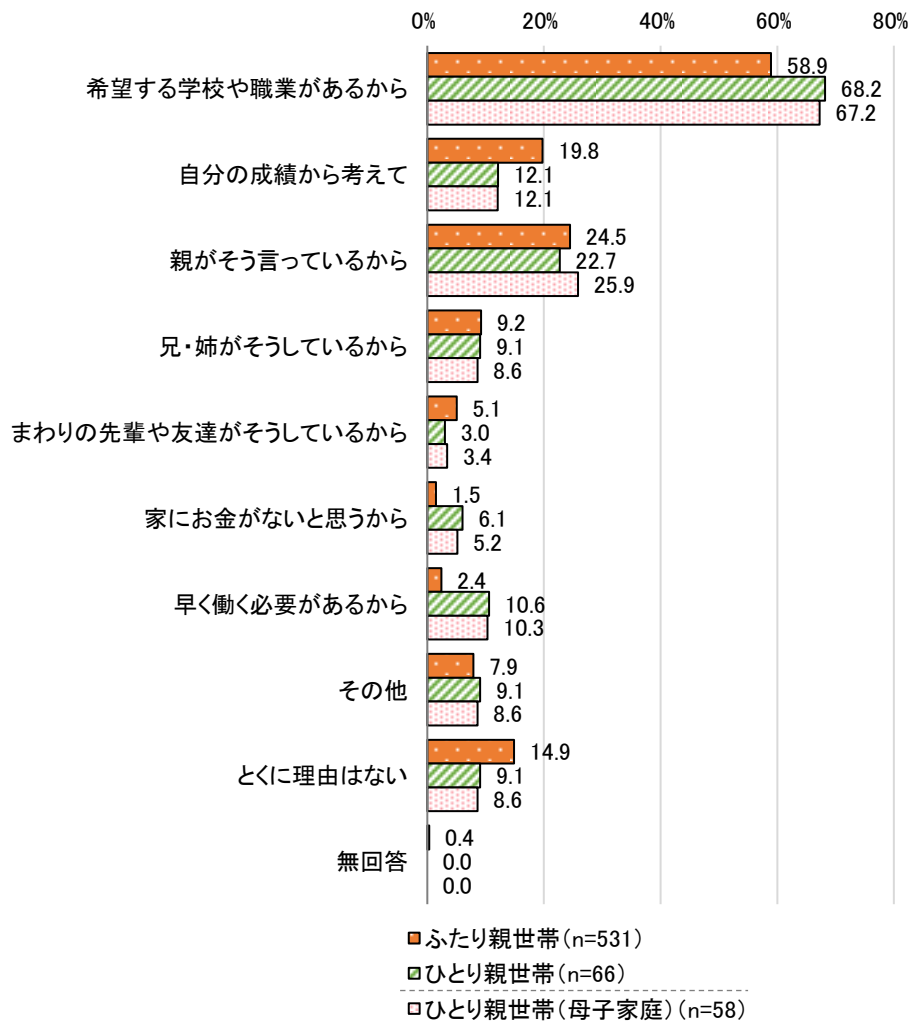
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「希望する学校や職業があるから」が68.2%、「早く働く必要があるから」が10.6%と「ふたり親世帯」と比べて高く、他方で、「自分の成績から考えて」が12.1%と低くなっている。



<等価世帯収入水準>

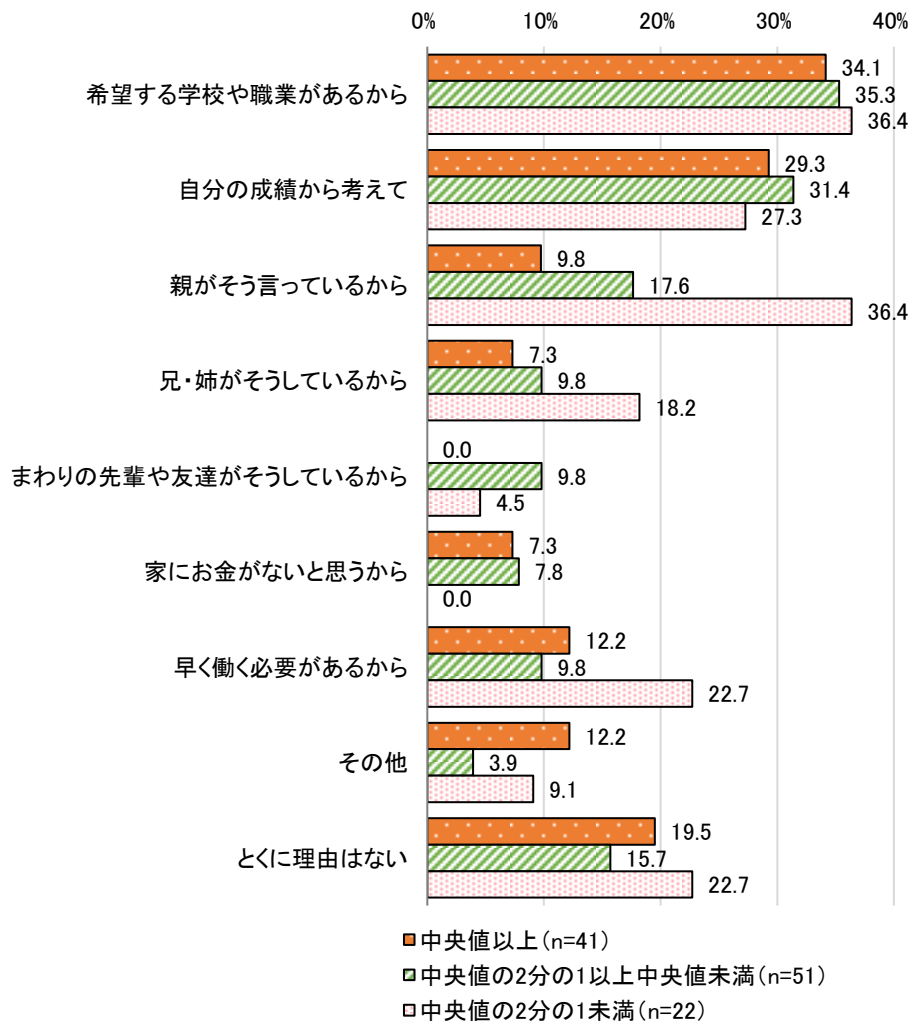


<世帯>

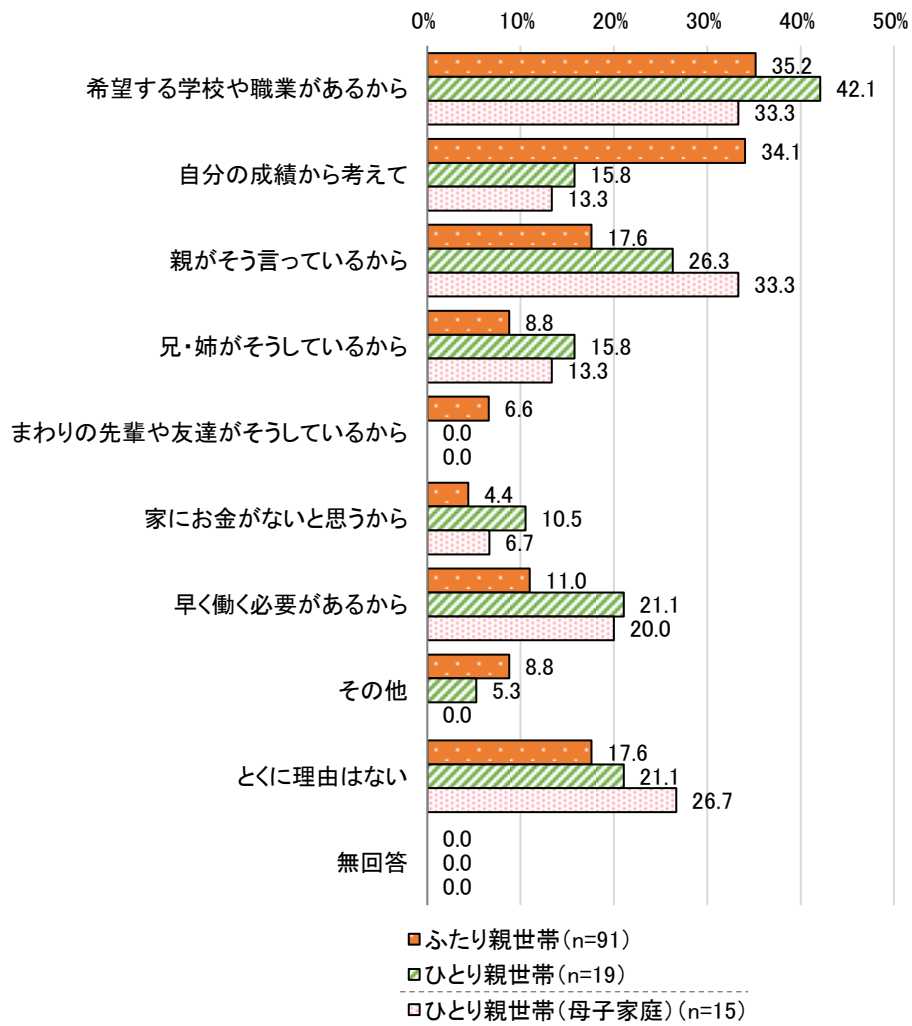


※進学希望の教育段階について「高校まで」と考える理由

<等価世帯収入水準>

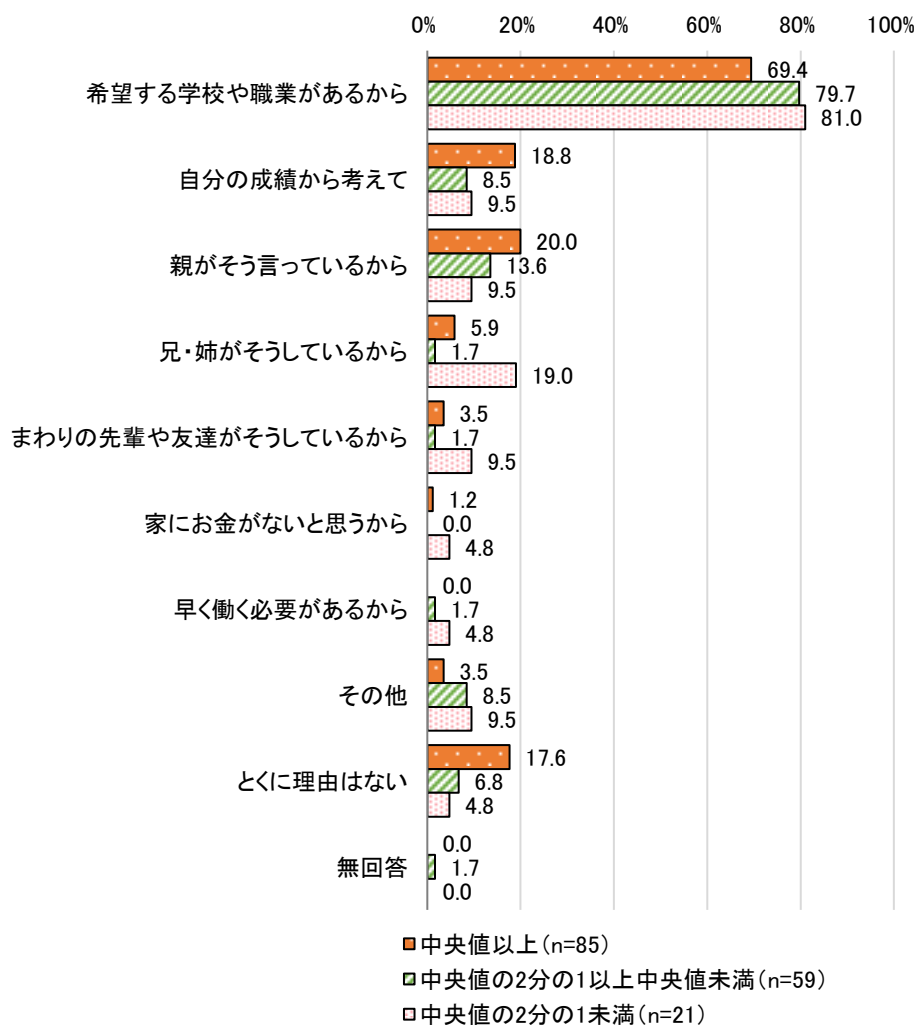


<世帯>

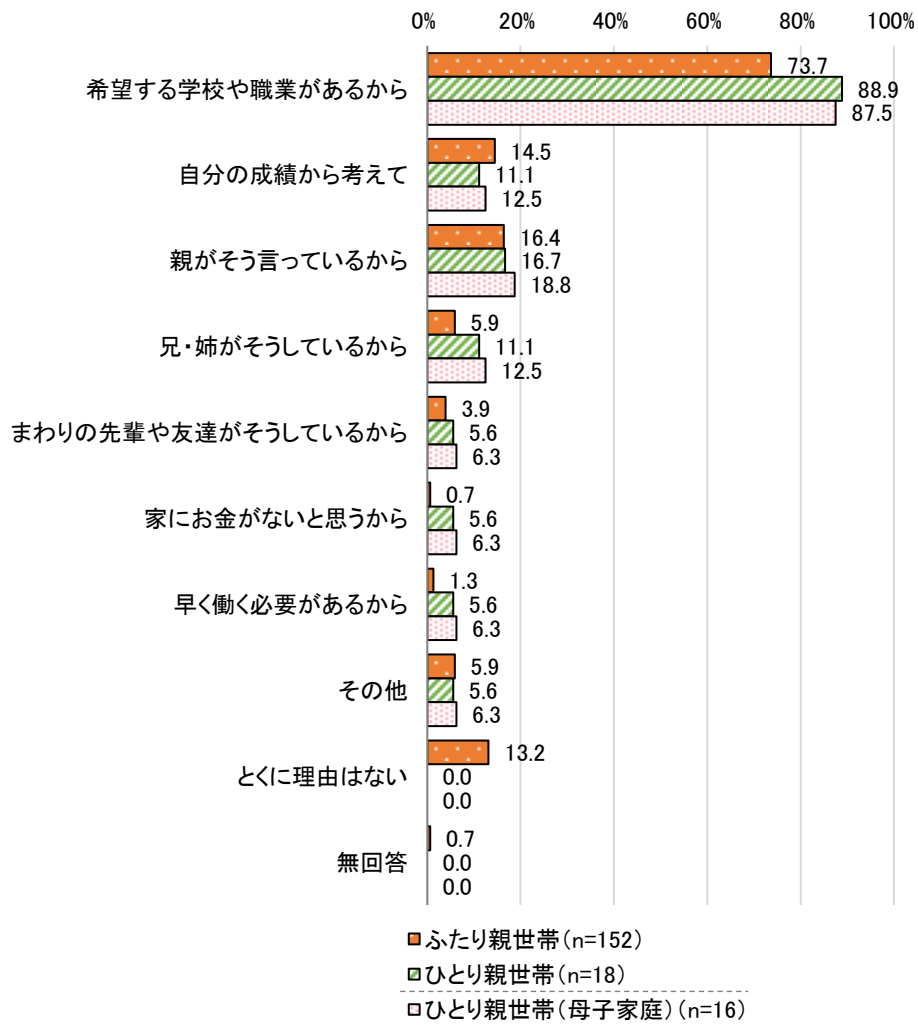


※進学希望の教育段階について「短大・高専・専門学校まで」と考える理由

<等価世帯収入水準>

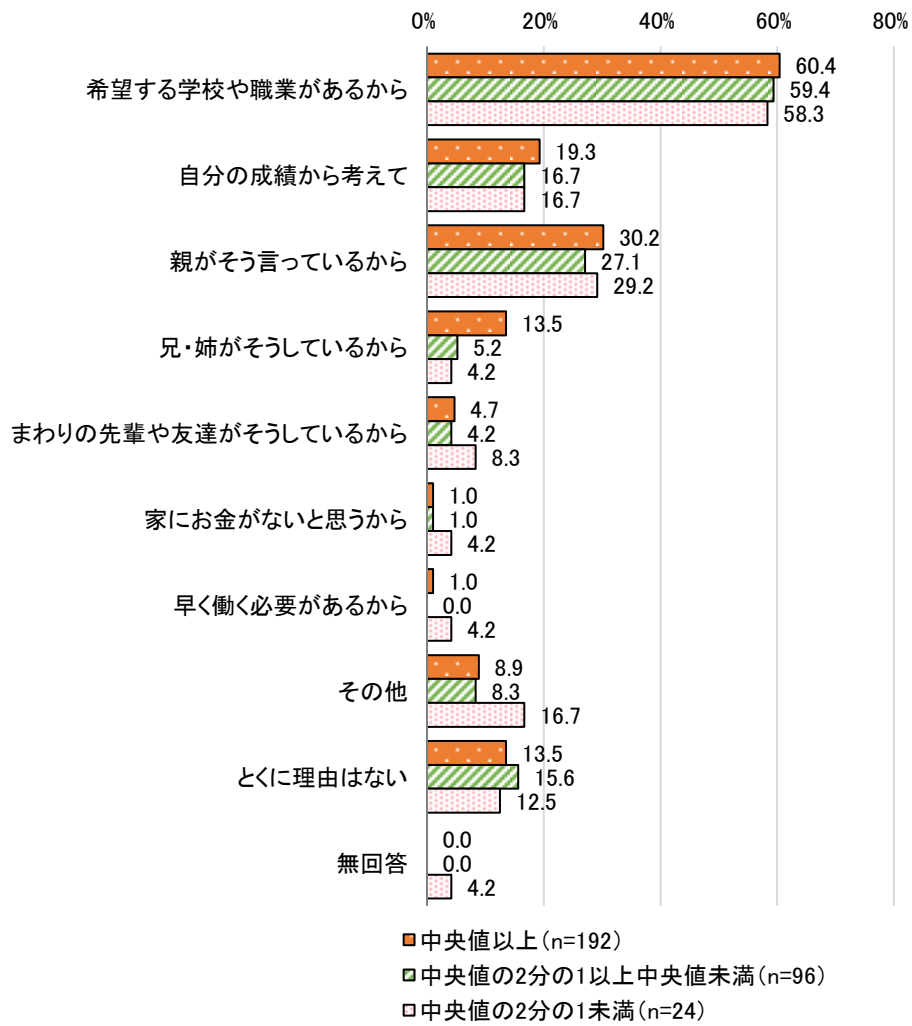


<世帯>

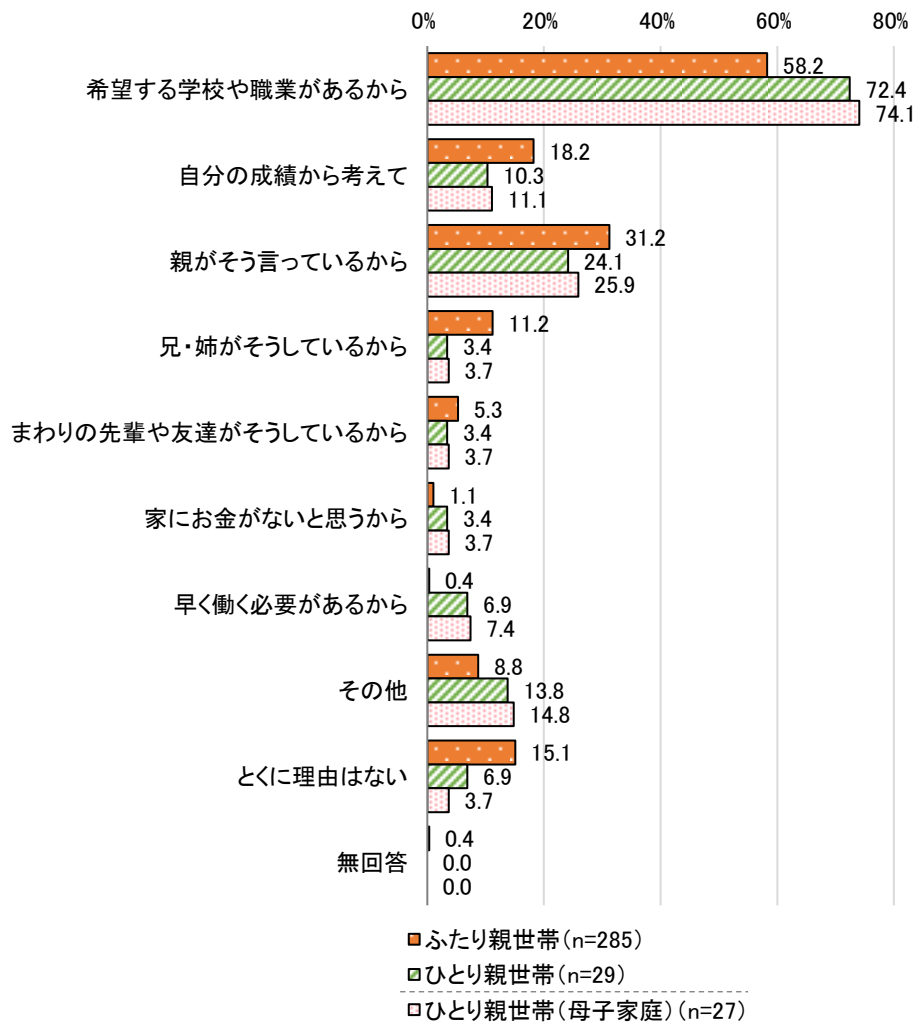


※進学希望の教育段階について「大学またはそれ以上」と考える理由

<等価世帯収入水準>



<世帯>



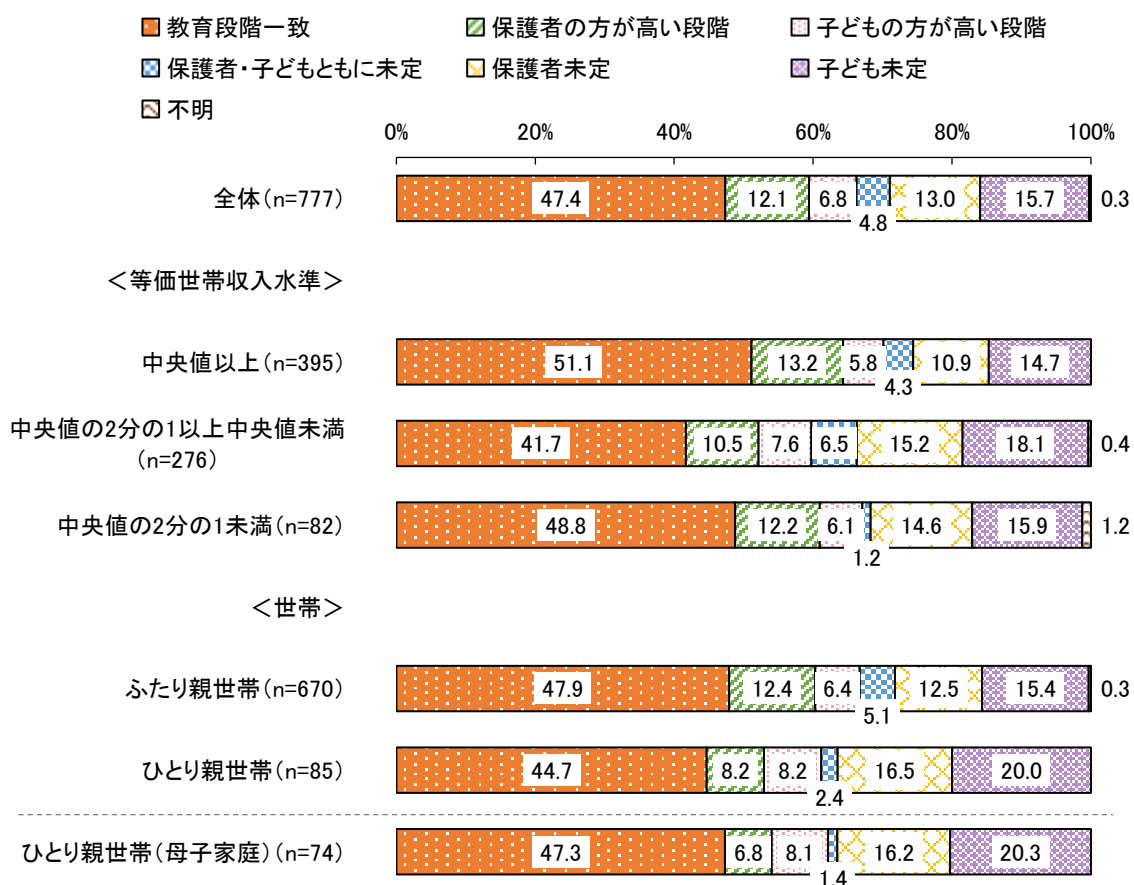
(3) 保護者と子供の考えの一致・不一致の状況

保護者が考える子どもの進学段階に関する希望・展望の回答と、子ども自身が進学したいと思う教育段階の一致・不一致の状況について、「教育段階一致」、「保護者の方が高い段階」、「子どもの方が高い段階」、「保護者・子どもともに未定」、「保護者未定」、「子ども未定」の6分類で集計した。

その結果、「教育段階一致」の割合は47.4%となっている。

等価世帯収入の水準別にみると、「教育段階一致」の割合は、「中央値以上」の世帯では51.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では41.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では48.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「教育段階一致」の割合は、「ふたり親世帯」では47.9%、「ひとり親世帯」では44.7%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では47.3%となっている。



3-2-3. 部活動等への参加状況

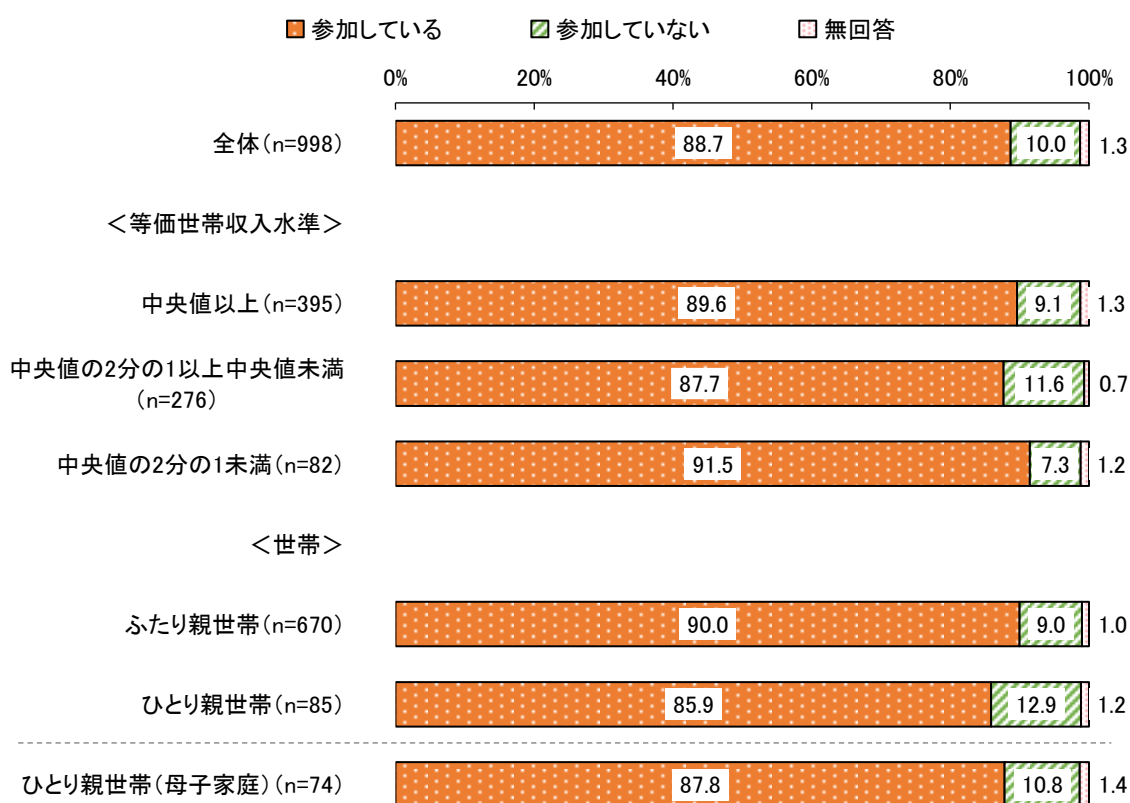
(1) 部活動等への参加状況

中学生票問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加について、「参加している」が88.7%、「参加していない」が10.0%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「参加していない」の割合は、「中央値以上」の世帯では9.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では11.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では7.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「参加していない」の割合は、「ふたり親世帯」では9.0%、「ひとり親世帯」では12.9%となっている。

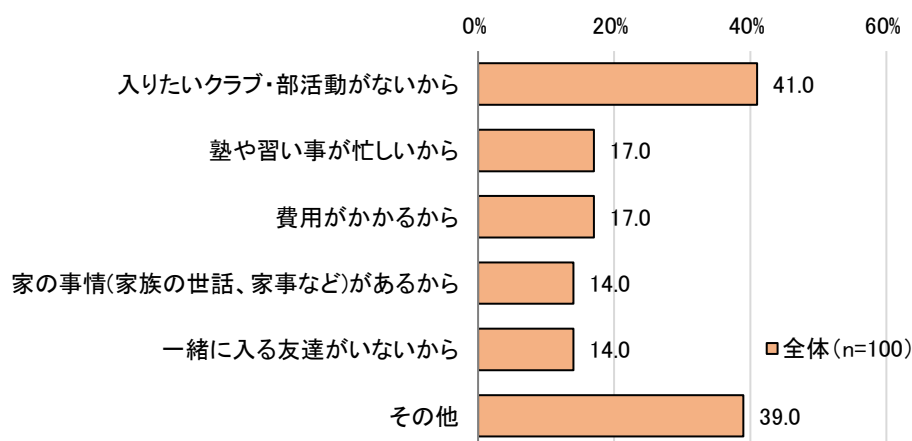


(2) 部活動等に参加していない理由

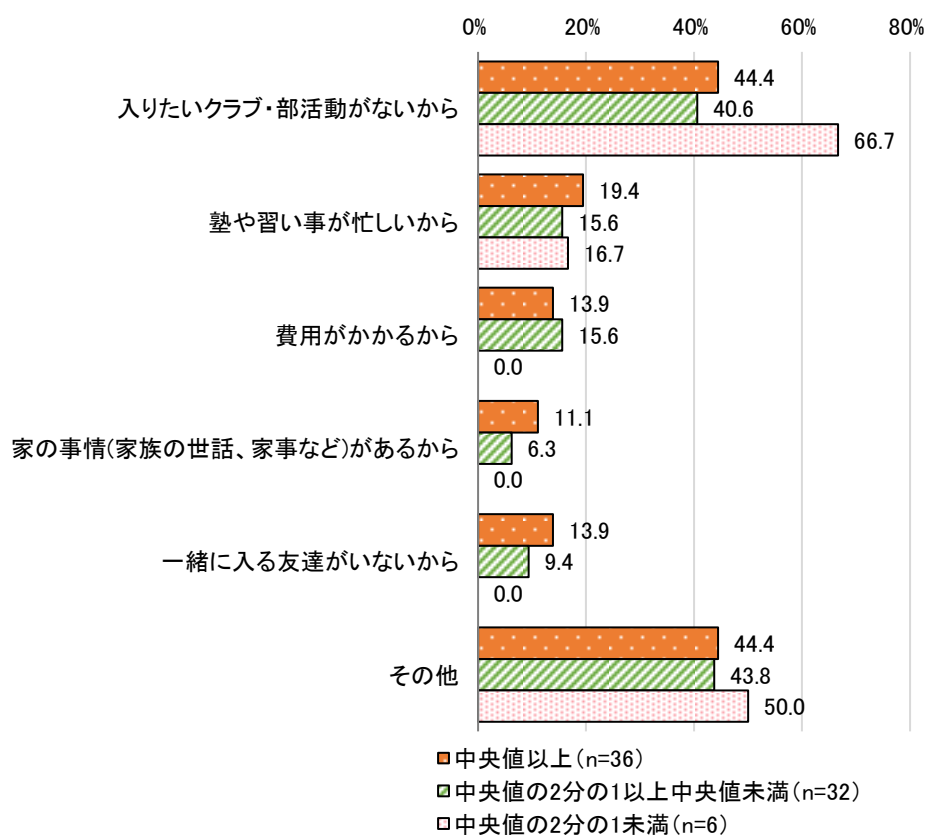
中学生票問 10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

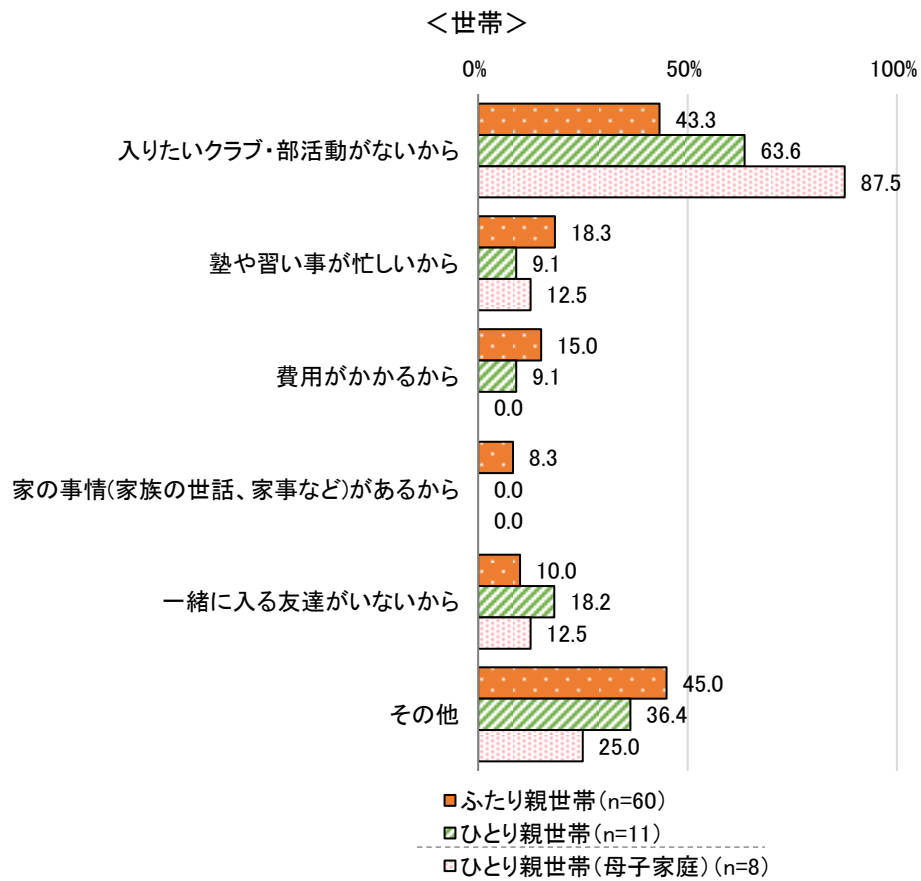
部活動等に参加していない理由については、「入りたいクラブ・部活動がないから」が 41.0%、次いで「その他」が 39.0%、「塾や習い事が忙しいから」と「費用がかかるから」が 17.0%となっている。

等価世帯収入水準別、世帯の状況別の結果は該当者数が少ないため、グラフのみの掲載とする。



<等価世帯収入水準>





3-2-4. 日常的な生活の状況

(1) 食事の状況

中学生票問 11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～c それぞれについて、あてはまるものの1つに○)

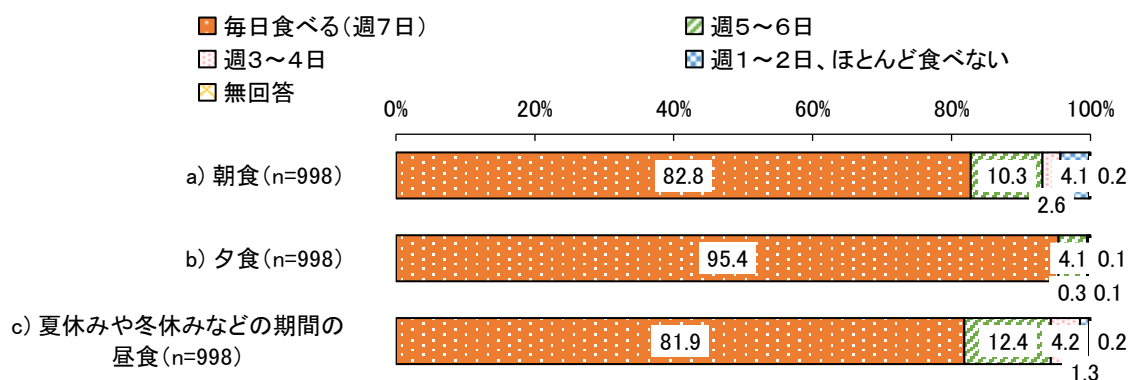
食事の状況について、「朝食」については、「毎日食べる（週7日）」が82.8%、「週5～6日」が10.3%、「週3～4日」が2.6%、「週1～2日、ほとんど食べない」が4.1%となっている。

「夕食」については、「毎日食べる（週7日）」が95.4%、「週5～6日」が4.1%、「週3～4日」が0.3%、「週1～2日、ほとんど食べない」が0.1%となっている。

「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」については、「毎日食べる（週7日）」が81.9%、「週5～6日」が12.4%、「週3～4日」が4.2%、「週1～2日、ほとんど食べない」が1.3%となっている。

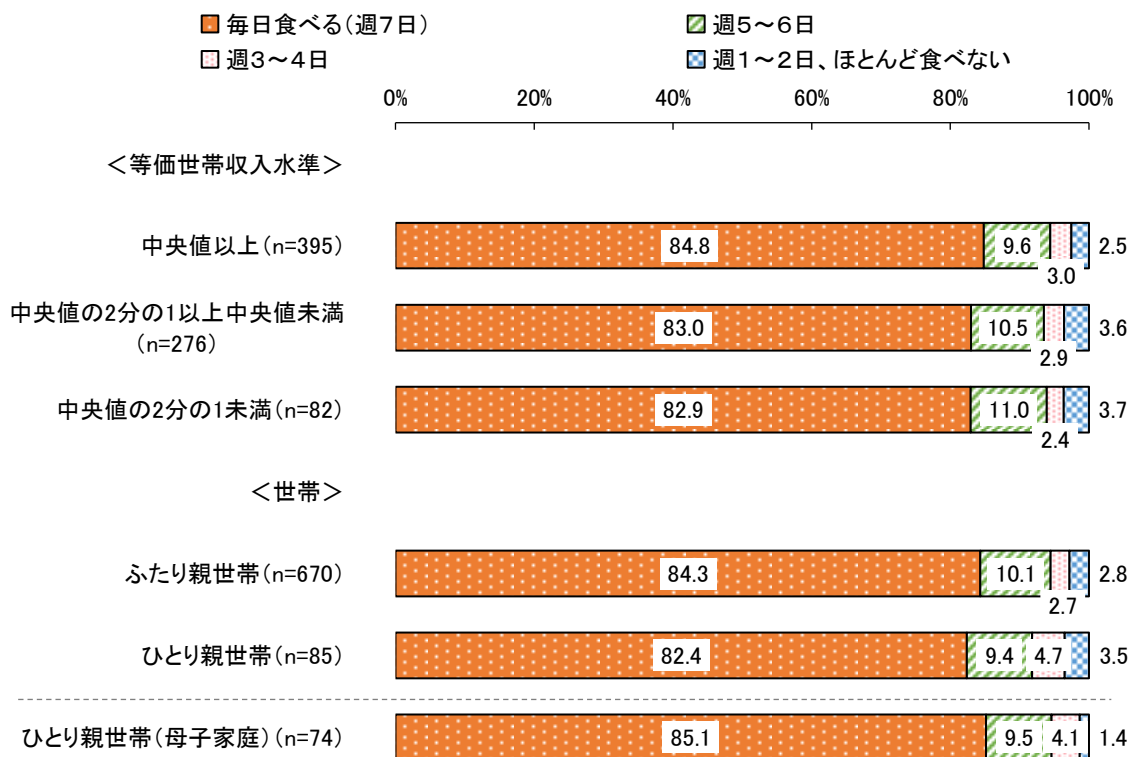
等価世帯収入水準別にみると、「中央値以上」の世帯では、「毎日食べる（週7日）」の割合が、「朝食」については84.8%と他の世帯と比べて高いが、「夕食」と「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」についてはそれぞれ94.7%、81.3%と他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「毎日食べる（週7日）」の割合が、「朝食」について82.4%、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」について81.2%と、「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。

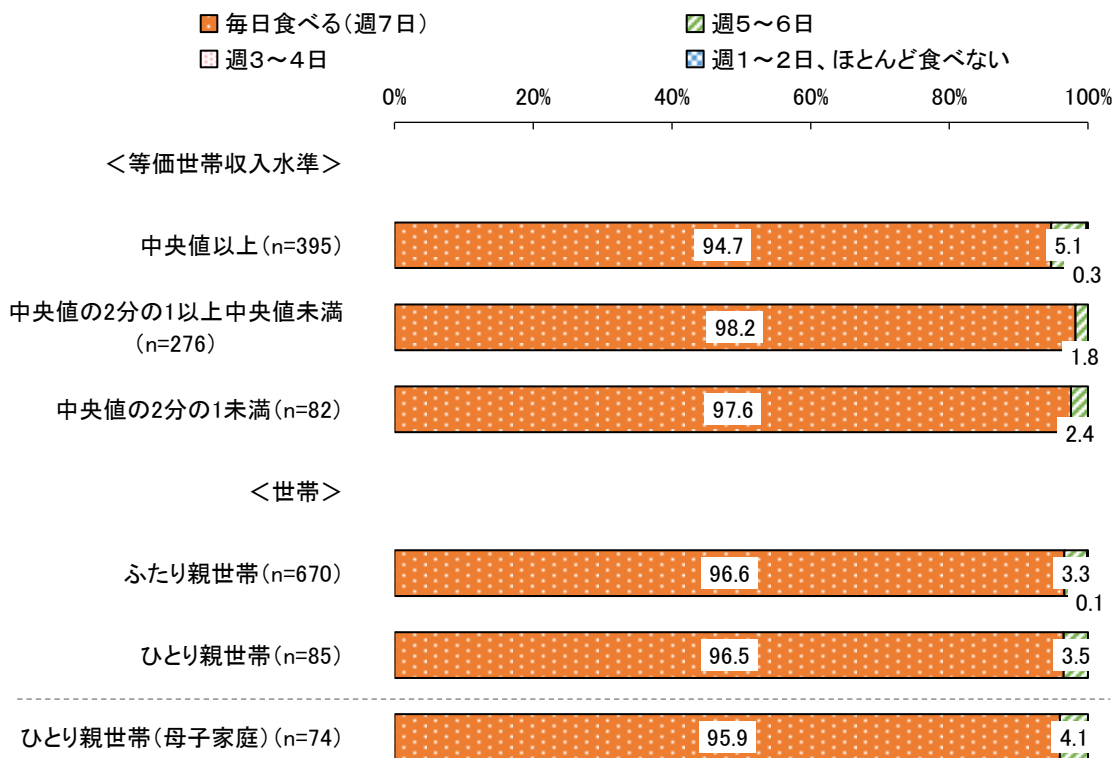


※「夕食」の世帯の状況別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

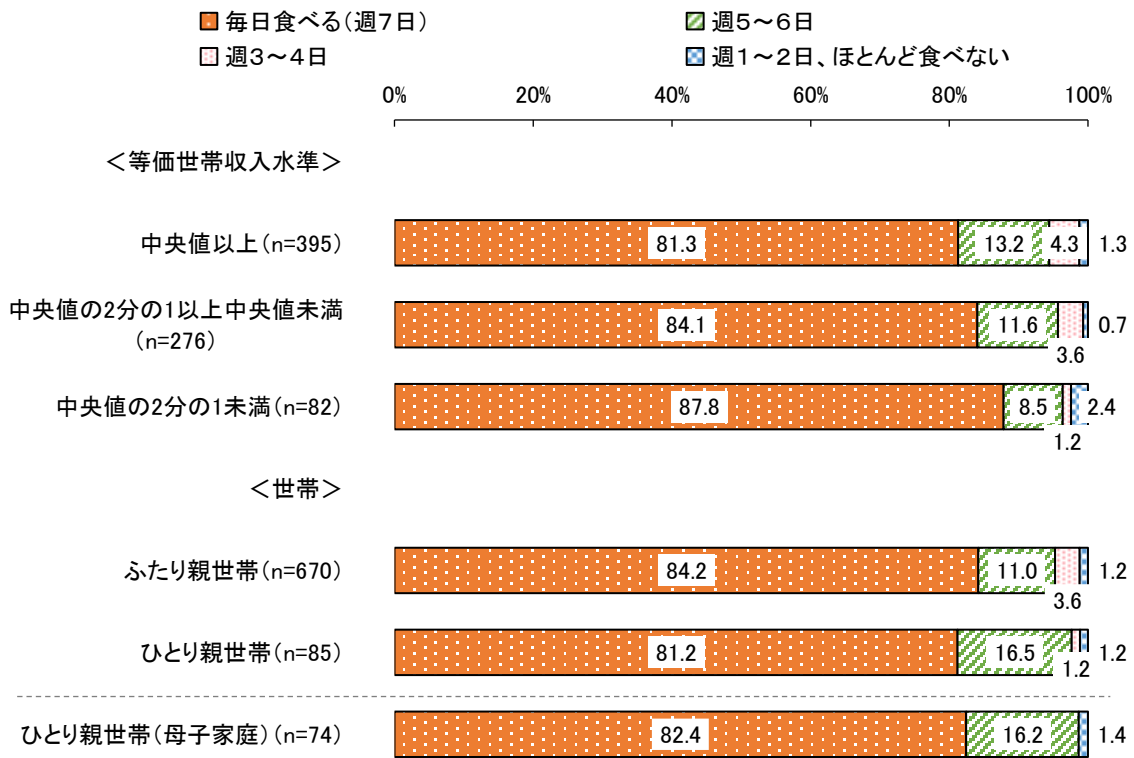
a) 朝食



b) 夕食



c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食



(2) 食事を毎日食べない理由

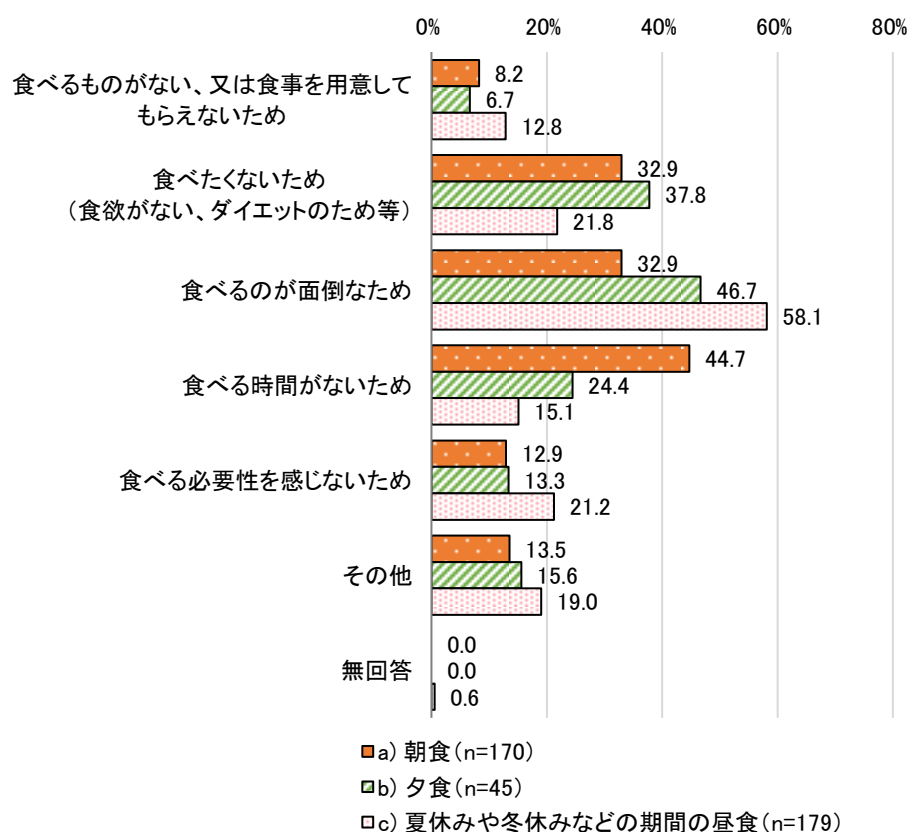
中学生票問 12 前の質問で「2～4」と答えた人にお聞きします。食事を毎日食べない理由は何ですか。
(a～c それぞれについて、あてはまるものすべてに○)

食事を毎日食べない理由について、「朝食」については、「食べる時間がないため」が 44.7%、次いで「食べたくないため（食欲がない、ダイエットのため等）」と「食べるのが面倒なため」が 32.9%となっている。

「夕食」については、「食べるのが面倒なため」が 46.7%、次いで「食べたくないため（食欲がない、ダイエットのため等）」が 37.8%、「食べる時間がないため」が 24.4%となっている。

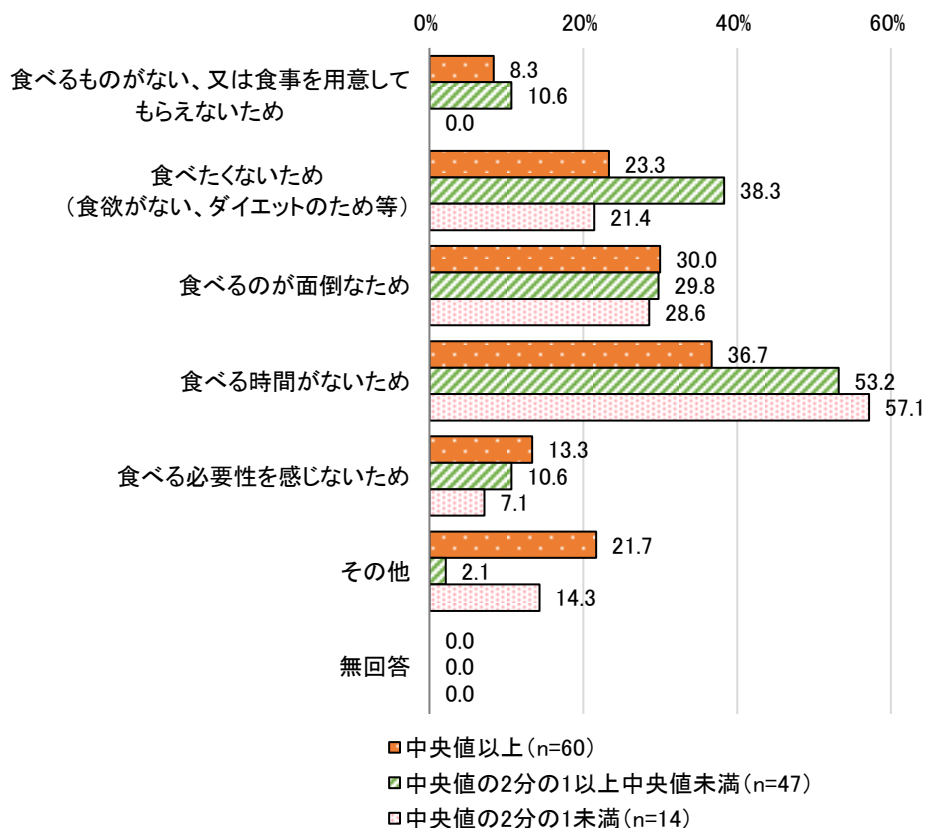
「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」については、「食べるのが面倒なため」が 58.1%、次いで「食べたくないため（食欲がない、ダイエットのため等）」が 21.8%、「食べる必要性を感じないため」が 21.2%となっている。

等価世帯収入水準別、世帯の状況別の結果は該当者数が少ないため、グラフのみの掲載とする。

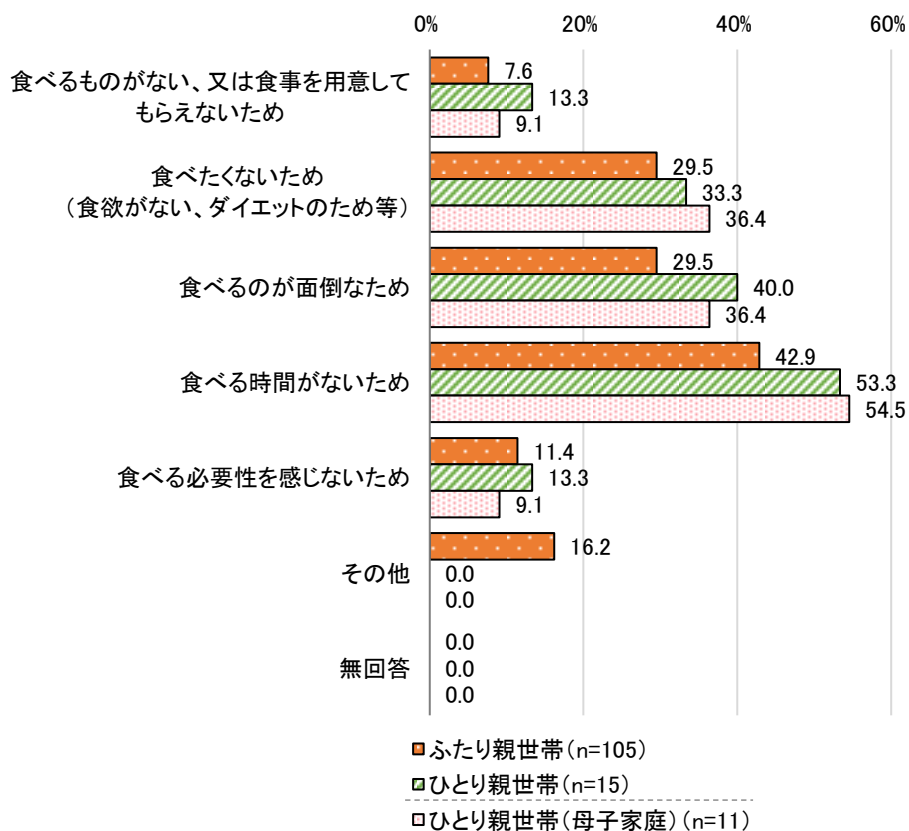


a) 朝食

<等価世帯収入水準>

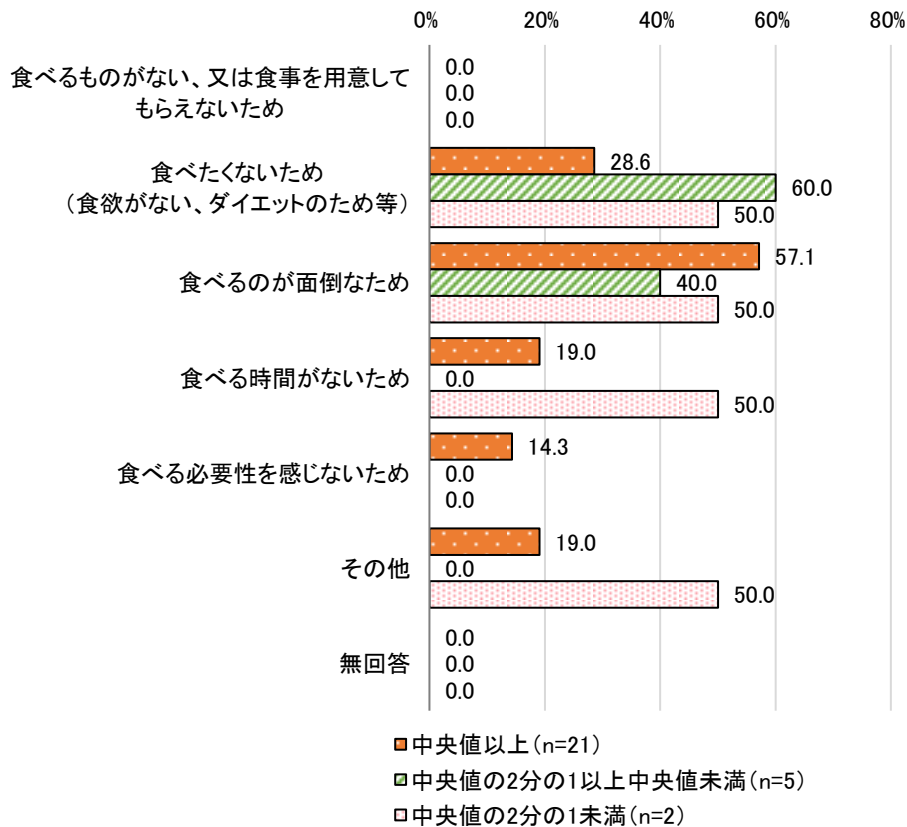


<世帯>

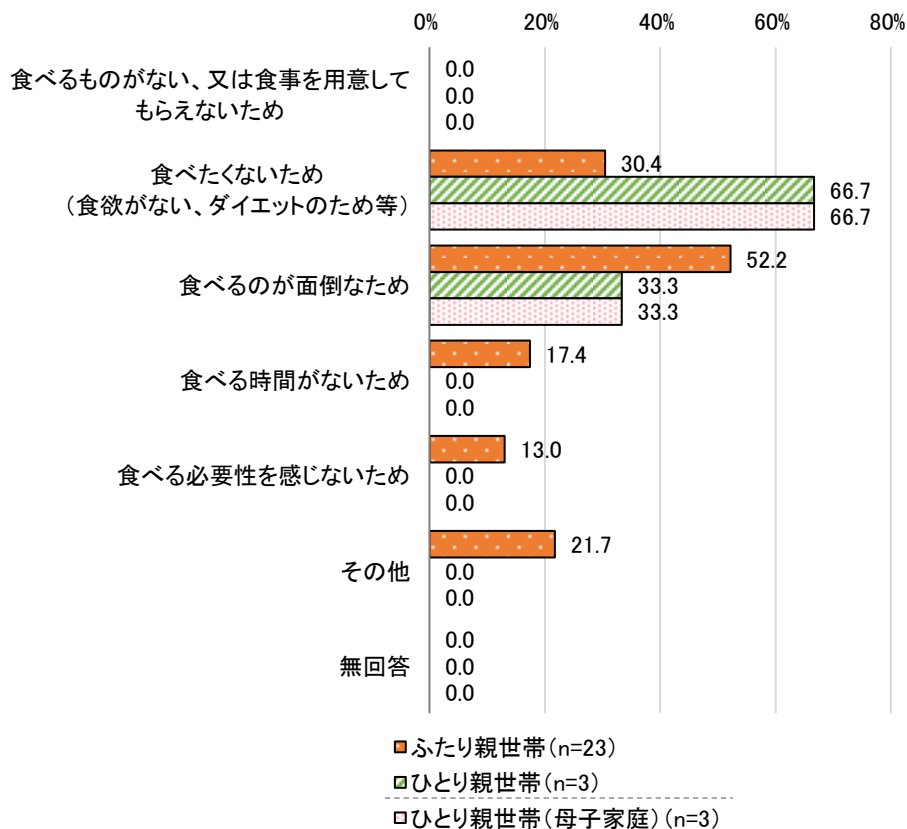


b) 夕食

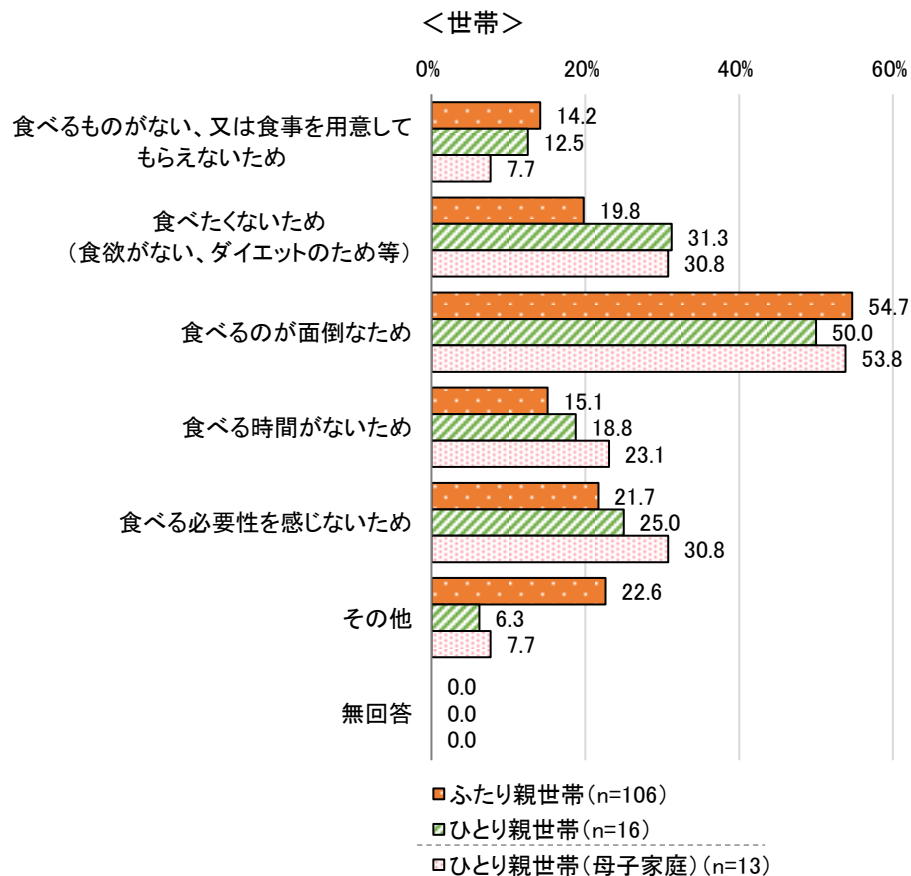
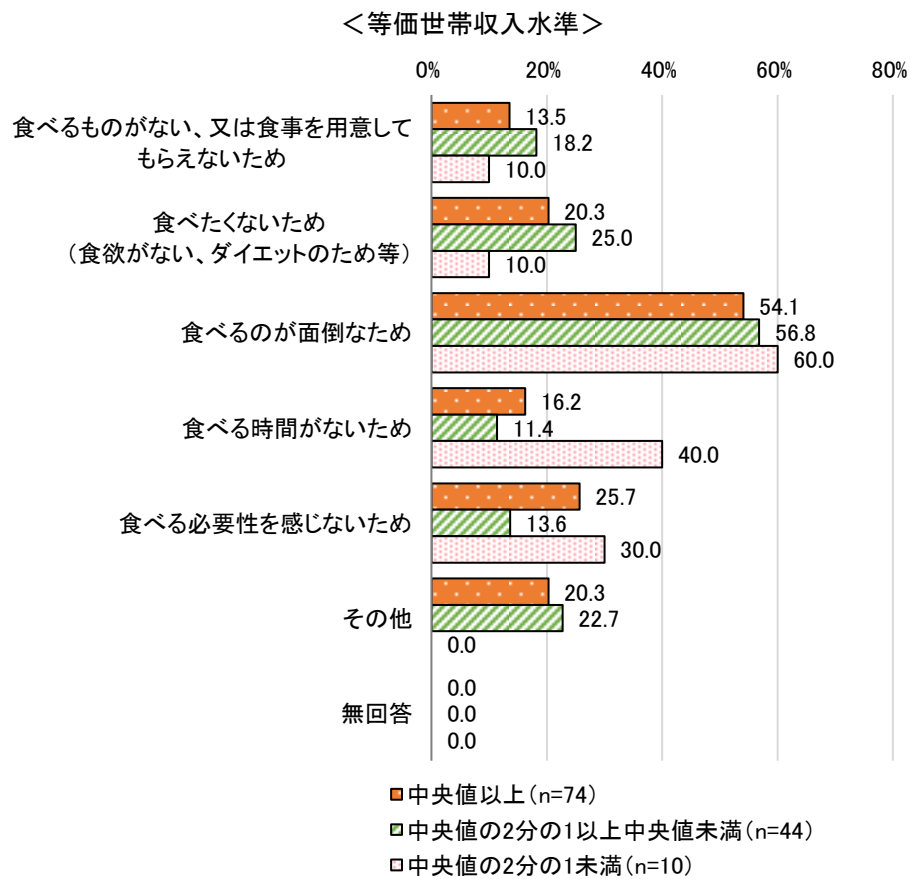
<等価世帯収入水準>



<世帯>



c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食



(3) 1回の食事の量

中学生票問 13 1回の食事の量はどの程度ですか。(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

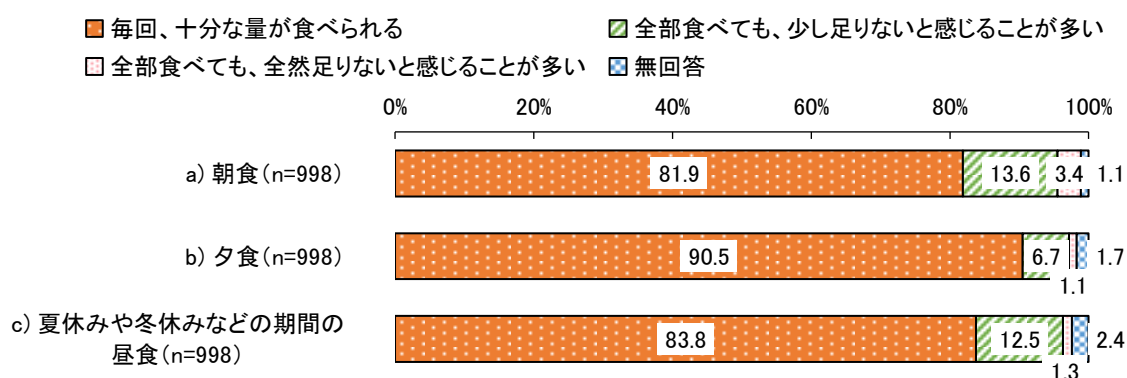
1回の食事の量について、「朝食」については、「毎回、十分な量が食べられる」が81.9%、「全部食べても、少し足りないと感じることが多い」が13.6%、「全部食べても、全然足りないと感じることが多い」が3.4%となっている。

「夕食」については、「毎回、十分な量が食べられる」が90.5%、「全部食べても、少し足りないと感じることが多い」が6.7%、「全部食べても、全然足りないと感じることが多い」が1.1%となっている。

「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」については、「毎回、十分な量が食べられる」が83.8%、「全部食べても、少し足りないと感じることが多い」が12.5%、「全部食べても、全然足りないと感じることが多い」が1.3%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「毎回、十分な量が食べられる」の割合が、「朝食」については90.2%と他の世帯と比べて高いが、「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」については82.9%と他の世帯と比べて低くなっている。

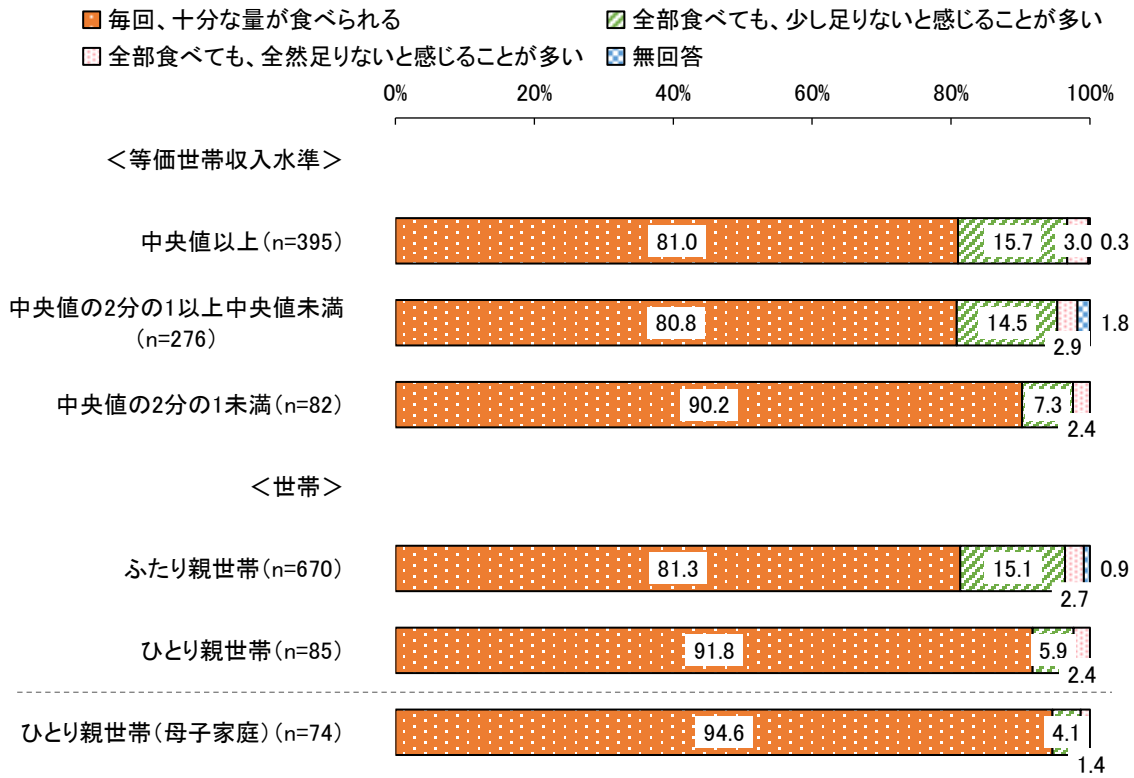
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「毎回、十分な量が食べられる」の割合が、「朝食」について91.8%と、「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。



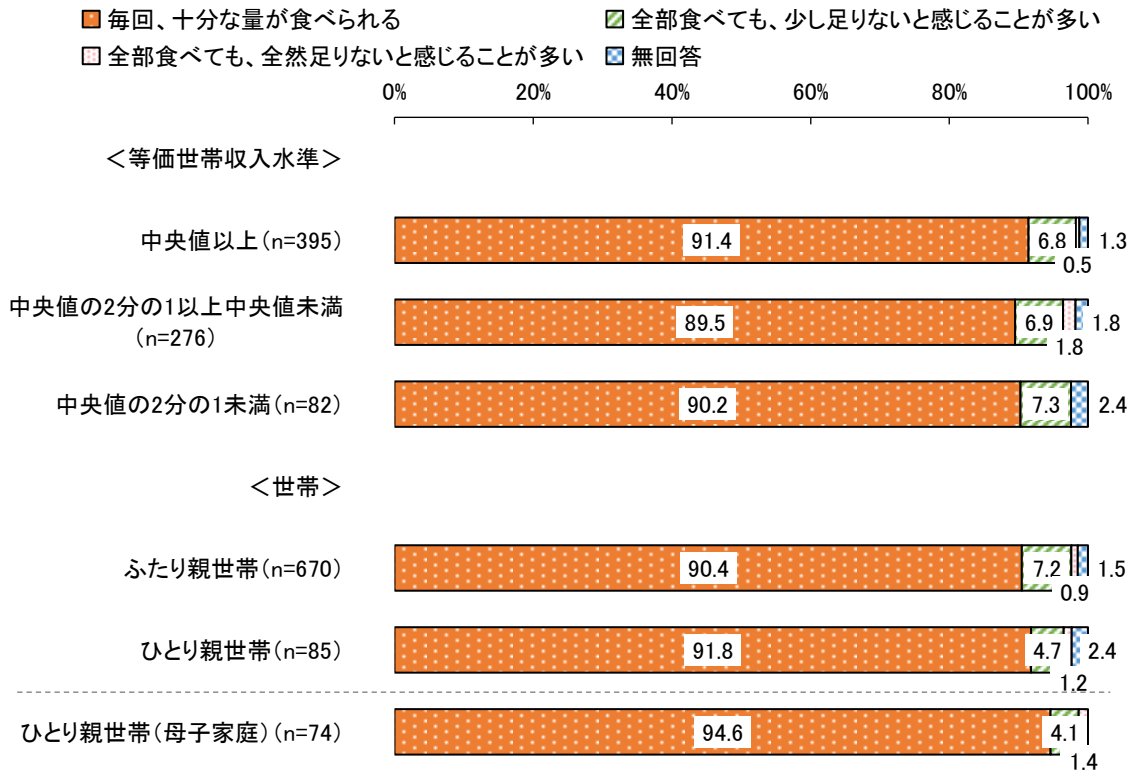
※「夕食」の等価世帯収入水準別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

※「夕食」と「夏休みや冬休みなどの期間の昼食」の世帯の状況別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

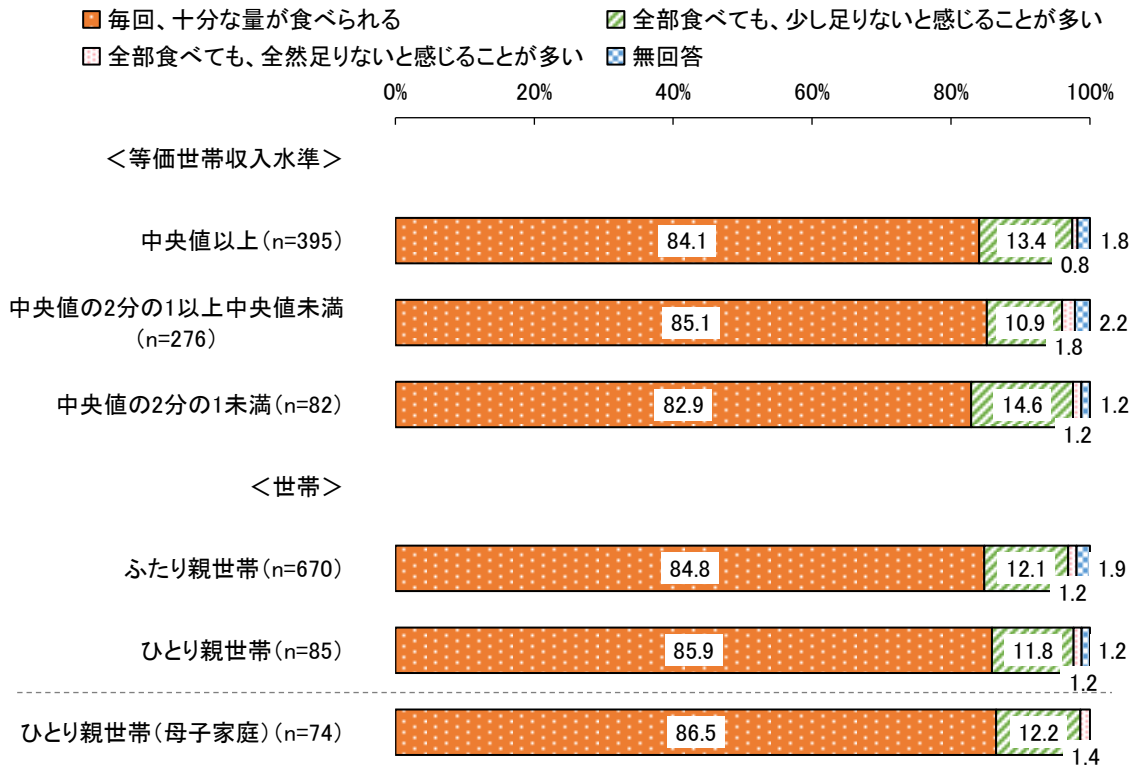
a) 朝食



b) 夕食



c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食



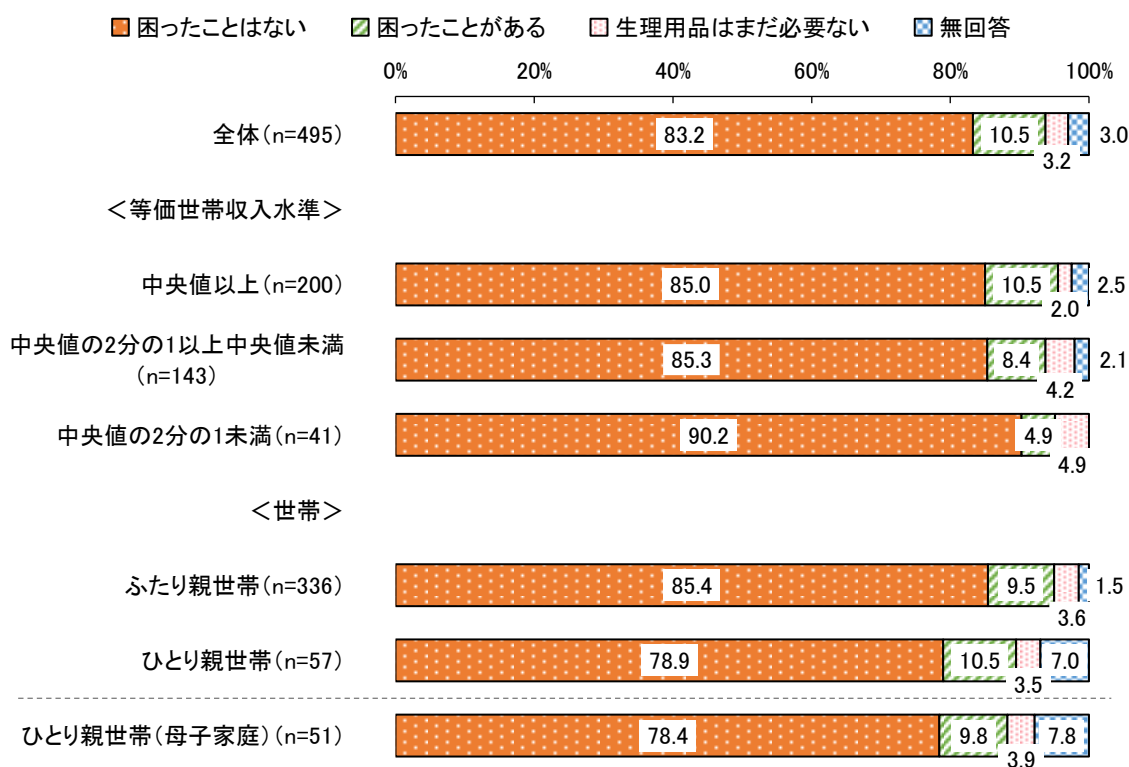
(4) 生理用品の準備で困った経験

中学生票問 14 女子生徒にお聞きします。これまでに生理用品が準備できず困ったことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)

生理用品が準備できず困ったことがあるかについては、「困ったことはない」は83.2%、「困ったことがある」は10.5%、「生理用品はまだ必要ない」は3.2%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「困ったことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では10.5%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では8.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では4.9%となっている。

世帯の状況別にみると、「困ったことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では9.5%、「ひとり親世帯」では10.5%となっている。

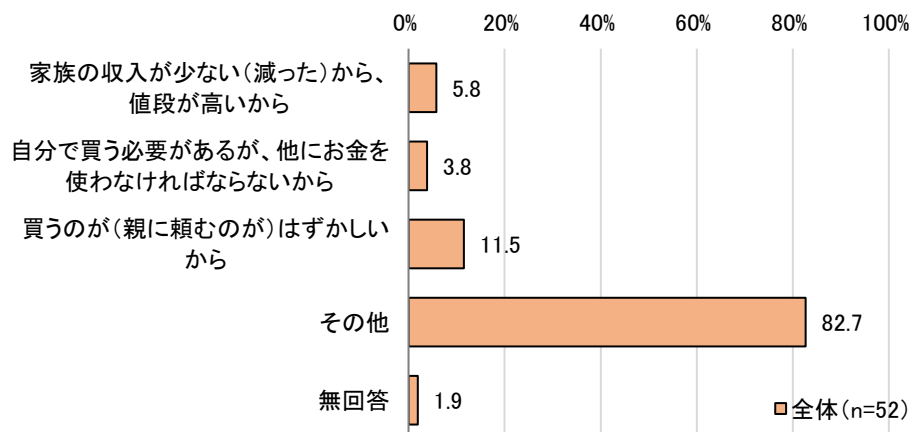


(5) 困ったことがある理由

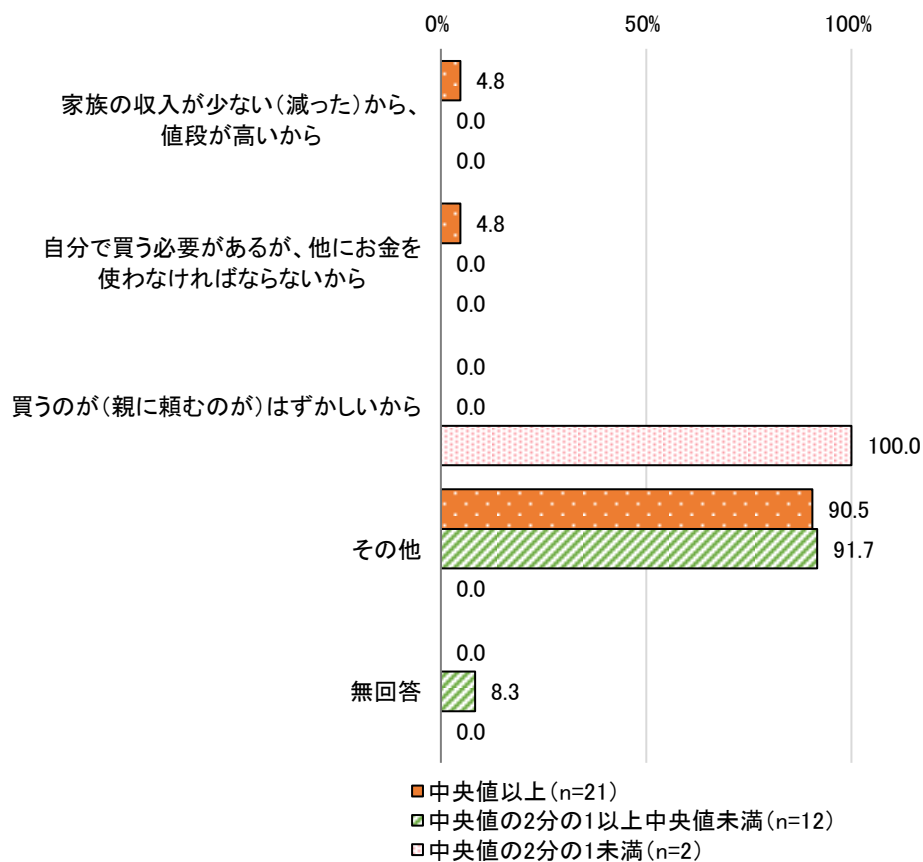
中学生票問 15 女子生徒にお聞きします。前の質問で「2 困ったことがある」と答えた人にお聞きします。その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

困ったことがある理由については、「その他」が82.7%、次いで「買うのが(親に頼むのが)はずかしいから」が11.5%となっている。

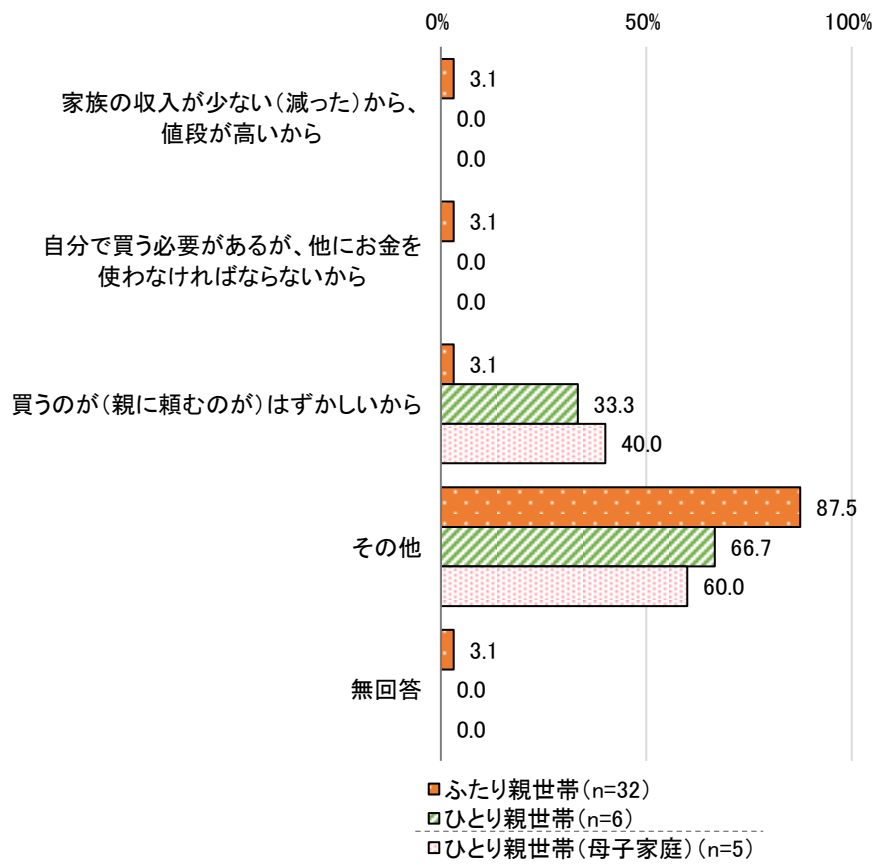
等価世帯収入水準別、世帯の状況別の結果は該当者数が少ないため、グラフのみの掲載とする。



<等価世帯収入水準>



<世帯>



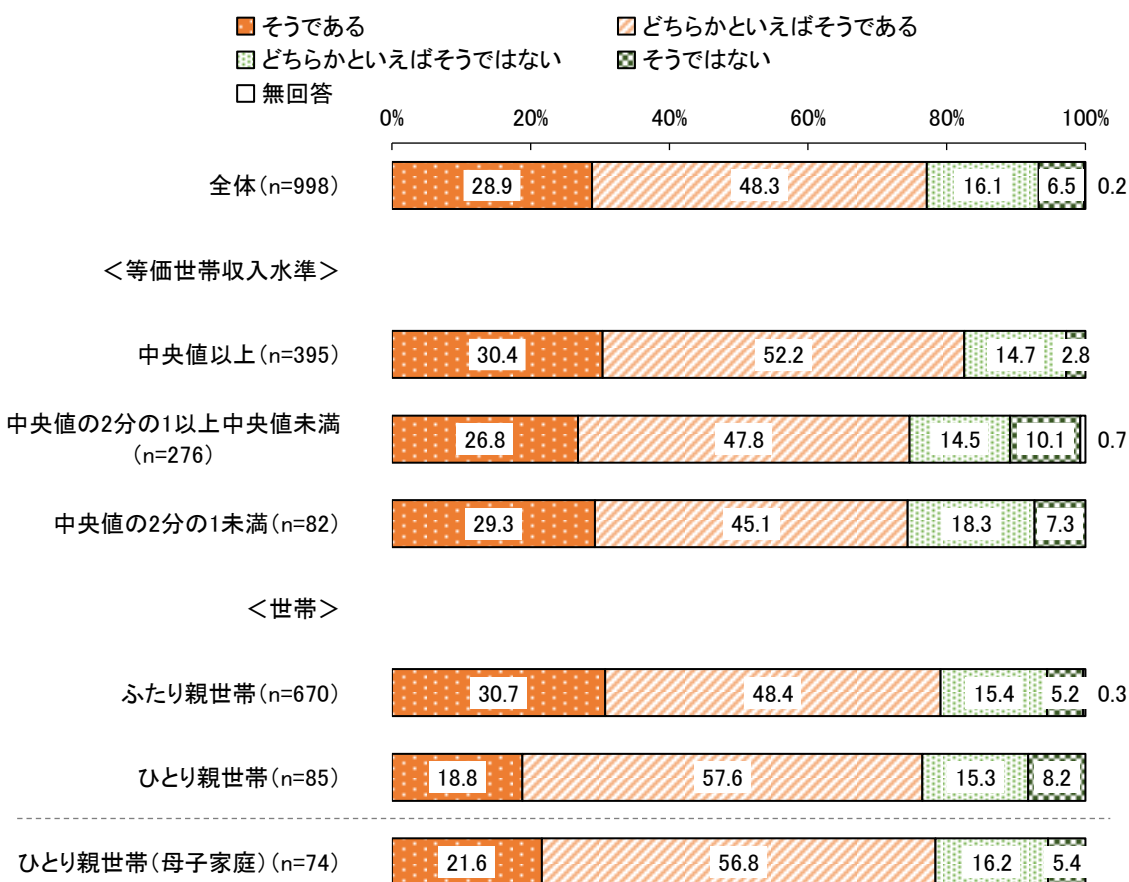
(6) 就寝時間

中学生票問 16 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(あてはまるもの1つに○)

就寝時間に関して、ほぼ同じ時間に寝ているかについては、「そうである」が28.9%、「どちらかといえばそうである」が48.3%、「どちらかといえばそうではない」が16.1%、「そうではない」が6.5%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では、「そうである」の割合が26.8%と他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「そうである」の割合が18.8%と「ふたり親世帯」と比べて低くなっている。



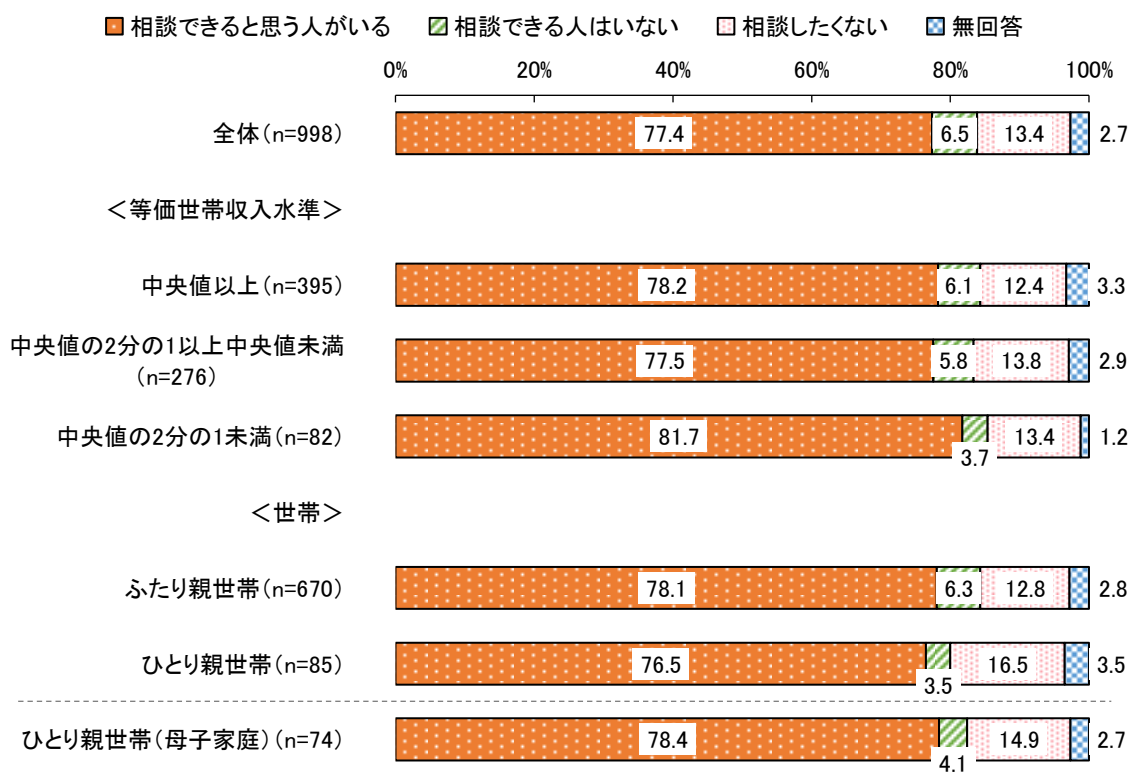
(7) 相談相手の有無

中学生票問 17 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はいますか。(1～3のあてはまるもの1つに○) また、「1 相談できると思う人がいる」場合、それは誰ですか。(①～⑩のあてはまるものすべてに○)

困っていることや悩みごとがあるときの相談相手の有無については、「相談できると思う人がいる」が77.4%、「相談できる人はいない」が6.5%、「相談したくない」が13.4%となっている。相談できると思う人については、「学校の友達」が79.1%、次いで「親」が73.3%、「学校の先生」が31.7%、「きょうだい」が28.4%となっている。

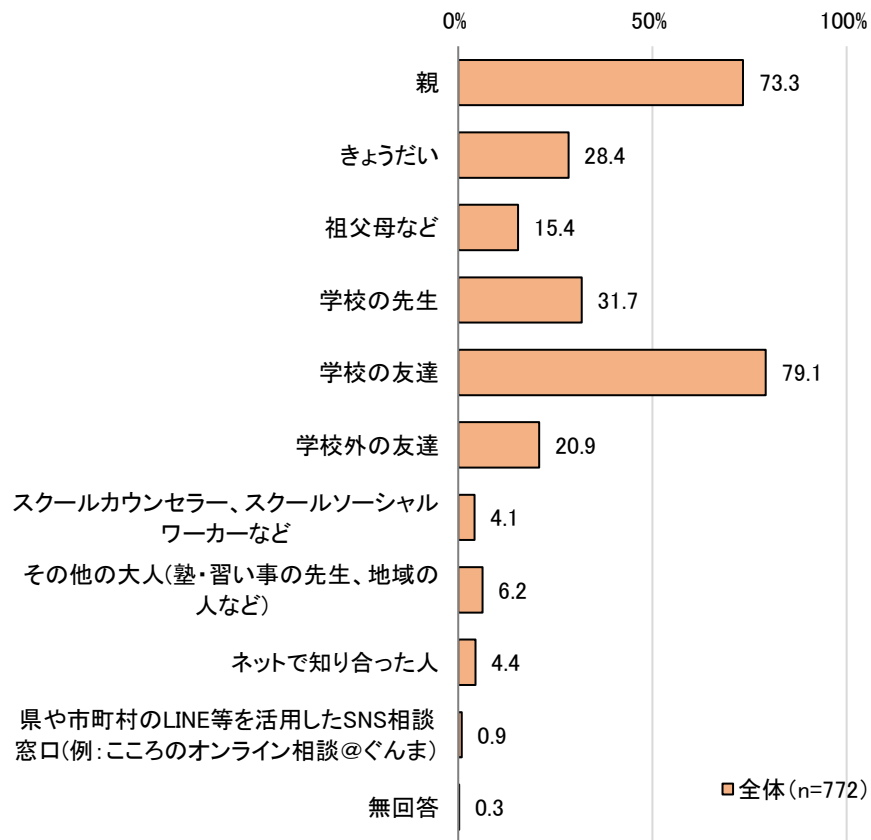
等価世帯収入水準別にみると、「相談できると思う人がいる」の割合は、「中央値以上」の世帯では78.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では77.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では81.7%となっている。相談できると思う人については、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「学校の先生」が34.3%と他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「相談できると思う人がいる」の割合は、「ふたり親世帯」では78.1%、「ひとり親世帯」では76.5%となっている。「ひとり親世帯」では、「相談したくない」の割合が16.5%と「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。相談できると思う人については、「ひとり親世帯」では、「祖父母など」が21.5%、「学校外の友達」が24.6%と「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

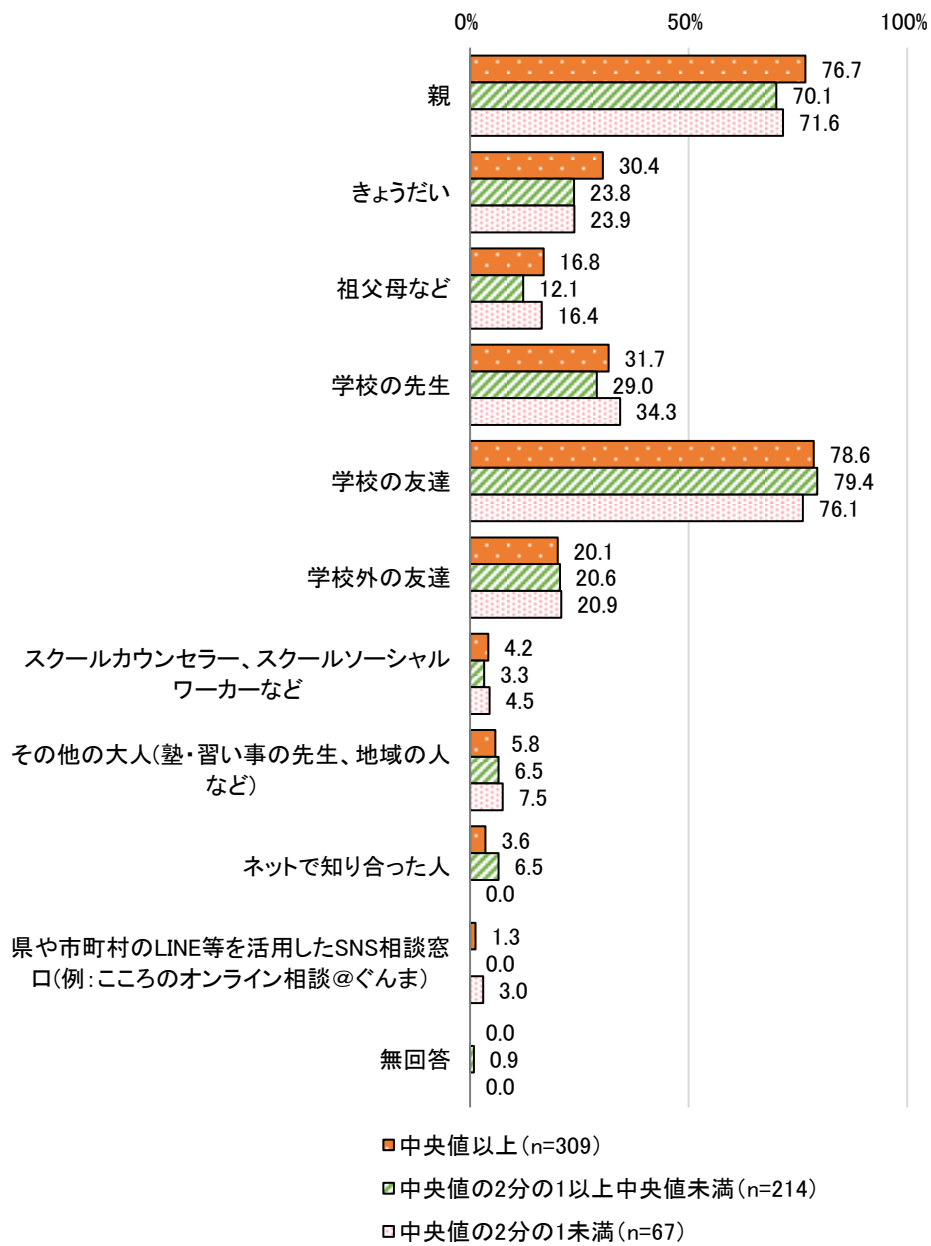


※「相談相手の有無」の等価世帯収入水準別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

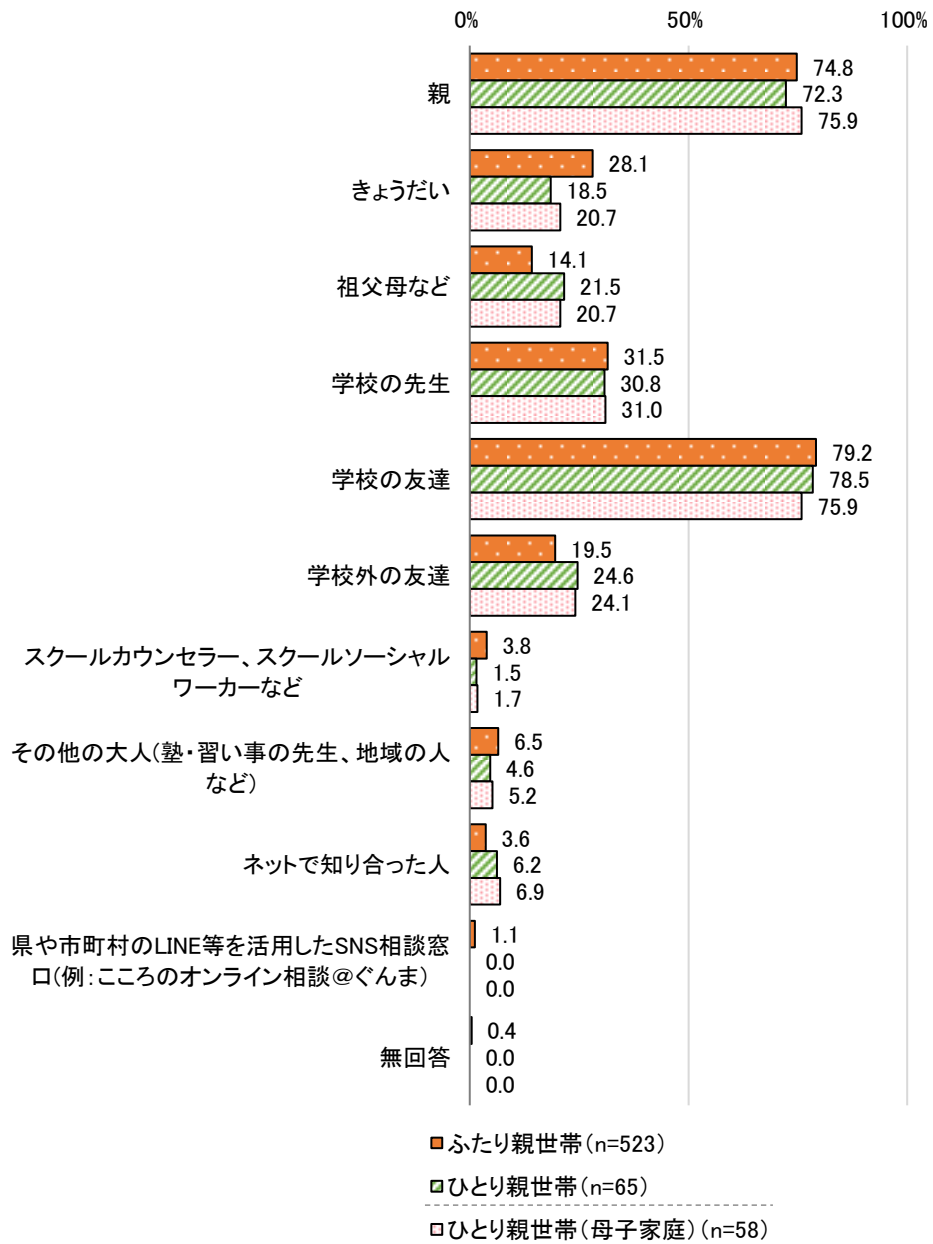
※「相談できると思う人がいる」と回答した場合の相談相手



<等価世帯収入水準>



<世帯>



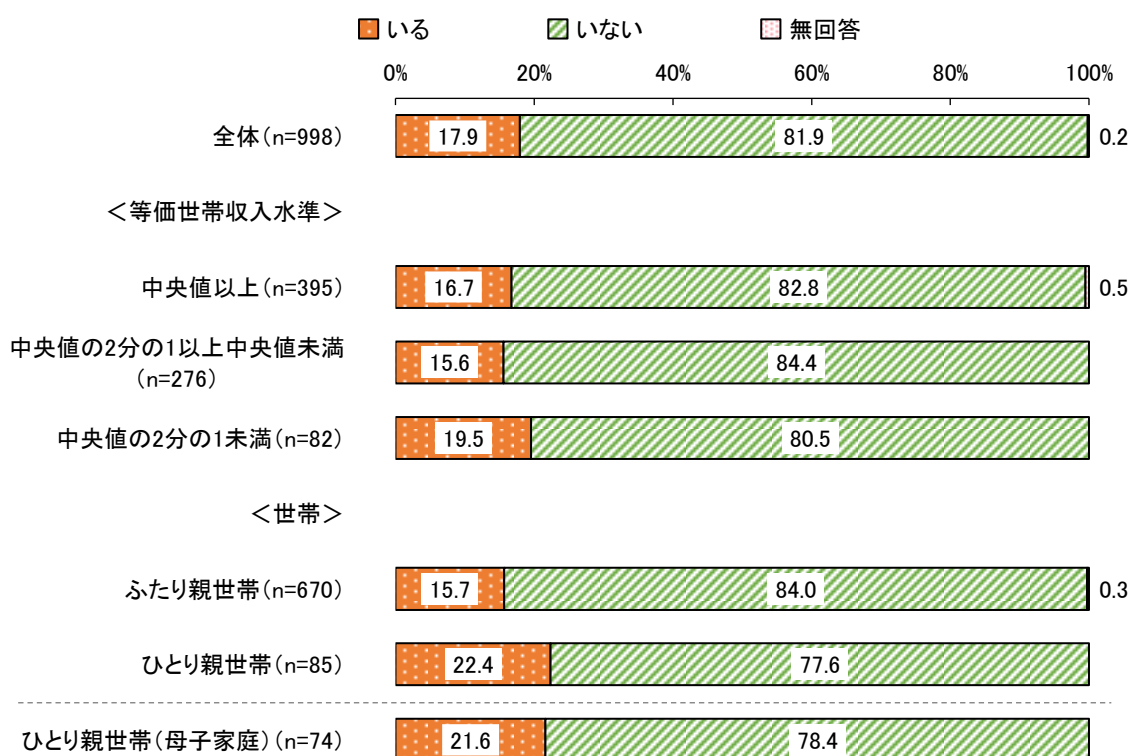
(8) お世話をしている人の有無

中学生票問 18 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここで「お世話」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などをすることです。)(あてはまるもの1つに○)

家族の中にお世話をしている人がいるかについては、「いる」が17.9%、「いない」が81.9%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「いる」の割合が19.5%と他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「いる」の割合が22.4%と「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。



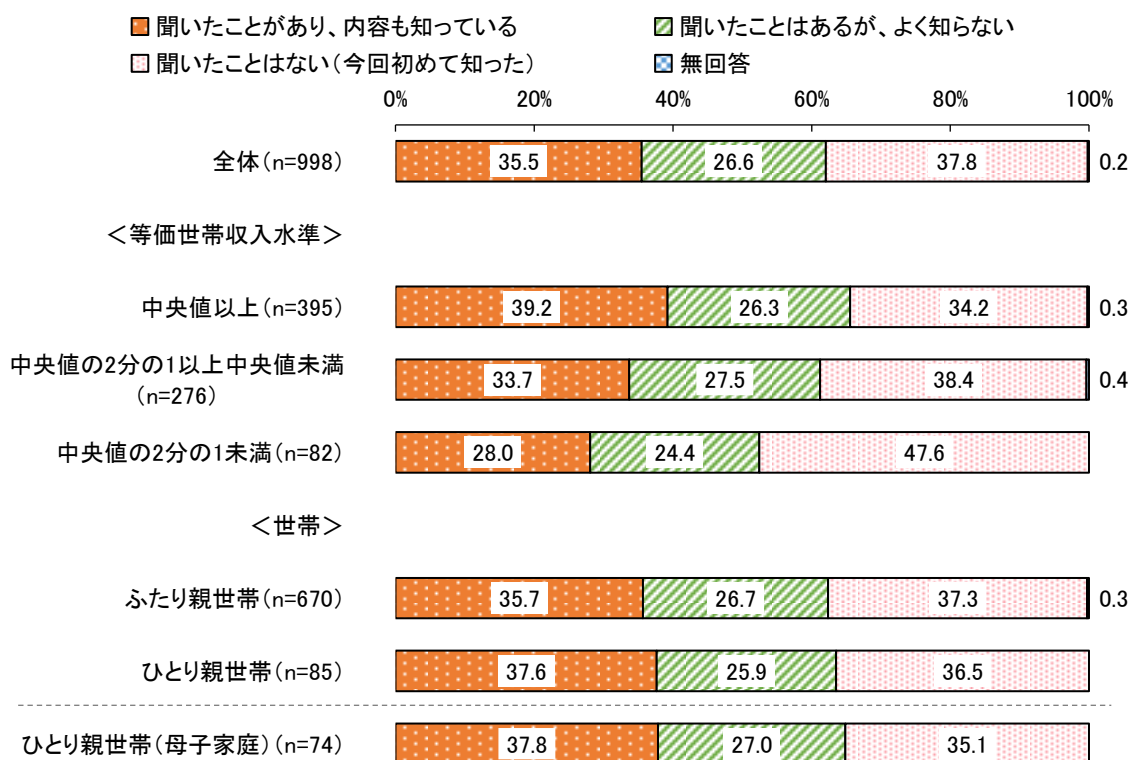
(9) ヤングケアラーという言葉の認知度

中学生票問 19 ヤングケアラーという言葉をごこれまで聞いたことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかについては、「聞いたことがあり、内容も知っている」が35.5%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が26.6%、「聞いたことはない(今回初めて知った)」が37.8%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「聞いたことはない(今回初めて知った)」の割合が47.6%と他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合が37.6%と「ふたり親世帯」と比べてやや高くなっている。



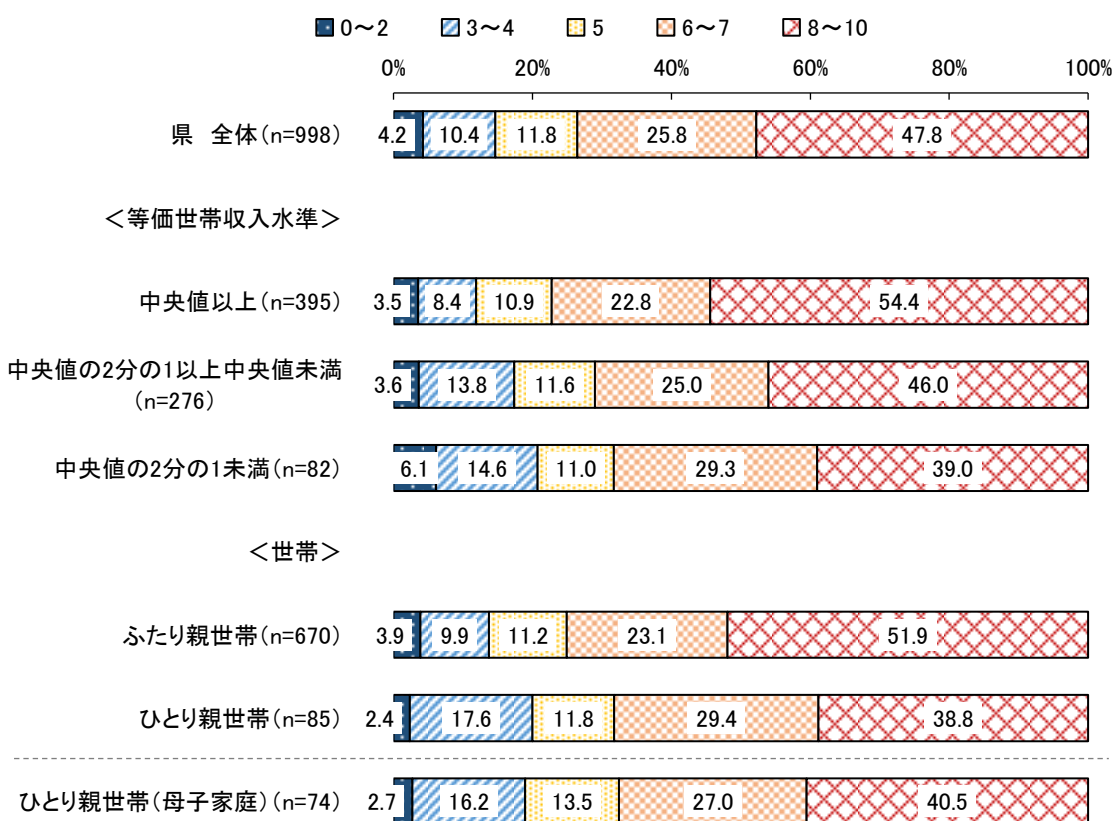
(10) 生活満足度

中学生票問 20 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

生活満足度については、「0～2」が4.2%、「3～4」が10.4%、「5」が11.8、「6～7」が25.8%、「8～10」が47.8%となっており、満足度が高い方の回答割合（6～10）は73.5%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では「6～10」に該当する割合は68.3%と他の世帯と比べて低くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「6～10」に該当する割合は68.2%で、「ふたり親世帯」に比べて生活満足度が低くなっている。



(11) 子どもの心理的な状態

中学生票問 21 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

「子供の心理的な状態」に関して、調査では「強さと困難さアンケート (SDQ : Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒 (不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための項目を設定した。

採点方法は、ひとつの質問ごとに 0 点 (あてはまらない) から 2 点 (あてはまる) を振り、合計を計算した。

・情緒の問題

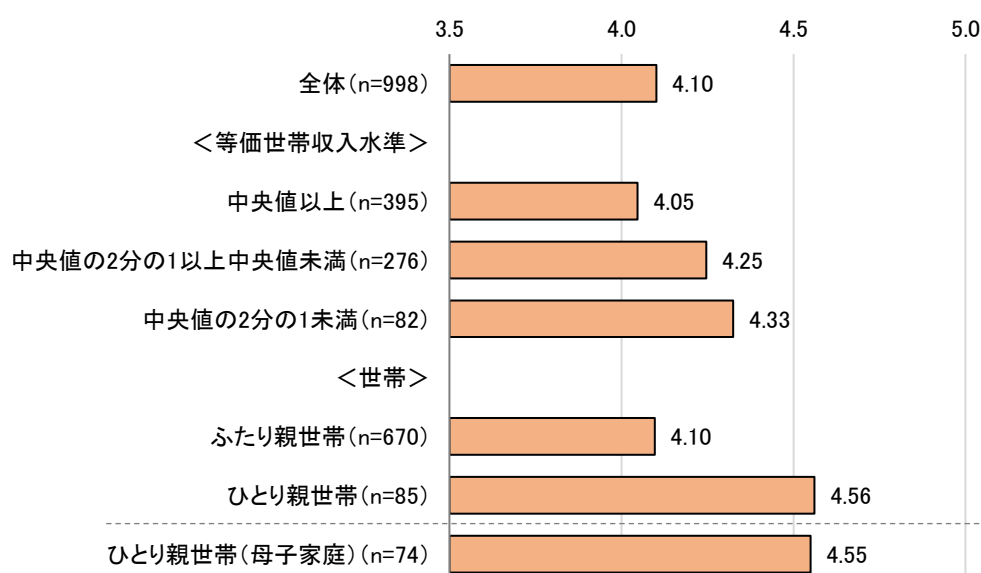
- b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

「情緒の問題」に関して、5つの項目 (b、e、h、j、o) の結果を足し合わせて、スコアを算出した (0～10 点 : 得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)。

全体の「情緒の問題」の平均値は 4.10 となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値以上」の世帯では 4.05、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では 4.25、「中央値の2分の1未満」の世帯では 4.33 となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では 4.10、「ひとり親世帯」では 4.56 となっている。



・ 仲間関係の問題

- d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- i) 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。
- l) 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。
- n) 私は、他の子どもたちより、大人といる方がうまくいく。

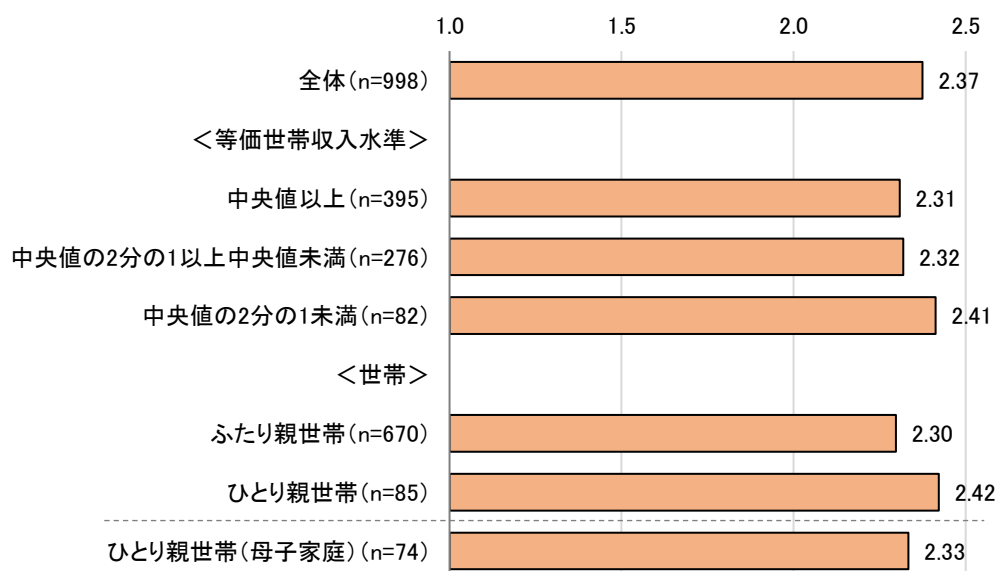
「仲間関係の問題」に関して、5つの項目（d、g、i、l、n）の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点：得点が高いほど、問題性が高いと考えられる）。

※g、iの項目は逆転項目としてスコアを算出

全体の「仲間関係の問題」の平均値は2.37となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値以上」の世帯では2.31、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では2.32、「中央値の2分の1未満」の世帯では2.41となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では2.30、「ひとり親世帯」では2.42となっている。



・ 向社会性

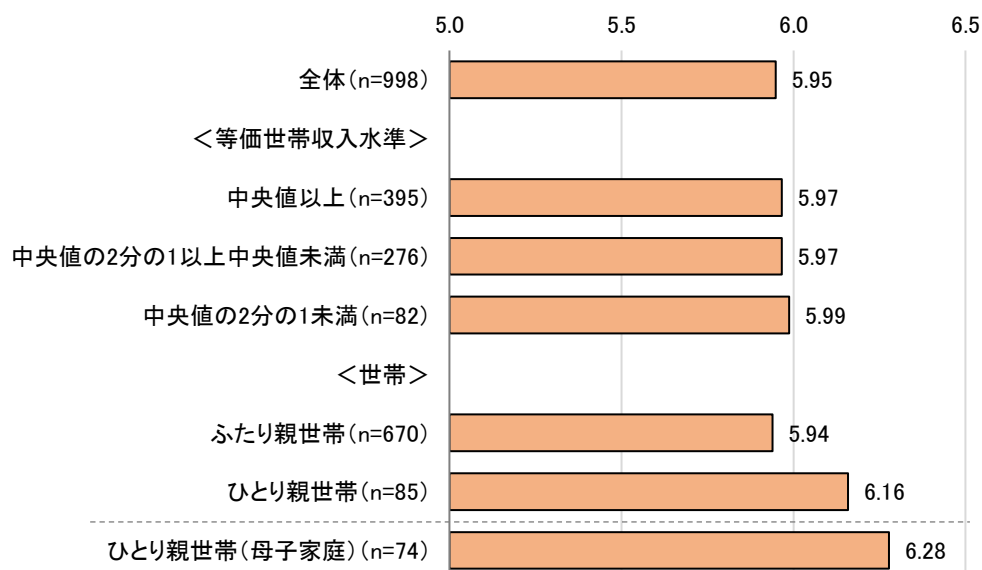
- a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c) 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
- f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k) 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。
- m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。

「向社会性」に関して、5つの項目（a、c、f、k、m）の結果を足し合わせて、スコアを算出した（0～10点：得点が高いほど、社会性が高いと考えられる）。

全体の「向社会性」の平均値は5.95となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値以上」の世帯では5.97、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では5.97、「中央値の2分の1未満」の世帯では5.99となっている。

世帯の状況別にみると、「ふたり親世帯」では5.94、「ひとり親世帯」では6.16となっている。



※等価世帯収入水準別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

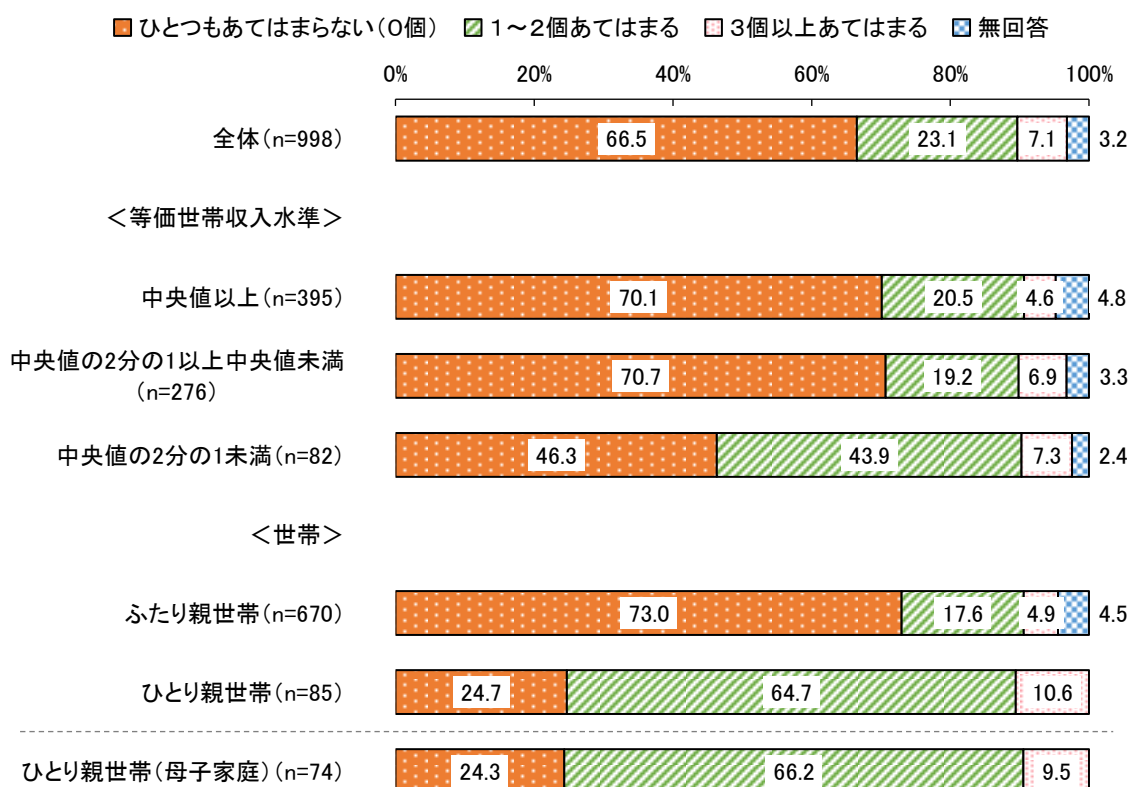
(12) 逆境体験

中学生票問 23	あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。(あてはまるもの1つに○)
a	一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
b	一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
c	家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感ずることがある
d	必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感ずることがある
e	両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
f	一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
g	一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
h	一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

「逆境体験」について、8つの項目を基に状況把握を行った。8つの項目のうち、「ひとつもあてはまらない(0個)」は66.5%、「1~2個あてはまる」は23.1%、「3個以上あてはまる」は7.1%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「ひとつもあてはまらない(0個)」が46.3%で他の世帯と比べて低くなっており、他方で1個以上あてはまる割合が高くなっている。

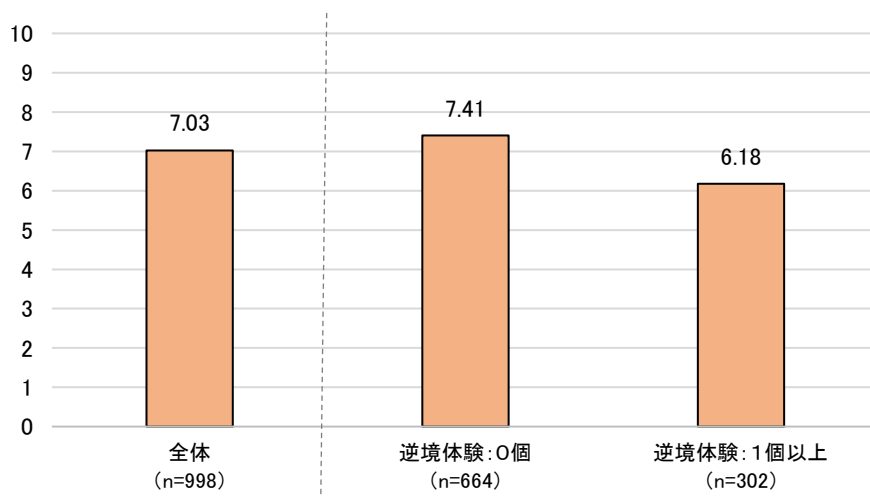
世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「ひとつもあてはまらない(0個)」が24.7%で「ふたり親世帯」と比べて低くなっており、他方で1個以上あてはまる割合が高くなっている。(※「e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある」の項目があり、特にこの点についてひとり親世帯では該当する者の割合が高くなっていると考えられる。)



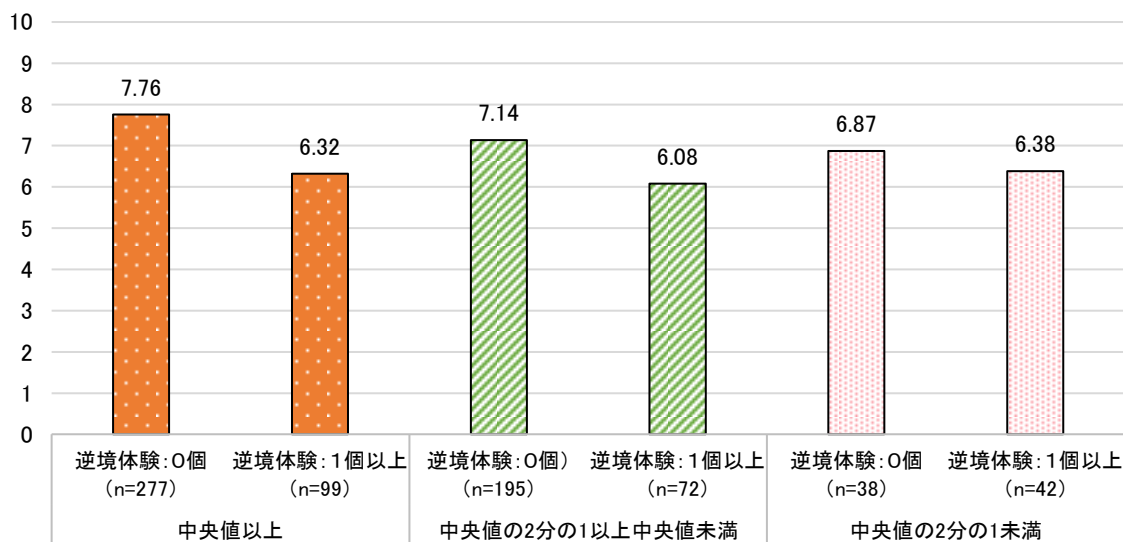
(13) 逆境体験と子どもの状況

「逆境体験」の経験の有無（「ひとつもあてはまらない（0個）」であるか、1個以上あてはまるか）により分類し、子どもの生活満足度の平均値を比較すると、逆境体験の経験がない場合には生活満足度の平均値は7.41、逆境体験の経験がある場合には6.18となっている。

また、等価世帯収入水準で分類した上で、逆境体験の経験の有無別に子どもの生活満足度をみると、等価世帯収入水準がいずれの場合であっても、逆境体験の経験がある場合は生活満足度の平均値が低くなっている。



<等価世帯収入水準>



4. 新型コロナウイルス感染症の影響

4-1. 保護者の状況

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響

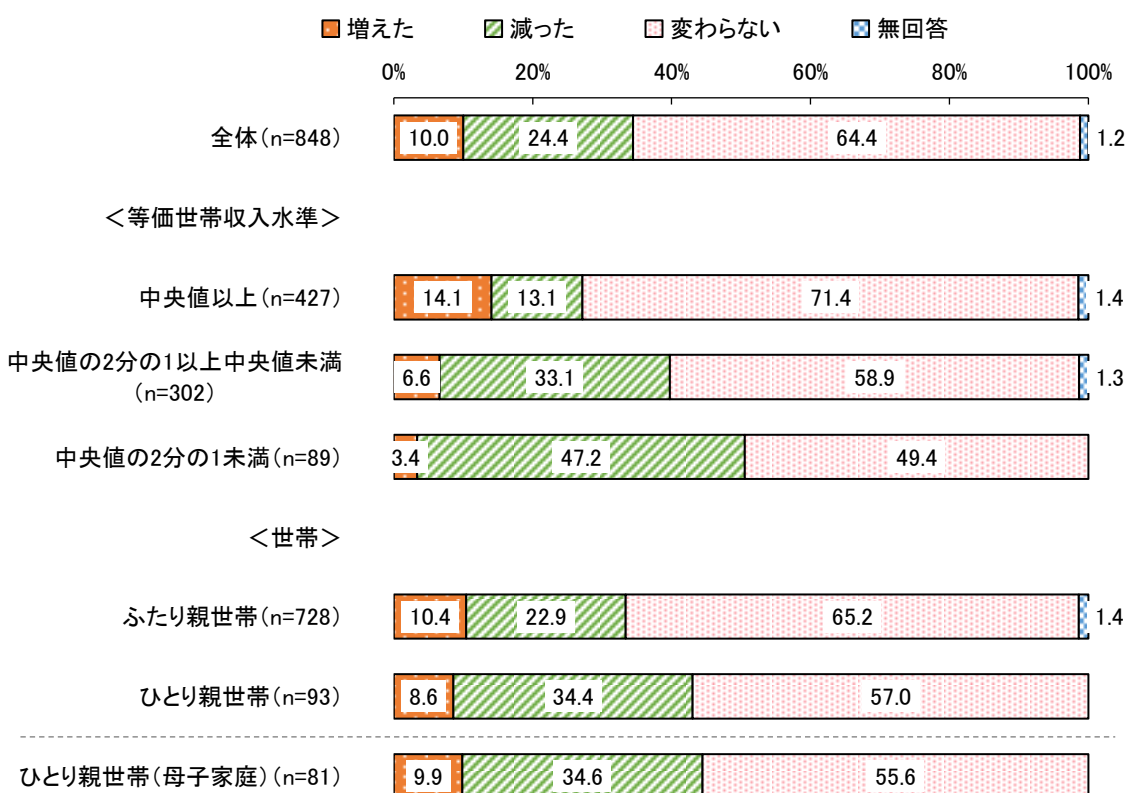
保護者票問 26 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 世帯全体の収入の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「世帯全体の収入の変化」は、「増えた」が10.0%、「減った」が24.4%、「変わらない」が64.4%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では13.1%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では33.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では47.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では22.9%、「ひとり親世帯」では34.4%となっている。

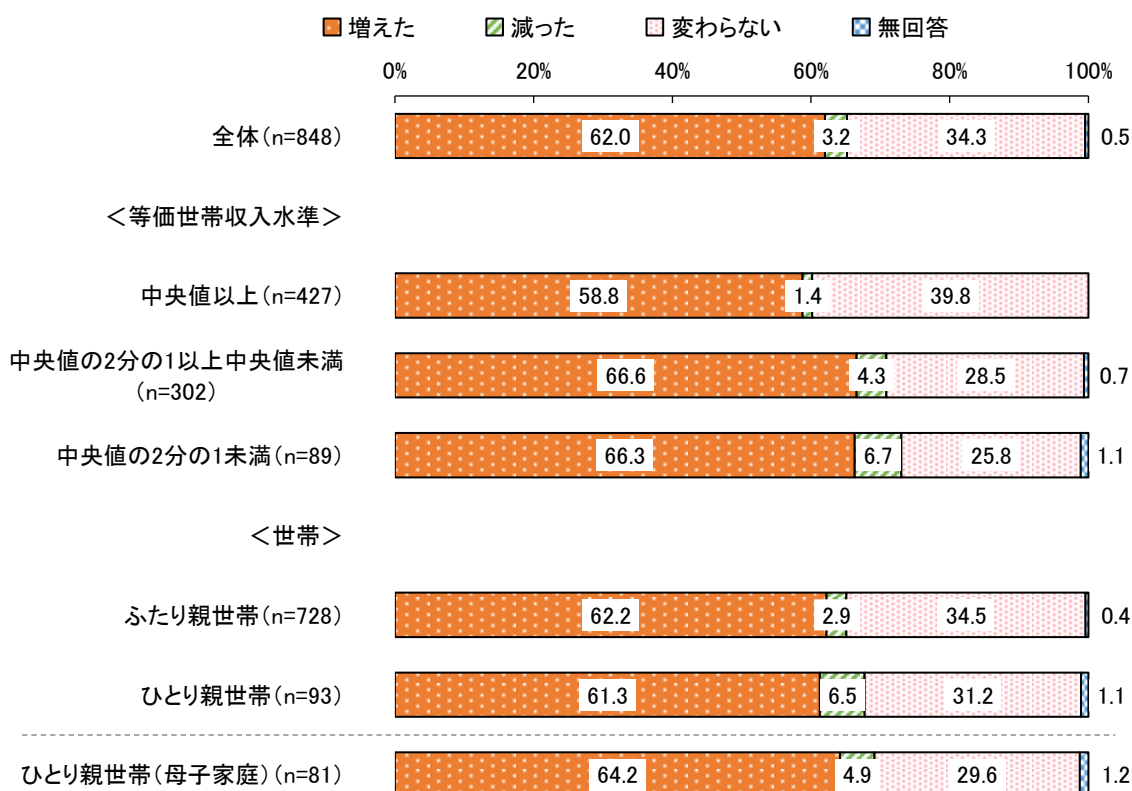


b) 生活に必要な支出の変化

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「生活に必要な支出の変化」は、「増えた」が62.0%、「減った」が3.2%、「変わらない」が34.3%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では58.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では66.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では66.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では62.2%、「ひとり親世帯」では61.3%となっている。



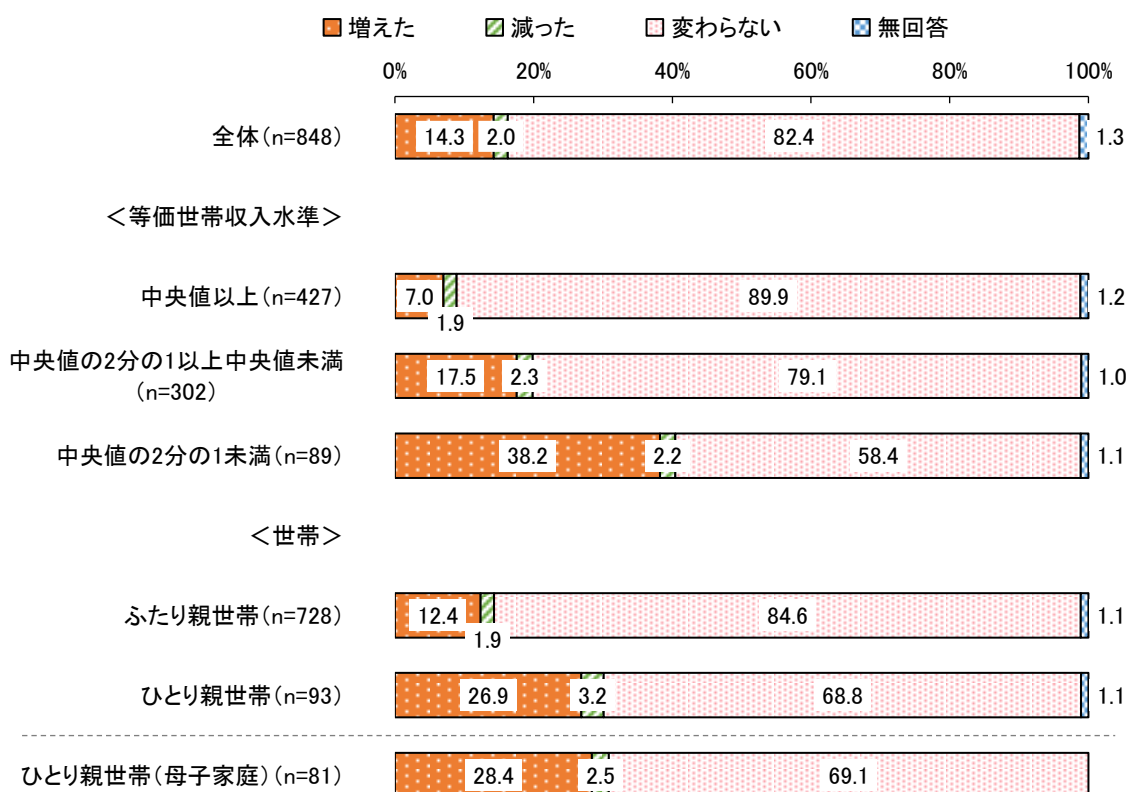
※世帯の状況別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと」は、「増えた」が 14.3%、「減った」が 2.0%、「変わらない」が 82.4%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では 7.0%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 17.5%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 38.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では 12.4%、「ひとり親世帯」では 26.9%となっている。

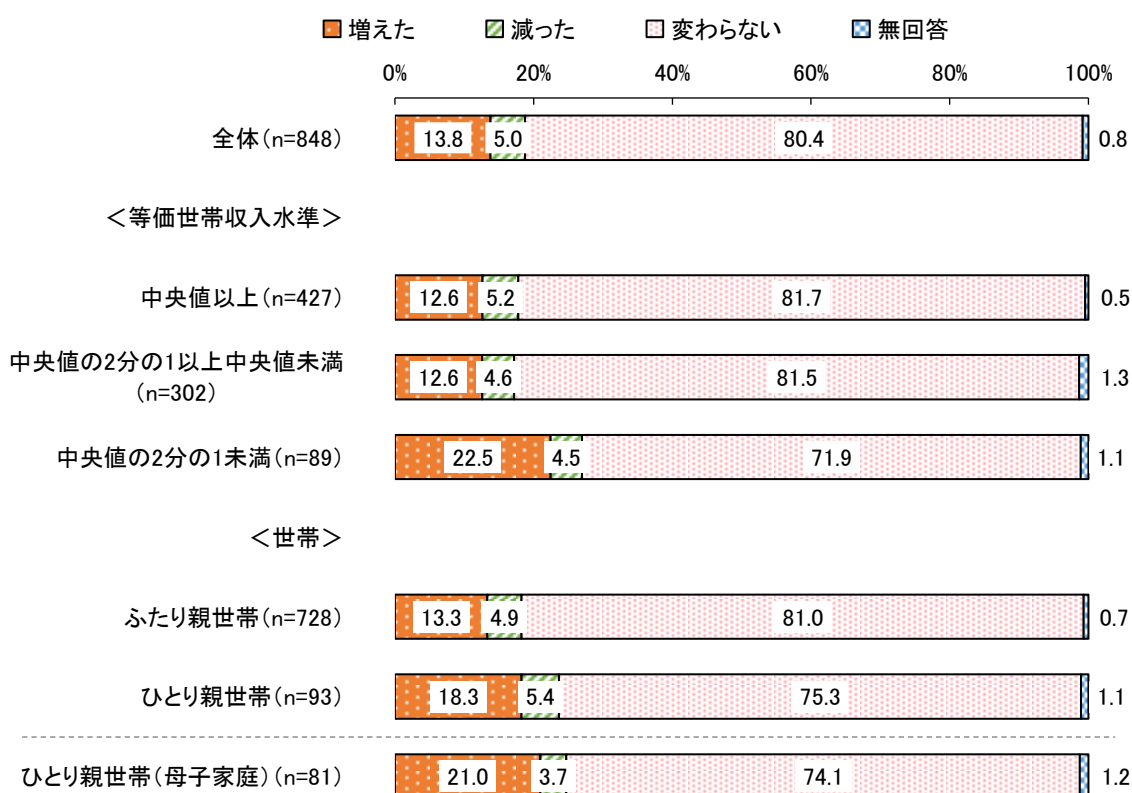


d) お子さんと話をすること

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「お子さんと話をすること」は、「増えた」が13.8%、「減った」が5.0%、「変わらない」が80.4%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では5.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では4.6%、「中央値の2分の1未満」の世帯では4.5%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では4.9%、「ひとり親世帯」では5.4%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では3.7%となっている。

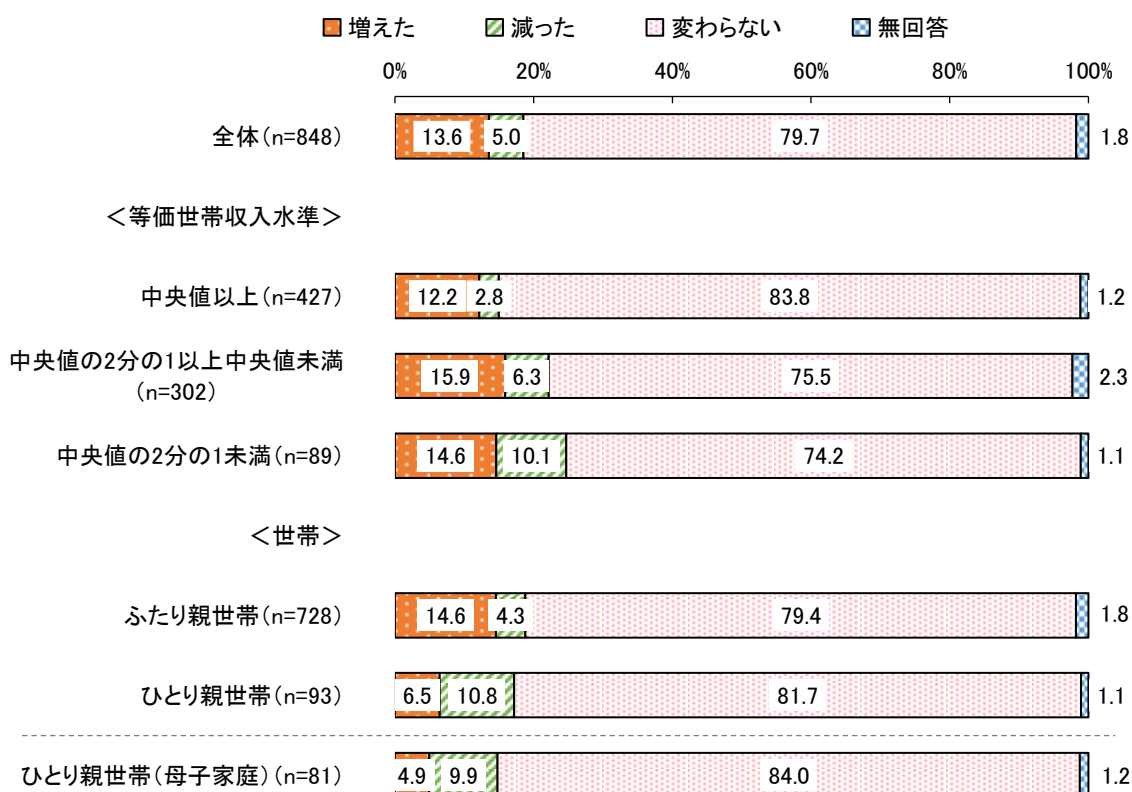


e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること」は、「増えた」が13.6%、「減った」が5.0%、「変わらない」が79.7%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では12.2%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では15.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では14.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では14.6%、「ひとり親世帯」では6.5%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では4.9%となっている。

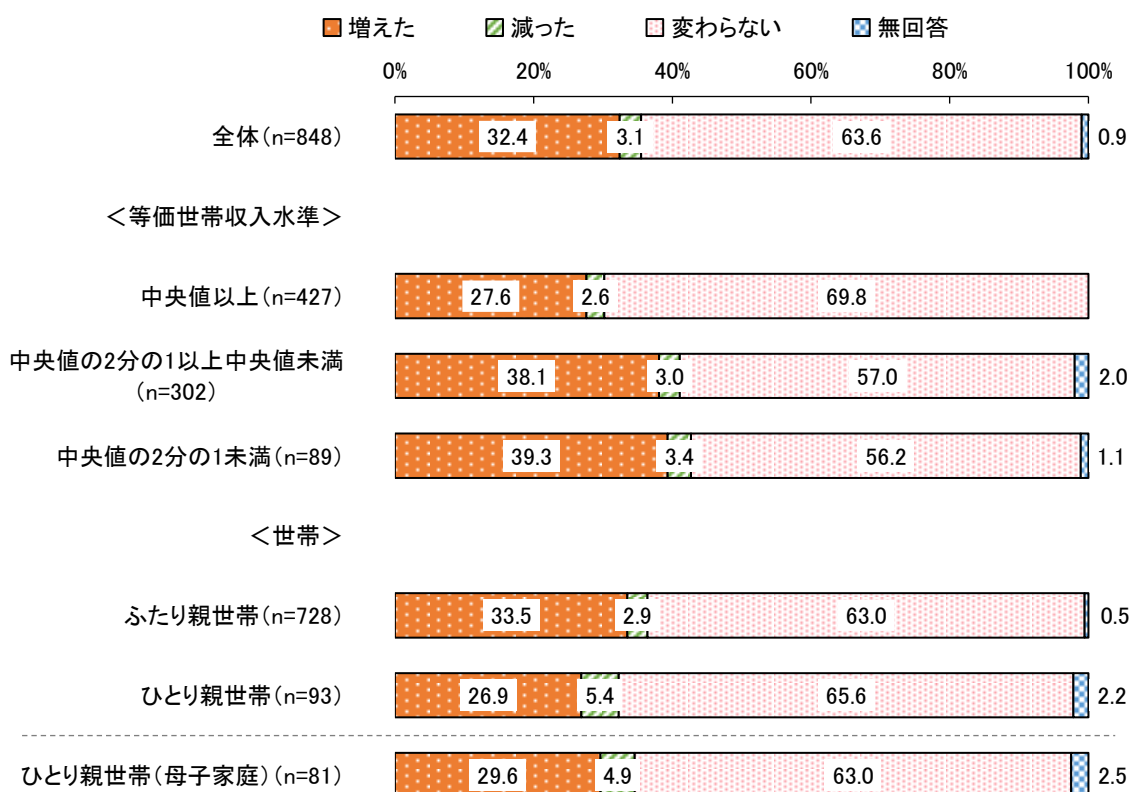


f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」は、「増えた」が32.4%、「減った」が3.1%、「変わらない」が63.6%となっている。

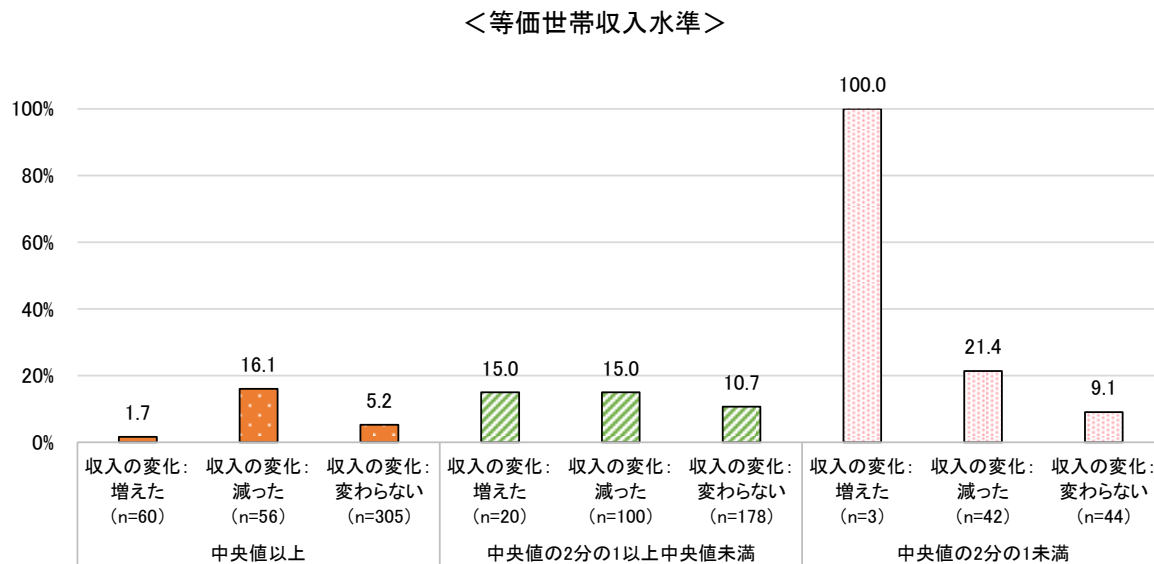
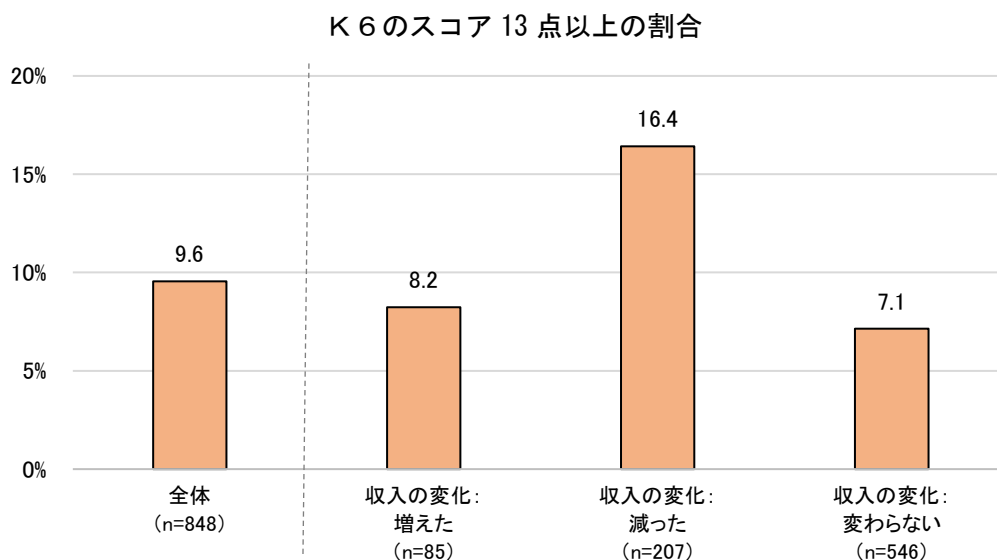
等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では27.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では38.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では39.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では33.5%、「ひとり親世帯」では26.9%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では29.6%となっている。



(2) 新型コロナウイルス感染症の影響と保護者の現在の状況との関係

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響について、「世帯全体の収入の変化」の状況別に保護者の心理的な状態（K6のスコア：3-1-8.（1）保護者の心理的な状態（59ページ）参照）について集計をした。収入の変化について「減った」と回答した場合、K6のスコアが「13点以上」の割合は16.4%となっており、収入の変化が「変わらない」や「増えた」場合と比べて高くなっている。



4-2. 子どもの状況

(1) 新型コロナウイルス感染症の影響

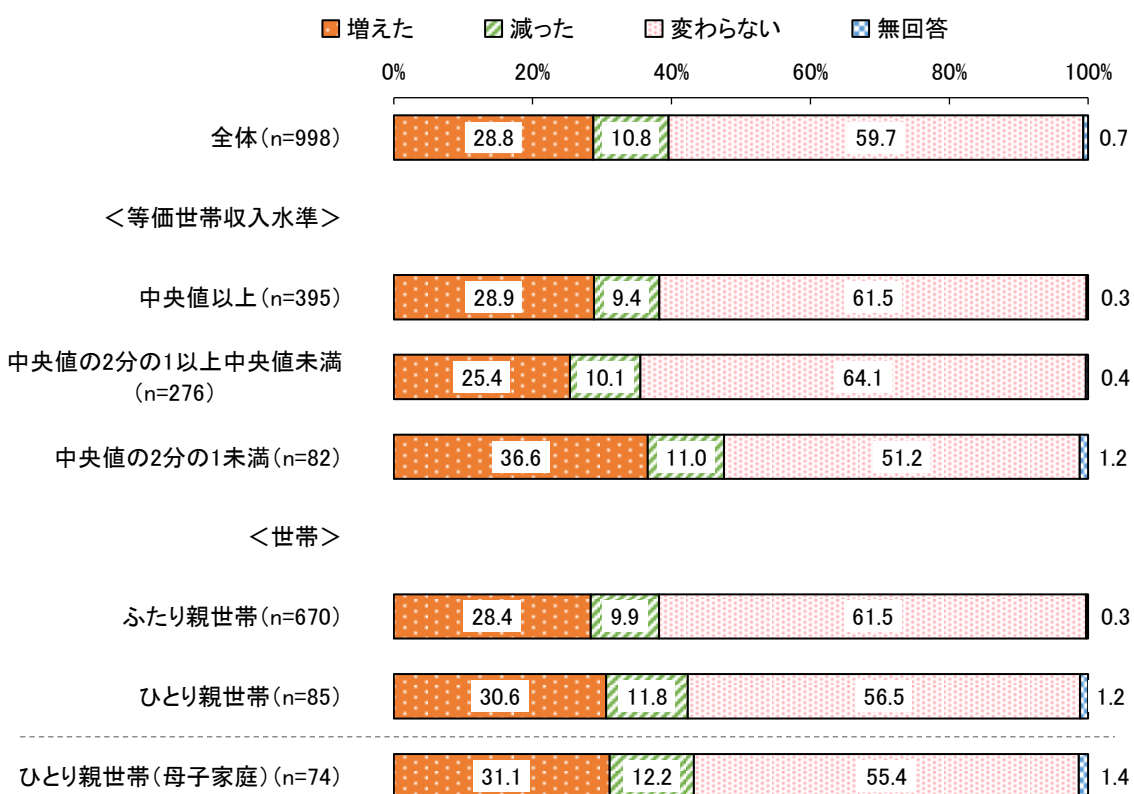
中学生票問 22 あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。（a～gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 学校の授業以外で勉強する時間

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「学校の授業以外で勉強する時間」は、「増えた」が28.8%、「減った」が10.8%、「変わらない」が59.7%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では28.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では25.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では36.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では28.4%、「ひとり親世帯」では30.6%となっている。

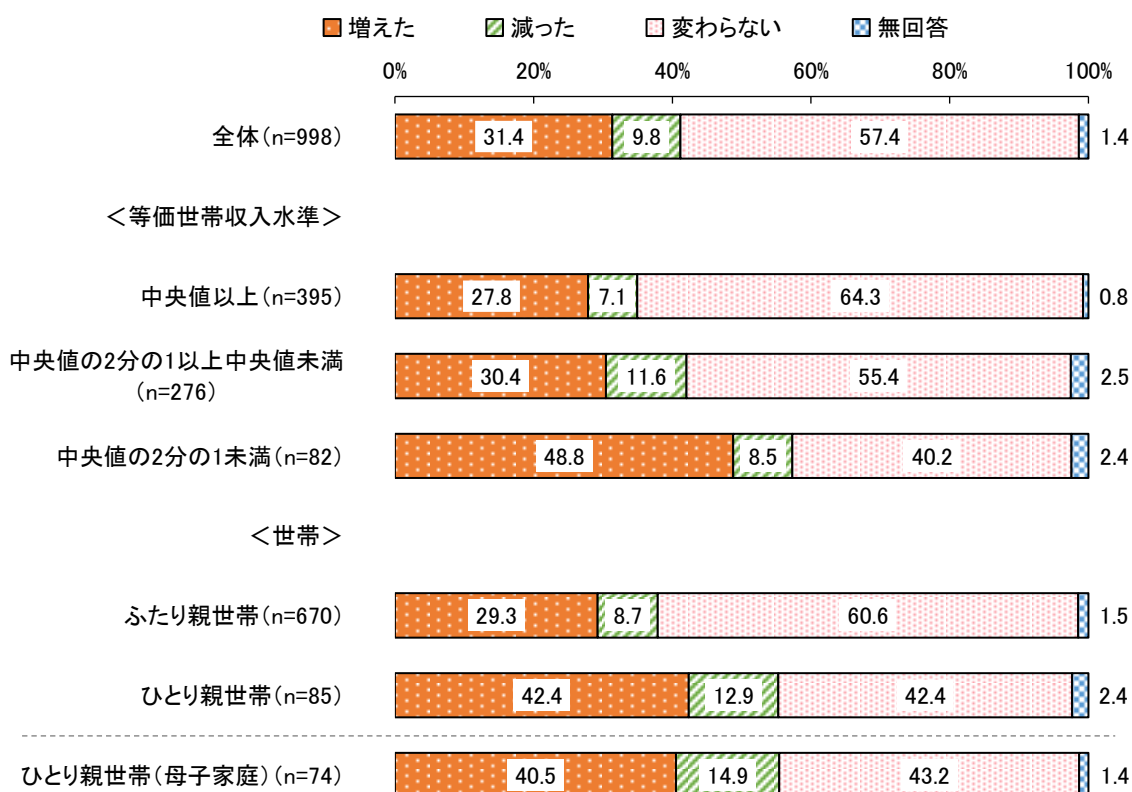


b) 学校の授業がわからないと感じること

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「学校の授業がわからないと感じること」は、「増えた」が31.4%、「減った」が9.8%、「変わらない」が57.4%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では27.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では30.4%、「中央値の2分の1未満」の世帯では48.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では29.3%、「ひとり親世帯」では42.4%となっている。

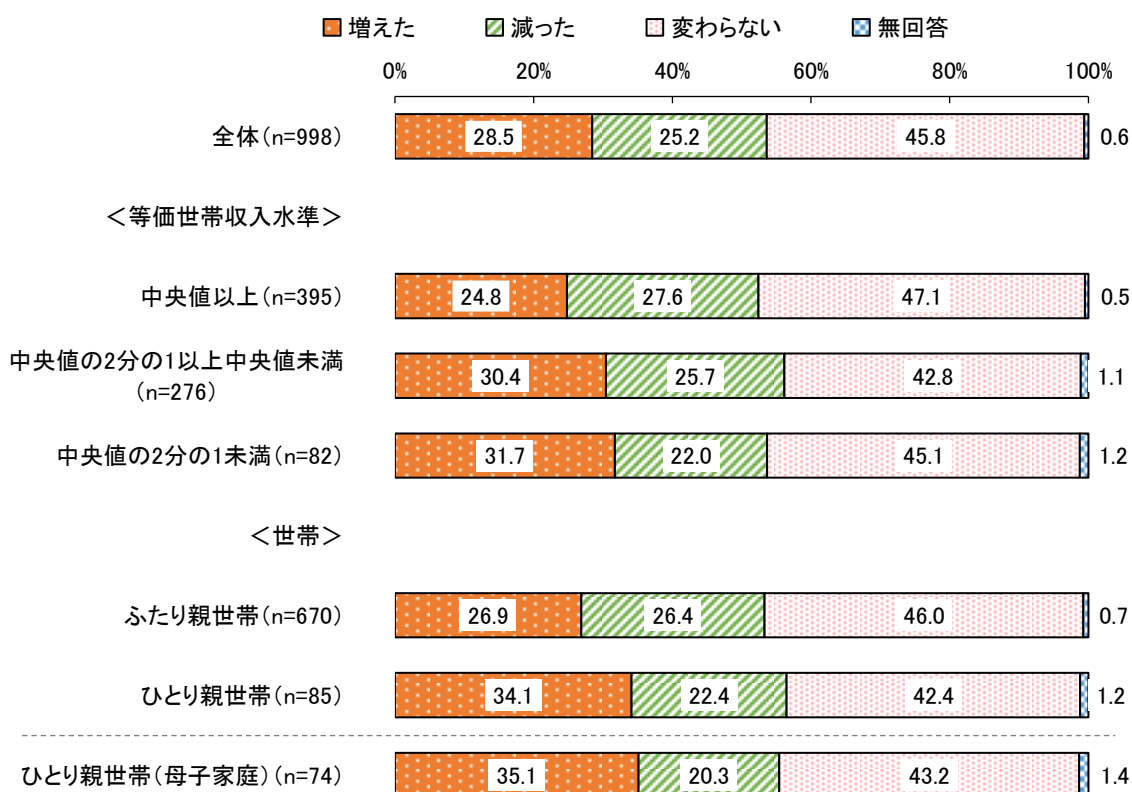


c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数」は、「増えた」が28.5%、「減った」が25.2%、「変わらない」が45.8%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では27.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では25.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では22.0%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では26.4%、「ひとり親世帯」では22.4%となっている。

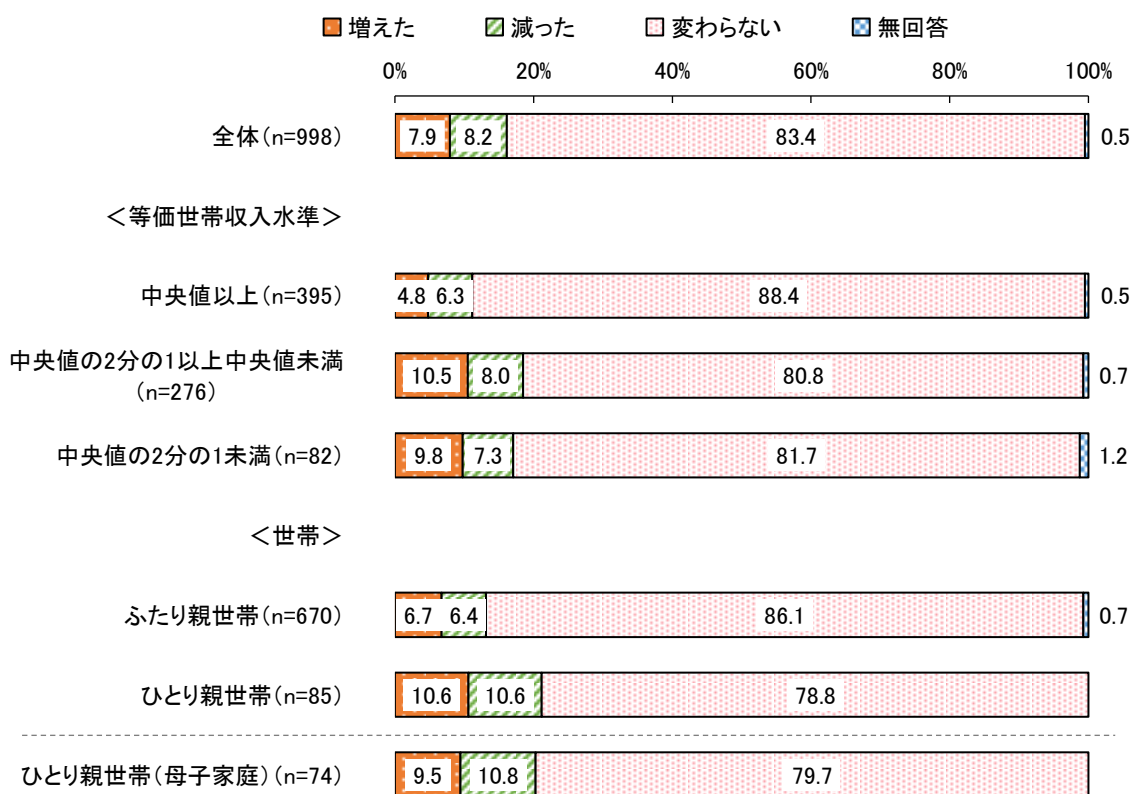


d) 食事を抜く回数

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「食事を抜く回数」は、「増えた」が7.9%、「減った」が8.2%、「変わらない」が83.4%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では4.8%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では10.5%、「中央値の2分の1未満」の世帯では9.8%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では6.7%、「ひとり親世帯」では10.6%となっている。

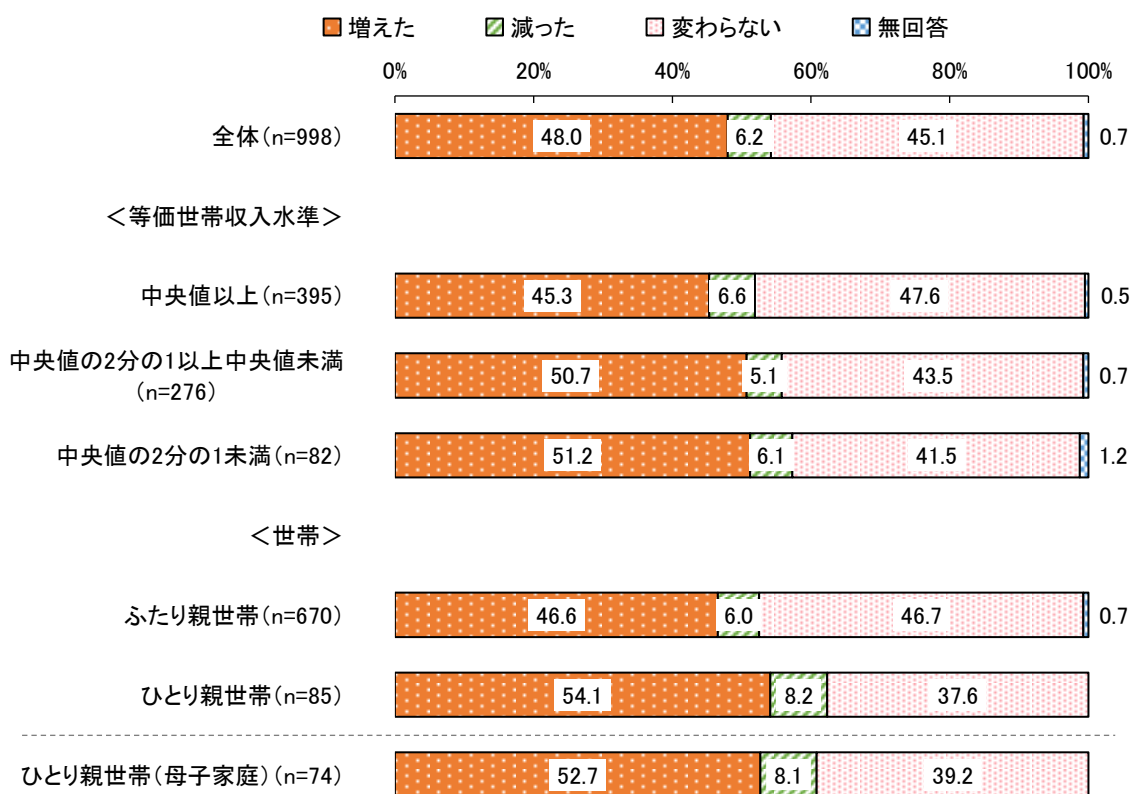


e) 夜遅くまで起きている回数

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「夜遅くまで起きている回数」は、「増えた」が48.0%、「減った」が6.2%、「変わらない」が45.1%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では45.3%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では50.7%、「中央値の2分の1未満」の世帯では51.2%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では46.6%、「ひとり親世帯」では54.1%となっている。

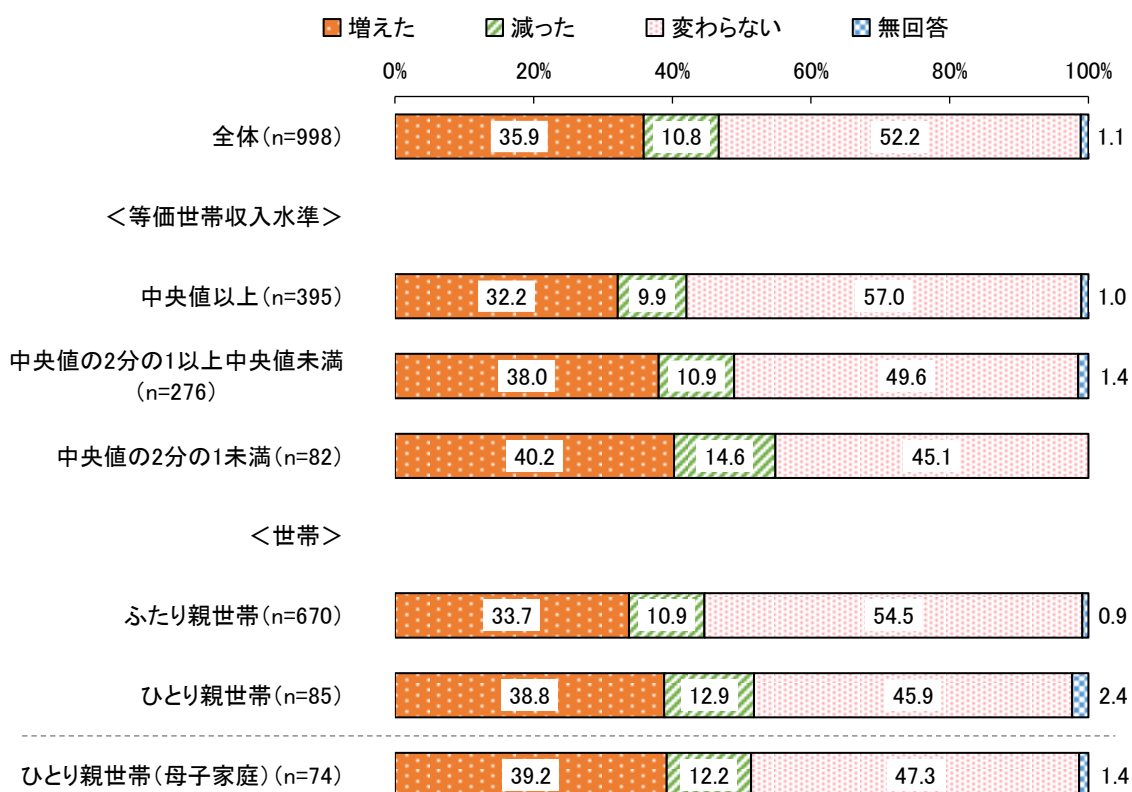


f) 親以外の大人や友達と話すこと

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「親以外の大人や友達と話すこと」は、「増えた」が35.9%、「減った」が10.8%、「変わらない」が52.2%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「減った」の割合は、「中央値以上」の世帯では9.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では10.9%、「中央値の2分の1未満」の世帯では14.6%となっている。

世帯の状況別にみると、「減った」の割合は、「ふたり親世帯」では10.9%、「ひとり親世帯」では12.9%となっている。

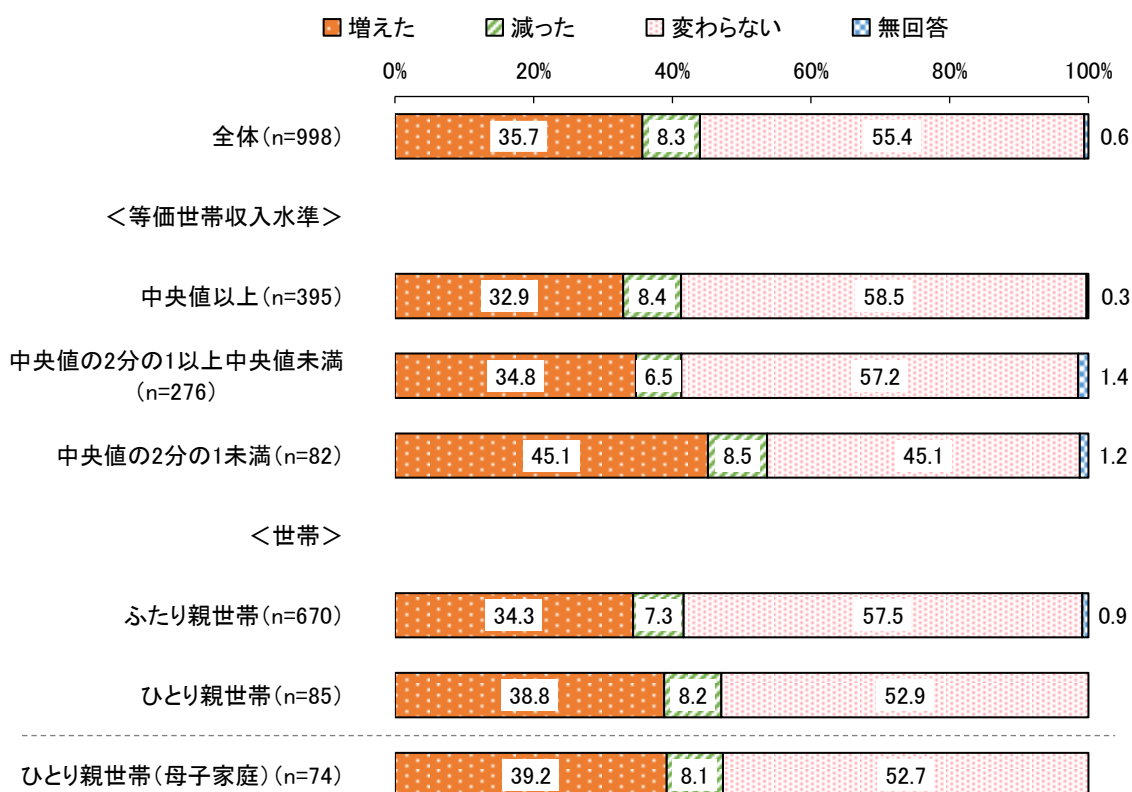


g) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

新型コロナウイルス感染症の拡大により変化があった内容について、「イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」は、「増えた」が35.7%、「減った」が8.3%、「変わらない」が55.4%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値以上」の世帯では32.9%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では34.8%、「中央値の2分の1未満」の世帯では45.1%となっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」では34.3%、「ひとり親世帯」では38.8%となっている。

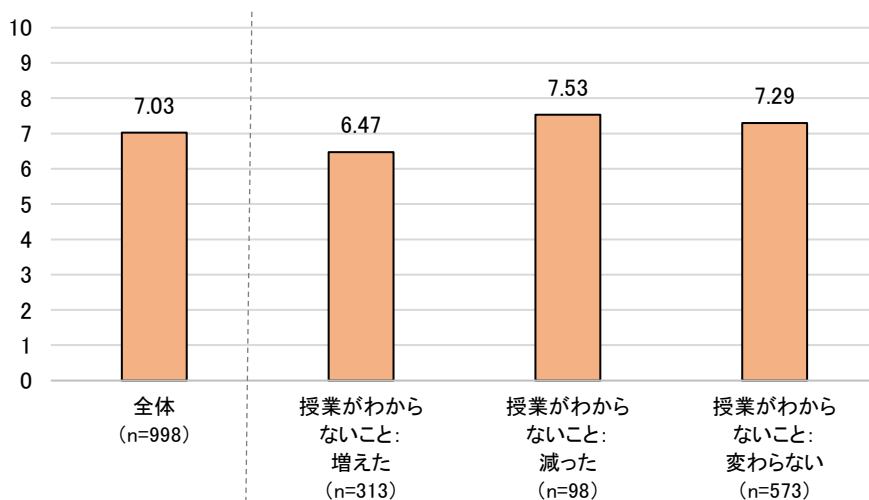


(2) 新型コロナウイルス感染症の影響と子どもの現在の状況との関係

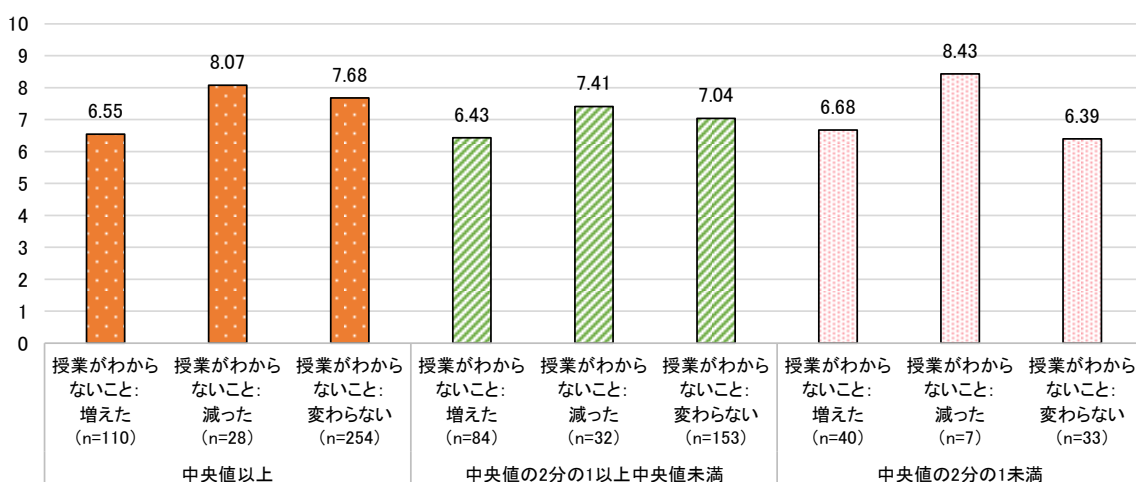
新型コロナウイルス感染症の拡大の影響について、「学校の授業がわからないと感じること」の状況別に子どもの生活満足度について集計すると、生活満足度の平均値は、「学校の授業がわからないと感じること」について「増えた」と回答した場合は6.47、「減った」と回答した場合は7.53、「変わらない」と回答した場合は7.29となっている。

また、等価世帯収入の水準で分類した上で、「学校の授業がわからないと感じること」の状況別に子どもの生活満足度について集計すると、等価世帯収入の水準がいずれの場合であっても、「学校の授業がわからないと感じること」について「増えた」と回答した場合は「減った」と回答した場合より生活満足度の平均値が低くなっている。

生活満足度（0～10点）の平均値



<等価世帯収入水準>



5. 支援の利用状況や効果等

5-1. 保護者の状況

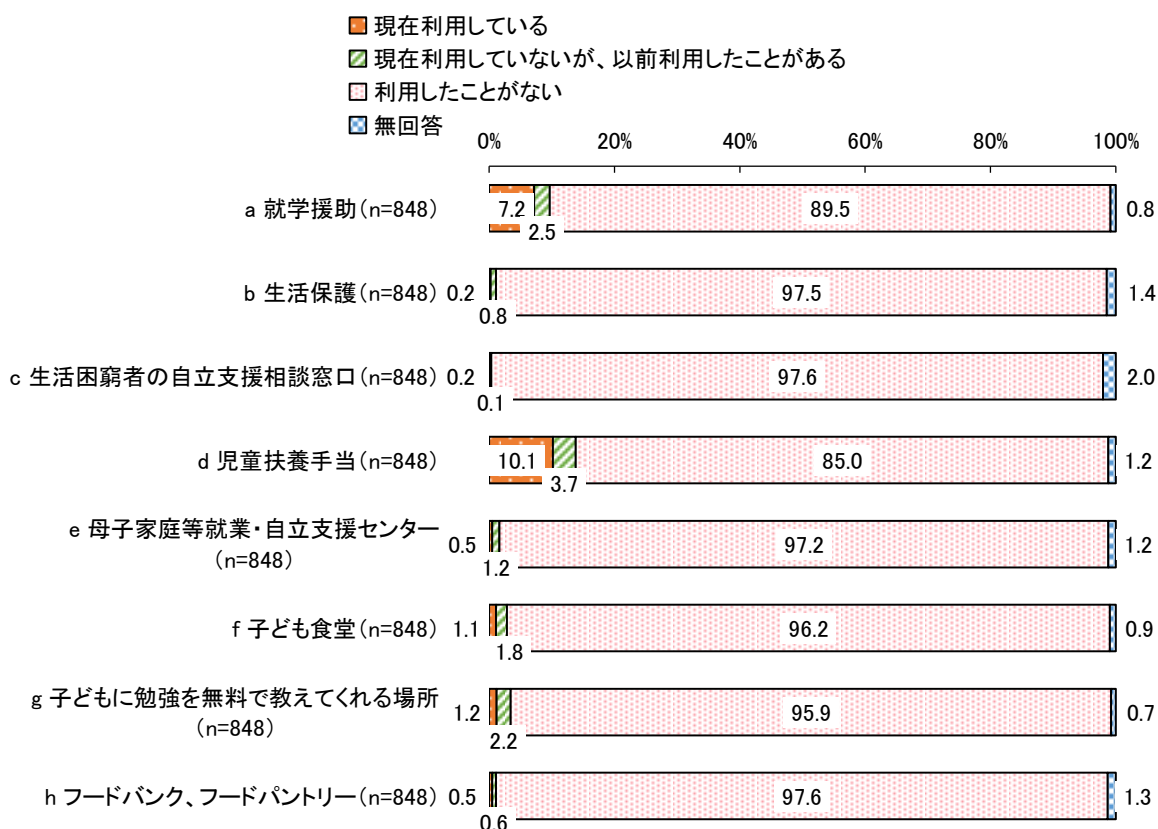
(1) 支援制度の利用状況

保護者票問 27 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(a～hそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○) また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

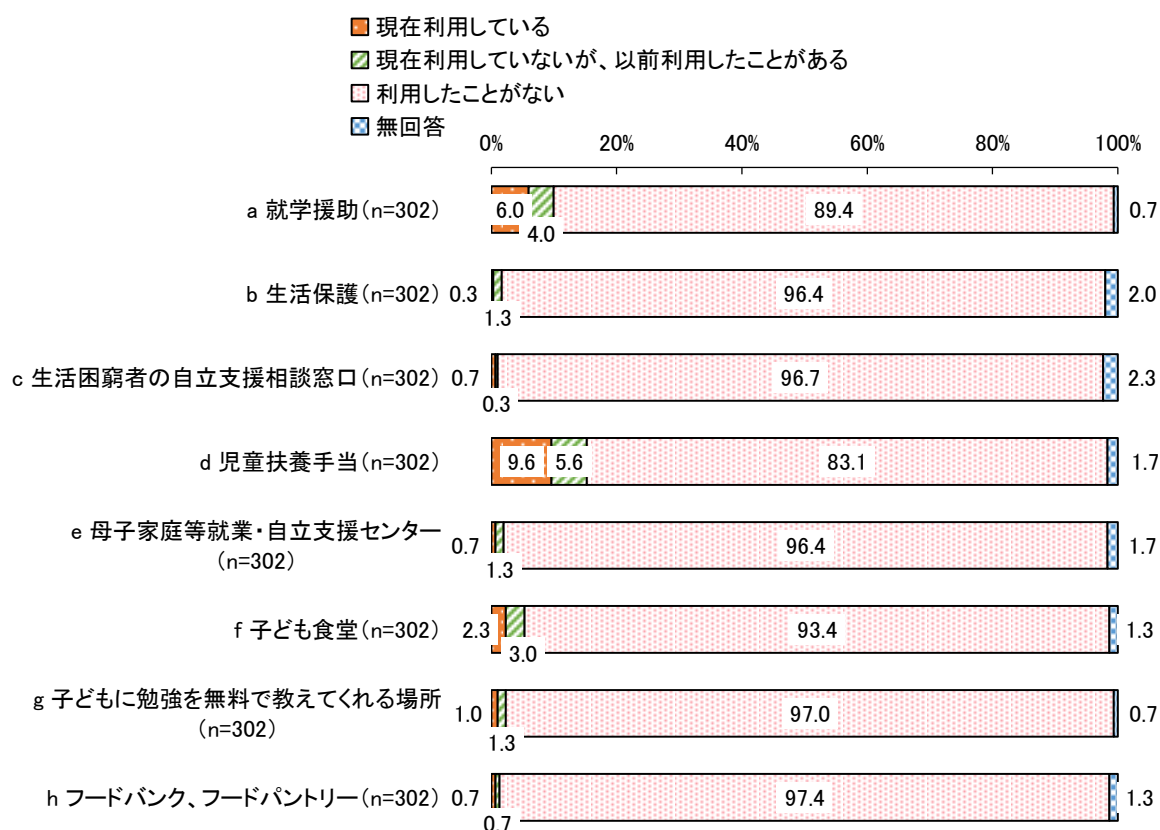
支援制度の利用状況について、「児童扶養手当」に関しては、「現在利用している」の割合が約1割、「就学援助」、「生活保護」、「生活困窮者の自立支援相談窓口」、「母子家庭等就業・自立支援センター」、「子ども食堂」、「子どもに勉強を無料で教えてくれる場所」、「フードバンク、フードパントリー」の割合は1割未満となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「現在利用している」の割合は、「就学援助」については41.6%、「児童扶養手当」については46.1%となっている。それ以外は、「現在利用している」の割合は1割未満となっている。

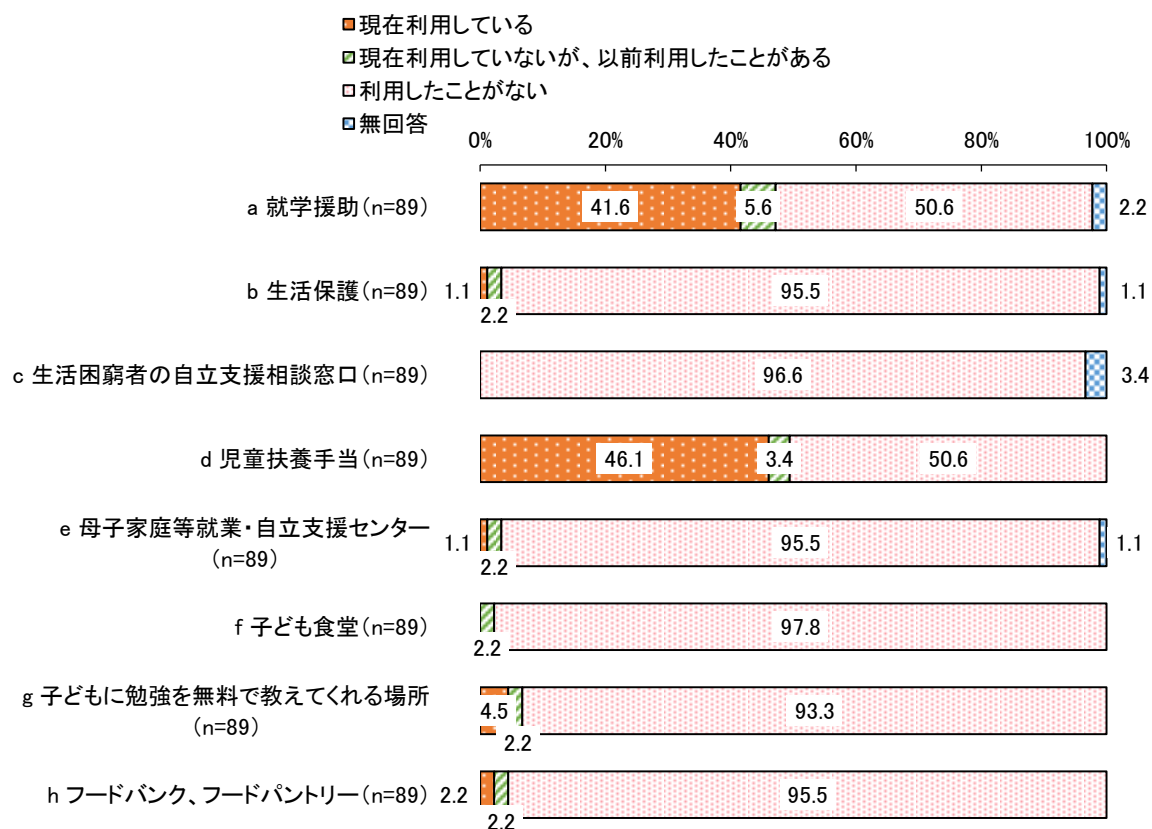
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「現在利用している」の割合は、「就学援助」については46.2%、「児童扶養手当」については60.2%となっている。「ひとり親世帯（母子家庭）」のみに限って集計すると、「現在利用している」の割合は、「就学援助」については50.6%、「児童扶養手当」については65.4%と過半数を占めている。



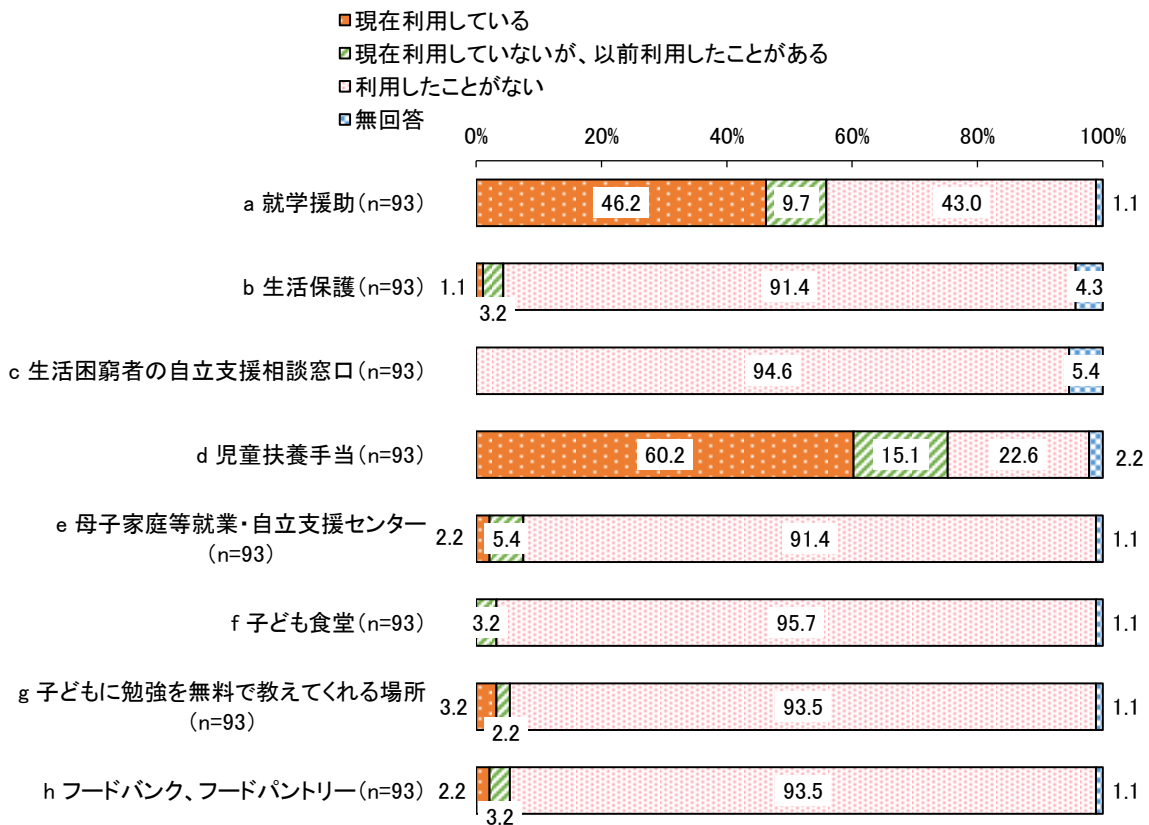
※等価世帯収入が中央値の2分の1以上中央値未満の場合



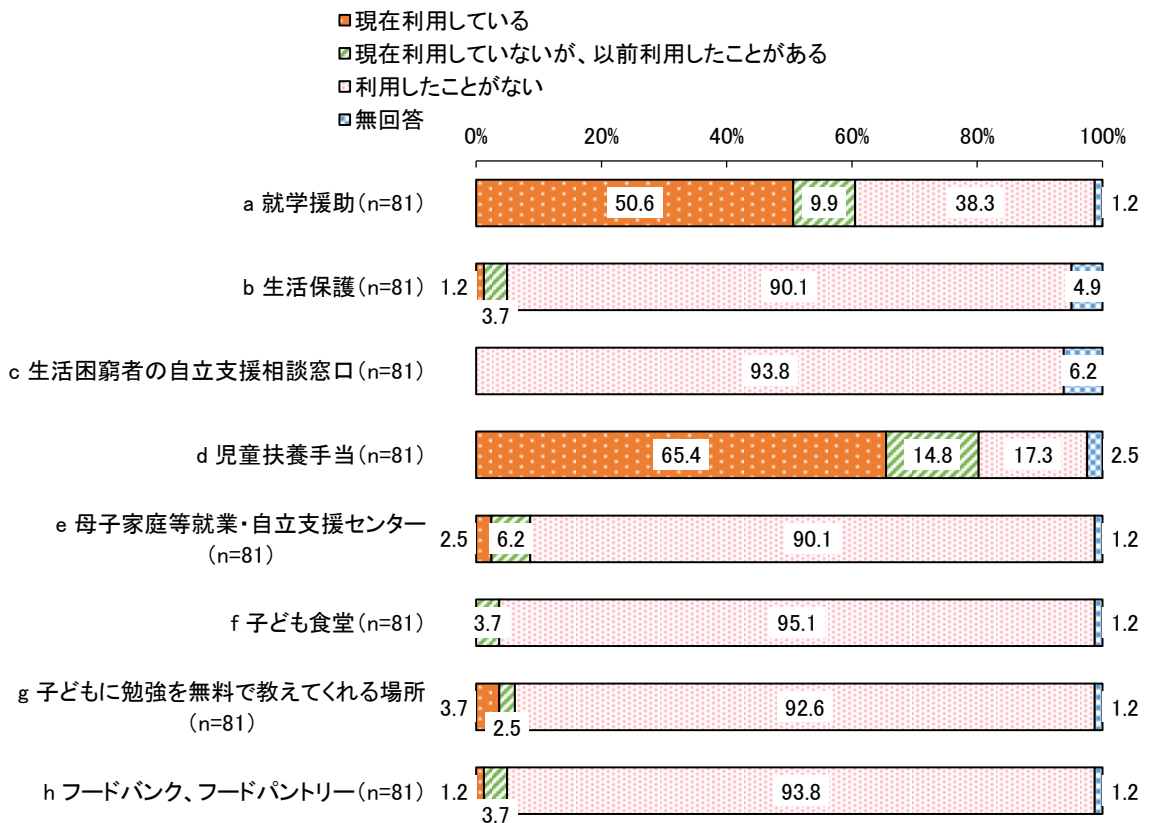
※等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合



※ひとり親世帯の場合

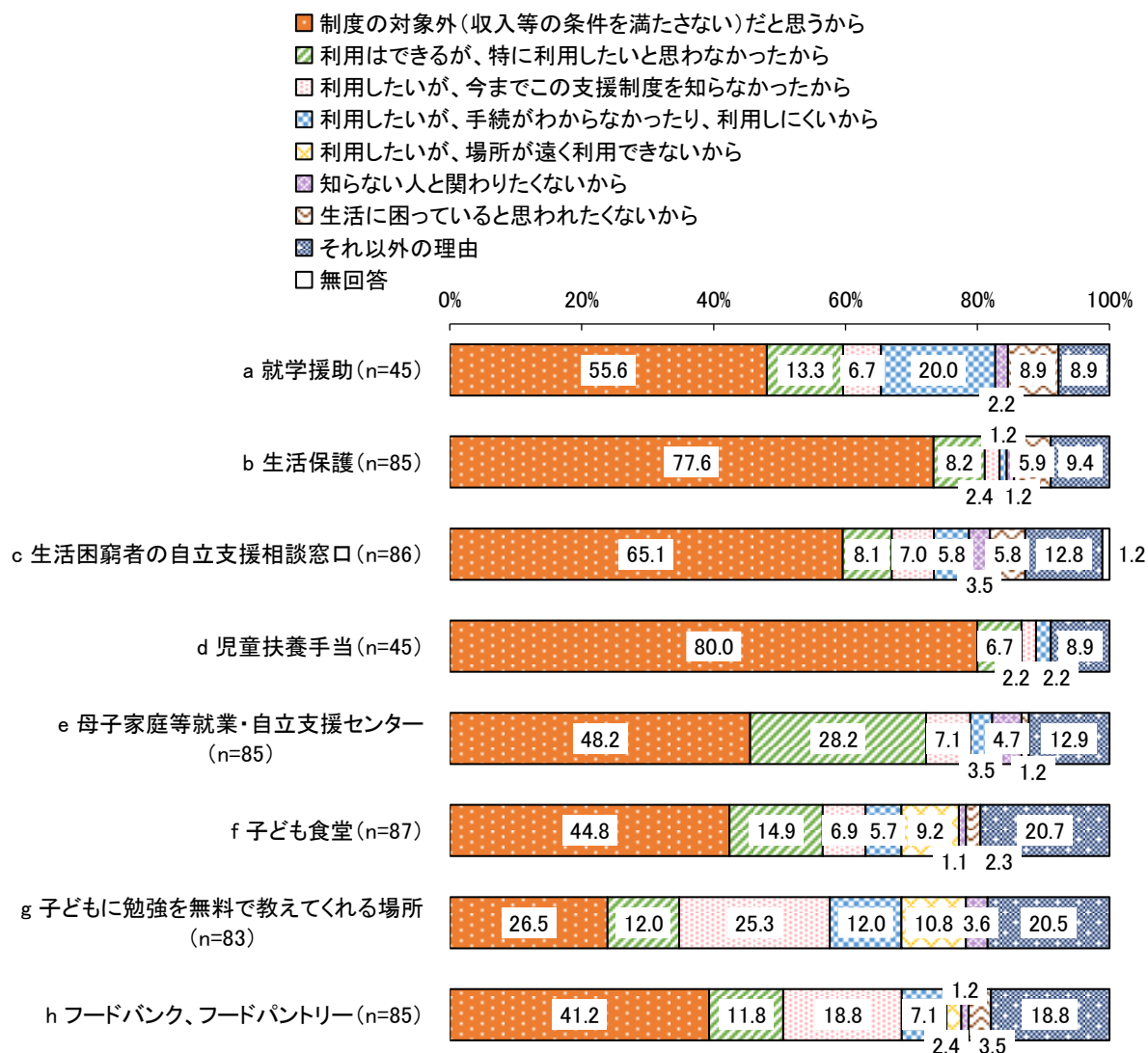


※ひとり親世帯（母子家庭）の場合



(2) 支援制度を利用したことがない理由

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度を利用していない理由



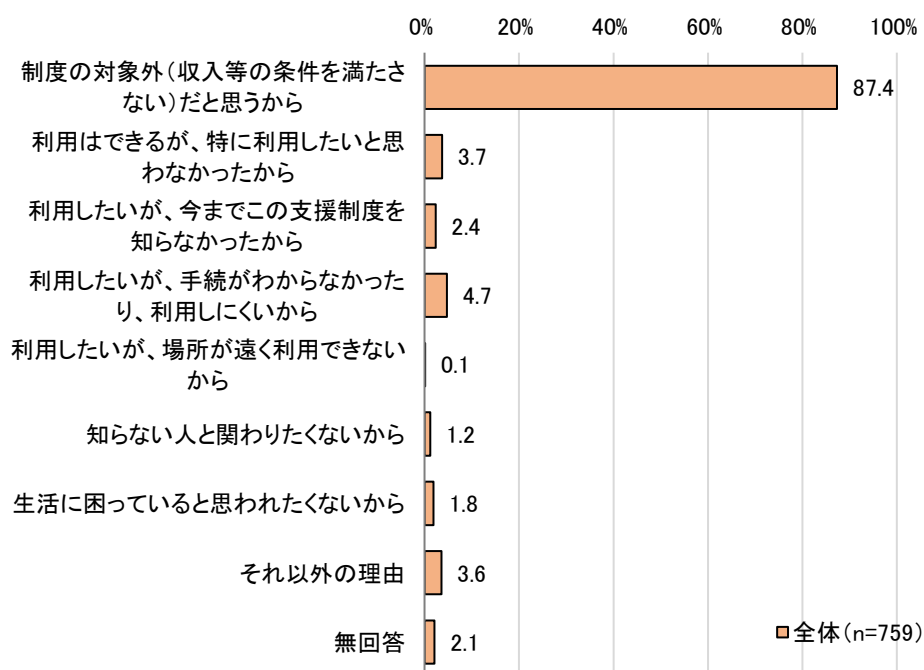
※全体で集計をすると、ほとんどが「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」の回答となるため、等価世帯収入の水準が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計を行った。次頁以降に各支援制度の全体結果と分析を掲載。

a 就学援助

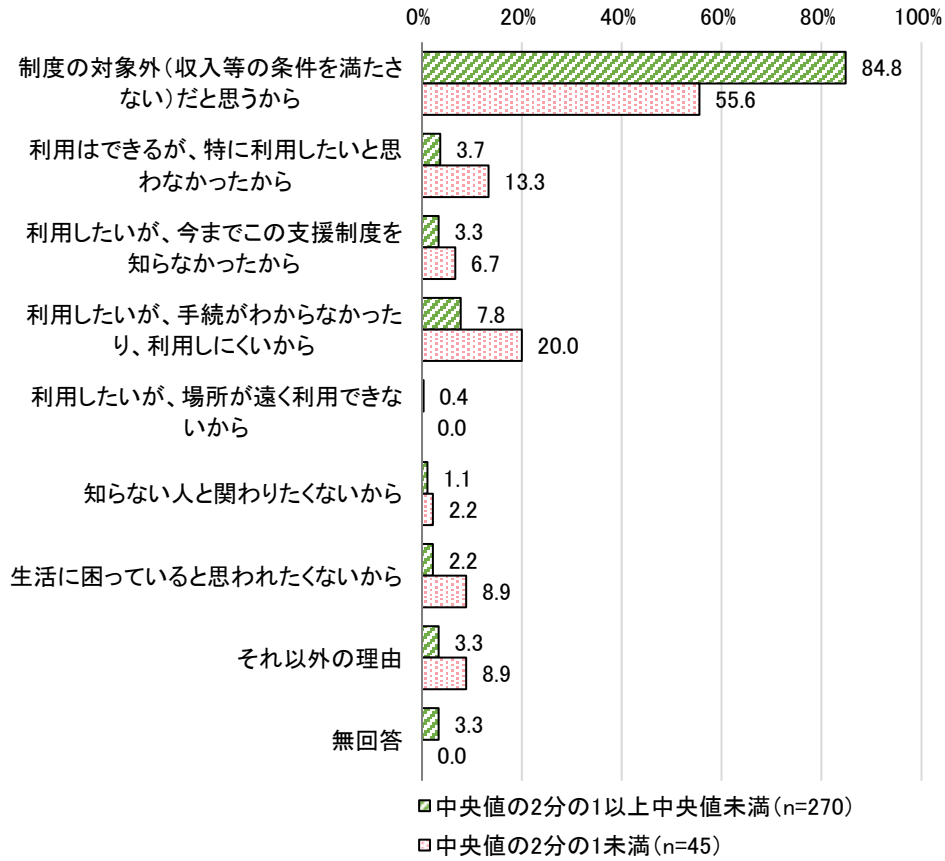
「就学援助」を利用していない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が87.4%となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が55.6%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が20.0%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が13.3%、「生活に困っていると思われたくないから」、「それ以外の理由」が8.9%となっている。

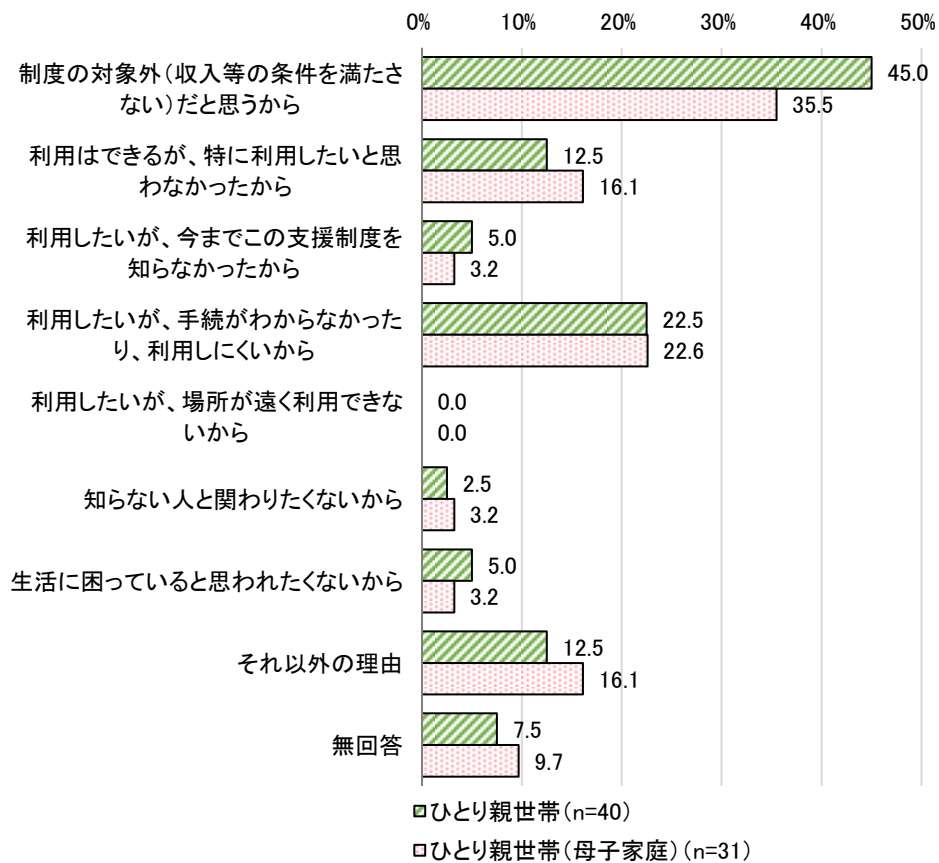
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が45.0%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が22.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」、「それ以外の理由」が12.5%となっている。



<等価世帯収入水準>



<世帯>

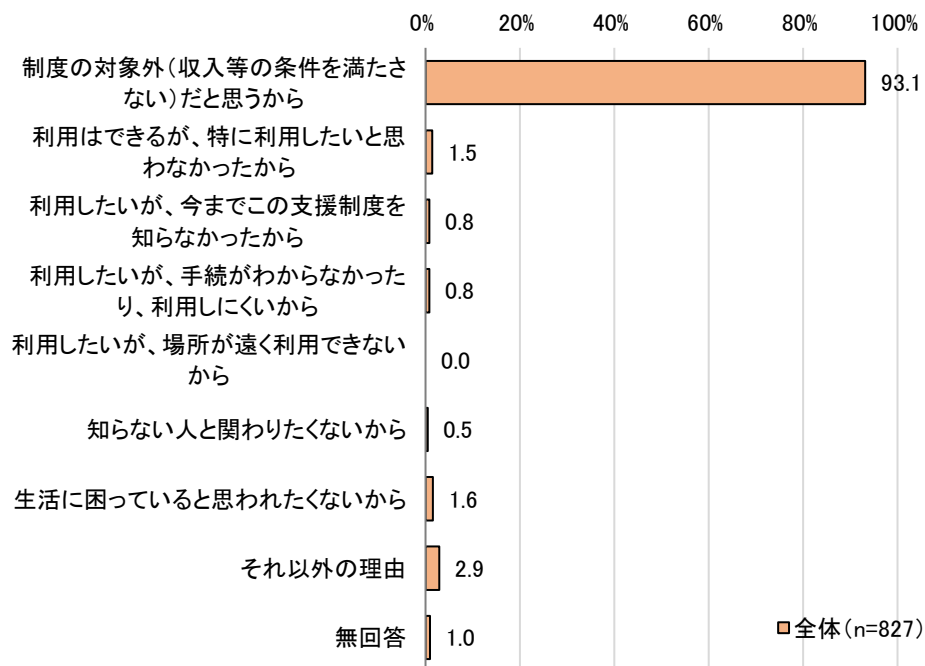


b 生活保護

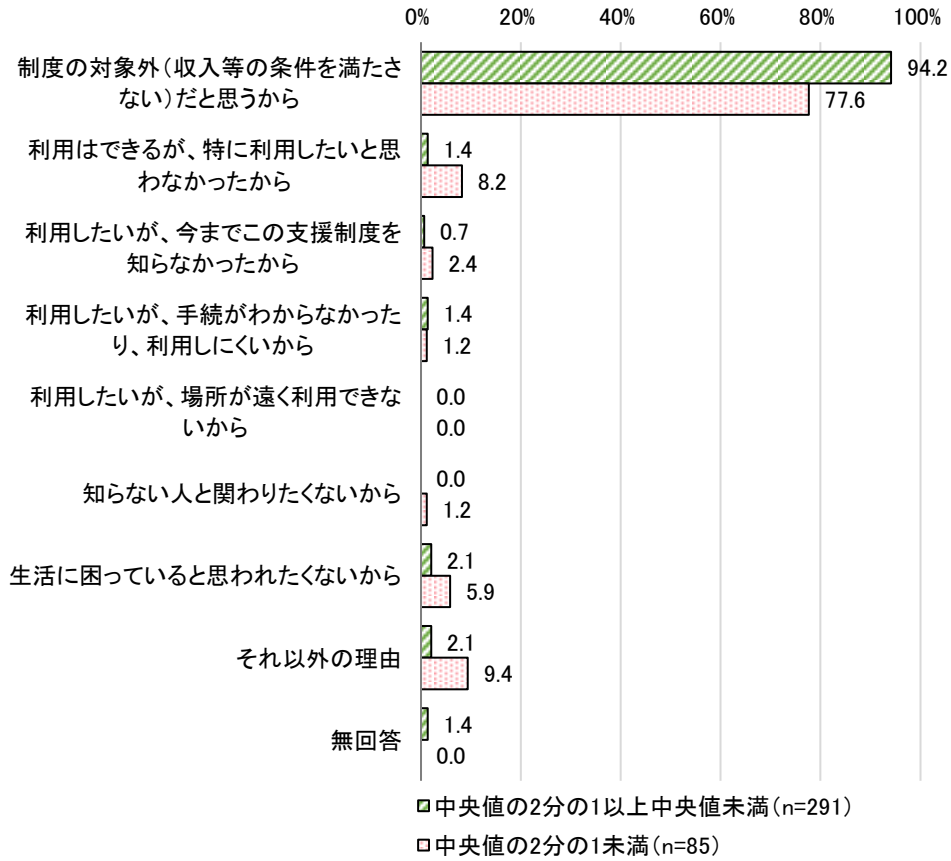
「生活保護」を利用していない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が93.1%となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が77.6%、「それ以外の理由」が9.4%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が8.2%となっている。

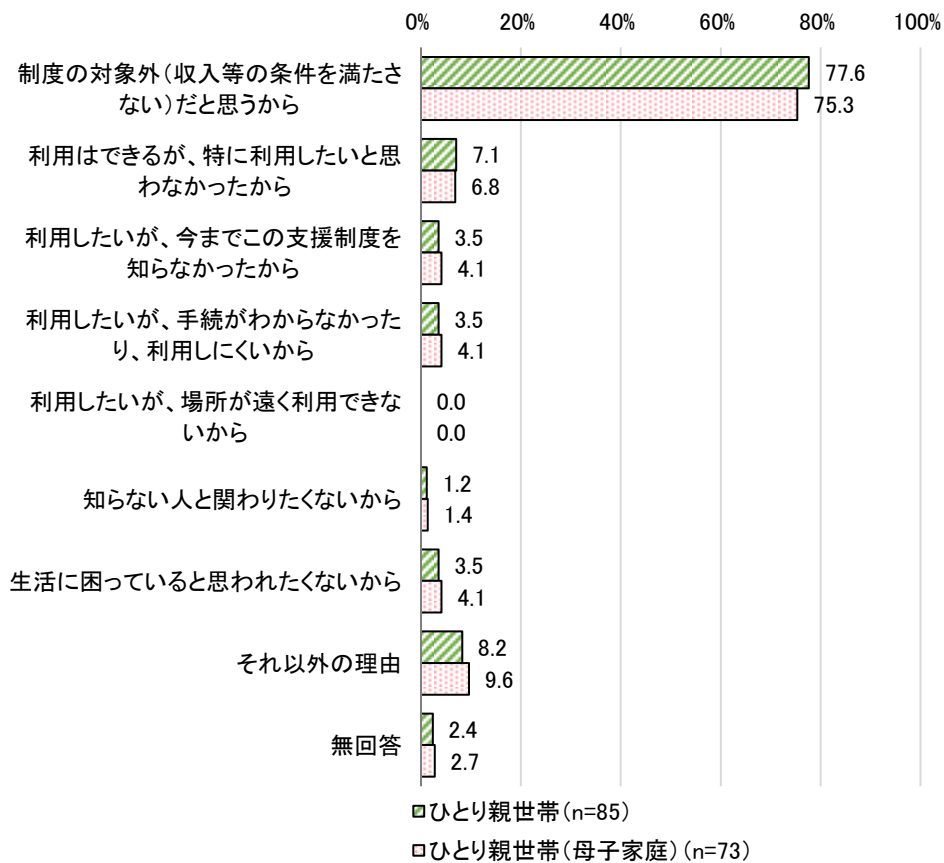
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が77.6%、「それ以外の理由」が8.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が7.1%となっている。



<等価世帯収入水準>



<世帯>

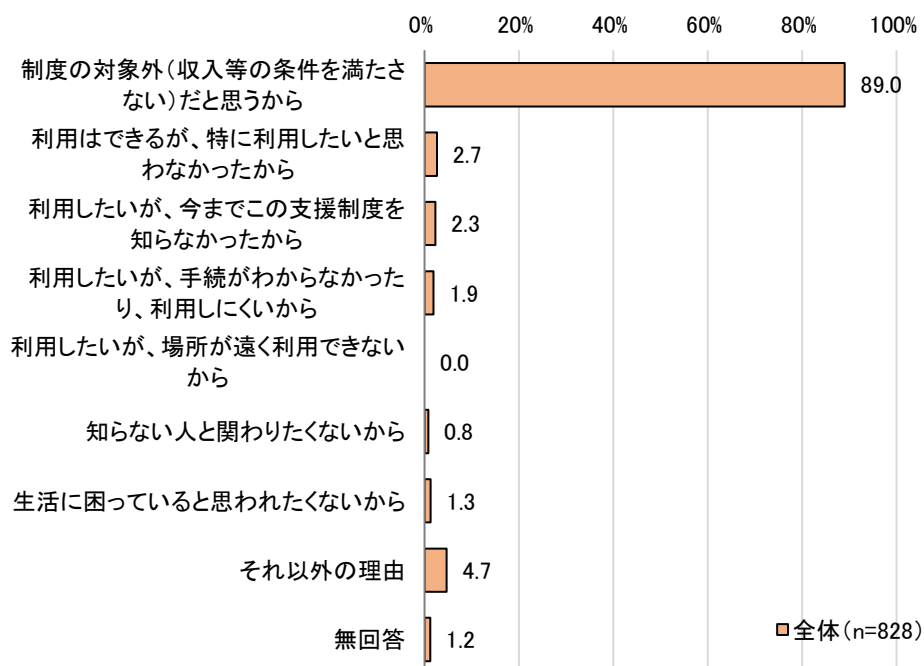


c 生活困窮者の自立支援相談窓口

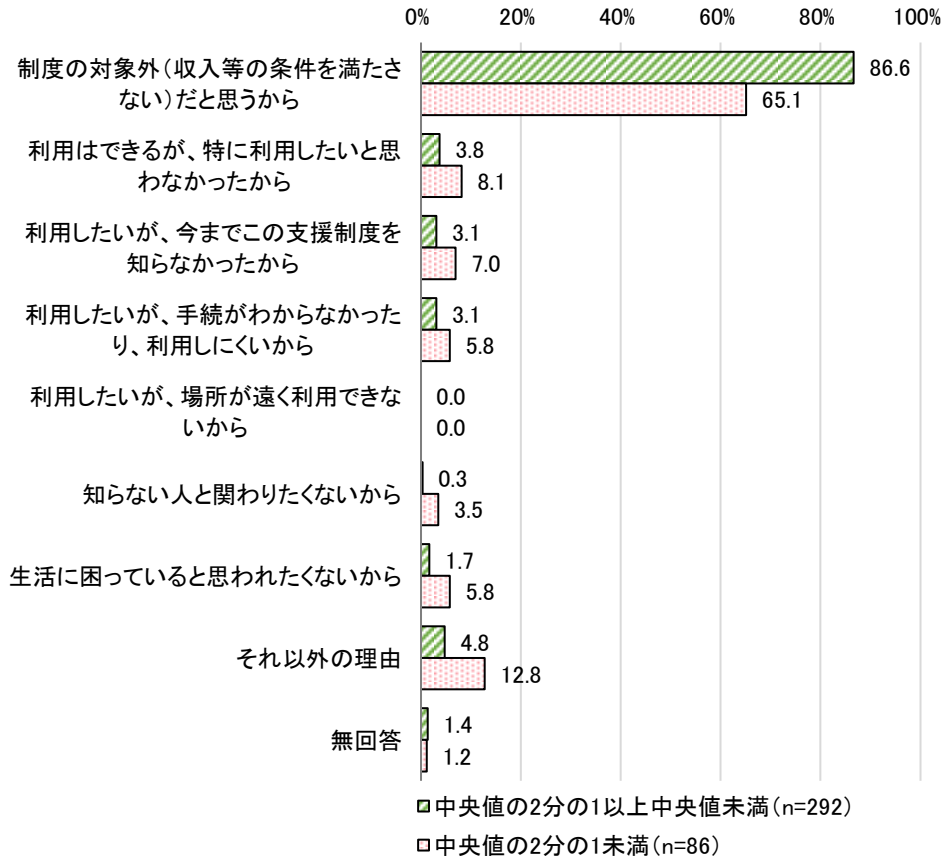
「生活困窮者の自立支援相談窓口」を利用していない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が89.0%となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が65.1%、「それ以外の理由」が12.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が8.1%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が7.0%となっている。

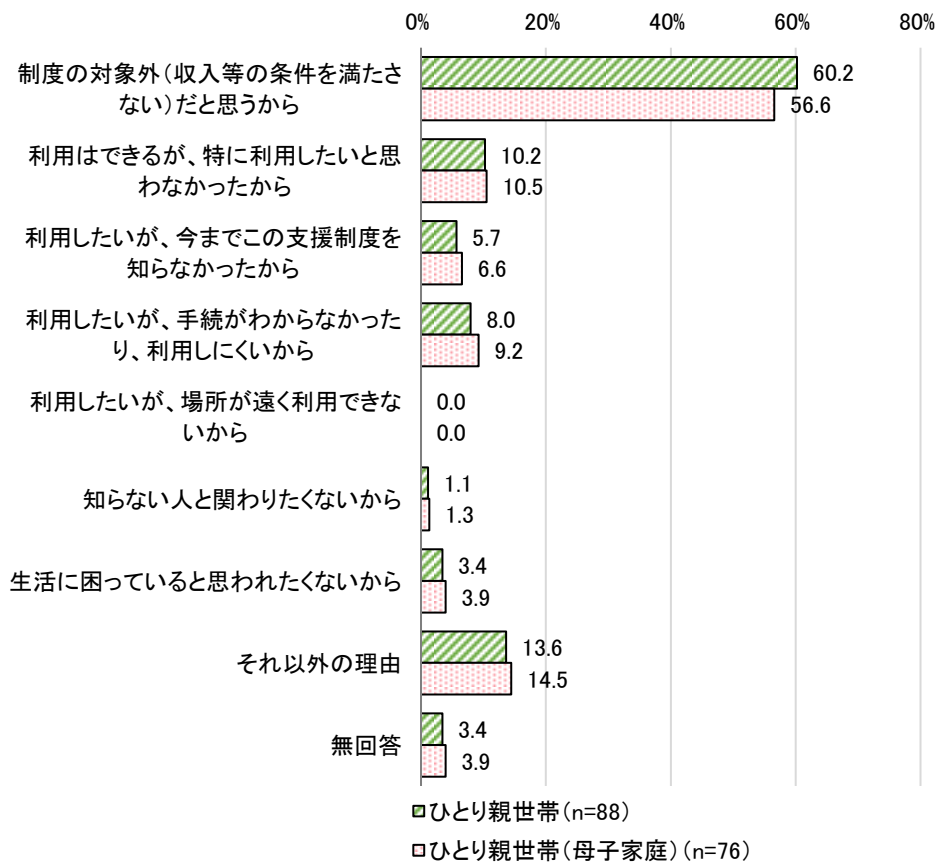
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が60.2%、「それ以外の理由」が13.6%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が10.2%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が8.0%となっている。



<等価世帯収入水準>



<世帯>

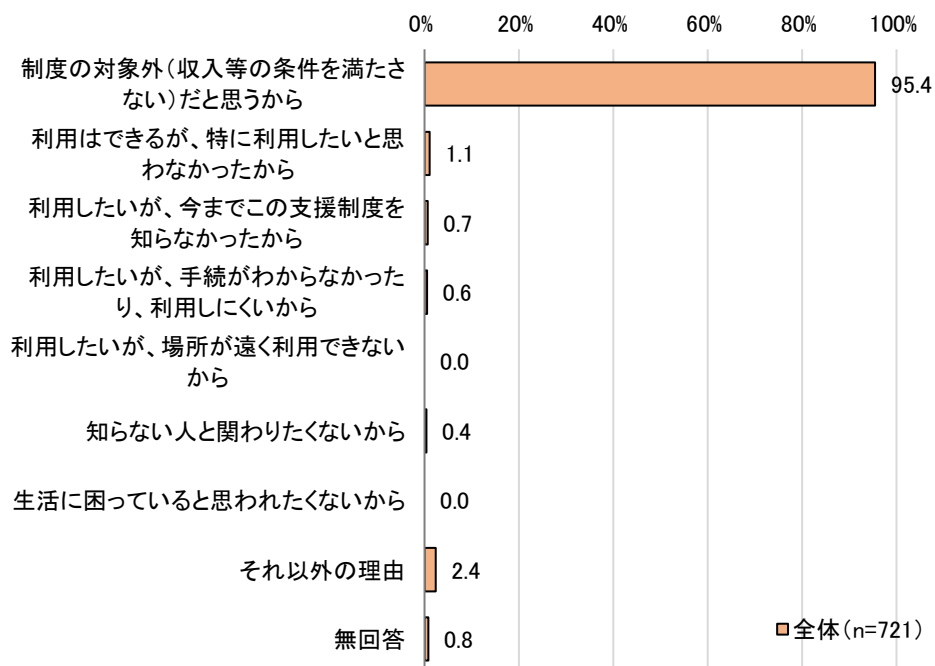


d 児童扶養手当

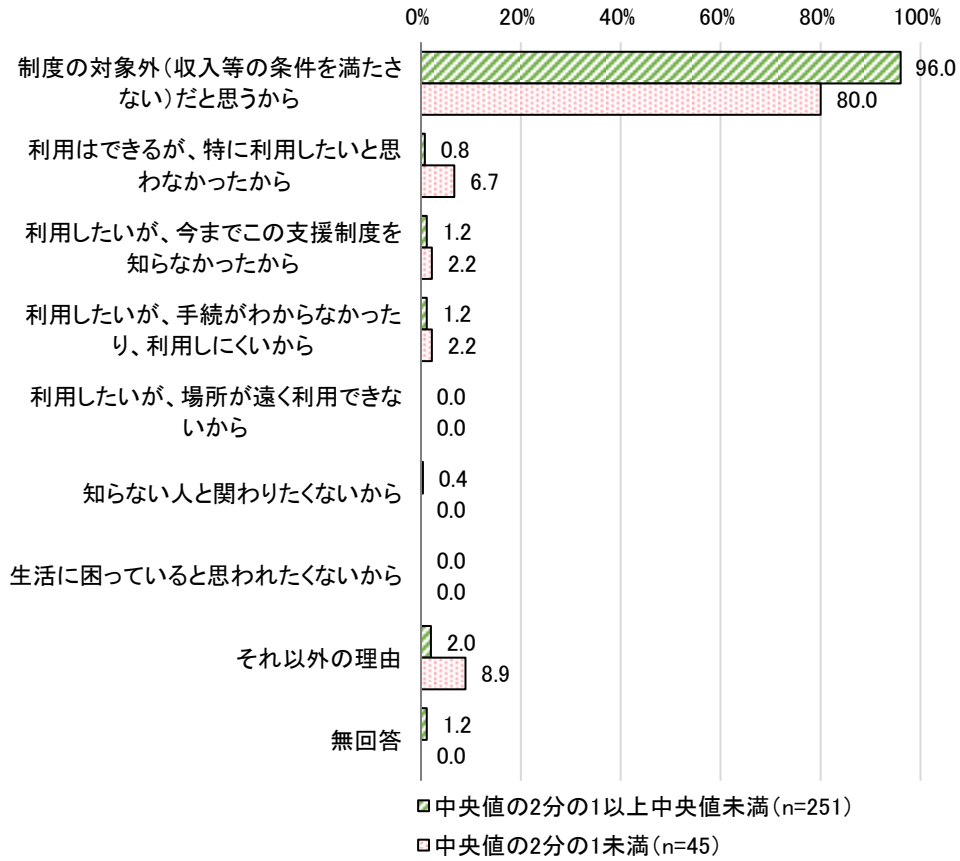
「児童扶養手当」を利用していない理由について、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」が95.4%となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」が80.0%、「それ以外の理由」が8.9%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が6.7%となっている。

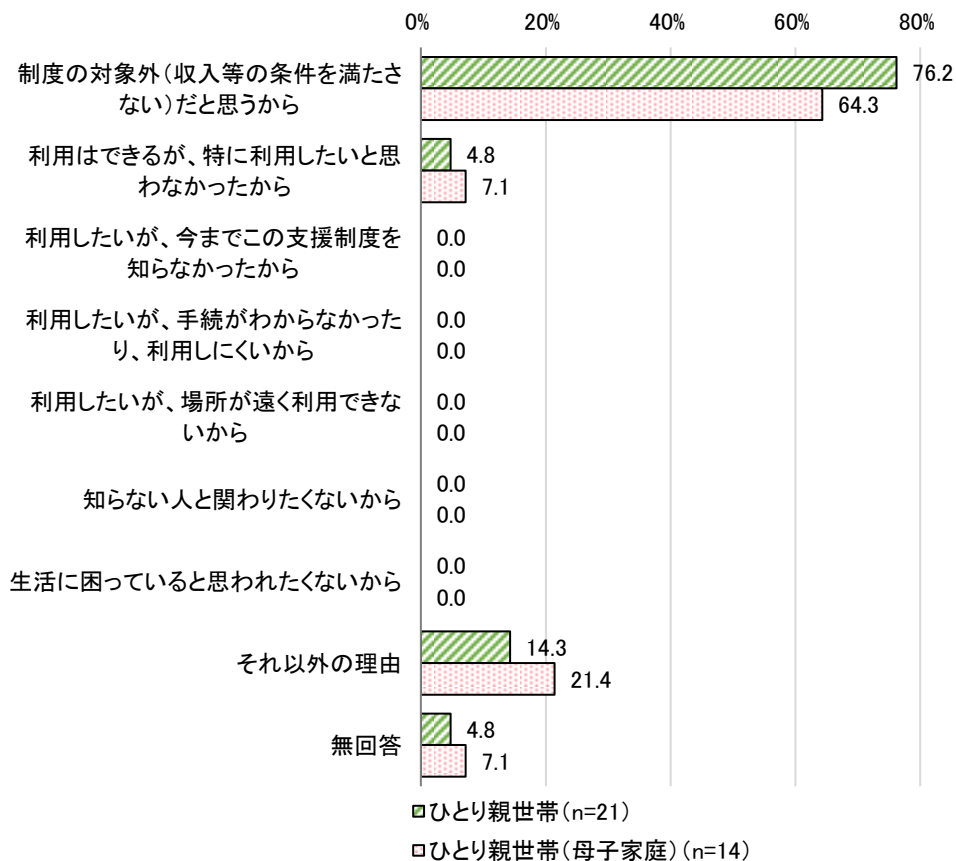
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「制度の対象外(収入等の条件を満たさない)だと思うから」が76.2%、「それ以外の理由」が14.3%となっている。



<等価世帯収入水準>



<世帯>

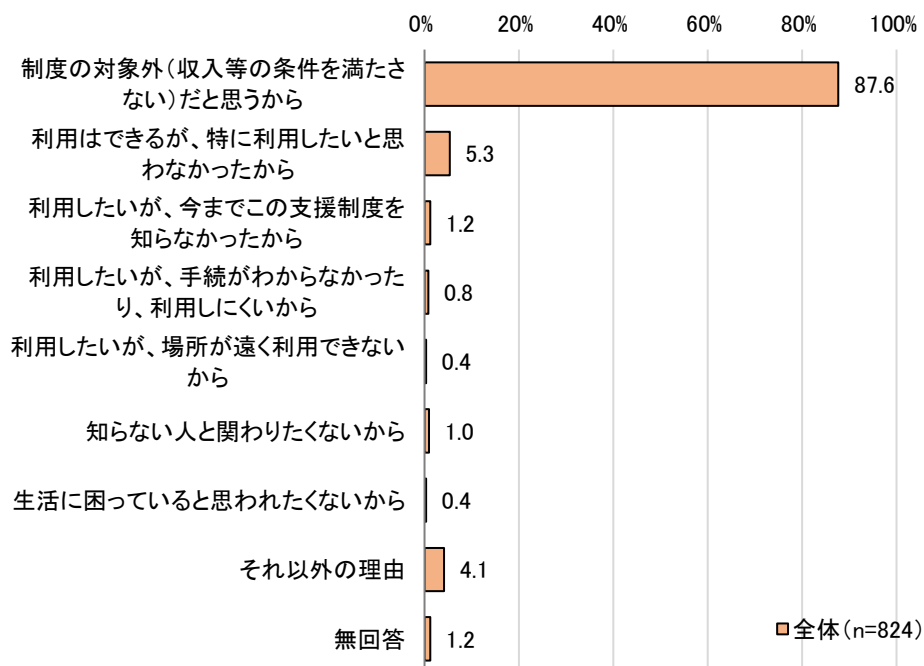


e 母子家庭等就業・自立支援センター

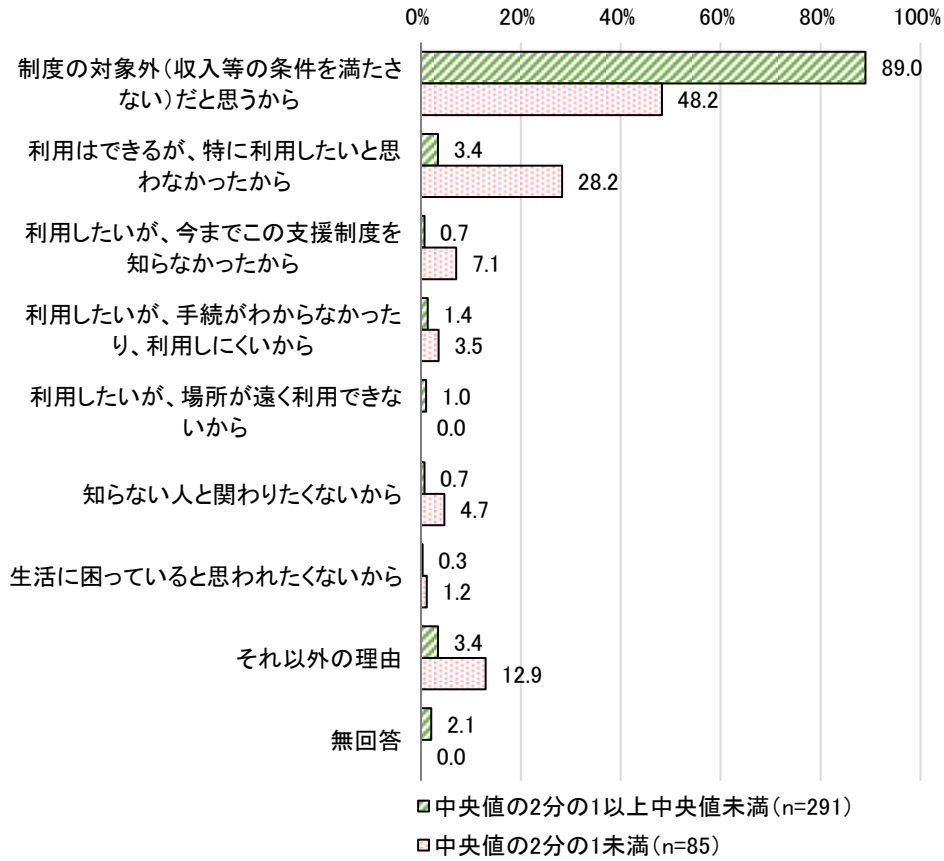
「母子家庭等就業・自立支援センター」を利用していない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が87.6%となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が48.2%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が28.2%、「それ以外の理由」が12.9%となっている。

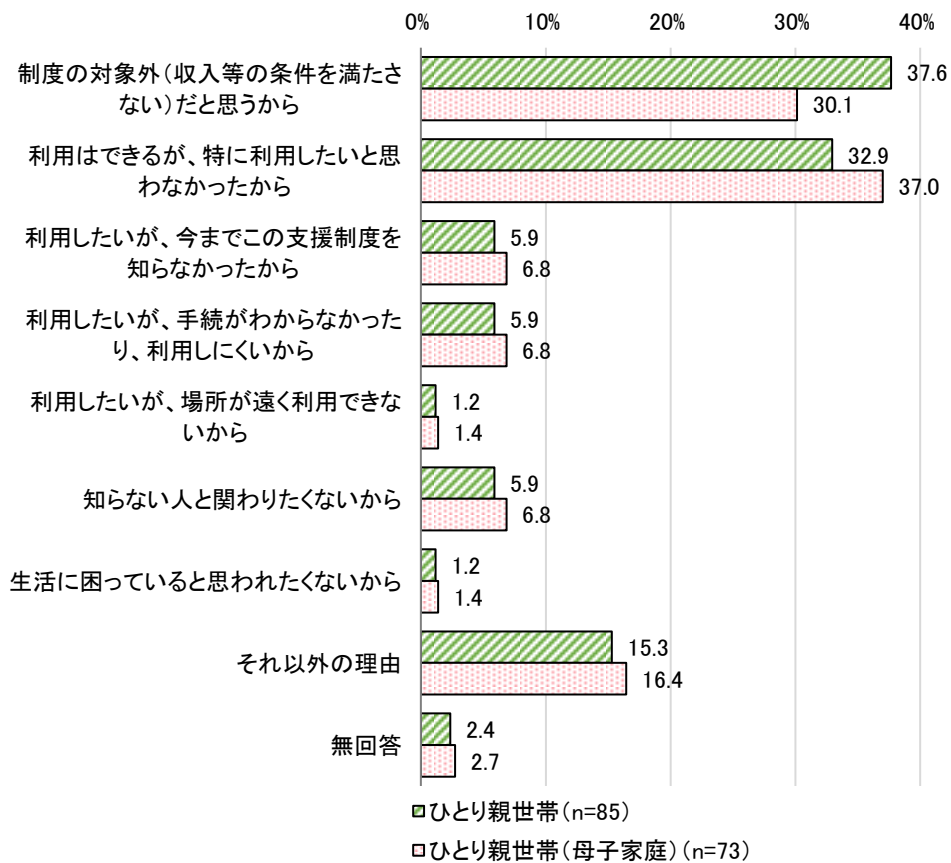
「ひとり親世帯（母子家庭）」に限って集計すると、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が37.0%、「それ以外の理由」が16.4%となっている。



<等価世帯収入水準>



<世帯>

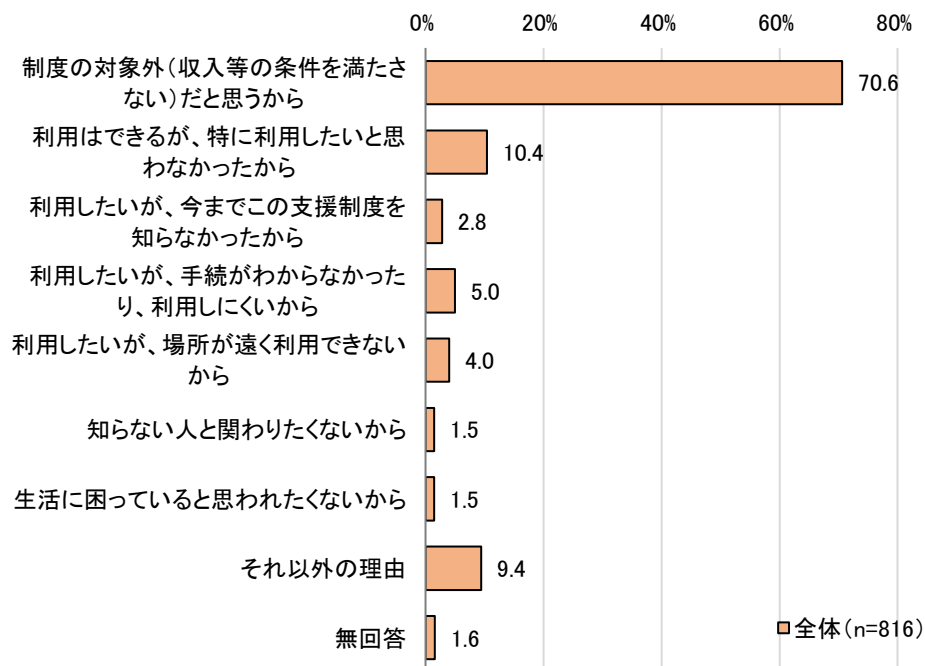


f 子ども食堂（自分や友人の家以外で夕ごはんを無料か安く食べることができる場所）

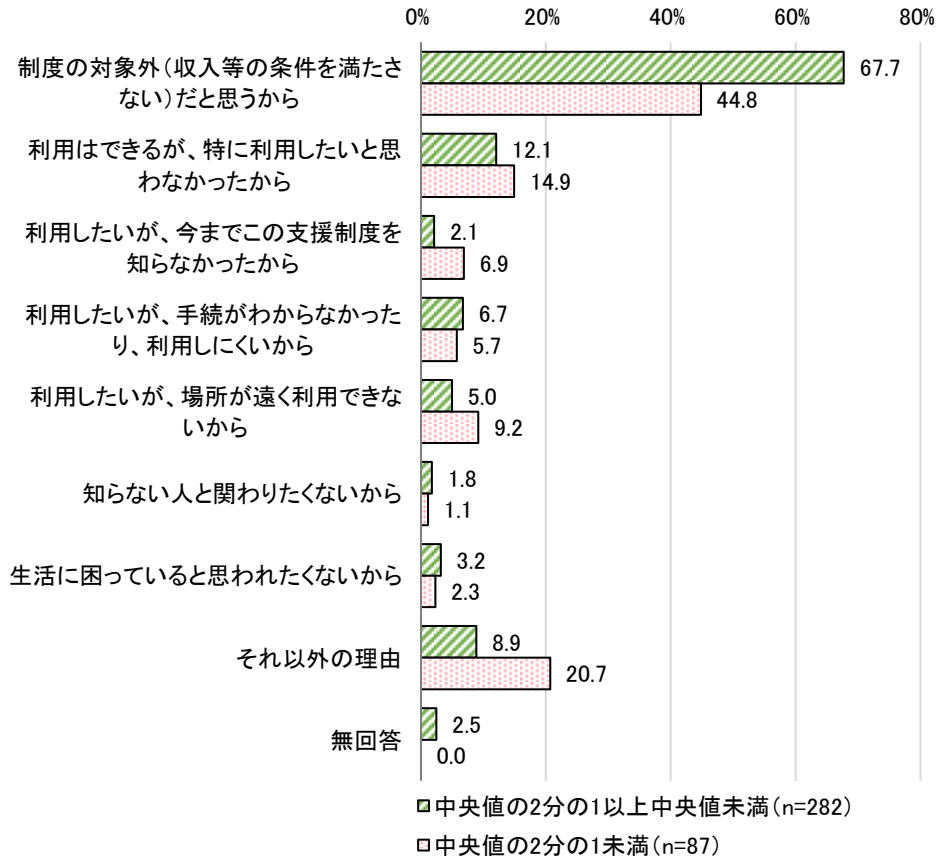
「子ども食堂」を利用していない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が70.6%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が10.4%となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が44.8%、「それ以外の理由」が20.7%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が14.9%、「利用したいが、場所が遠く利用できないから」が9.2%となっている。

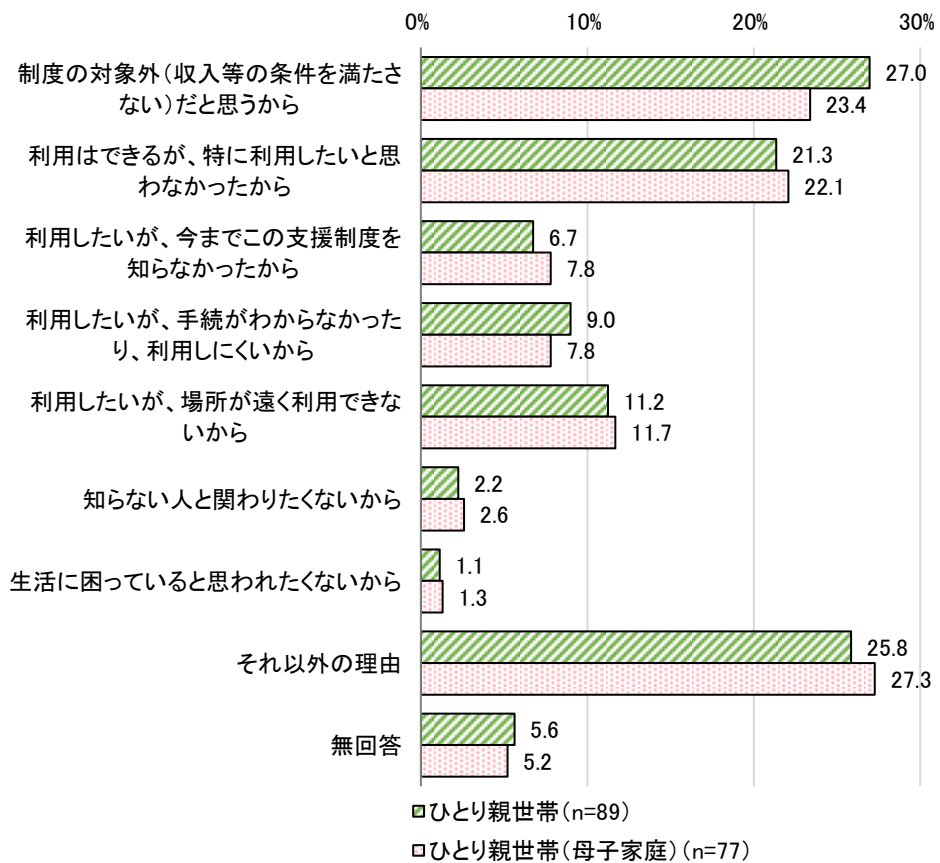
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が27.0%、「それ以外の理由」が25.8%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」が21.3%、「利用したいが、場所が遠く利用できないから」が11.2%となっている。



<等価世帯収入水準>



<世帯>

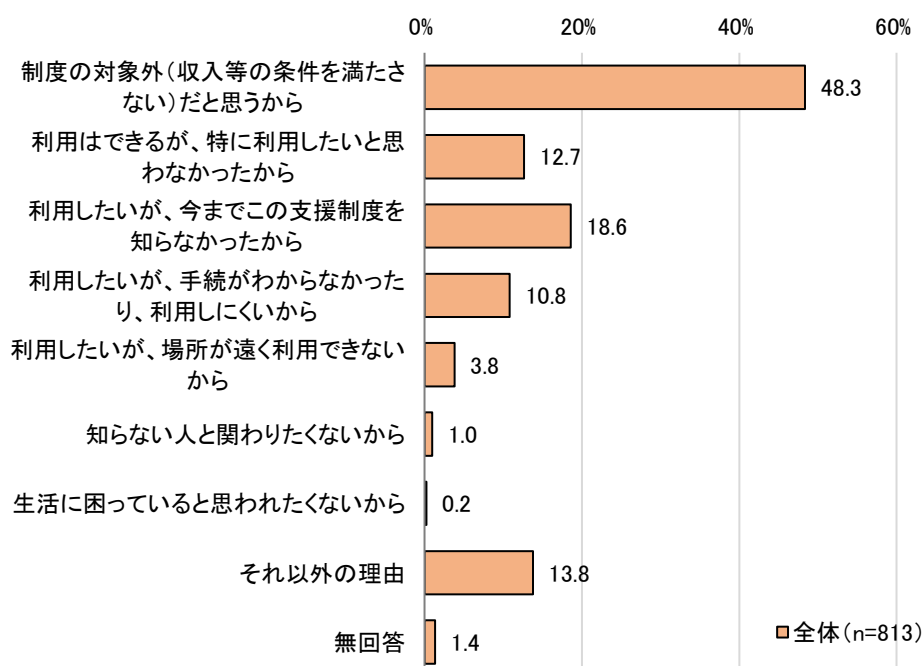


g 子どもに勉強を無料で教えてくれる場所

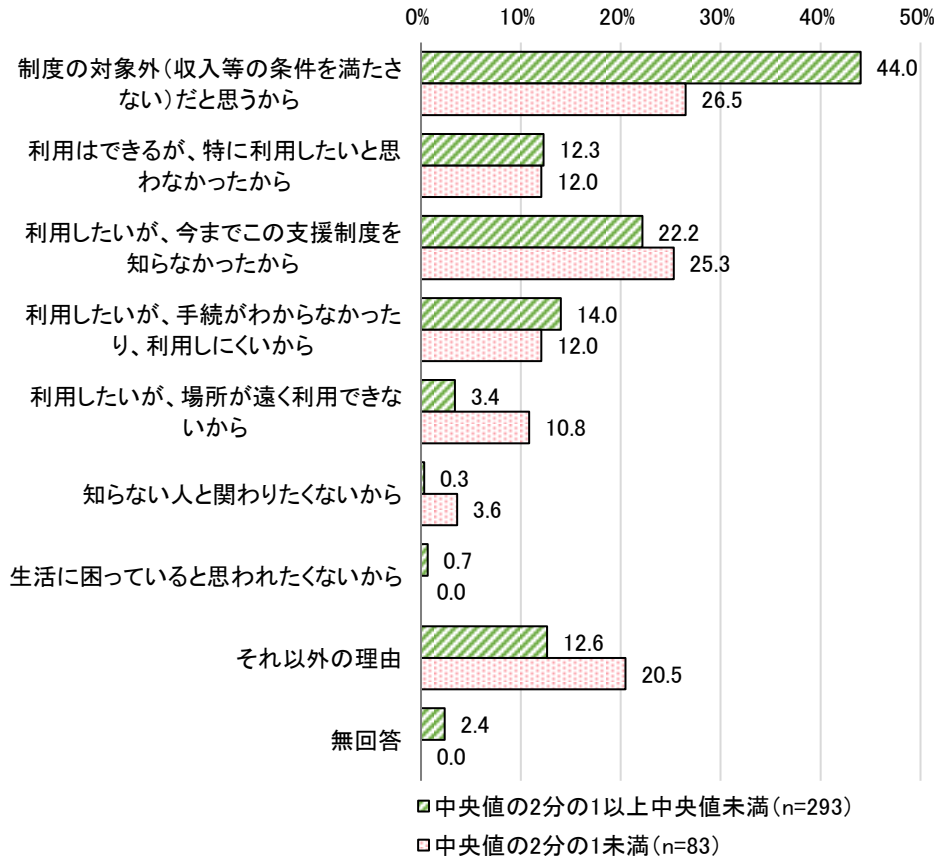
「子どもに勉強を無料で教えてくれる場所」を利用していない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が48.3%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が18.6%となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が26.5%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が25.3%、「それ以外の理由」が20.5%、「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が12.0%となっている。

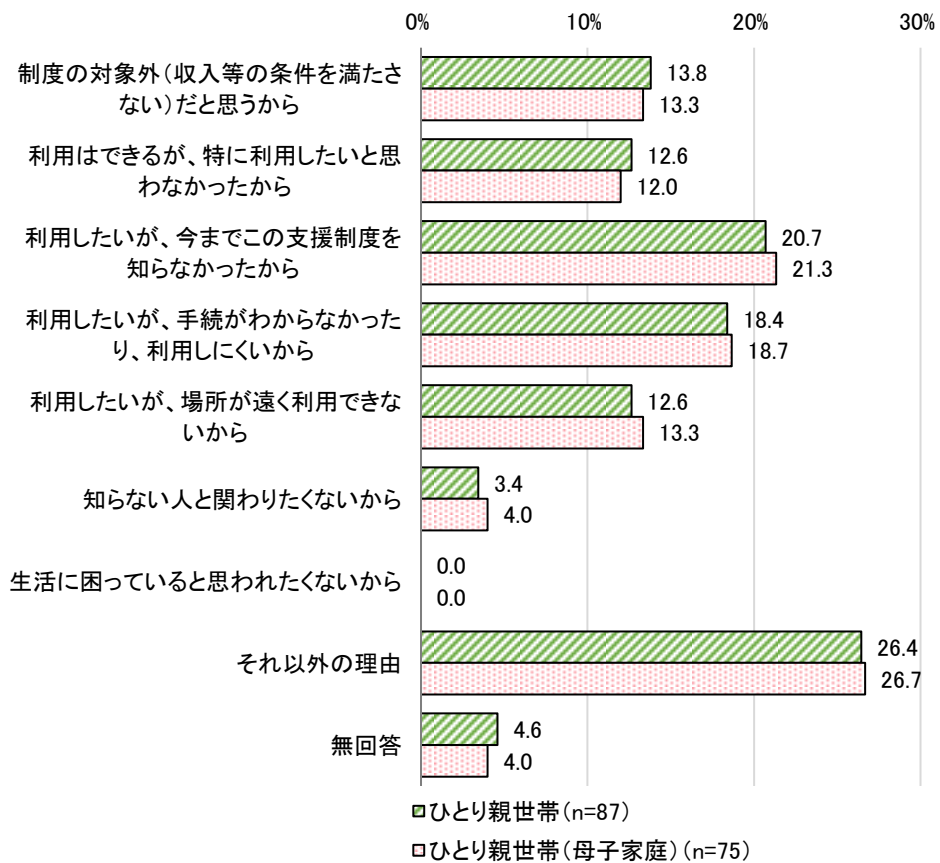
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「それ以外の理由」が26.4%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が20.7%、「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が18.4%となっている。



<等価世帯収入水準>



<世帯>

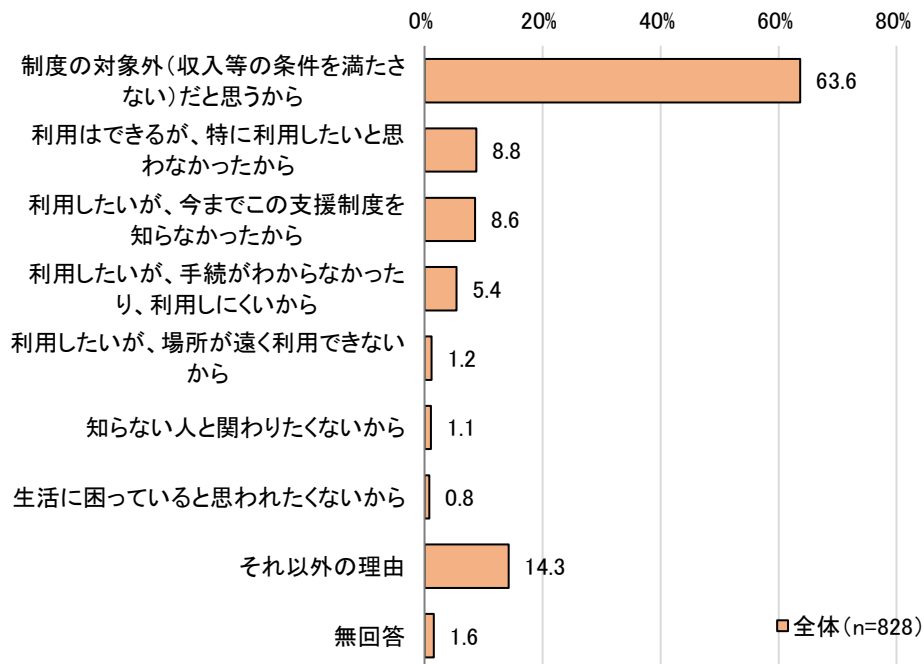


h フードバンク、フードパントリー

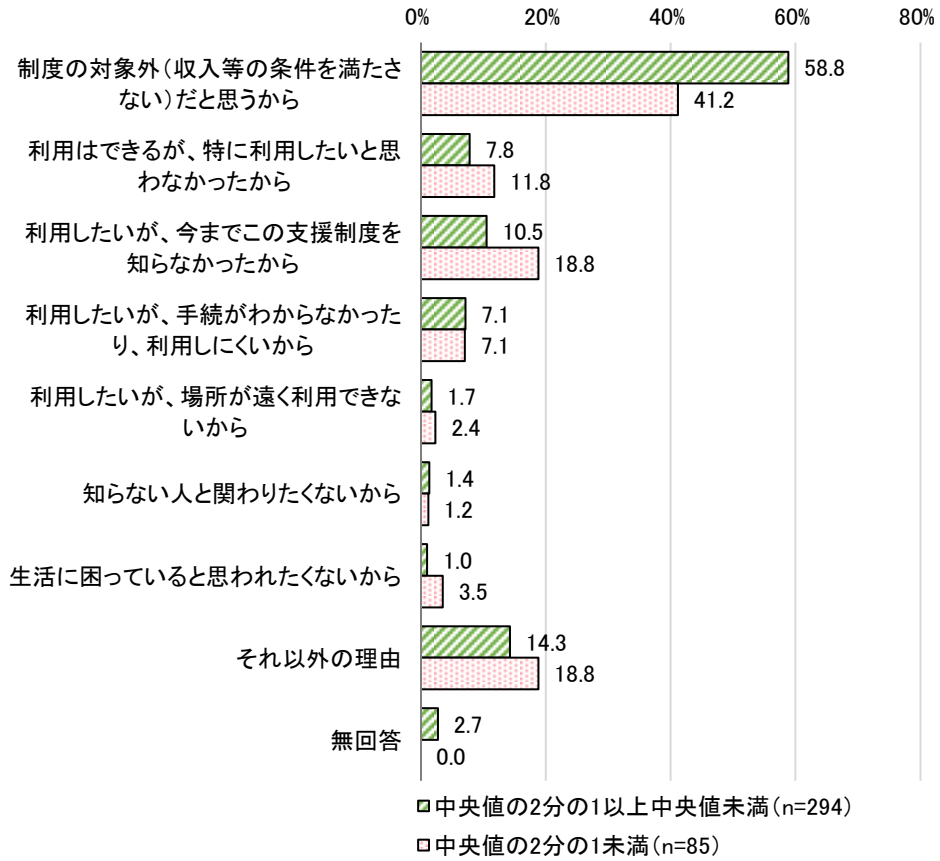
「フードバンク、フードパントリー」を利用していない理由について、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が63.6%、「それ以外の理由」が14.3%となっている。

等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」が41.2%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」、「それ以外の理由」が18.8%となっている。

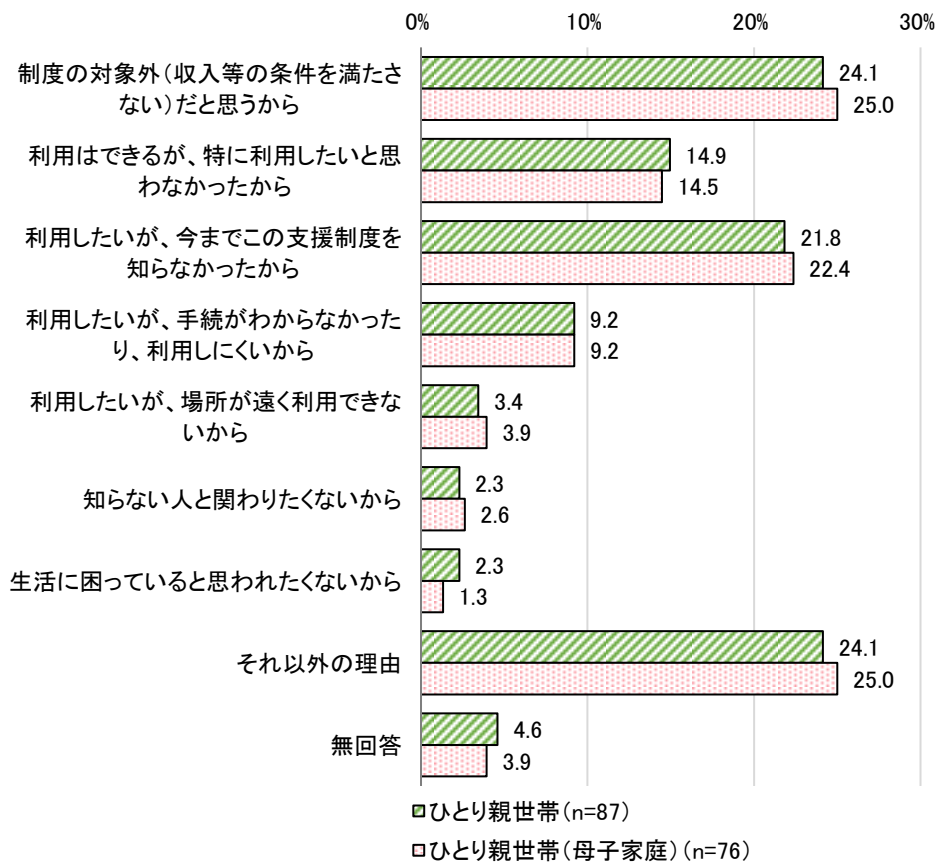
「ひとり親世帯」に限って集計すると、「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」、「それ以外の理由」が24.1%、「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」が21.8%となっている。



<等価世帯収入水準>



<世帯>



(3) 希望する支援制度

保護者票問 28 あなたは、問 27 の制度以外に、どのような支援があるとよいと思いますか。自由に記入してください。

自由記述の内容ごとに以下の表にまとめた。

「大学までの進学支援や無償化」、「学用品（制服、体操服、教材、部活用品等）の支援や譲渡会の実施」、「給食無償化」、「所得等の制限のない支援」といった支援が多く求められている。

内容	件数	等価世帯収入水準			世帯	
		中央値以上	中央値の 2分の1以上 中央値未満	中央値の 2分の1未満	ふたり親 世帯	ひとり親 世帯
大学までの進学支援や無償化	31	17	12	2	26	3
学用品（制服、体操服、教材、部活用品等）の支援や譲渡会の実施	23	16	5	2	22	1
給食無償化	20	6	14	0	18	1
所得等の制限のない支援	17	10	6	1	13	3
習い事や学校・部活動の 送迎サービス・通学定期券の支援	12	7	2	1	11	1
多子世帯支援 (子どもの人数に合わせた支援)	11	7	2	1	11	0
学習塾や習い事の費用支援	9	1	7	1	8	1
気軽に悩み相談等ができる 窓口や交流の場	7	3	3	1	6	1
一時預かり	6	3	3	0	6	0
不登校児への支援	4	3	1	0	3	0
ひとり親世帯への支援の充実 (住宅支援、正規雇用支援等)	4	0	0	4	0	4
放課後や休日等の学習場所の提供	4	4	0	0	4	0
減税	3	2	1	0	3	0
水道光熱費の支援	2	0	1	1	0	2
児童手当を高校まで	2	0	2	0	2	0
教育資金支援	2	0	2	0	2	0
障がい児支援	2	1	1	0	1	1
その他	45	18	19	7	38	7

5-2. 子どもの状況

(1) 支援等の利用状況

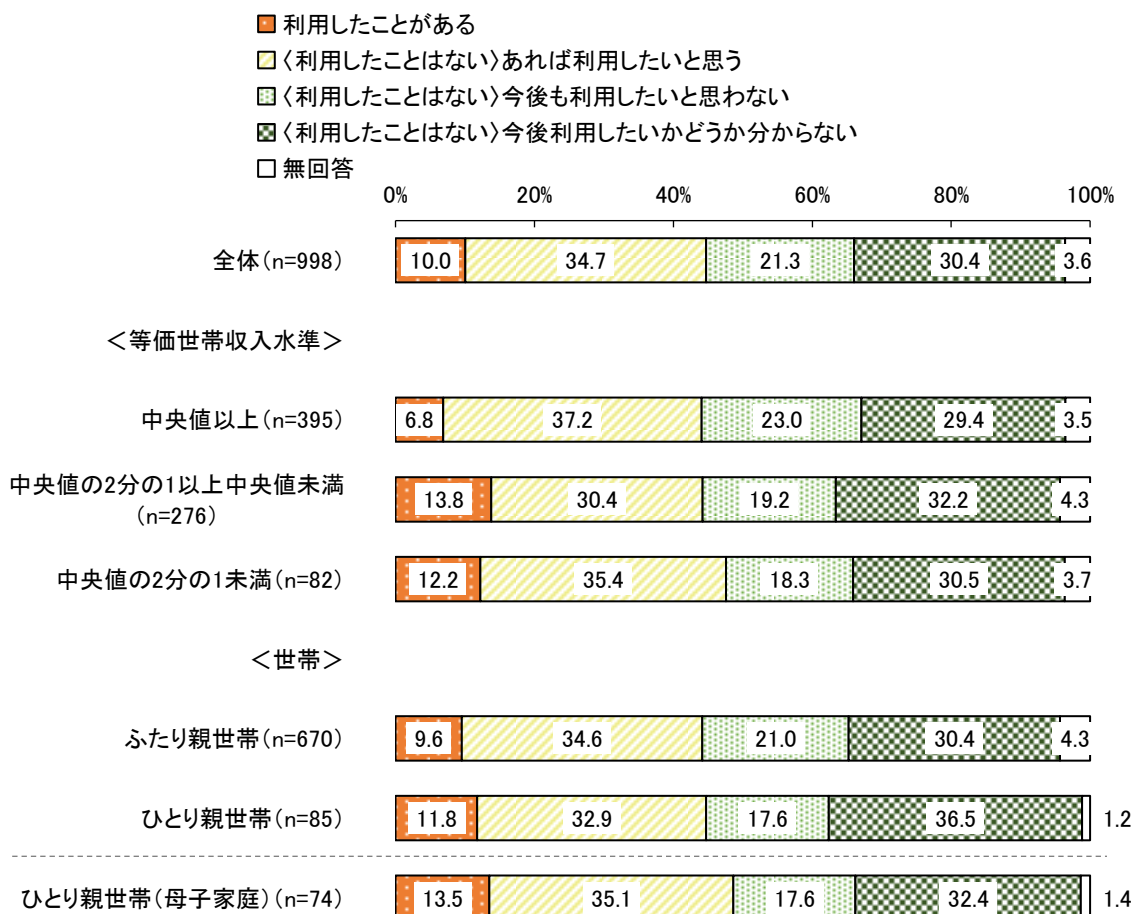
中学生票問 24 あなたは、次の a～c のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～c それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○) 「3 今後利用したいと思わない」又は「4 今後利用したいかどうか分からない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまるもの 1 つに○)

a (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

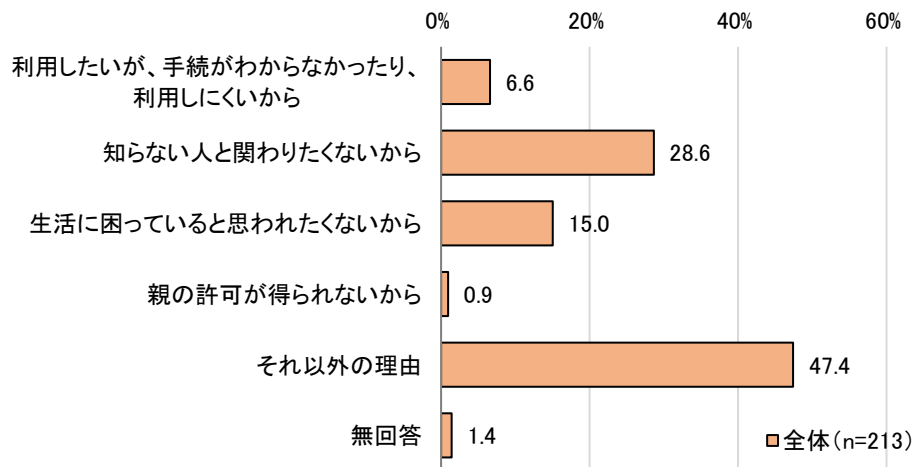
支援制度や居場所等の利用状況について、「(自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)」に関しては、「利用したことがある」が 10.0%、「あれば利用したいと思う」が 34.7%、「今後も利用したいと思わない」が 21.3%、「今後も利用したいかどうか分からない」が 30.4%となっている。今後も利用したいと思わない理由としては「知らない人と関わりたくないから」が 28.6%、今後利用したいかどうか分からない理由としては「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」が 23.1%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では 6.8%、「中央値の 2 分の 1 以上中央値未満」の世帯では 13.8%、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯では 12.2%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、37.2%、30.4%、35.4%となっている。

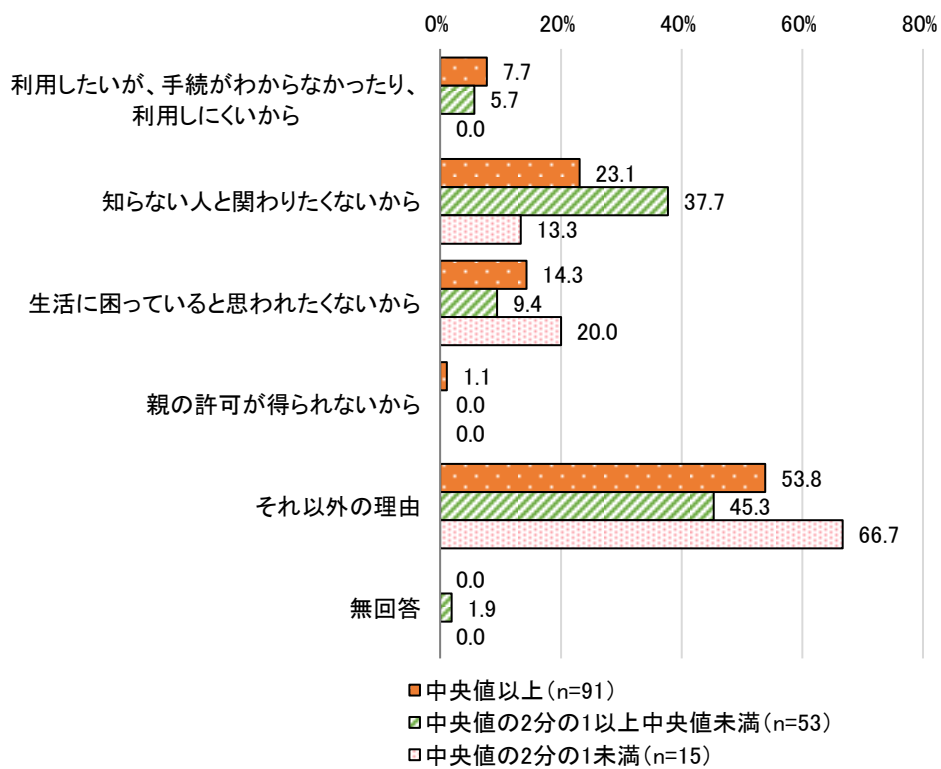
世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では 9.6%、「ひとり親世帯」では 11.8%、「ひとり親世帯 (母子家庭)」では 13.5%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、34.6%、32.9%、35.1%となっている。

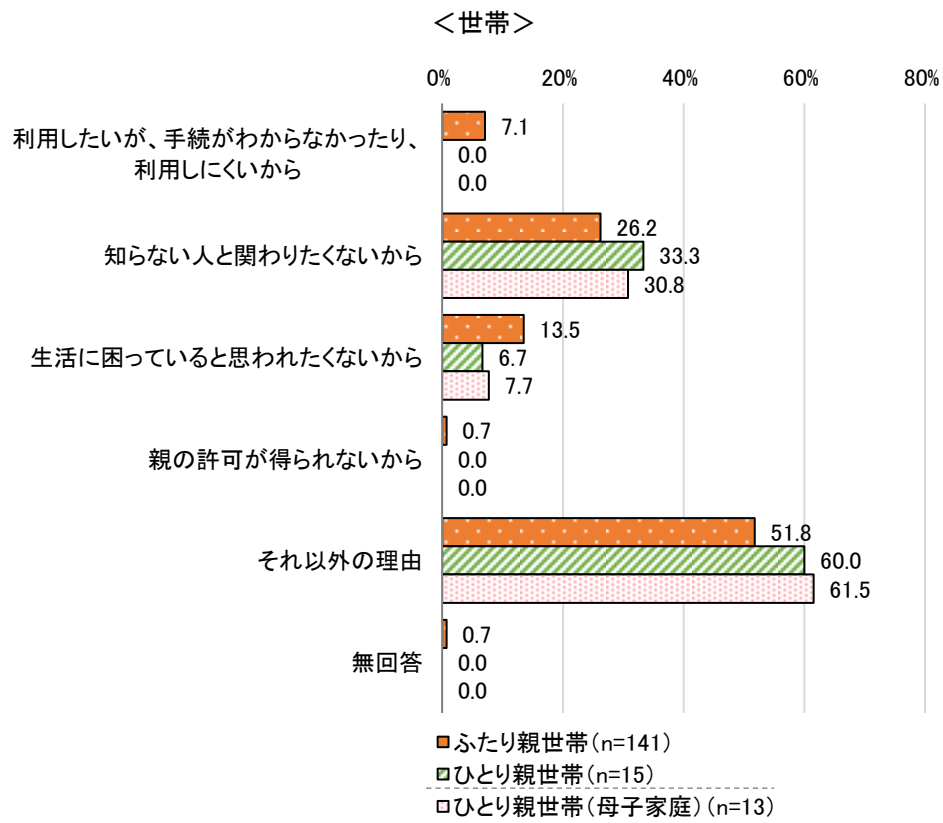


※今後も利用したいと思わない理由

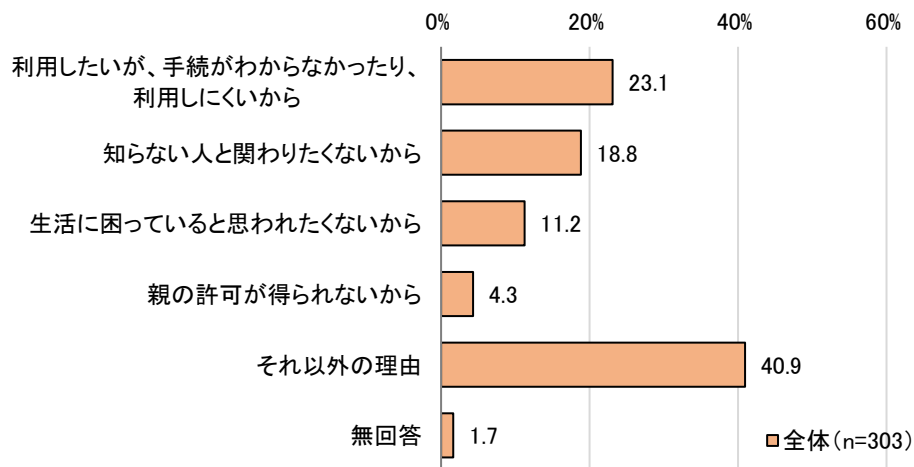


<等価世帯収入水準>

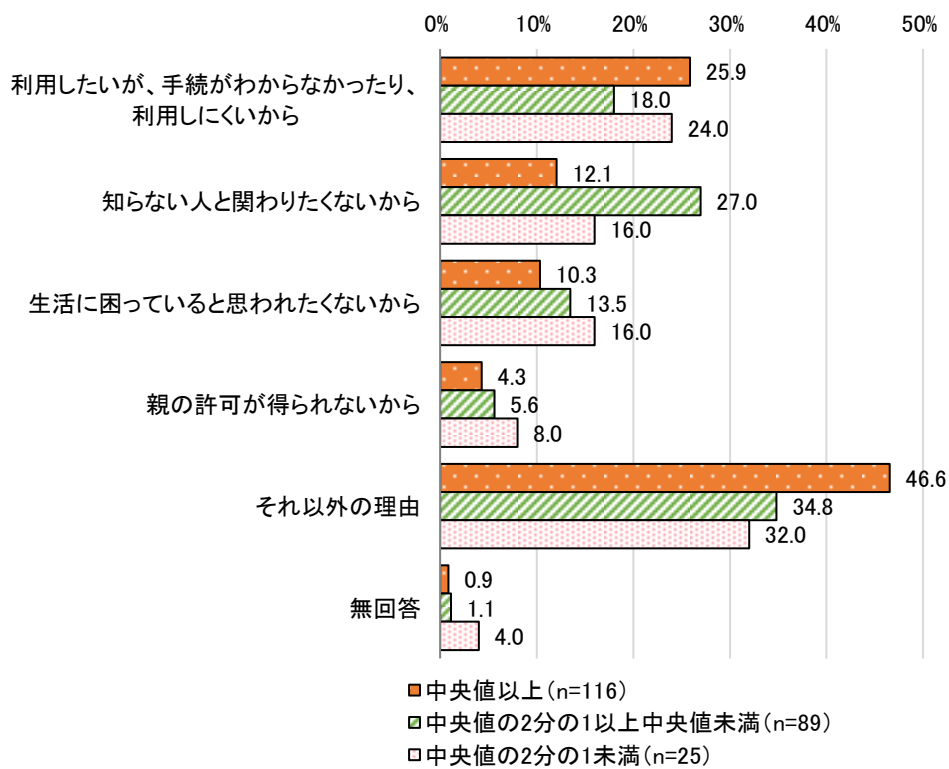


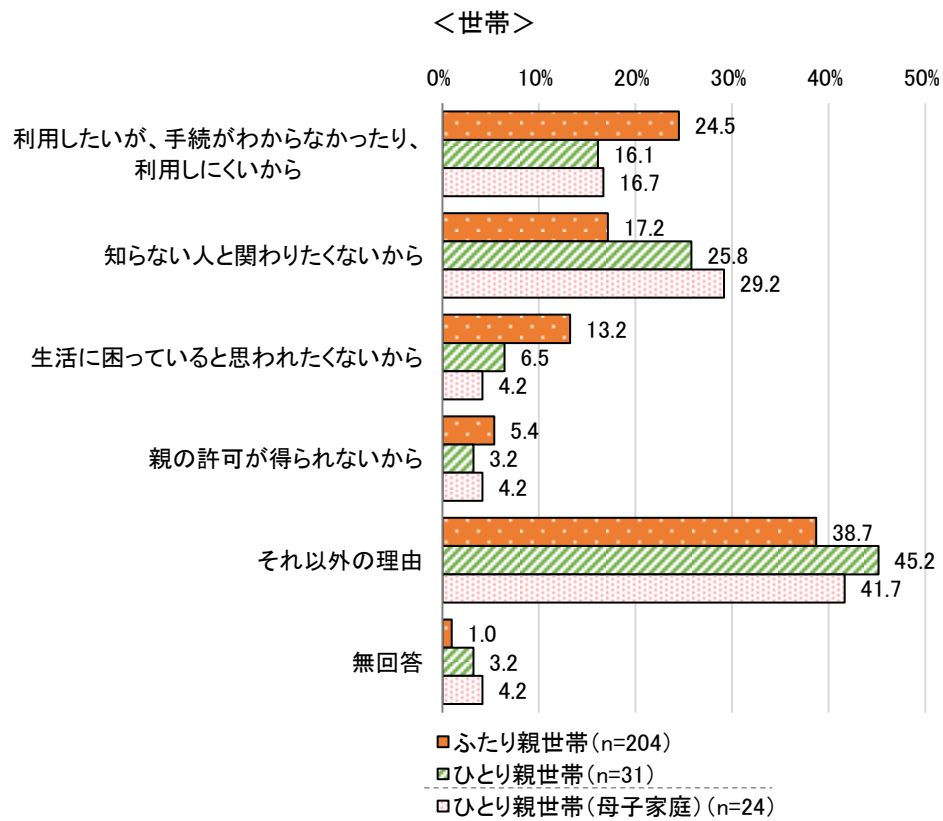


※今後利用したいかどうか分からない理由



<等価世帯収入水準>



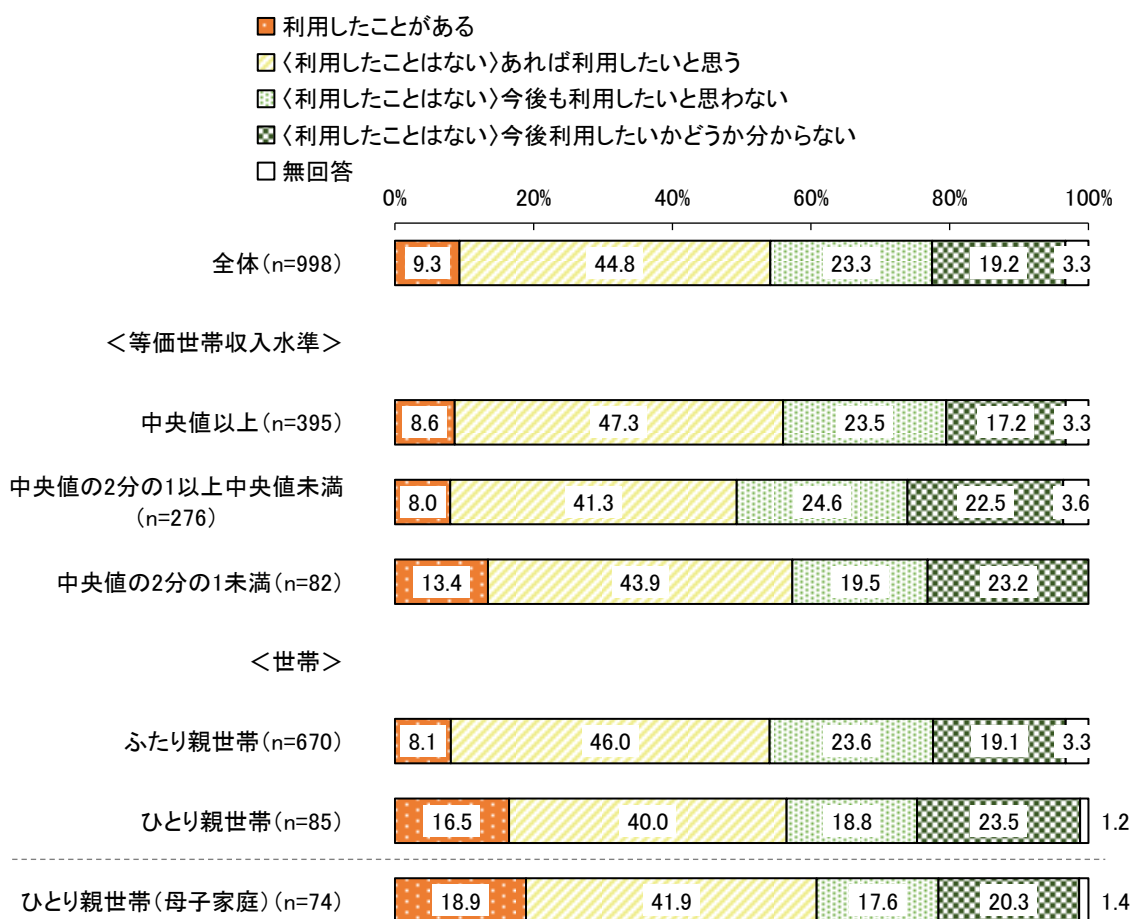


b 勉強を無料でみてくれる場所

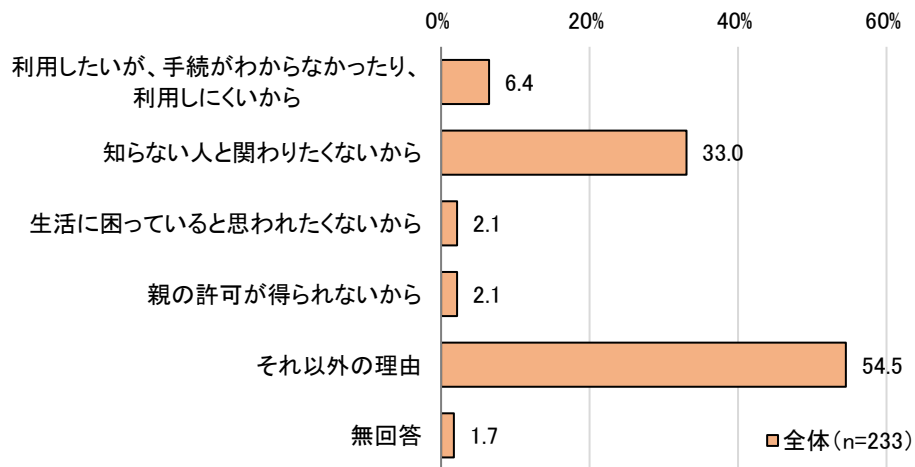
支援制度や居場所等の利用状況について、「勉強を無料でみてくれる場所」に関しては、「利用したことがある」が9.3%、「あれば利用したいと思う」が44.8%、「今後も利用したいと思わない」が23.3%、「今後も利用したいかどうか分からない」が19.2%となっている。今後も利用したいと思わない理由としては「知らない人と関わりたくないから」が33.0%、今後利用したいかどうか分からない理由としては「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」が21.4%となっている。

等価世帯収入水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では8.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では8.0%、「中央値の2分の1未満」の世帯では13.4%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、47.3%、41.3%、43.9%となっている。

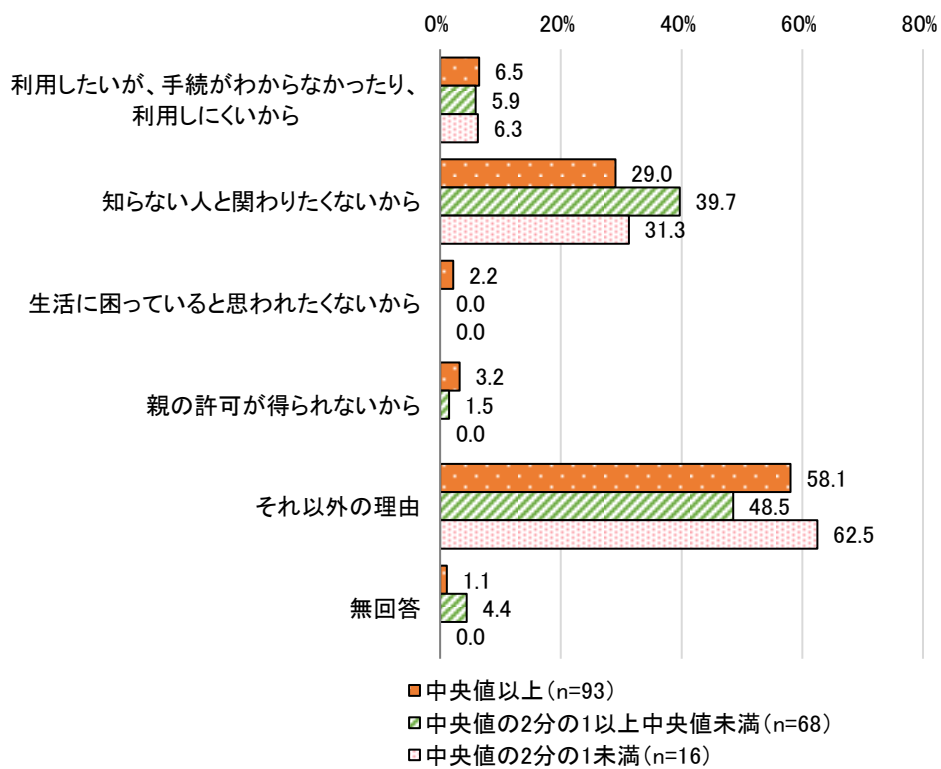
世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では8.1%、「ひとり親世帯」では16.5%、「ひとり親世帯（母子家庭）」では18.9%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、46.0%、40.0%、41.9%となっている。

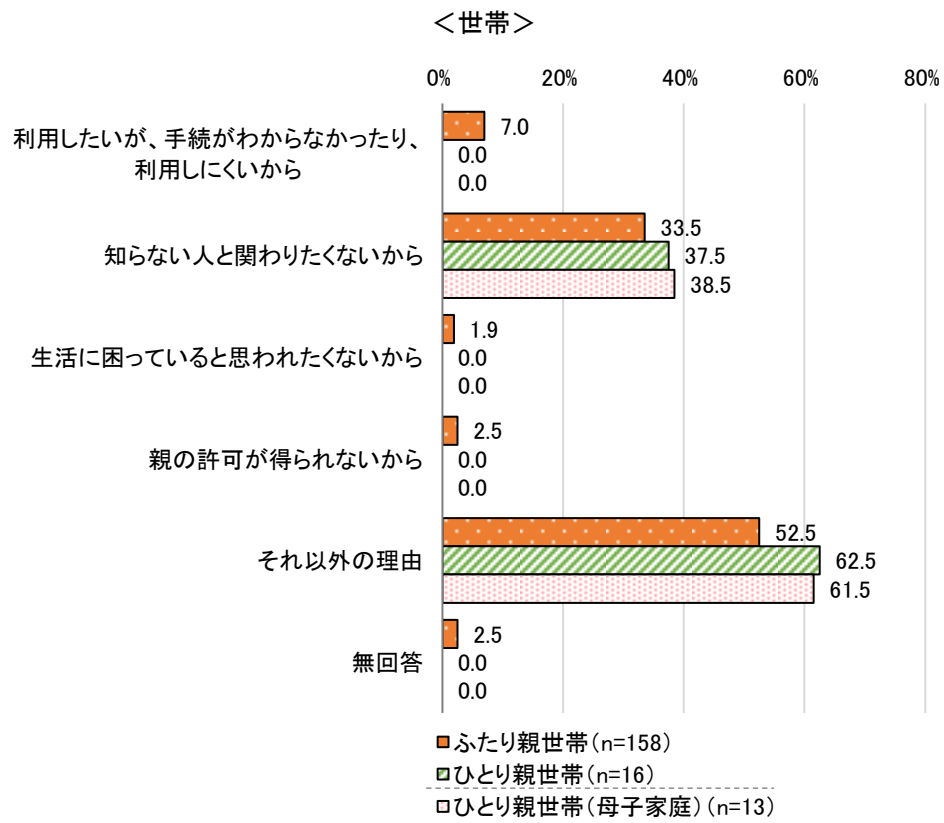


※今後も利用したいと思わない理由

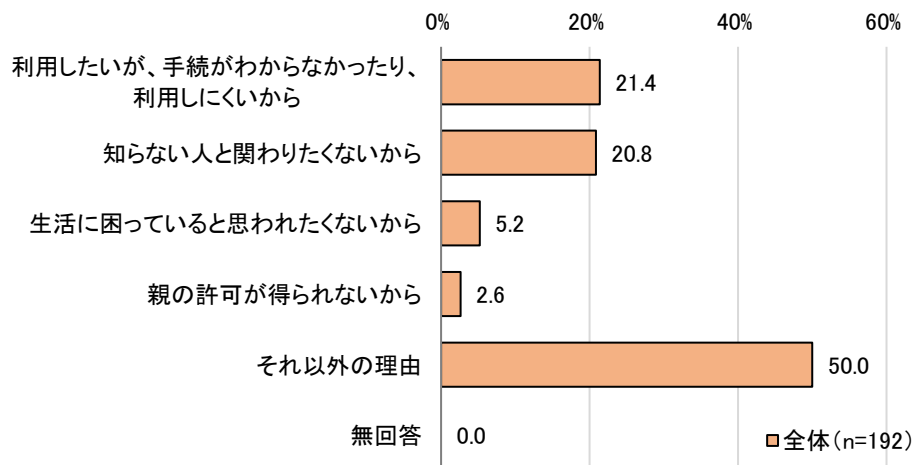


<等価世帯収入水準>

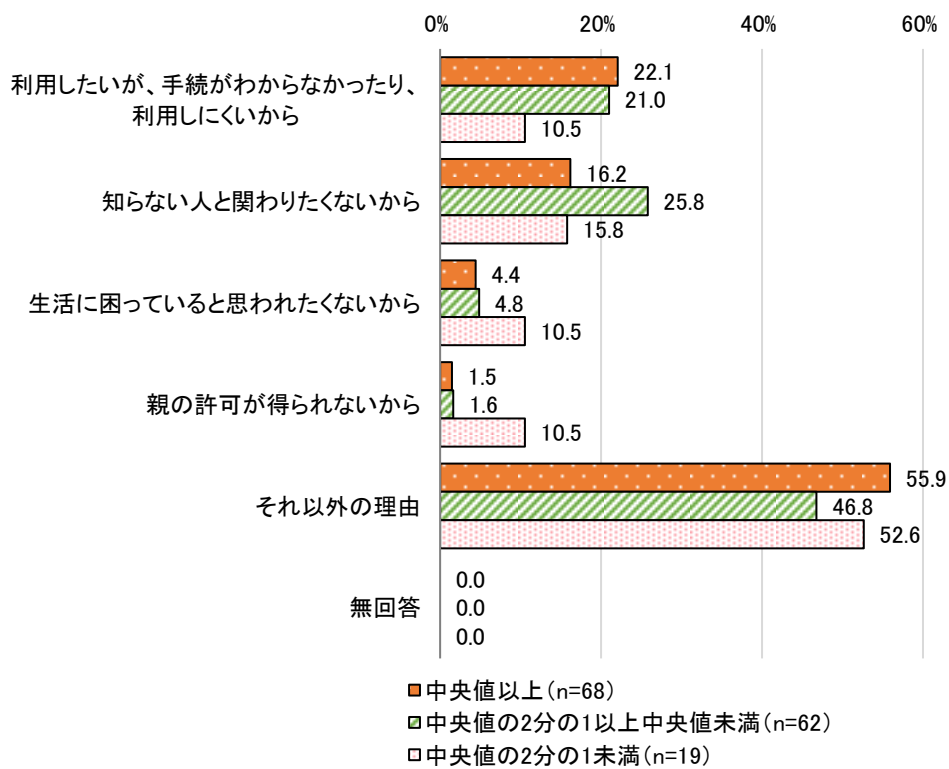


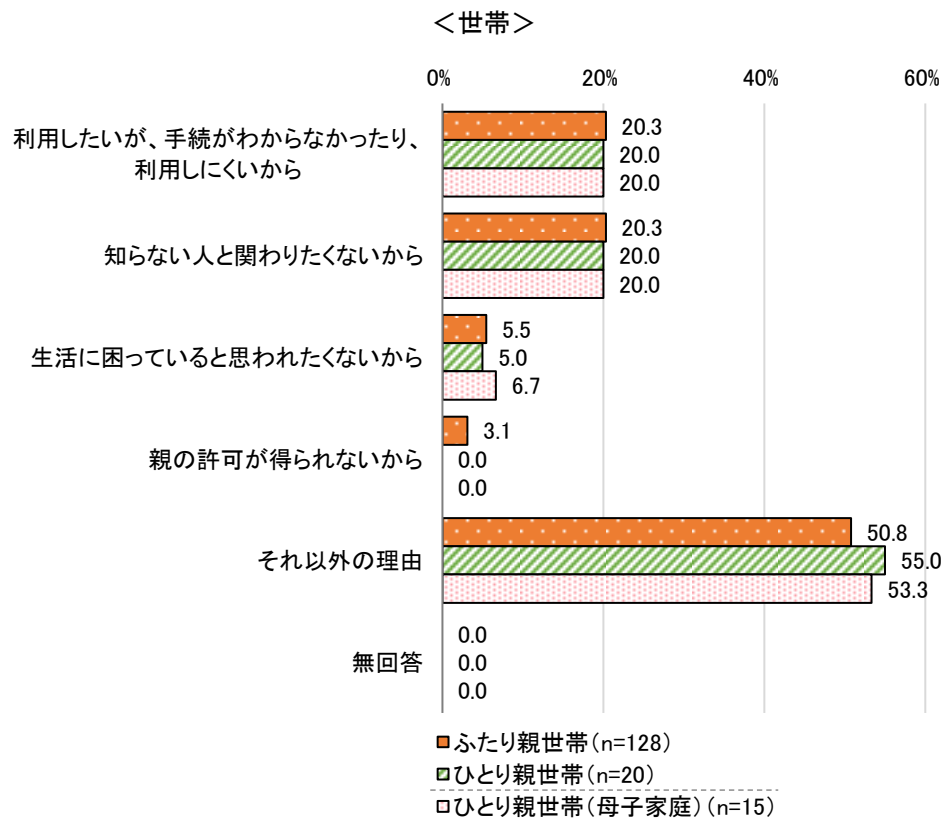


※今後利用したいかどうか分からない理由



<等価世帯収入水準>



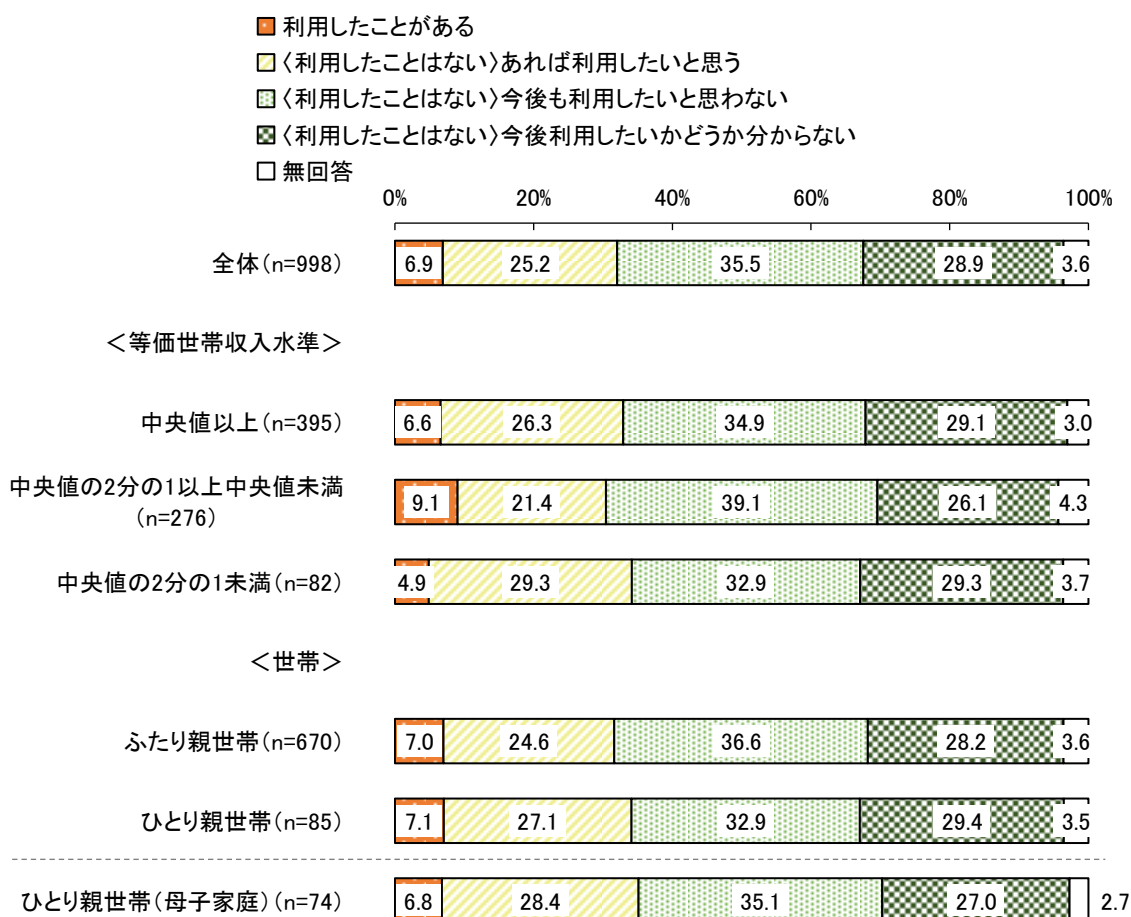


c (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)

支援制度や居場所等の利用状況について、「家や学校以外で)何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。)」に関しては、「利用したことがある」が6.9%、「あれば利用したいと思う」が25.2%、「今後も利用したいと思わない」が35.5%、「今後も利用したいかどうか分からない」が28.9%となっている。今後も利用したいと思わない理由としては「知らない人と関わりたくないから」が38.1%、今後利用したいかどうか分からない理由としては「知らない人と関わりたくないから」が23.6%となっている。

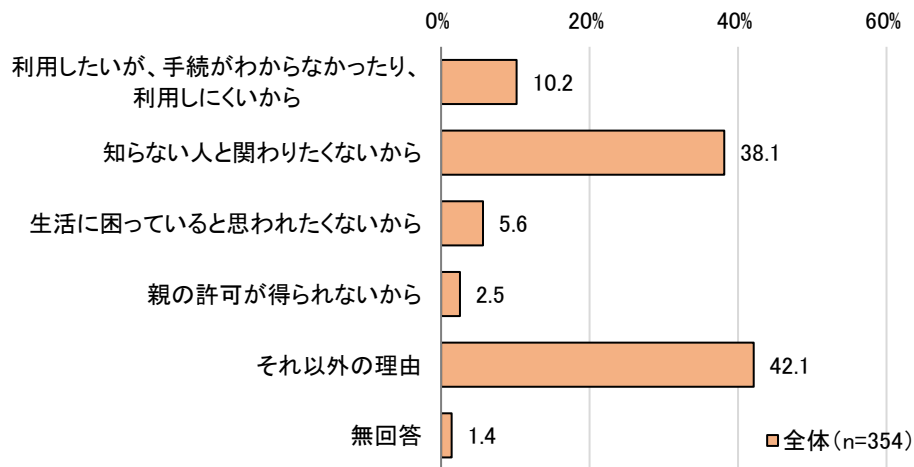
等価世帯収入水準別にみると、「利用したことがある」の割合は、「中央値以上」の世帯では6.6%、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯では9.1%、「中央値の2分の1未満」の世帯では4.9%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、26.3%、21.4%、29.3%となっている。

世帯の状況別にみると、「利用したことがある」の割合は、「ふたり親世帯」では7.0%、「ひとり親世帯」では7.1%、「ひとり親世帯 (母子家庭)」では6.8%となっている。「あれば利用したいと思う」の割合は、それぞれ、24.6%、27.1%、28.4%となっている。

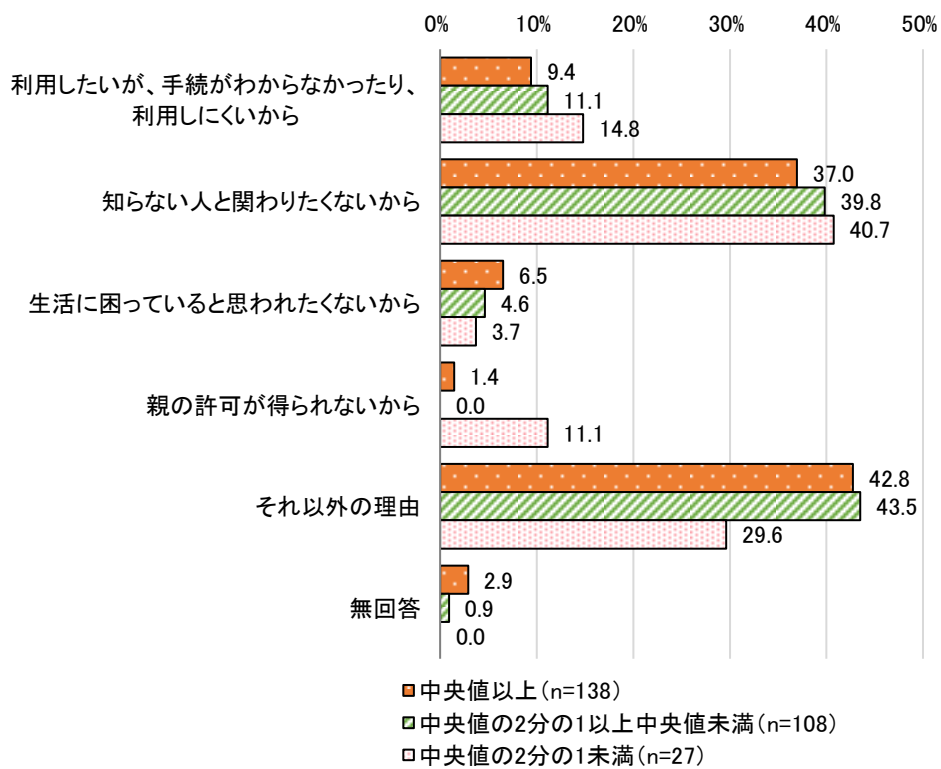


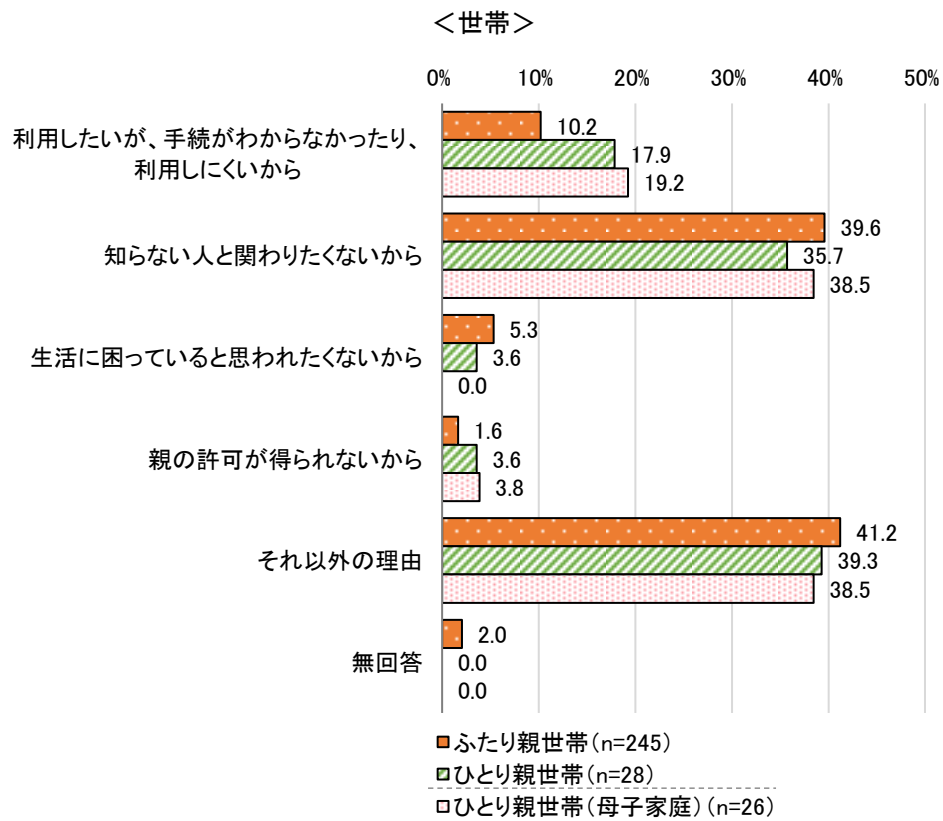
※世帯の状況別の結果について、統計的に有意な差は認められなかった。

※今後も利用したいと思わない理由

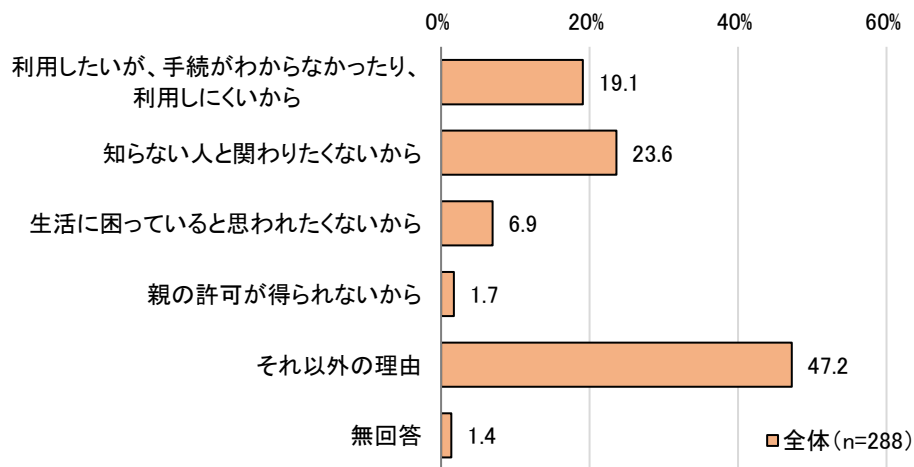


<等価世帯収入水準>

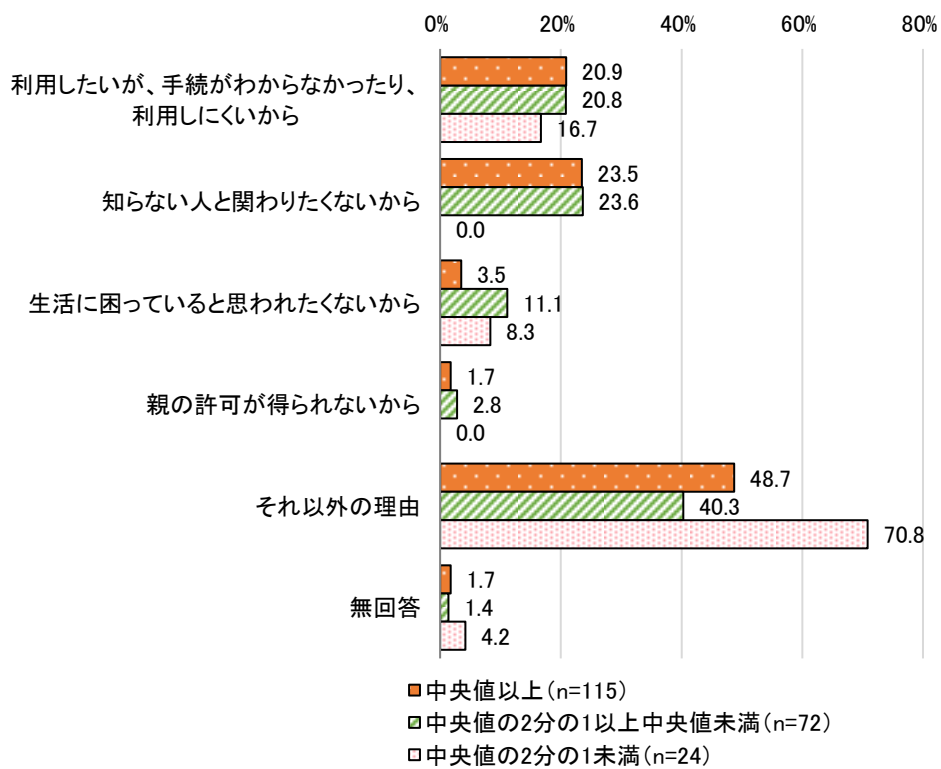


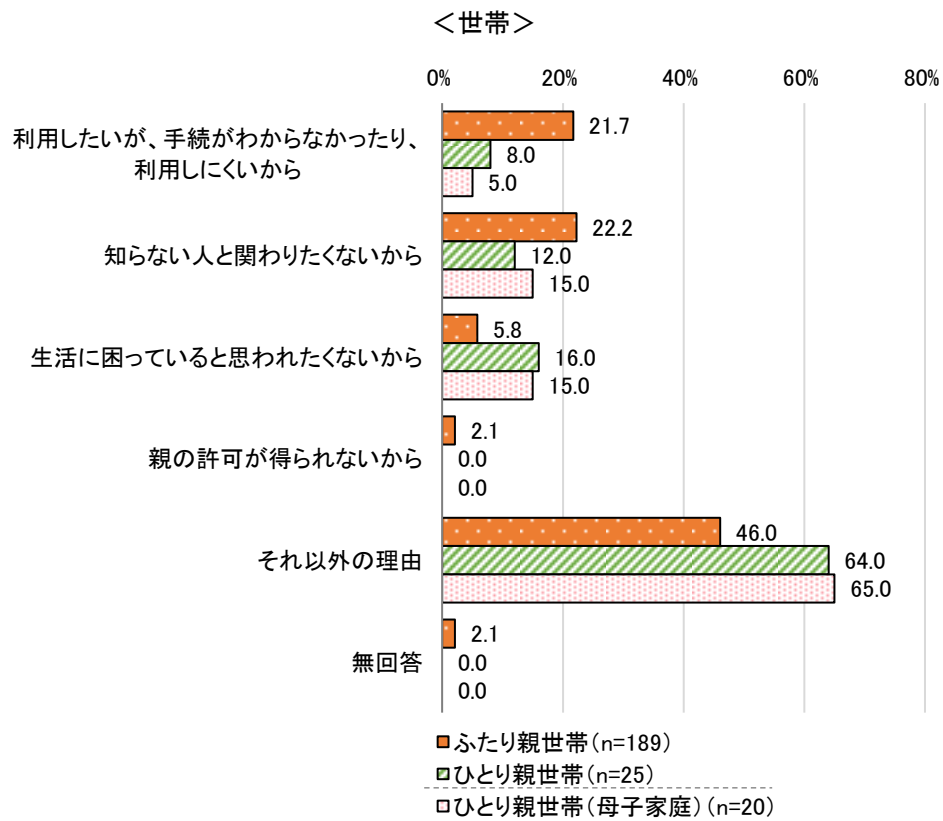


※今後利用したいかどうか分からない理由



<等価世帯収入水準>





(2) 支援等の利用による変化

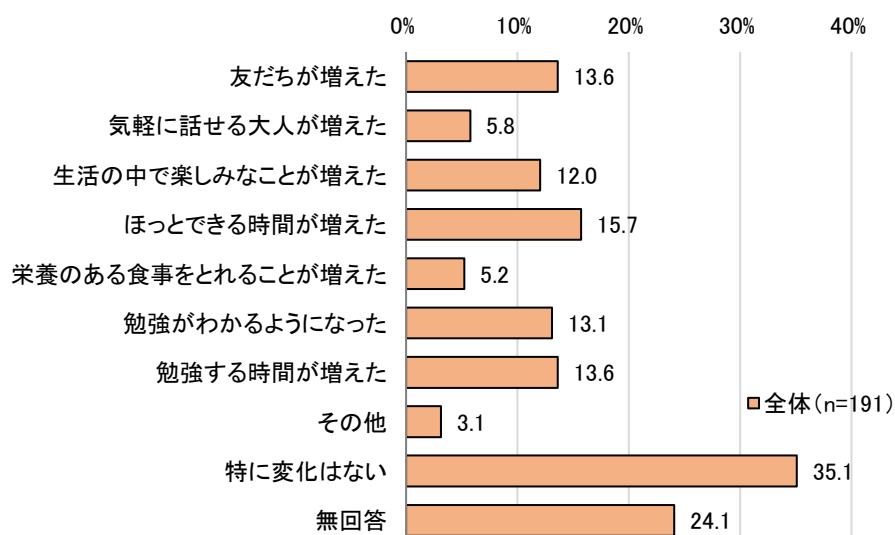
中学生票問 25 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

いずれかの支援等を利用したことがある場合に、利用による変化をどのように考えているかについて集計を行った。「特に変化はない」以外の回答では、「ほっとできる時間が増えた」が15.7%、「友だちが増えた」と「勉強する時間が増えた」がそれぞれ13.6%、「勉強がわかるようになった」が13.1%、「生活の中で楽しみなことが増えた」が12.0%となっている。

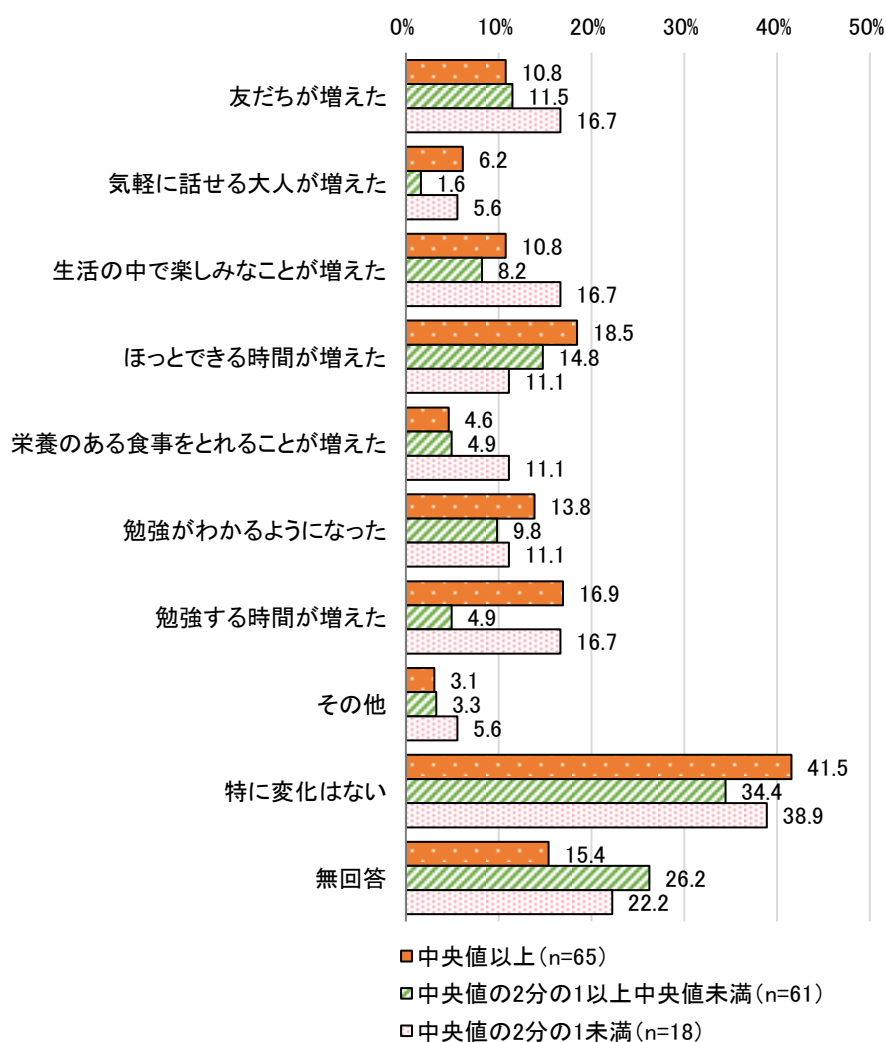
等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯では、「友だちが増えた」、「栄養のある食事をとれることが増えた」などの割合が他の世帯と比べて高くなっている。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」では、「栄養のある食事をとれることが増えた」、「勉強がわかるようになった」、「勉強する時間が増えた」などの割合が「ふたり親世帯」と比べて高くなっている。

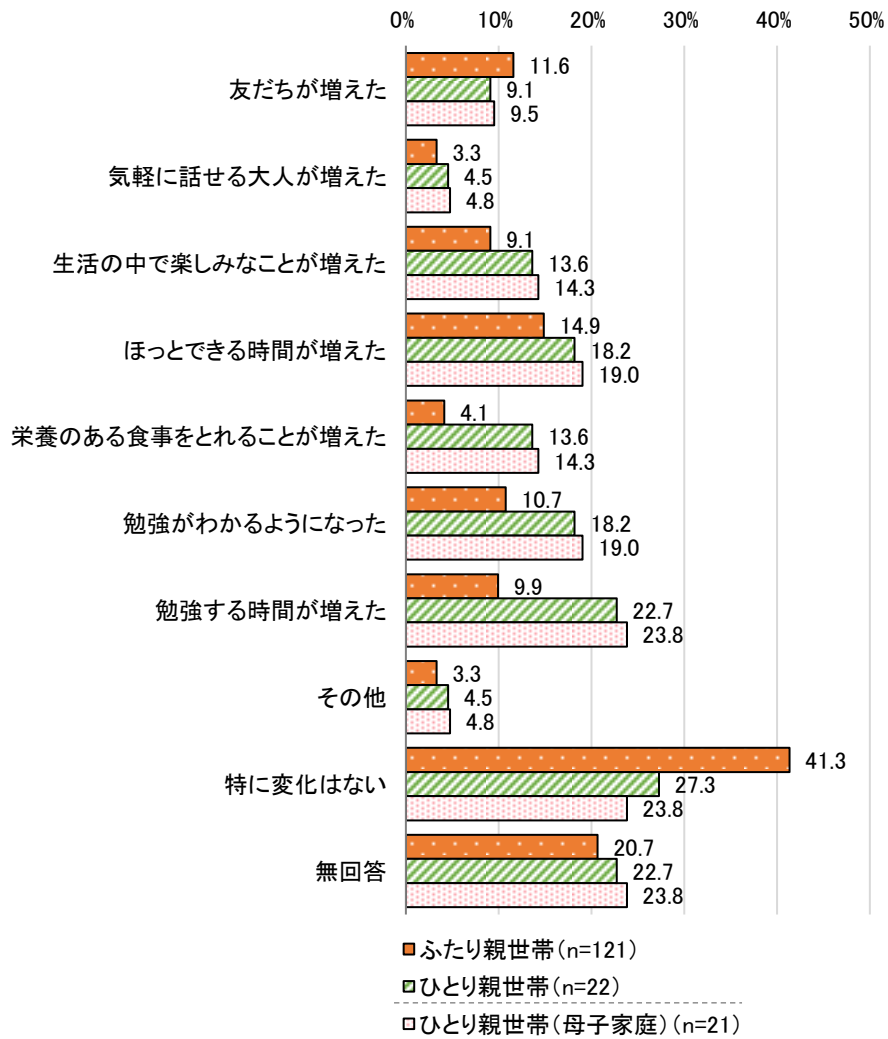
また、利用した支援等の内容別に集計すると、「勉強を無料でみてくれる場所」を利用したことがある場合は、「勉強する時間が増えた」の回答割合が26.9%、「勉強がわかるようになった」の回答割合が22.6%となっている。また、「(家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を含む。)」を利用したことがある場合は、「ほっとできる時間が増えた」の回答割合が20.3%となっている。



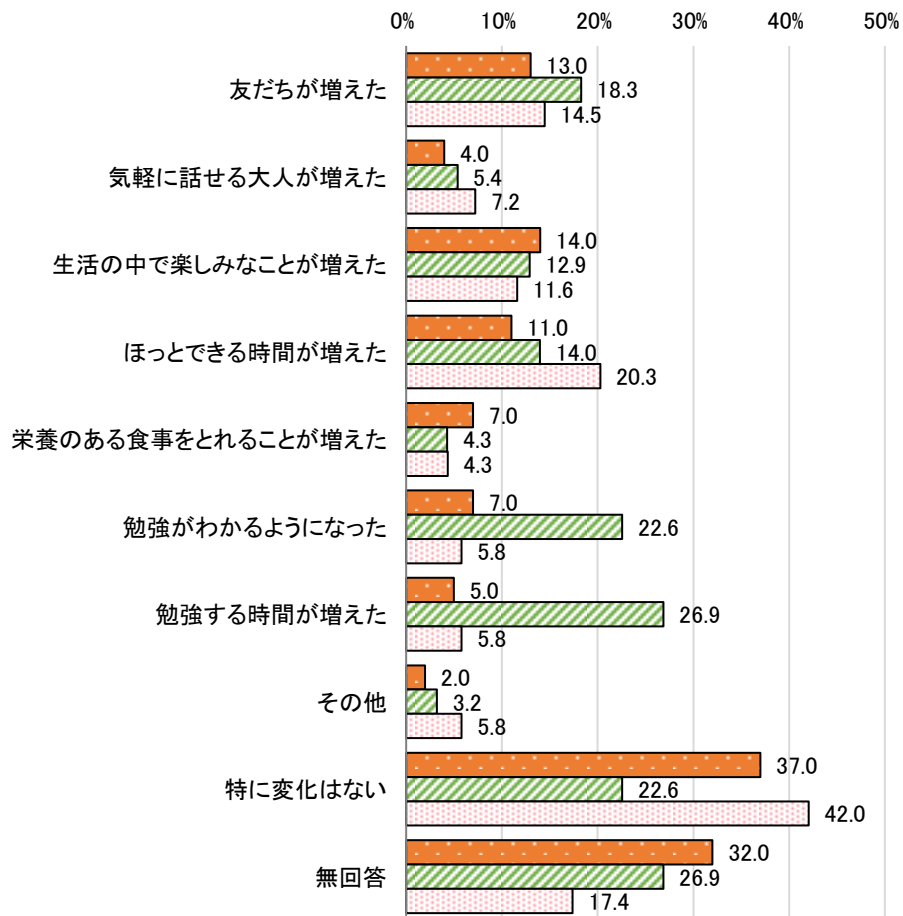
<等価世帯収入水準>



<世帯>



<利用した支援等の内容別>



■a (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など) (n=100)

□b 勉強を無料でみてくれる場所 (n=93)

□c (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (電話やネットの相談を含む。) (n=69)

(3) 聞いてほしいこと、助けてほしいこと

中学生票問 26 あなたは、誰かに話を聞いてほしいことや、助けてほしいことはありますか。ある場合、自由に記入してください。

自由記述の内容ごとに以下の表にまとめた。

「友人や人間関係について」、「自分自身について」、「家庭環境（親や家族）について」といった悩みが多く寄せられた。

内容	件数	等価世帯収入水準			世帯	
		中央値以上	中央値の 2分の1以上 中央値未満	中央値の 2分の1未満	ふたり親 世帯	ひとり親 世帯
友人や人間関係について	26	10	8	3	20	2
自分自身について	24	8	7	3	13	5
家庭環境（親や家族）について	13	5	4	1	11	0
部活動等について	6	3	2	0	3	2
生きる意味について	6	2	0	0	2	0
性別について	4	2	0	0	2	1
将来について	2	1	0	0	1	0
その他	14	6	4	0	11	0

Ⅲ 国の調査結果との比較

1. 比較・分析結果

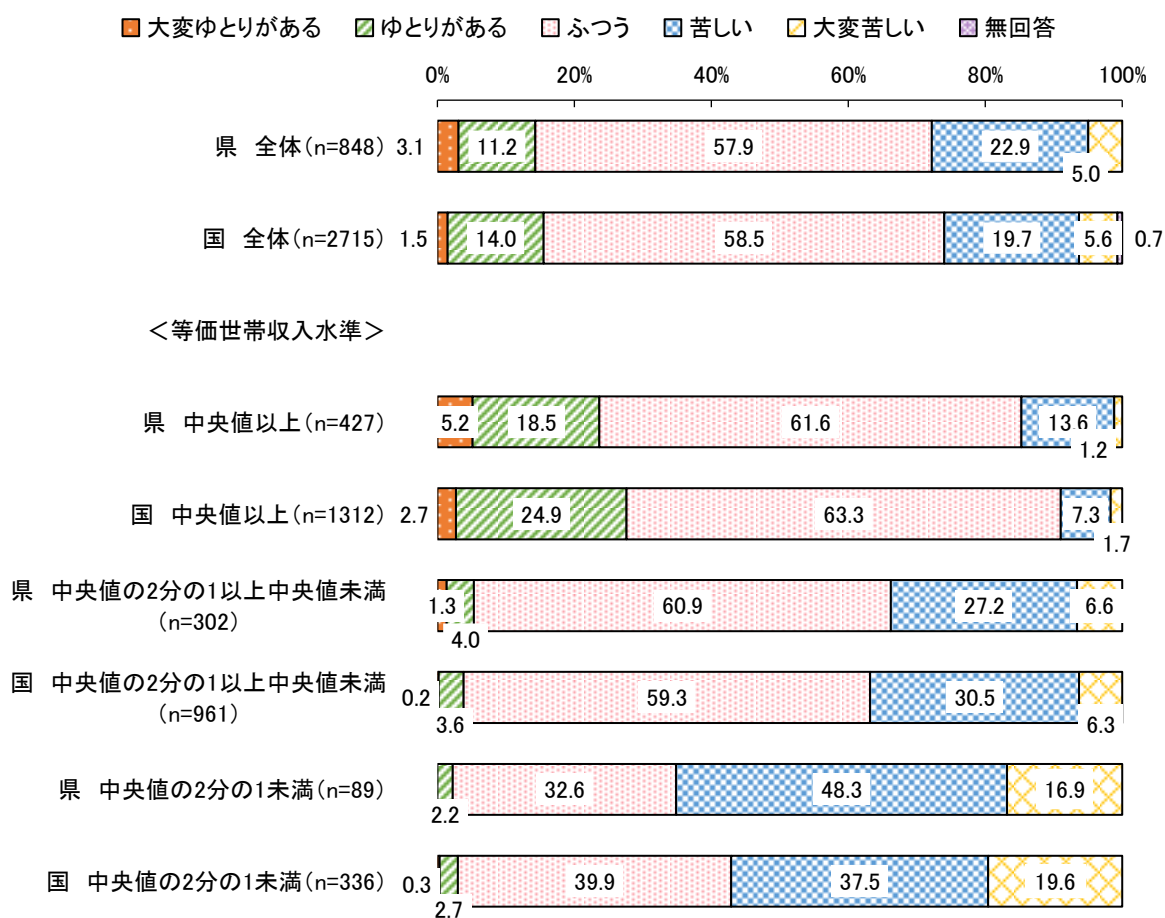
内閣府が実施した「令和2年度子供の生活状況調査」の結果との比較・分析を行い、有意な差が認められる項目について記載した。

1-1. 保護者

(1) 保護者の生活状況

現在の暮らしの状況をどのように感じているかについて国と比較すると、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、県では27.8%、国では25.3%と県の方がやや高くなっている。

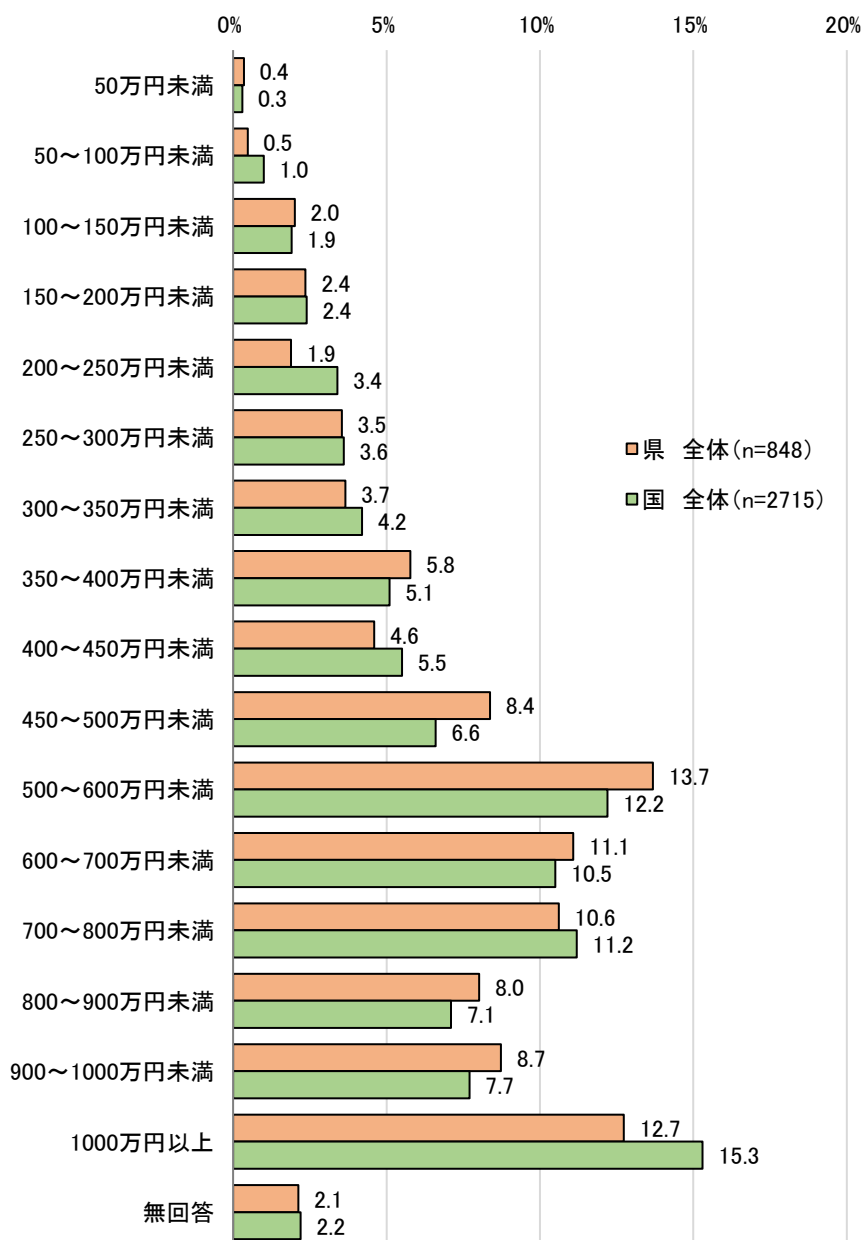
等価世帯収入水準別にみると、「苦しい」と「大変苦しい」を合わせた割合は、「中央値以上」の世帯（県：14.8%、国：9.0%）と「中央値の2分の1未満」の世帯（県：65.2%、国：57.1%）で県の方が高い。



(2) 保護者の収入状況

世帯全員のおおよその年間収入(税込)について国と比較すると、県では「500～600万円未満」が13.7%で最も割合が高く、国では「1000万円以上」が15.3%で最も割合が高くなっている。

また、県では「等価世帯収入の中央値：290.69万円、中央値の2分の1：145.34万円」、国では「等価世帯収入の中央値：317.54万円、中央値の2分の1：158.77万円」となっており、等価世帯収入の中央値は県の方が低い。



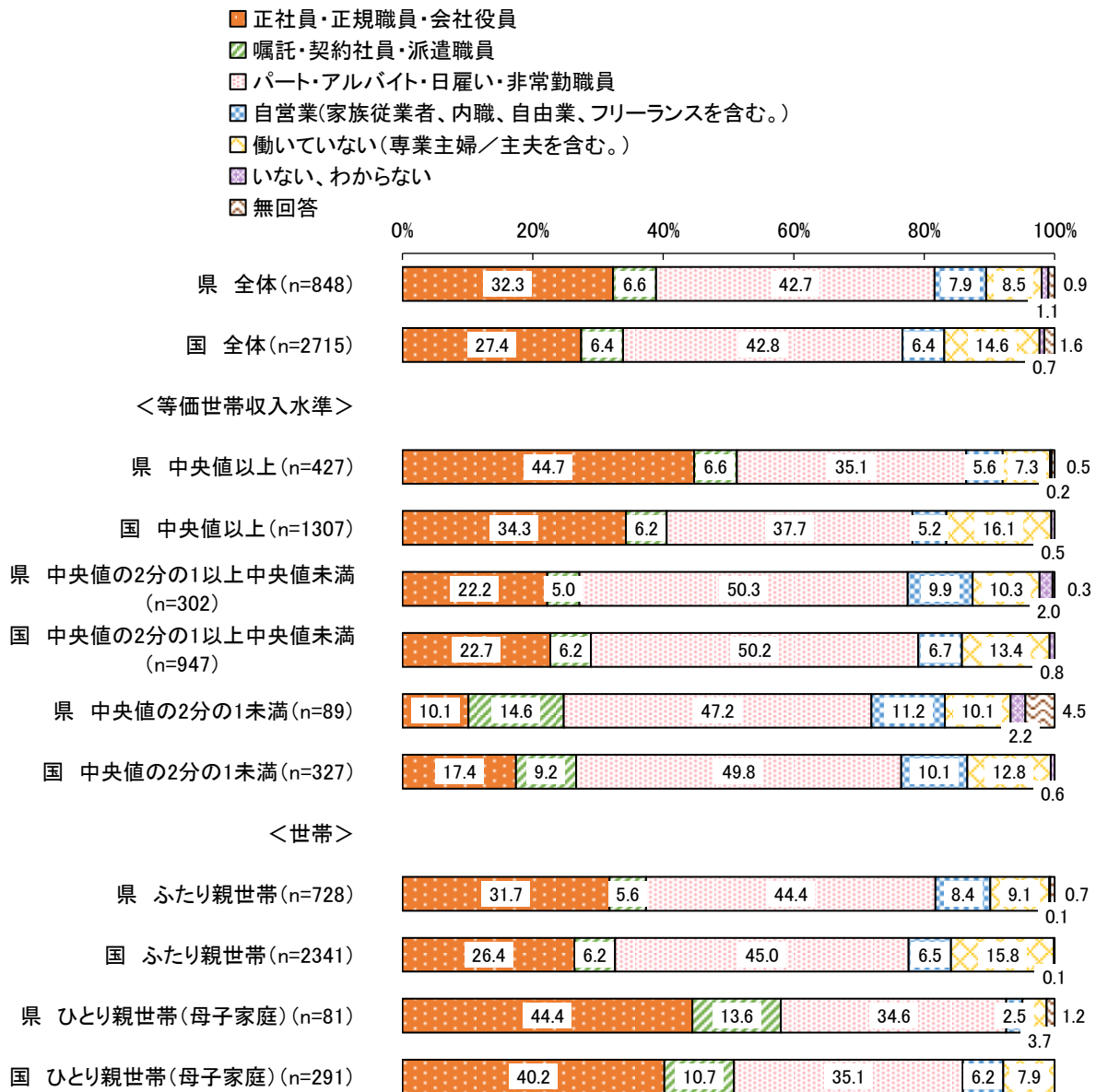
(3) 保護者の就労状況

就労状況に関して国と比較すると、「母親」については、「正社員・正規職員・会社役員」の割合は、県では32.3%、国では27.4%と県の方が高く、「働いていない」の割合は、県では8.5%、国では14.6%と県の方が低くなっている。「父親」については、大きな差は見られない。

等価世帯収入水準別にみると、「母親」については、「正社員・正規職員・会社役員」の割合は、「中央値以上」の世帯（県：44.7%、国：34.3%）で県の方が高く、他方で「中央値の2分の1未満」の世帯（県：10.1%、国：17.4%）で県の方が低い。「父親」については、「正社員・正規職員・会社役員」の割合は、「中央値の2分の1未満」の世帯（県：32.6%、国：48.1%）で県の方が低い。

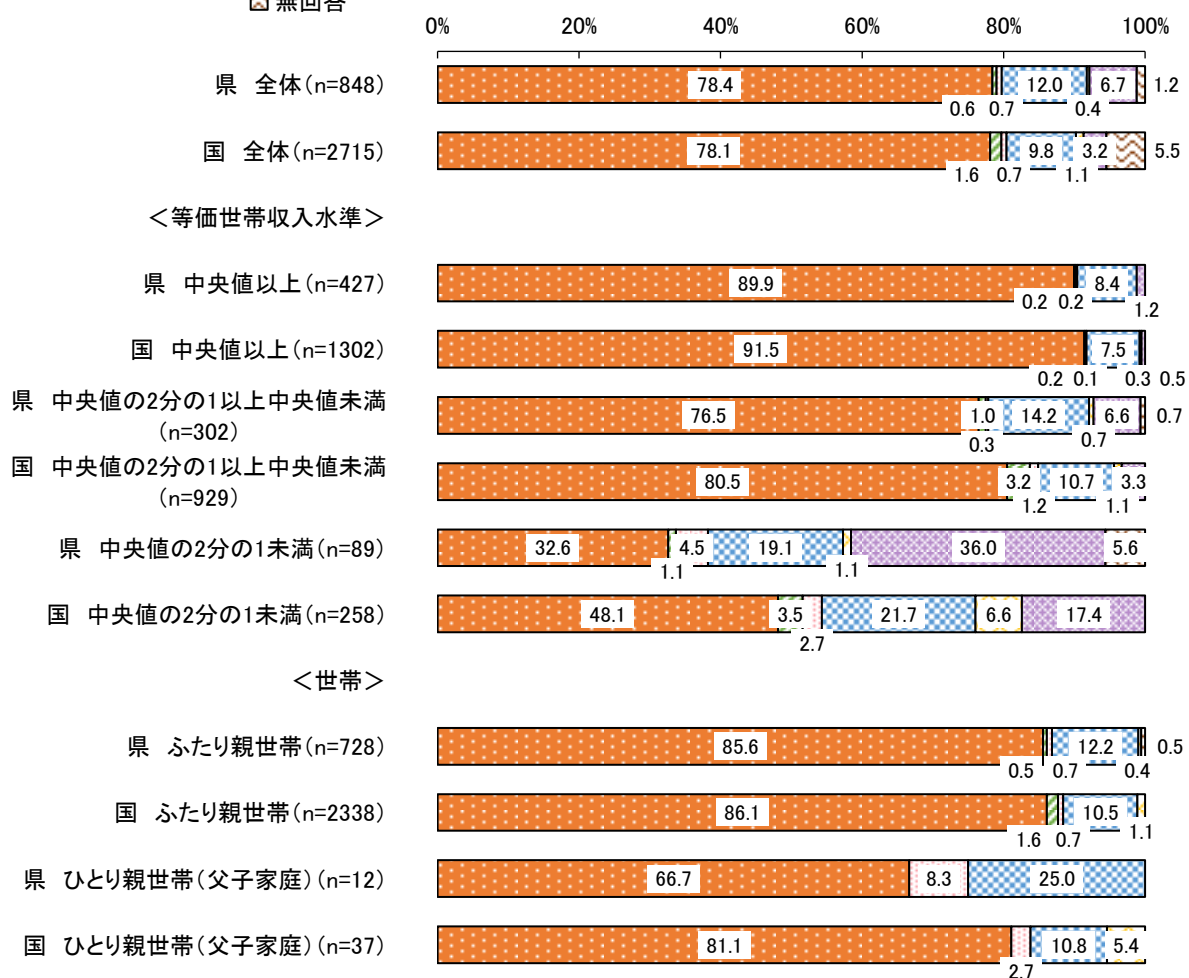
世帯の状況別にみると、「母親」については、「正社員・正規職員・会社役員」の割合は、「ふたり親世帯」（県：31.7%、国：26.4%）、「ひとり親世帯（母子家庭）」（県：44.4%、国：40.2%）ともに県の方が高く、「父親」については、「ひとり親世帯（父子世帯）」（県：66.7%、国：81.1%）で県の方が低い。

a) 母親



b) 父親

- 正社員・正規職員・会社役員
- 嘱託・契約社員・派遣職員
- パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)
- 働いていない(専業主婦/主夫を含む。)
- いない、わからない
- 無回答

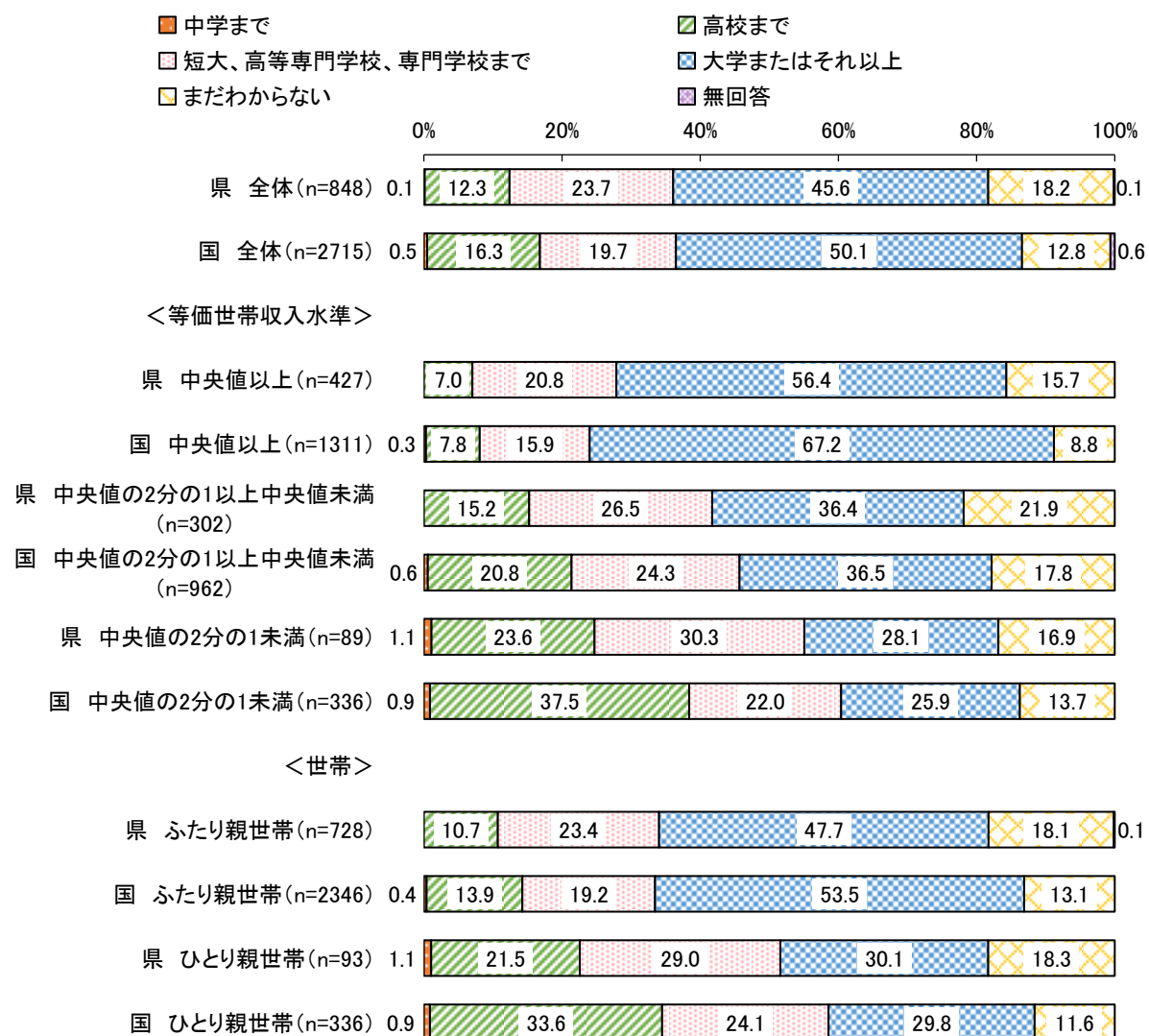


(4) 進学期待・展望

子どもが将来どの段階まで進学すると思うかについて国と比較すると、「大学またはそれ以上」の割合は、県では45.6%、国では50.1%と県の方が低くなっている。

等価世帯収入水準別にみると、「大学またはそれ以上」の割合は、「中央値以上」の世帯（県：56.4%、国：67.2%）で県の方が低いが、他方で「高校まで」の割合は、「中央値の2分の1以上中央値未満」の世帯（県：15.2%、国：20.8%）、「中央値の2分の1未満」の世帯（県：23.6%、国：37.5%）で県の方が低い。

世帯の状況別にみると、「高校まで」の割合は、「ひとり親世帯」（県：21.5%、国：33.6%）で県の方が低い。

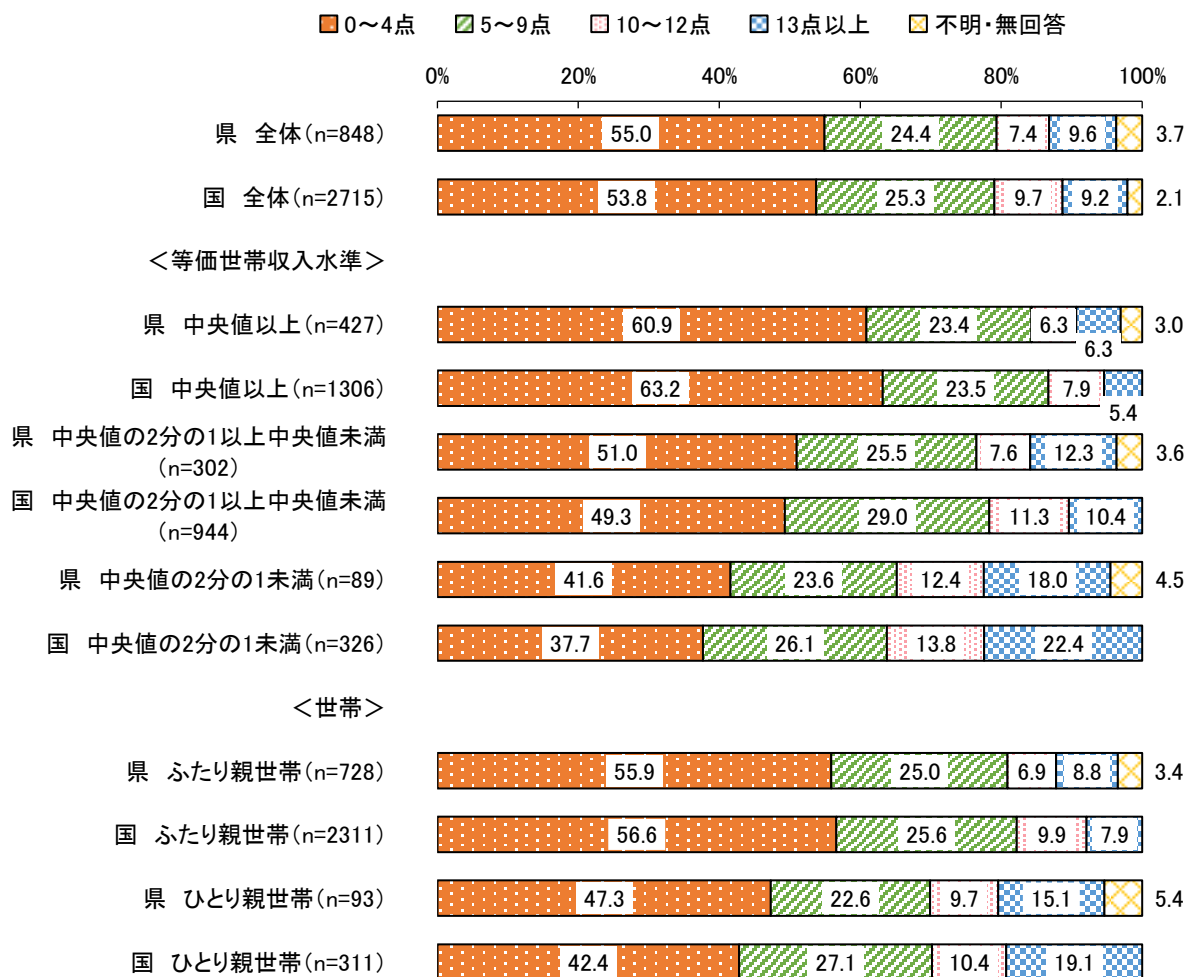


(5) 保護者の心理的な状態

「保護者の心理的な状態」(K6のスコア)に関して国と比較すると、全体結果では大きな差は見られない。

等価世帯収入水準別にみると、「うつ・不安障害相当」とされている「13点以上」の割合は、「中央値の2分の1未満」の世帯(県:18.0%、国:22.4%)で県の方が低い。

世帯の状況別にみると、「うつ・不安障害相当」とされている「13点以上」の割合は、「ひとり親世帯」(県:15.1%、国:19.1%)で県の方が低い。

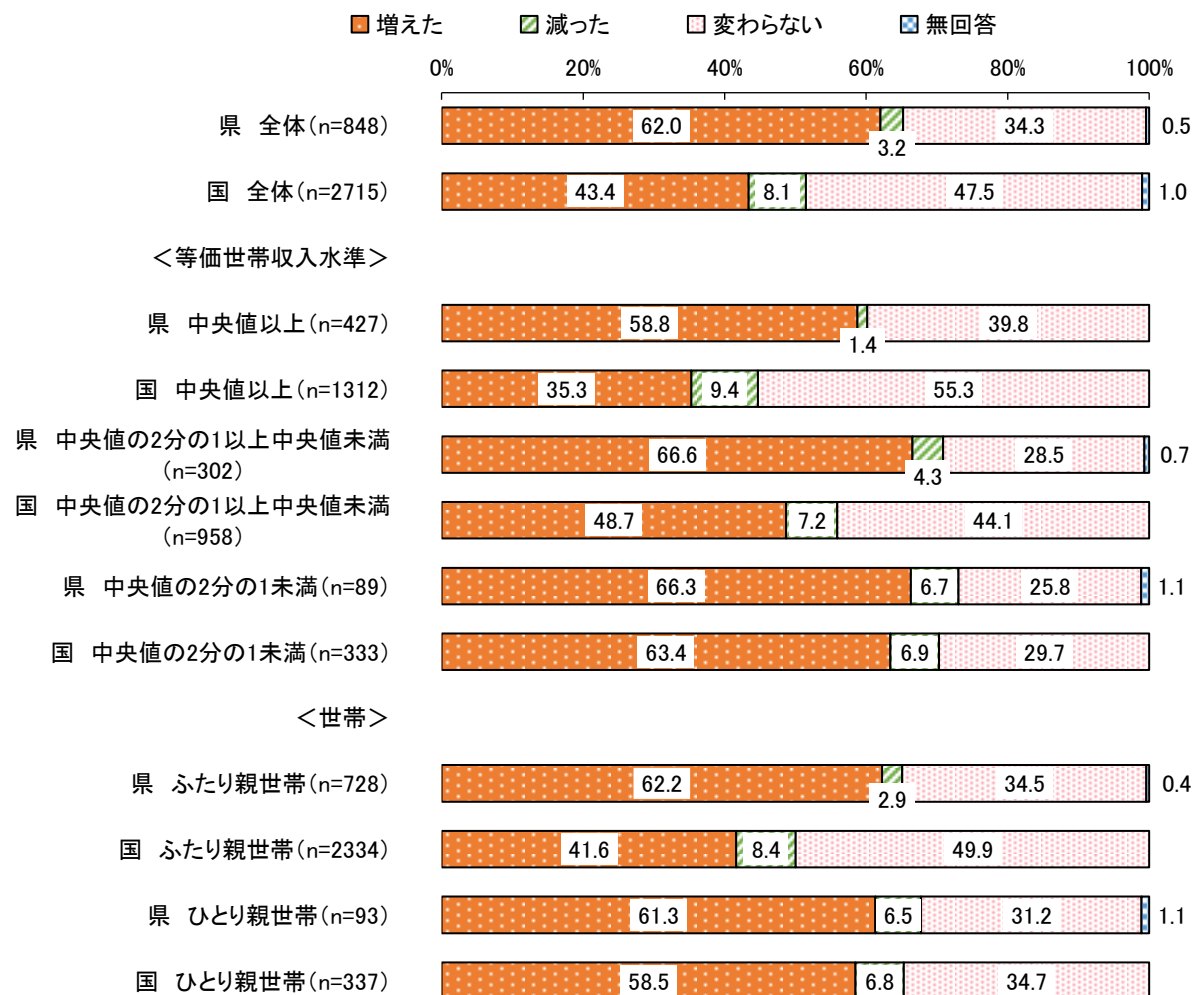


(6) 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の拡大による「生活に必要な支出の変化」について国と比較すると、「増えた」の割合は、県では62.0%、国では43.4%と県の方が高くなっている。

等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、いずれの世帯でも県の方が高いが、収入の水準が低い世帯ほど国との差は小さくなっている。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」（県：62.2%、国：41.6%）で県の方が高い。「ひとり親世帯」では、国との差はほとんど見られない。

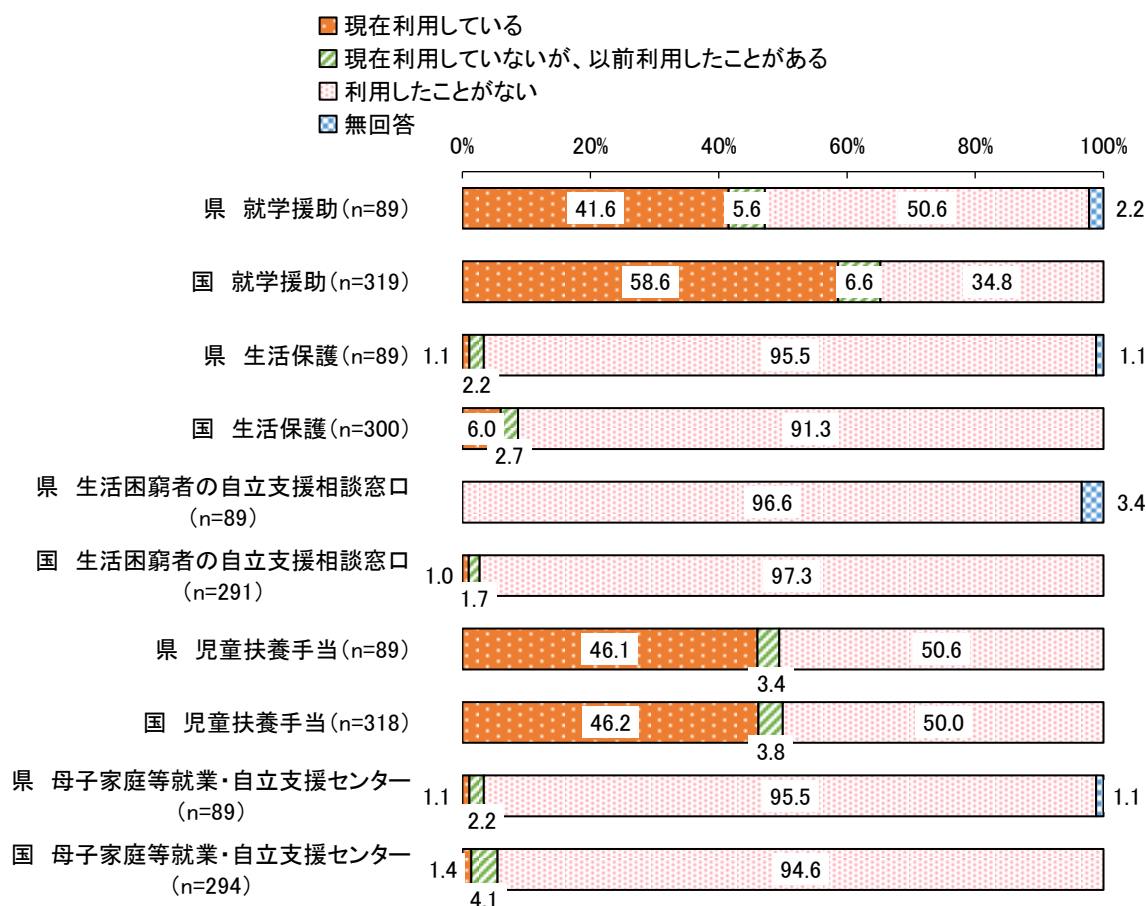


(7) 支援制度の利用状況

支援制度の利用状況について国と比較すると（利用の多い等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の世帯で比較）、「就学援助」に関して「現在利用している」の割合は、県では41.6%、国では58.6%と県の方が高くなっている。

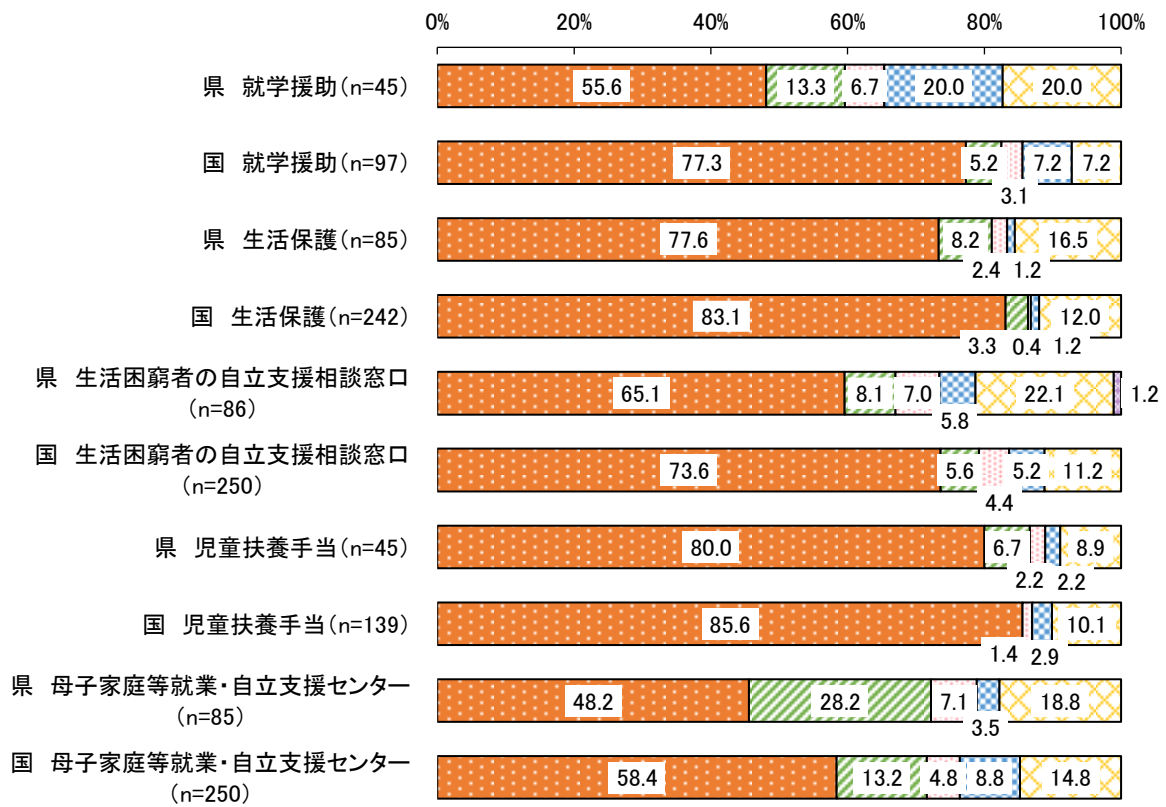
また、支援制度を利用していない理由について国と比較すると、「就学援助」に関しては「利用したいが、手続がわからなかったり、利用しにくいから」の割合が、県では20.0%、国では7.2%と県の方が高い。

※等価世帯収入が中央値の2分の1未満の場合



※等価世帯収入が「中央値の2分の1未満」の場合の支援制度を利用していない理由

- 制度の対象外(収入等の条件を満たさない)と思うから
- ▨ 利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから
- 利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから
- ▨ 利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから
- ▨ それ以外の理由
- 無回答



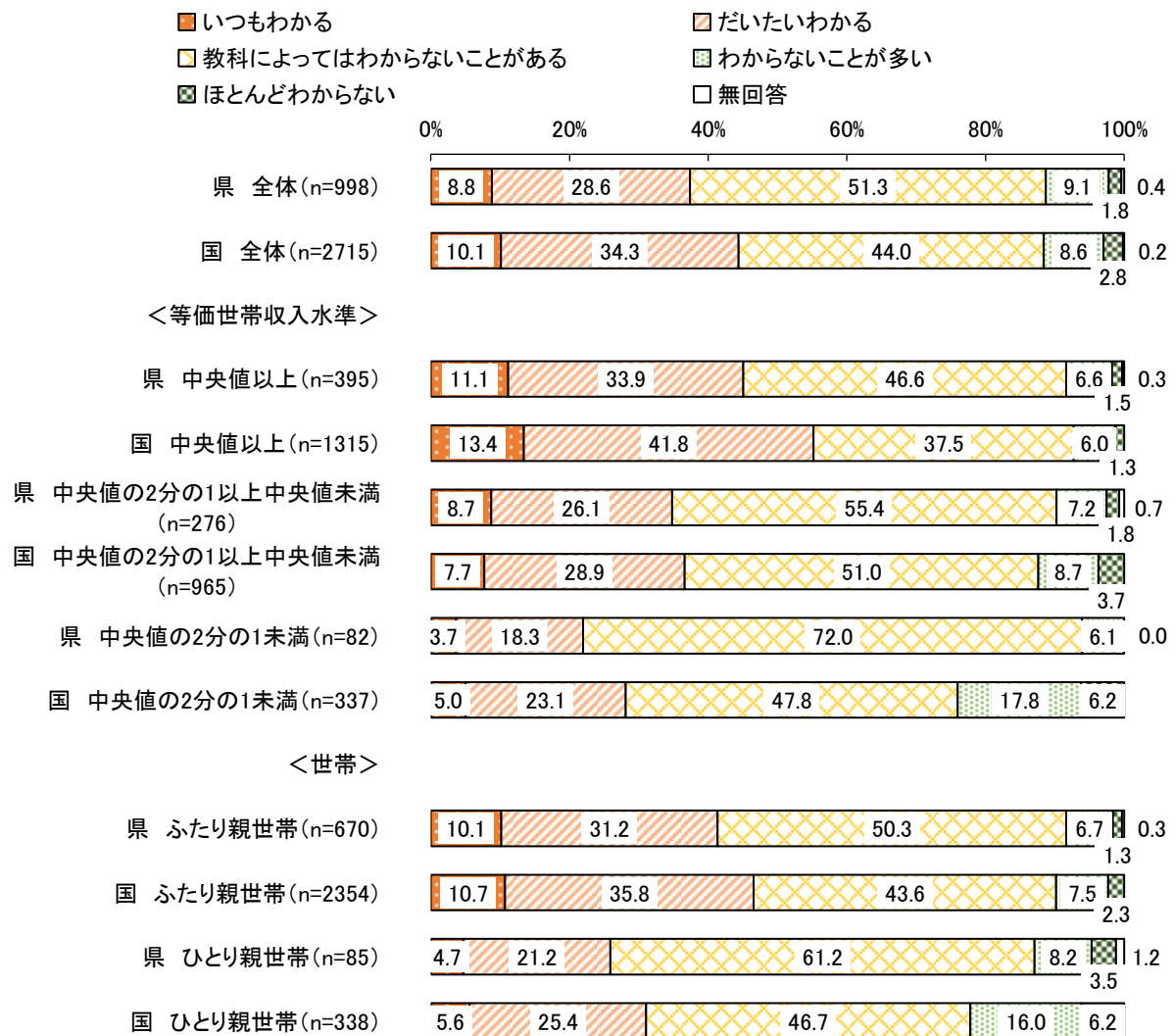
2-1. 子ども

(1) 授業の理解状況

学校の授業の理解状況について国と比較すると、全体結果では大きな差は見られない。

等価世帯収入水準別にみると、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を足し合わせた割合は、「中央値の2分の1未満」の世帯（県：6.1%、国：24.0%）で県の方が低い。他方で「教科によってはわからないことがある」の割合は、「中央値の2分の1未満」の世帯（県：72.0%、国：47.8%）で県の方が高い。

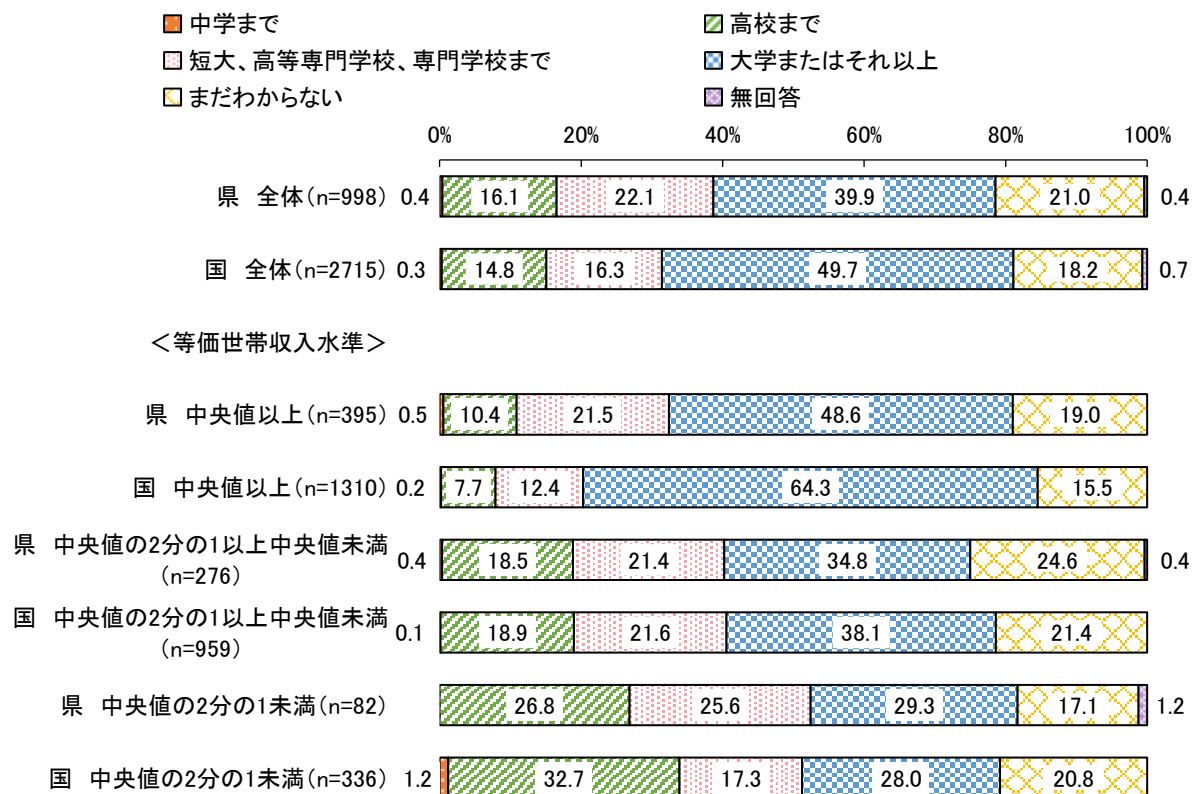
世帯の状況別にみると、「わからないことが多い」と「ほとんどわからない」を足し合わせた割合は、「ひとり親世帯」（県：11.8%、国：22.2%）で県の方が低い。他方で「教科によってはわからないことがある」の割合は、「ひとり親世帯」（県：61.2%、国：46.7%）で県の方が高い。



(2) 進学希望

将来どの段階まで進学したいかについて国と比較すると、「大学またはそれ以上」の割合は、県では39.9%、国では49.7%と県の方が低くなっている。

等価世帯収入水準別にみると、「大学またはそれ以上」の割合は、「中央値以上」の世帯（県：48.6%、国：64.3%）で県の方が低いが、他方で「高校まで」の割合は、「中央値の2分の1未満」の世帯（県：26.8%、国：32.7%）で県の方が低い。

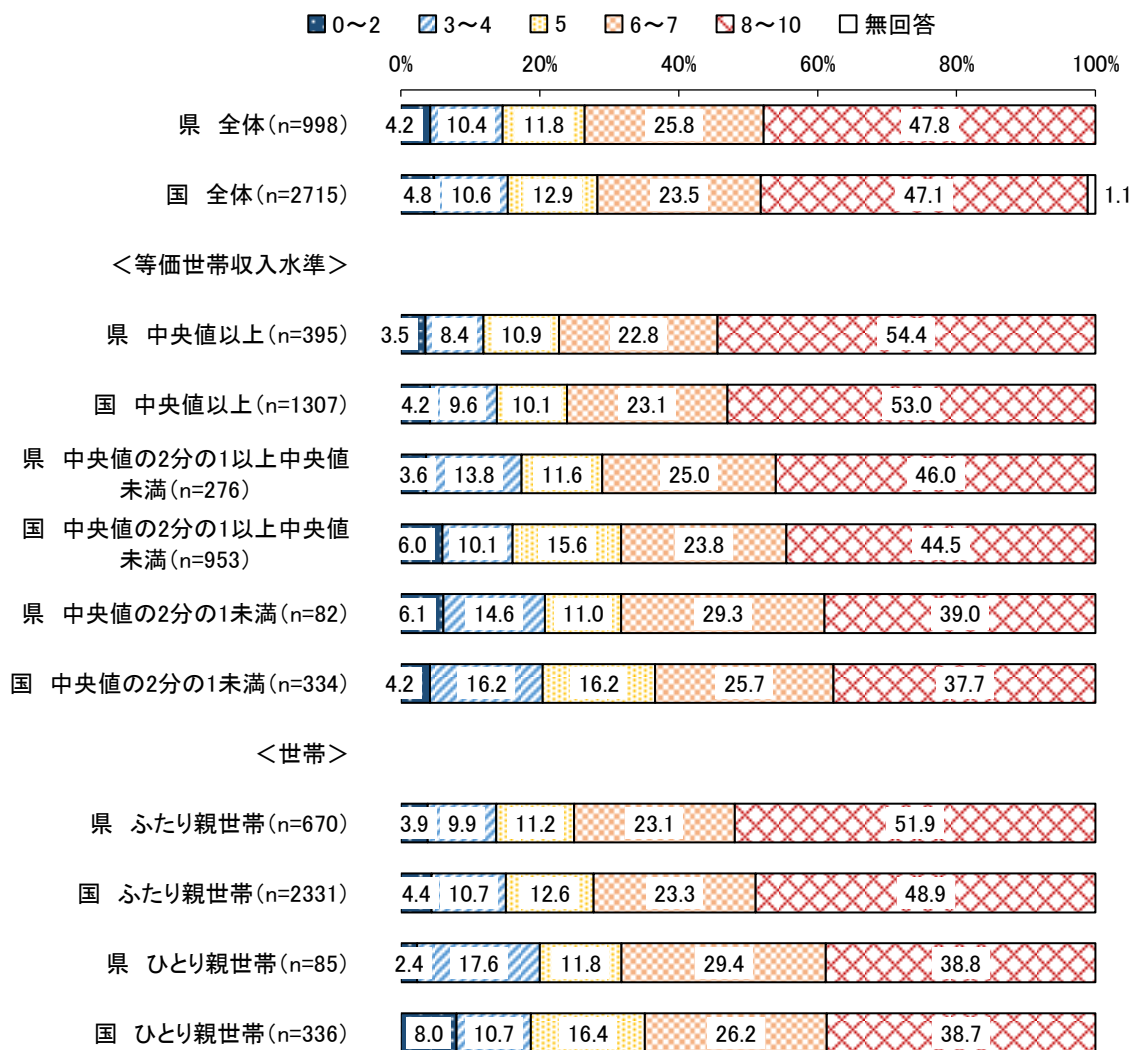


(3) 生活満足度

生活満足度について国と比較すると、「6～10」に該当する割合は、県では73.5%、国では70.6%と県の方がやや高くなっている。

等価世帯収入水準別にみると、「6～10」に該当する割合は、いずれの世帯でも県の方が高い。

世帯の状況別にみると、「6～10」に該当する割合は、「ふたり親世帯」「ひとり親世帯」とともに県の方が高い。

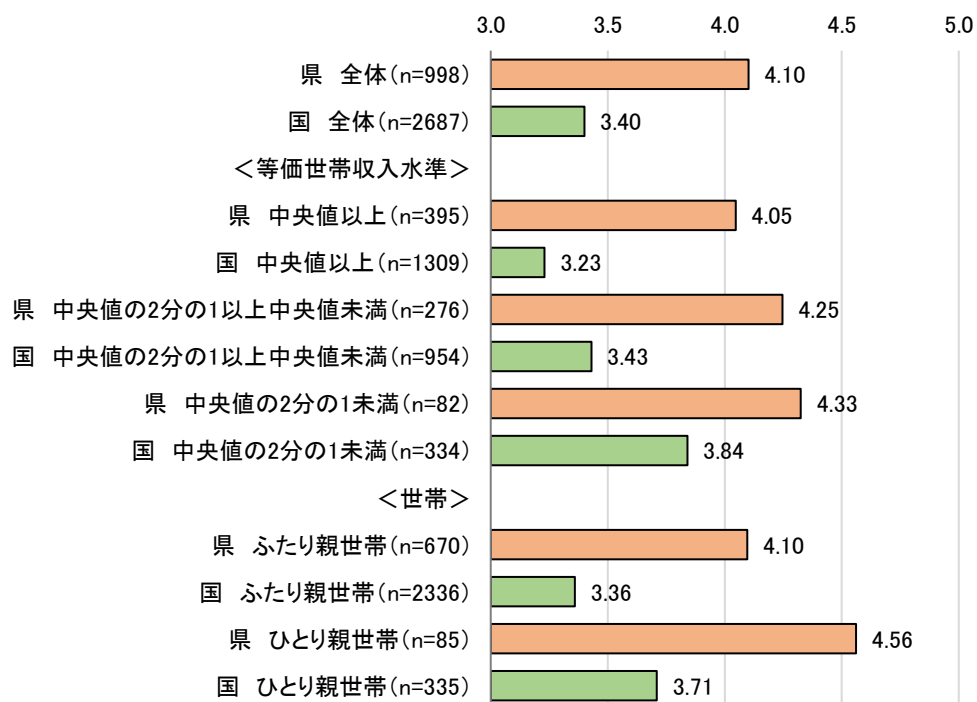


(4) 子どもの心理的な状態

・情緒の問題

「情緒の問題」(0~10点:得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)に関して国と比較すると、県では4.10、国では3.40と県の方がスコアが高い。

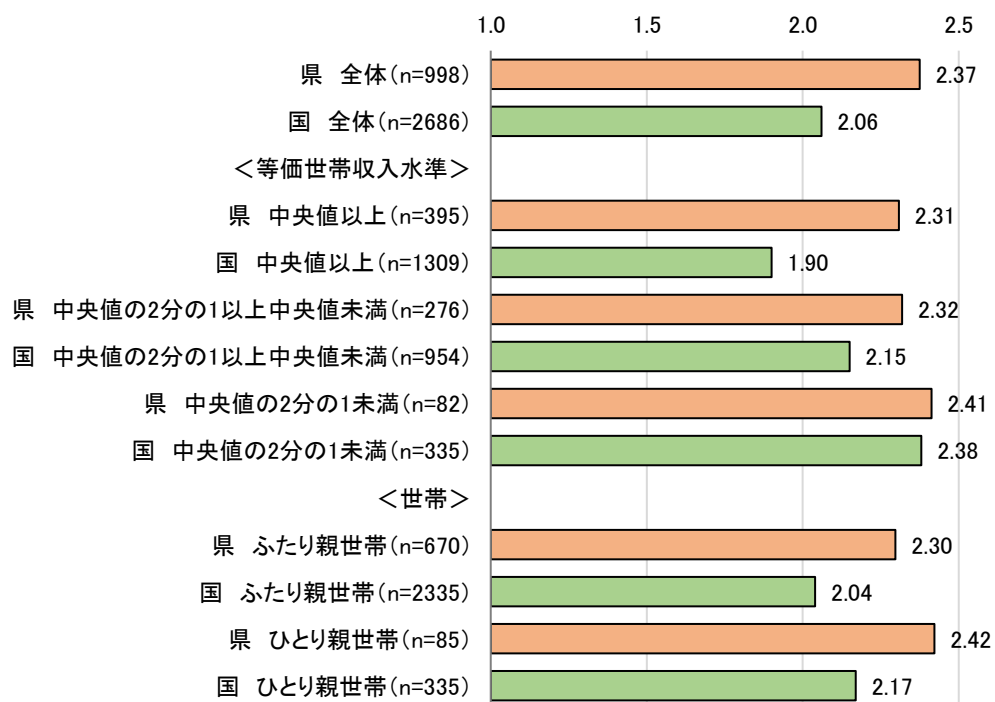
等価世帯収入水準別、世帯の状況別にみても、いずれの世帯でも県の方がスコアが高い。



・仲間関係の問題

「仲間関係の問題」(0～10点：得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)に関して国と比較すると、県では2.37、国では2.06と県の方がスコアが高い。

等価世帯収入水準別、世帯の状況別にみても、いずれの世帯でも県の方がスコアが高い。

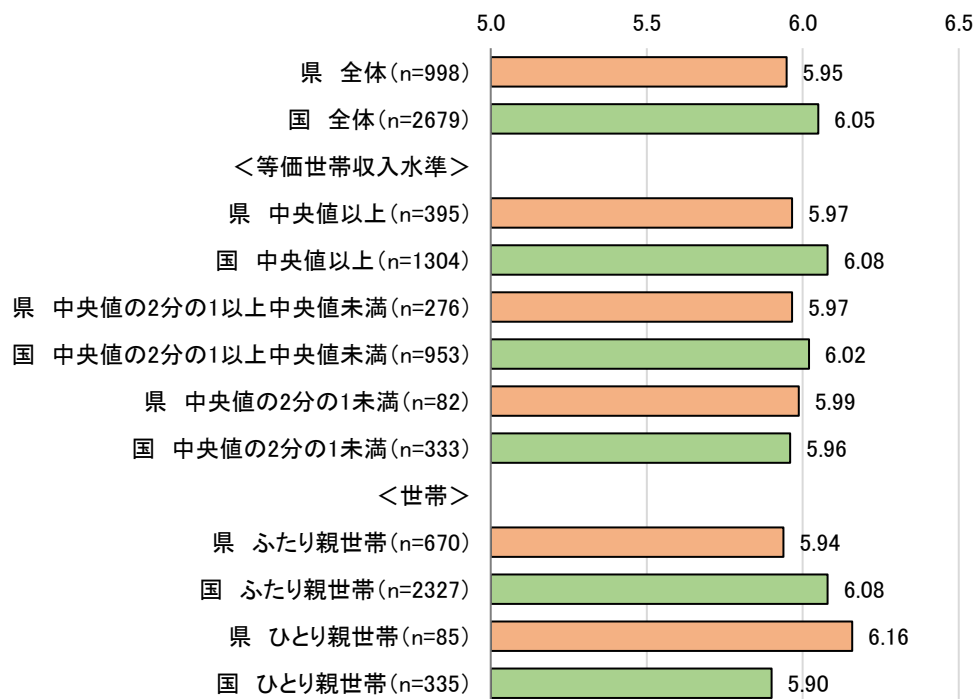


・向社会性

「向社会性」(0～10点：得点が高いほど、社会性が高いと考えられる)に関して国と比較すると、県では5.95、国では6.05と県の方がスコアが低い。

等価世帯収入水準別にみると、「中央値の2分の1未満」の世帯(県：5.99、国：5.96)で県の方がわずかにスコアが高い。

世帯の状況別にみると、「ひとり親世帯」(県：6.16、国：5.90)で県の方がスコアが高い。

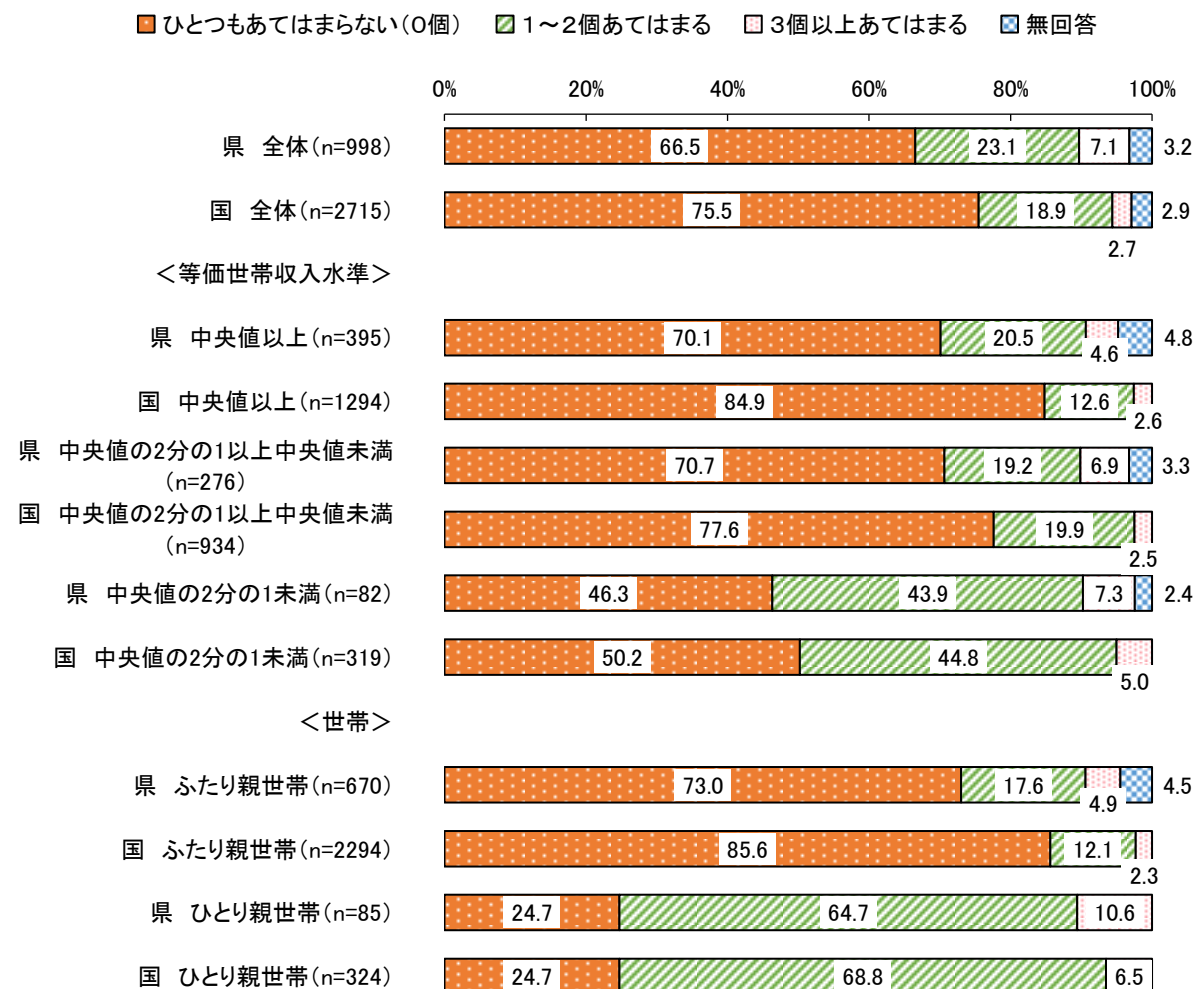


(5) 逆境体験

「逆境体験」の経験について、国と比較すると、「1個以上あてはまる」割合は、県では30.3%、国では21.6%と県の方が高くなっている。

等価世帯収入水準別にみると、「1個以上あてはまる」割合は、いずれの世帯でも県の方が高いが、収入の水準が低い世帯ほど国との差は小さくなっている。

世帯の状況別にみると、「1個以上あてはまる」割合は、「ふたり親世帯」（県：22.5%、国：14.4%）で県の方が高い。「ひとり親世帯」では、国との差は見られない。

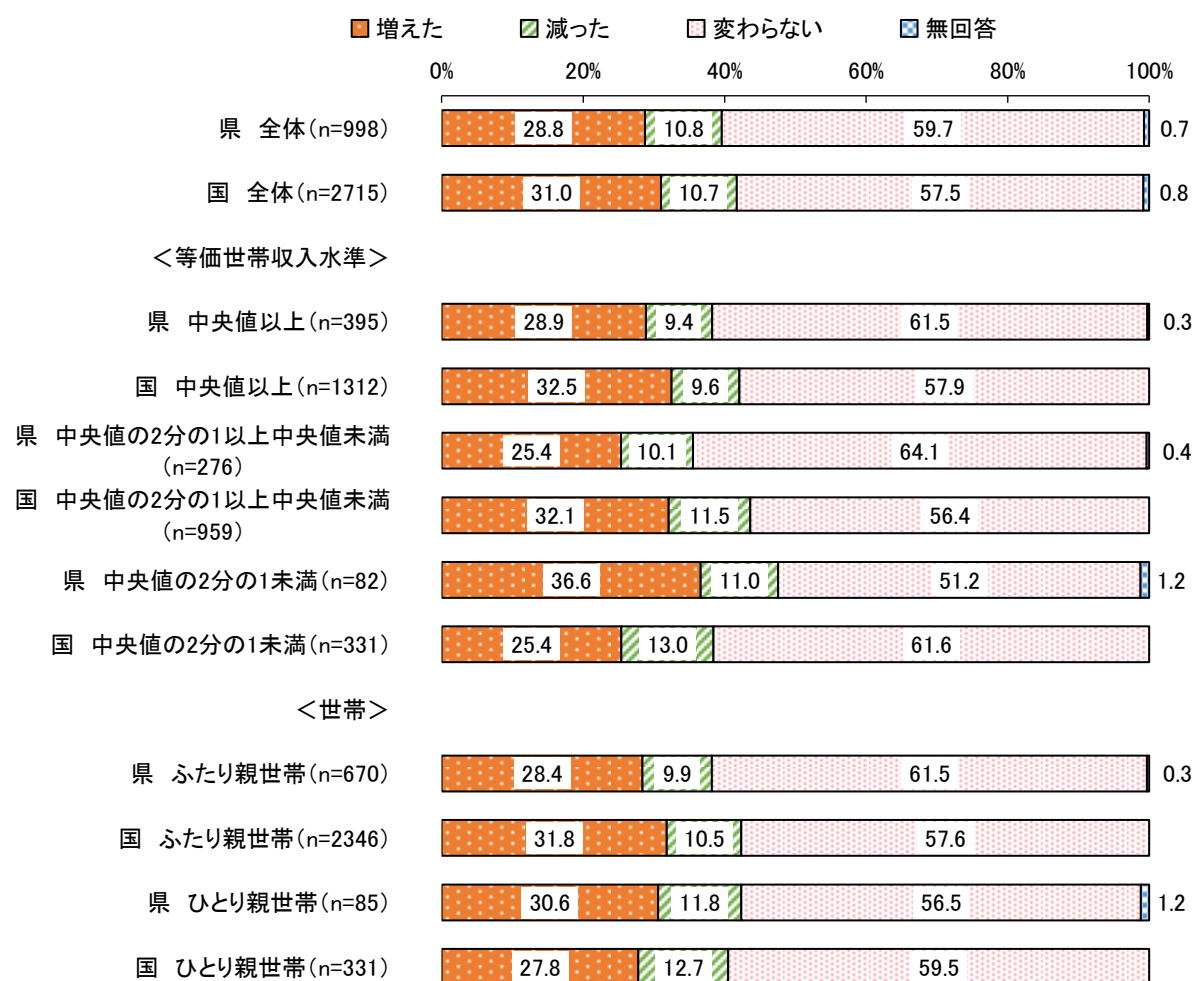


(6) 新型コロナウイルス感染症の影響

新型コロナウイルス感染症の拡大による変化として「学校の授業以外で勉強する時間」について国と比較すると、「増えた」の割合は、県では 28.8%、国では 31.0%と県の方がやや低くなっている。

等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、「中央値の 2 分の 1 未満」の世帯（県：36.6%、国：25.4%）で県の方が高い。

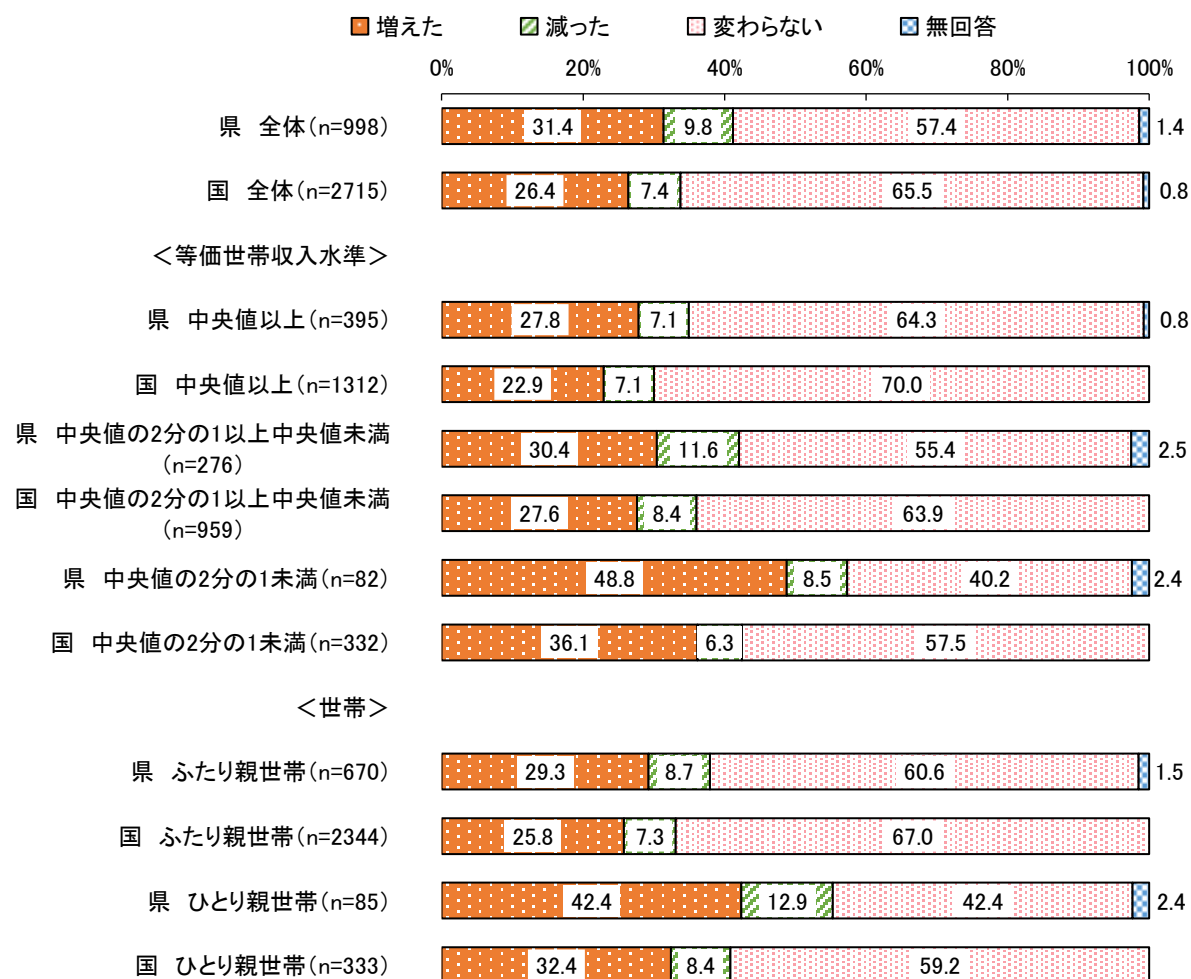
世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ひとり親世帯」（県：30.6%、国：27.8%）で県の方が高い。



新型コロナウイルス感染症の拡大による変化として「学校の授業がわからないと感じること」について国と比較すると、「増えた」の割合は、県では31.4%、国では26.4%と県の方が高くなっている。

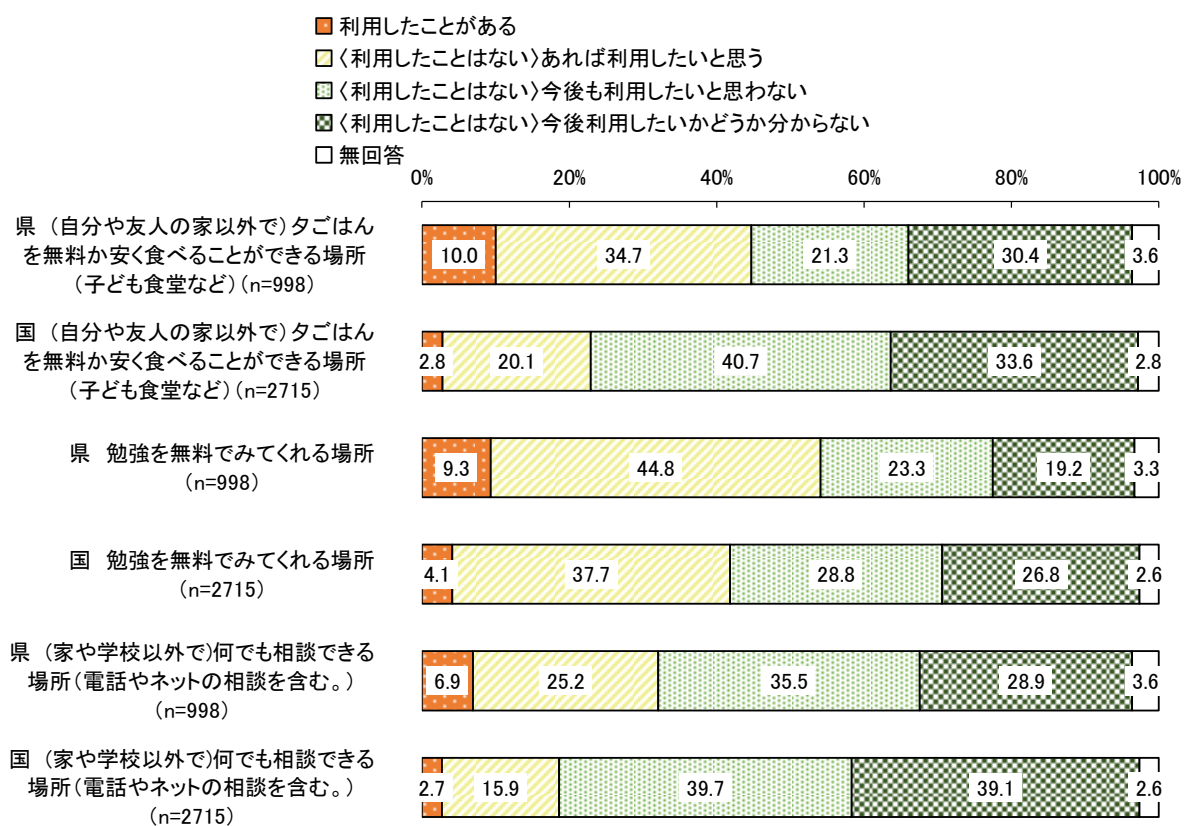
等価世帯収入水準別にみると、「増えた」の割合は、いずれの世帯でも県の方が高く、「中央値の2分の1未満」の世帯（県：48.8%、国：25.4%）で最も差が大きい。

世帯の状況別にみると、「増えた」の割合は、「ふたり親世帯」「ひとり親世帯」とともに県の方が高く、「ひとり親世帯」（県：42.4%、国：32.4%）で差が大きい。



(7) 支援制度の利用状況

支援制度や居場所等の利用状況について国と比較すると、「利用したことがある」と「〈利用したことはない〉あれば利用したいと思う」の割合は、全ての支援制度や居場所等で県の方が高くなっている。



IV 參考資料

1. 調査票

群馬県子どもの生活実態調査

【保護者票】

◆◇ご回答にあたってのお願い◇◆

- ・ この調査は、中学2年生のお子さんがある保護者の方に、生活の状況やお子さんのことなどについて伺うため、群馬県が実施するものです。調査の結果は、子育て世帯等への施策に役立てることを目的としています。
- ・ この調査票は、中学2年生のお子さんの保護者の方がお答えください。
- ・ この調査は無記名です。名前を書く必要はありませんので、個人が特定されることはありません。
- ・ ご回答は、あてはまるものをえらんでください。
- ・ ご回答は、質問文の終わりに「あてはまるもの1つ」や「あてはまるものすべて」など書いてありますので、それに従ってください。
- ・ この調査票は、調査の目的以外には使用しません。

★アンケートはインターネットで回答してください。

パソコンやスマートフォン、タブレット等を使って答えてください。

回答を途中で一時保存し、後で答えることもできますが、**確定ボタンを押したあとは修正できません（回答は確認できなくなります）。**

右のQRコードを読み取り、アンケート画面に入ってください。

※以下のアドレスを入力してもアンケート画面に入れます。

アドレスから入る場合はログイン画面にIDとパスワードを入力してください。

アドレス：<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/gunma/hogosya/>

※本人以外の方が回答内容を開覧することをふせぐため、**確定ボタンを押すまでは、QRコード、ID、パスワードをほかの人に见せないでください。**

※IDとパスワードは、重複回答を防ぐために設定しています。個人を特定するものではありません。



★ 回答締切日： **2023年12月22日（金）**までに回答してください。

- ・ インターネットで答えることが難しい場合は、この用紙で回答してください。ご記入いただいた後、**青色の封筒**に入れ、封をとして、お子さんを通して学校に提出してください。インターネットで回答した場合は、この用紙を提出する必要はありません。

※ 調査に関してのお問合せは、以下までお願いします。

群馬県生活こども部私学・子育て支援課（TEL：027-226-2622）

この調査で「お子さん」とは、調査対象となる中学2年生のお子さんのことをいいます。
「親」「母親」「父親」とは、継母や継父、母親や父親に代わる保護者の方を含みます。

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

1 母親	3 祖父母
2 父親	4 その他

問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方がいる場合や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~hそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 祖母	b) 祖父	c) 母親	d) 父親	h) 合計 <small>(あなたや対象のお子さんを合算)</small>
0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	2 2人
1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	3 3人
2 2人	2 2人	2 2人	2 2人	4 4人
e) 姉・兄	対象のお子さん (本人)	f) 妹・弟	g) その他	5 5人
0 いない	1人	0 いない	0 いない	6 6人
1 1人		1 1人	1 1人	7 7人
2 2人		2 2人	2 2人	8 8人
3 3人		3 3人	3 3人	9 9人
4 4人以上		4 4人以上	4 4人以上	10 10人以上

※対象のお子さんからみた続柄で回答

問3 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。
(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

母親 歳 父親 歳

問4 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
(1~3については、あてはまるものすべてに○)

1 お子さんの母親が単身赴任中	2 お子さんの父親が単身赴任中
3 その他	4 単身赴任中の者はいない

問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

2
「○」
の
数字
を
か
け
こ
め
て
お
し
や
り
な
さ
い

- 1 結婚している（再婚や事実婚を含む。）
- 2 離婚
- 3 死別
- 4 未婚
- 5 わからない
- 6 いない

問6 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。
また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 取り決めをしており、受け取っている
- 2 特に取り決めはしていないが、受け取っている
- 3 取り決めをしているが、受け取っていない
- 4 取り決めをしておらず、受け取っていない

問7 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 日本語のみを使用している
- 2 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
- 3 日本語以外の言語を使うことが多い

問8 お子さんの親の最終学歴（卒業した学校）をお答えください。
(a,b それぞれについて、あてはまるものひとつに○)

	a) 母親	b) 父親
中学まで	1	1
高校まで	2	2
短大、高等専門学校、専門学校まで	3	3
大学またはそれ以上	4	4
いない、わからない	5	5

問 9 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a,b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	a) 母親	b) 父親
正社員・正規職員・会社役員	1	1
嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

5
に
あ
て
は
ま
る
も
の
を
選
び
な
さ
い

問 1 0 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。 ←
 (a,b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	a) 母親	b) 父親
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したいため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

問 1 1 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 1 認可保育所・認定こども園 | 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた |
| 2 その他の教育・保育等の施設 | 5 その他 |
| 3 親・親族以外の個人 | |

問 1 2 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 幼稚園・認可保育所・認定こども園 | 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた |
| 2 その他の教育・保育等の施設 | 5 その他 |
| 3 親・親族以外の個人 | |

問 1 3 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。
(a~e それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	あてはまる	あてはまる どちらかといえは、 どちらかといえは、	あてはまる どちらかといえは、 どちらかといえは、	あてはまる どちらかといえは、 どちらかといえは、
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4
e) お子さんと、よく会話をする	1	2	3	4

問 1 4 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。
(a,b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
b) P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問 1 5 お子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。
 (あてはまるものひとつに○)

- 1 中学まで
- 2 高校まで
- 3 短大、高等専門学校、専門学校まで
- 4 大学またはそれ以上
- 5 まだわからない →問 1 7に進んでください。

問 1 6 前問で 1～4 と答えた場合、その理由は何ですか。
 (1～5については、あてはまるものすべてに○)

- 1 お子さんがそう希望しているから
- 2 一般的な進路だと思うから
- 3 お子さんの学力から考えて
- 4 家庭の経済的な状況から考えて
- 5 その他
- 6 特に理由はない

問 1 7 あなたは次に挙げる事柄ことばで頼れる人はいますか。
 (a～c それそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)
 また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

	a) 子育てに関する相談	b) 重要な事柄の相談	c) いざという時の お金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
家族・親族	①	①	①
友人・知人	②	②	②
近所の人	③	③	③
職場の人	④	④	④
民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤
相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥
その他	⑦	⑦	⑦
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

①～⑦のあてはまるものすべてに○

問 1 8 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|------------|---------|
| 1 大変ゆとりがある | 4 苦しい |
| 2 ゆとりがある | 5 大変苦しい |
| 3 ふつう | |

問 1 9 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

※2022年(令和4年)の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入(定期収入、賞与等)
- ・事業収入(原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く)、内職収入(材料費等を除く)
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金(生活保護、児童手当、児童扶養手当等)
- ・農林漁業収入(農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く)
- ・資産収入(預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。)
- ・その他の収入(仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 50万円未満 | 9 400~450万円未満 |
| 2 50~100万円未満 | 10 450~500万円未満 |
| 3 100~150万円未満 | 11 500~600万円未満 |
| 4 150~200万円未満 | 12 600~700万円未満 |
| 5 200~250万円未満 | 13 700~800万円未満 |
| 6 250~300万円未満 | 14 800~900万円未満 |
| 7 300~350万円未満 | 15 900~1000万円未満 |
| 8 350~400万円未満 | 16 1000万円以上 |

問 2 0 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 よくあった | 3 まれにあった |
| 2 ときどきあった | 4 まったくなかった |

問 2 1 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 よくあった | 3 まれにあった |
| 2 ときどきあった | 4 まったくなかった |

問 2 2 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする生理用品が買えないことがありましたか。(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 買う必要がない(世帯に女性がいない等)
- 2 よくあった
- 3 ときどきあった
- 4 まれにあった
- 5 まったくなかった

問 2 3 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- 1 電気料金
- 2 ガス料金
- 3 水道料金
- 4 あてはまるものはない

問 2 4 次の a)～f)の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 2 2 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする生理用品が買えないことがありましたか。(あてはまるもの 1 つに○)

- | | |
|---|----------------------|
| 1 | 買う必要がない (世帯に女性がいない等) |
| 2 | よくあった |
| 3 | ときどきあった |
| 4 | まれにあった |
| 5 | まったくなかった |

問 2 3 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---|------------|
| 1 | 電気料金 |
| 2 | ガス料金 |
| 3 | 水道料金 |
| 4 | あてはまるものはない |

問 2 4 次の a)～f)の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちはどのようでしたか。(a～f それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 2 5 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。
（あてはまるもの1つに○）

0 : まったく満足していない						10 :十分に満足している				
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 2 6 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。

（a~fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 世帯全体の収入の変化	1	2	3
b) 生活に必要な支出の変化	1	2	3
c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	1	2	3
d) お子さんと話をする事	1	2	3
e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること	1	2	3
f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問27 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～hそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「3 利用したことがない場合、その理由は何ですか。(①～⑧のあてはまるものすべてに○)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c ※3 自立支援相談窓口 生活困窮者の	d ※4 児童扶養手当
現在利用している	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3
制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	①	①	①	①
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	②	②	②	②
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	③	③	③	③
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	④	④	④	④
利用したいが、場所が遠く利用できないから	⑤	⑤	⑤	⑤
知らない人と関わりたくないから	⑥	⑥	⑥	⑥
生活に困っていると思われたくないから	⑦	⑦	⑦	⑦
それ以外の理由	⑧	⑧	⑧	⑧

①～⑧のあてはまるものすべてに○

(参考)

- ※1 就学援助：経済的理由により子どもの就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。
- ※2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
- ※4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）

	e ※5 母子家庭等就業・ 自立支援センター	f 子ども食堂（自分や友人の家 以外でタンぱんを無料か安く 食べることができる場所）	g 子どもに勉強を無料で教えて くれる場所	h フードバンク、 フードパントリー
現在利用している	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3
制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	①	①	①	①
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	②	②	②	②
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	③	③	③	③
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	④	④	④	④
利用したいが、場所が遠く利用できないから	⑤	⑤	⑤	⑤
知らない人と関わりたくないから	⑥	⑥	⑥	⑥
生活に困っていると思われたくないから	⑦	⑦	⑦	⑦
それ以外の理由	⑧	⑧	⑧	⑧

（参考）

※5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。

問 2 8 あなたは、問 2 7 の制度以外に、どのような支援があるとよいと思いますか。
自由に記入してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。



群馬県子どもの生活実態調査

【中学生票】

◆◇ご回答にあたってのお願い◇◆

- ・これは、群馬県の子どもの生活状況などを調べるための調査です。
- ・このアンケートの回答は、あなたが自分で答えてください。安心して答えられるよう、おうちの方や学校の先生には見せないでください。
- ・自分の思う答えを書いてください。まちがった答えや、正しい答えはありません。
- ・質問の意味が分からない場合は、先生に聞いてください。
- ・答えは、あてはまるものをえらんでください。
- ・答え方は、質問文の終わりに「あてはまるもの1つ」や「あてはまるものすべて」などを書いてありますので、それにしたがってください。
- ・このアンケートは調査の目的以外には使用しません。また、名前を書かないので、あなたがどのように答えたかはだれにもわかりません。

★アンケートはインターネットで回答してください。

家のパソコンやスマートフォン、または学校が貸し出しているタブレット（学校が認めた場合に限る）等を使って答えてください。

回答を途中で一時保存し、後で答えることもできますが、**確定ボタン**を押したあとは修正できません（回答は確認できなくなります）。

右のQRコードを読み取り、アンケート画面に入ってください。

※以下のアドレスを入力してもアンケート画面に入れます。

アドレスから入る場合はログイン画面にIDとパスワードを入力してください。

アドレス：<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/gunma/kodomo/>

※本人以外の方が回答内容を閲覧することをふせぐため、**確定ボタン**を押すまでは、**QRコード、ID、パスワード**をほかの人に見せないでください。

※IDとパスワードは、重複回答を防ぐために設定しています。個人を特定するものではありません。

QRコード
ID/pass
シール

★ 回答締切日：2023年12月22日（金）までに回答してください。

- ・インターネットで答えることが難しい場合は、この用紙で回答してください。
全部書き終わったら、**緑色の封筒**に自分で入れ、封をとして、先生に提出してください。
インターネットで回答した場合は、この用紙を提出する必要はありません。

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他・答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 自分で勉強する
- 2 塾で勉強する
- 3 学校の補習を受ける
- 4 家庭教師に教えてもらう
- 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
- 6 家の人に教えてもらう
- 7 友達と勉強する
- 8 その他
- 9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。
 (a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない 30分以上、	2時間より少ない 1時間以上、	3時間より少ない 2時間以上、	3時間以上
a) 学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 上のほう
- 2 やや上のほう
- 3 まん中あたり
- 4 やや下のほう
- 5 下のほう
- 6 わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 いつもわかる | } →問7に進んでください。 |
| 2 だいたいわかる | |
| 3 教科によってはわからないことがある | |
| 4 わからないことが多い | |
| 5 ほとんどわからない | |

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 小学1・2年生のころ | 4 中学1年生のころ |
| 2 小学3・4年生のころ | 5 中学2年生になってから |
| 3 小学5・6年生のころ | |

問7 あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 中学まで | } →問9に進んでください。 |
| 2 高校まで | |
| 3 短大、高等専門学校、専門学校まで | |
| 4 大学またはそれ以上 | |
| 5 まだわからない | |

問8 前の質問で1～4と答えた場合、その理由を教えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------|
| 1 希望する学校や職業があるから |
| 2 自分の成績から考えて |
| 3 親がそう言っているから |
| 4 兄・姉がそうしているから |
| 5 まわりの先輩や友達がそうしているから |
| 6 家にお金がないと思うから |
| 7 早く働く必要があるから |
| 8 その他 |
| 9 とくに理由はない |

問9 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 参加している →問11に進んでください。
2 参加していない

問10 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きます。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1 入りたいクラブ・部活動がないから | 4 家の事情(家族の世話、家事など)があるから |
| 2 塾や習い事が忙しいから | 5 一緒にいる友達がいないから |
| 3 費用がかかるから | 6 その他 |

問11 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
(a~cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	毎日食べる (週7日)	週5~6日	週3~4日	週1~2日、 ほとんど 食べない
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問12 前の質問で「2~4」と答えた人にお聞きます。
食事を毎日食べない理由は何ですか。(a~cそれぞれについて、あてはまるものすべてに○)

	食べるものがない、 又は食事を用意して もらえないため	食べたくないため (食欲がない、ダイ エツトのため等)	め 食べるのが面倒なた め	め 食べる時間がないた め	食べる必要性を感じ ないため	その他
a) 朝食	1	2	3	4	5	6
b) 夕食	1	2	3	4	5	6
c) 夏休みや冬休みなど の期間の昼食	1	2	3	4	5	6

問 1 3 1回の食事の量はどの程度ですか。(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	量が毎回、十分な 量が食べられない	全部食べても、少し足りないと感じることが多い	全部食べても、全然足りないと感じることが多い
a) 朝食	1	2	3
b) 夕食	1	2	3
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3

問 1 4 女子生徒にお聞きします。 →男子生徒は、問 1 6に進んでください。

これまでに生理用品が準備できず困ったことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 困ったことはない
- 2 困ったことがある
- 3 生理用品はまだ必要ない

問 1 5 女子生徒にお聞きします。

前の質問で「2 困ったことがある」と答えた人にお聞きします。

その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- 1 家族の収入が少ない(減った)から、値段が高いから
- 2 自分で買う必要があるが、他にお金を使わなければならないから
- 3 買うのが(親に頼むのが)はずかしいから
- 4 その他

問 1 6 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。

(あてはまるもの1つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問 17 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はいますか。
 (1～3のあてはまるもの1つに○) また、「1 相談できると思う人がいる」場合、それは誰ですか。(①～⑩のあてはまるものすべてに○)

相談できると思う人がいる	1
親	①
きょうだい	②
祖父母など	③
学校の先生	④
学校の友達	⑤
学校外の友達	⑥
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど	⑦
その他の大人(塾・習い事の先生、地域の人など)	⑧
ネットで知り合った人	⑨
県や市町村のLINE等を活用したSNS相談窓口 (例：こころのオンライン相談@ぐんま)	⑩
相談できる人はいない	2
相談したくない	3

問18 家族かぞくの中にあなたがお世話せわをしている人はいますか。

(ここで「お世話」とは、本来大人が担になうと想定されている家事かじや家族の世話せわなどです。)

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|-----|
| 1 | いる |
| 2 | いない |

問19 ヤングケアラーという言葉ことばをこれまで聞いたことがありますか。

(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 聞いたことがあり、内容も知っている |
| 2 | 聞いたことはあるが、よく知らない |
| 3 | 聞いたことはない(今回初めて知った) |

問20 全体として、あなたは最近さいきんの生活くわんごうに、どのくらい満足まんぞくしていますか。「0」(まったく満足まんぞくしていない)から「10」(十分に満足まんぞくしている)の数字で教えてください。

(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足 <small>まんぞく</small> していない					10 : 十分に満足 <small>まんぞく</small> している					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 2 1 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。
(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あては まらな い	ま あ あ て は ま る	あ て は ま る
a) 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合いを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んでしずんでいたたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。	1	2	3
n) 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまい。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問 2 2 あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。（a～g それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問 2 3 あなたは今までに、以下の a~h のようなことがありましたか。あてはまる個数を答えてください。
(あてはまるもの 1 つに○)

- a 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- b 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- c 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- d 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- e 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- f 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- g 一緒に住んでいる人にお酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- h 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

- 0 ひとつもあてはまらない (0 個)
- 1 1 個あてはまる
- 2 2 個あてはまる
- 3 3 個あてはまる
- 4 4 個あてはまる
- 5 5 個あてはまる
- 6 6 個あてはまる
- 7 7 個あてはまる
- 8 すべてあてはまる (8 個)

※上のようなことで、つらい気持ちの場合は、「こどもホットライン 24」(フリーダイヤル：0120-783-884、携帯電話からの場合 027-263-1100) や学校のスクールカウンセラー、「チャイルドライン」(フリーダイヤル：0120-99-7777) に話してみてください。

問24 あなたは、次の a～c のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)
「3 今後も利用したいと思わない」又は「4 今後利用したいかどうか分からない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

	a (自分や友人の家以外で、夕ごはんを無料が安く食べる事ができる場所(子ども食堂など))	b 勉強を無料でみてくれる場所	c (家や学校以外で)何でも相談できる場所(電話やネットの相談を各(む)む)
利用したことがある	1	1	1
利用したことがない			
あれば利用したいと思う	2	2	2
今後も利用したいと思わない	3	3	3
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	①	①	①
知らない人と関わりたくないから	②	②	②
生活に困っていると思われたくないから	③	③	③
親の許可が得られないから	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤
今後利用したいかどうか分からない	4	4	4
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	①	①	①
知らない人と関わりたくないから	②	②	②
生活に困っていると思われたくないから	③	③	③
親の許可が得られないから	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤

問 2 5 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。
そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。
(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

問 2 6 あなたは、誰かに話を聞いてほしいことや、助けてほしいことはありますか。
ある場合、自由に記入してください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

2. 等価世帯収入の算出

○年間収入に関する回答の各選択肢の中央値をその世帯の収入の値とする（例えば、「50 万円未満」であれば 25 万円、「50～100 万円未満」であれば 75 万円とする。なお、「1000 万円以上」は 1050 万円とする。）

○上記の値を、保護者票問 2 で把握される同居家族の人数の平方根をとったもので除す。

○上記の方法で算出した値（等価世帯収入）の中央値を求め、さらに、その 2 分の 1 未満であるか否かで分類する。

●等価世帯収入の中央値：290.69 万円、中央値の 2 分の 1：145.34 万円

（参考：国の調査結果）

等価世帯収入の中央値：317.54 万円、中央値の 2 分の 1：158.77 万円

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
10.21	1	0.1	0.1
11.18	1	0.1	0.2
14.43	1	0.1	0.4
33.54	1	0.1	0.5
37.50	1	0.1	0.6
43.30	1	0.1	0.7
47.25	1	0.1	0.9
51.03	2	0.2	1.1
53.03	1	0.1	1.2
55.90	1	0.1	1.3
62.50	4	0.5	1.8
66.14	1	0.1	2.0
72.17	5	0.6	2.6
78.26	3	0.4	2.9
87.50	5	0.6	3.5
88.39	3	0.4	3.9
97.23	1	0.1	4.0
101.04	10	1.2	5.3
103.94	3	0.4	5.6
112.27	2	0.2	5.9
112.50	3	0.4	6.2
122.98	8	1.0	7.2
123.74	1	0.1	7.3
125.00	1	0.1	7.5
129.90	11	1.3	8.8
132.58	1	0.1	8.9
132.68	4	0.5	9.4
134.40	1	0.1	9.5
137.50	9	1.1	10.6
141.74	2	0.2	10.9

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
145.34	9	1.1	12.0
153.09	2	0.2	12.2
158.77	5	0.6	12.8
159.10	2	0.2	13.1
160.63	1	0.1	13.2
162.50	10	1.2	14.4
167.71	10	1.2	15.6
173.51	3	0.4	16.0
179.53	2	0.2	16.3
187.50	22	2.7	18.9
187.64	4	0.5	19.4
190.07	7	0.9	20.3
193.92	4	0.5	20.8
194.45	2	0.2	21.0
207.88	2	0.2	21.3
212.43	20	2.4	23.7
212.50	22	2.7	26.4
216.51	10	1.2	27.6
224.54	12	1.5	29.1
229.81	2	0.2	29.3
237.50	32	3.9	33.3
245.37	4	0.5	33.7
245.68	2	0.2	34.0
245.97	36	4.4	38.4
265.17	2	0.2	38.6
265.36	7	0.9	39.5
274.24	10	1.2	40.7
275.00	55	6.7	47.4
283.47	3	0.4	47.8

等価世帯収入	世帯	有効パーセント	累積パーセント
290.69	24	2.9	50.7
300.52	1	0.1	50.9
306.19	8	1.0	51.8
317.54	9	1.1	52.9
321.27	4	0.5	53.4
325.00	47	5.7	59.2
335.41	21	2.6	61.7
335.88	2	0.2	62.0
347.01	4	0.5	62.5
359.07	3	0.4	62.8
371.23	1	0.1	63.0
375.00	42	5.1	68.1
375.28	10	1.2	69.3
380.13	19	2.3	71.6
387.84	8	1.0	72.6
388.91	1	0.1	72.7
396.86	8	1.0	73.7
424.85	28	3.4	77.1
425.00	32	3.9	81.1
428.66	17	2.1	83.1
433.01	12	1.5	84.6
459.62	1	0.1	84.7
469.57	31	3.8	88.5
475.00	25	3.1	91.6
490.75	7	0.9	92.4
525.00	44	5.4	97.8
530.33	2	0.2	98.0
548.48	7	0.9	98.9
601.04	1	0.1	99.0
606.22	5	0.6	99.6
671.75	1	0.1	99.8
742.46	2	0.2	100.0